

授業評価 2020

—学生による授業評価報告書—

【2020年度新規開設科目】

2021年3月



授業評価 2020
— 学生による授業評価報告書 —
【2020 年度新規開設科目】

I. 「学生による授業評価 2020」の概要 ----- 1

- I-1. 目的
- I-2. 構成と内容
- I-3. 方法と期間
- I-4. 時系列分析
- I-5. 回答者の特性
- I-6. 評価結果の提供と公表
 - I-6-1. 評価結果の提供
 - I-6-2. 評価結果の公表
- I-7. その他

II. 評定尺度調査の分析結果 ----- 20

- II-1. 学部の分析結果
 - II-1-1. 項目平均から見た全体的傾向
 - II-1-2. 学習への取組み姿勢
 - II-1-3. 学部の授業評価
 - II-1-4. 学部の重回帰分析
- II-2. 大学院の分析結果
 - II-2-1. 項目平均から見た全体的傾向
 - II-2-2. 学習への取組み姿勢
 - II-2-3. 大学院の授業評価
 - II-2-4. 大学院の重回帰分析

III. 自由記述のまとめ ----- 107

- III-1. 学部（放送授業）
- III-2. 学部（オンライン授業）
- III-3. 大学院（放送授業）
- III-4. 大学院（オンライン授業）

付録 ----- 228

2020 年度学生による授業評価集計結果の概要等について

I. 「学生による授業評価 2020」の概要

I-1. 目的

本学では、授業に関する学生の理解の状況や満足感・充実感等を把握することによって、教育内容や教授方法、講義資料及び学習支援システム・施設等の改善に資することを目的とし、2005年度より自己点検・評価の一環として学生による授業評価を導入した。本年度は、第16回目となり、例年の通り2020年度に新規開設した科目を評価の対象とした。

以下、その量的分析結果及び自由記述の内容を報告する。

学生による授業評価は、個々の科目に対する学習者の視点からの具体的で詳細なフィードバックを得ることを企図して実施される調査である。その主な目的は、次の通りである。

- (1) 個別授業科目の改善支援……個々の科目を受講者がどのように学習し、どう評価しているかを項目ごとに把握することにより、次の科目改訂等に際して改善すべき点の発見を容易にするような資料を提供する。
- (2) カリキュラム全体の改善支援……コースまたは領域、プログラム(群)における、より効果的なカリキュラム構成や水準のバランス等を検討する上での有効な資料を提供する。
- (3) 認証評価に関わる資料提供……大学に対して社会的に強く求められている定期的な認証評価に際しての重要な資料を提供する。

しかし、一般の大学とは異なり、放送大学においては授業評価の結果をそうした目的にストレートに用いることが必ずしも容易ではない。そこには、次のような放送大学に固有のいくつかの条件と特殊事情があり、結果の利用には一定の留保が求められることになるからである。

第1に、放送大学では、収録された放送授業を4年間継続して放送する原則になっていることである。そのため、たとえ授業評価で改善点が明確に示唆されたとしても、即座にそれを改善する(つまり、評価の次年度に改訂版を収録する)ことが非常に難しいのである。

第2に、放送大学の主任講師は半数程度が客員教員であり、その場合、必ずしも科目の改訂を同一教員がするとは限らないことである。主任講師が交代すると、科目の内容や構成が変わってしまう場合があるため、前科目に対する評価は往々にして参考程度の意味しか持たないことになるのである。

第3に、放送大学は公開大学であり学部には入学試験がないこともあって、他の一般大学に比して学生集団は多様で流動的であり、そこに一定のまとまった特性を求めることは難しい。授業評価で得られた結果も他の大学よりはるかに分散が大きいことが容易に予想される。したがって、たとえ結果を得たとしても、どの層の学生をターゲットとして授業改善をしていったらよいのか、必ずしも明確ではないのである。事実、過去の数次にわたる授業調査で毎回見られることであるが、例えば、「放送授業と印刷教材はできるだけ同一の内容に」と「放送授業と印刷教材の内容が同じでは別の教材である意味がない」とは、常に同じくらい多く書かれる意見である。もちろん、そうした意見の平均や中間点を採用してもあまり意味がないことは言うまでもない。

そして、第4に、放送大学は教員の5年任期制を採っており、再任のためには5年ごとの内部審査の通過が必要とされることである。そのため、個々の教員の評価にストレートに結びつきがちな授業評価の実施に対しては、当初より慎重論も決して少なくなかった。したがって、上述した第3の特性を持つ授業評価に関しては、授業改善あるいはカリキュラム改善のためにのみ結果を用いる、という確たる合意が必要とされるのである。

I-2. 構成と内容

本学生による授業評価調査(放送授業)は、大きく分けて3つの部分からなっている。

第1は、当該科目への取組姿勢、放送授業、印刷教材、単位認定試験等について4段階で評価する評定尺度質問である。その内容は、①当該科目にどれだけ熱心に取り組んだかを示す回答者自身の自己評価と、②授業の難易度・分量、放送授業、印刷教材、通信指導・単位認定試験および全体的に見た授業評価の2つに分かれる。

第2は、当該科目のよかった点、改善すべきだと感じた点、本学の教育システム全般への意見に関する質問であり、自由に記述してもらう形態を採った。

そして、第3は回答者の属性に関する質問である。

実際に使用した調査票については14,15頁と18,19頁を参照されたい。

I-3. 方法と期間

評価の対象としたのは、2020年度第1学期に本学で開講していた放送授業のうち、本年度に開設した科目及び前年度第2学期に開設した科目(開講1年目の科目)、学部56科目(オンライン授業10科目を除く)、大学院8科目(オンライン授業2科目を除く)、計64科目である(表1-1参照)。このような選定システムにすることで、開設後4年間継続して放送することとされている全科目が、開講期間中に必ず1回授業評価の対象とされることになる。

表 1-1 コース・プログラム別の評価対象科目数および有効回答数（オンライン授業を除く）

【学部】					【大学院】				
コース	科目数		有効回答		プログラム	科目数		有効回答	
	2020年度		2020年度			2020年度		2020年度	
	全開設	評価対象	人数	構成比		全開設	評価対象	人数	構成比
基盤科目(外国語)	3	3	240	3%	人間発達科学	2	2	54	24%
生活と福祉	9	9	893	12%	臨床心理学	1	1	62	28%
心理と教育	16	16	4443	61%	社会経営科学	2	2	45	20%
社会と産業	10	10	473	6%	人文学	1	1	24	11%
人間と文化	5	5	559	8%	情報学	2	2	38	17%
情報	9	9	416	6%	全体	8	8	223	100%
自然と環境	2	2	60	1%					
看護師資格取得	1	1	134	2%					
夏季集中科目(司書)	1	1	102	1%					
全体	56	56	7,320	100%					

※構成比は、四捨五入しているため、各項目を合計しても100%にならない場合がある。

一昨年度より、教務情報システム（システムWAKABA）のアンケート機能を用いたオンライン調査とし、評価対象科目を受講した学部 35,552 名、大学院 650 名、計 36,202 名（いずれも延べ人数）に対し、学内連絡及びメールにて周知を行い、実施した。

調査期間は第 1 学期単位認定試験終了後の 7 月 14 日から 9 月 30 日までの 79 日間とし、有効回答数は学部 7,320 人、大学院 223 人、計 7,543 人であった。無記名調査ながら、有効回答率は学部 20.6%、大学院 34.3%、全体で 20.8%と、2019 年度の有効回答率(2019 年度新規開設科目 学部 16.6%、大学院 34.0%、全体 17.2%)と比較すると学部の有効回答率は上がっていたが、大学院は同じ水準であった。

※オンライン授業を除く

表 1-2 調査対象者数および有効回答率

	2020年新規開設科目			2019年新規開設科目			2018年新規開設科目		
	対象者数	有効回答者数	有効回答率	対象者数	有効回答者数	有効回答率	対象者数	有効回答者数	有効回答率
学部	35,552	7,320	20.6%	27,392	4,550	16.6%	38,586	2,136	5.5%
大学院	650	223	34.3%	1,028	350	34.0%	830	76	9.2%
計	36,202	7,543	20.8%	28,420	4,900	17.2%	39,416	2,212	5.6%

I-4. 時系列分析

報告書の一部に過去2年度の調査との比較を掲載した。

本調査は原則として開講1年目の科目を対象とするため、調査対象科目は年度ごとに異なっているという事情がある。本来ならば、時系列分析は同一の科目同士あるいは同一科目から構成されるコース（プログラム）を比較対象としてこそ、その意義が発揮されるであろう。しかし、対象科目が異なるとはいえ、年度ごとに開設された放送授業の全体的な傾向及びその方向性を見る上では参考になると思われる。

I-5. 回答者の特性

(1) 回答者の属性分布と母集団との比較 ※ pt:ポイント

(次頁表1-3)は、回答者の属性分布と母集団(全受講登録者)の属性分布を比較したものである。両者を比較して、回答者の属性分布と母集団の属性分布間に乖離がないか確認を行う。

学部では、男性は+1.2pt、女性は-1.2ptで母集団との差は、男性でプラス、女性でマイナスであった。

年齢階層別では19歳以下~40歳代までがマイナスで、20歳代(-9.0pt)と30歳代(-5.9pt)が、母集団との差が大きかった。

反対に母集団より高かったのは50歳代~70歳以上で、50歳代(+8.6pt)と60歳代(+6.3pt)が特に差が大きかった。

学生種別では全科履修生が+3.2ptと母集団との乖離が大きく、反対に選科履修生(-1.9pt)と、科目履修生(-1.3pt)は、母集団とほとんど変わらなかった。

一方、大学院の性別では男性が+4.0pt、女性は-4.0ptで、学部よりも母集団との差が大きかった。

年齢階層別では学部同様40歳代までが母集団より低く、50歳代以上で高かったが、母集団との差はなかった。

学生種別では修士全科生は母集団より低く、修士選科生と修士科目生が母集団を僅かに上回っていた。

表 1 - 3 回答者の属性分布

【学部】

		2020年新規開設科目			2019年新規開設科目			2018年新規開設科目		
		回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差
性別	男性	40.9%	39.7%	1.2pt	46.8%	41.3%	5.5pt	51.3%	45.5%	5.8pt
	女性	59.1%	60.3%	▲1.2pt	53.2%	58.7%	▲5.5pt	48.7%	54.5%	▲5.8pt
年齢階層別	19歳以下	0.4%	1.2%	▲0.9pt	1.4%	2.6%	▲1.3pt	0.3%	1.9%	▲1.6pt
	20～29歳	6.5%	15.5%	▲9.0pt	6.7%	14.4%	▲7.8pt	5.9%	11.2%	▲5.3pt
	30～39歳	11.6%	17.5%	▲5.9pt	11.5%	18.4%	▲6.9pt	12.1%	14.8%	▲2.7pt
	40～49歳	24.0%	25.1%	▲1.1pt	21.6%	25.6%	▲4.0pt	25.8%	22.3%	3.5pt
	50～59歳	31.7%	23.1%	8.6pt	26.9%	17.8%	9.1pt	27.6%	19.6%	8.0pt
	60～69歳	18.3%	12.0%	6.3pt	21.5%	13.4%	8.2pt	23.3%	17.8%	5.5pt
	70歳以上	7.6%	5.7%	1.9pt	10.4%	7.7%	2.7pt	5.0%	12.5%	▲7.5pt
学生種別	全科履修生	71.8%	68.6%	3.2pt	74.6%	62.6%	12.0pt	83.0%	67.1%	15.9pt
	選科履修生	18.7%	20.6%	▲1.9pt	16.9%	28.1%	▲11.2pt	13.2%	24.5%	▲11.3pt
	科目履修生	9.5%	10.8%	▲1.3pt	8.5%	9.3%	▲0.8pt	3.8%	8.4%	▲4.6pt
人数(N)		7,320	-	-	4,550	-	-	2,136	-	-

※回答者については、無回答があるため、合計は100%にはならない。

pt: ポイント

【大学院】

		2020年新規開設科目			2019年新規開設科目			2018年新規開設科目		
		回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差
性別	男性	66.4%	62.4%	4.0pt	54.9%	52.1%	2.7pt	73.7%	56.7%	17.0pt
	女性	33.6%	37.6%	▲4.0pt	45.1%	47.9%	▲2.7pt	26.3%	43.3%	▲17.0pt
年齢階層別	20～29歳	5.4%	6.3%	▲0.9pt	3.1%	5.4%	▲2.3pt	5.3%	3.3%	2.0pt
	30～39歳	11.2%	13.0%	▲1.8pt	14.3%	15.4%	▲1.1pt	28.9%	13.5%	15.4pt
	40～49歳	22.0%	24.1%	▲2.1pt	22.6%	21.9%	0.7pt	19.7%	25.5%	▲5.8pt
	50～59歳	29.1%	28.7%	0.4pt	28.9%	28.4%	0.5pt	32.9%	30.3%	2.6pt
	60～69歳	23.8%	20.6%	3.2pt	25.4%	20.9%	4.5pt	6.6%	19.9%	▲13.3pt
	70歳以上	8.5%	7.2%	1.3pt	5.7%	8.0%	▲2.3pt	6.6%	7.5%	▲0.9pt
学生種別	修士全科生	36.3%	39.5%	▲3.2pt	36.3%	15.5%	20.8pt	53.9%	17.6%	36.3pt
	修士選科生	54.3%	53.0%	1.3pt	57.4%	74.9%	▲17.5pt	42.1%	70.2%	▲28.1pt
	修士科目生	9.4%	7.4%	2.0pt	6.3%	9.6%	▲3.3pt	3.9%	12.2%	▲8.3pt
人数(N)		223	-	-	350	-	-	76	-	-

※回答者については、無回答があるため、合計は100%にはならない。

pt: ポイント

以下、今回の評価結果を分析する上で、回答者の特性からみて留意すべき点を明らかにするために、回答者の属性についてさらに見ていくことにする。

(2) 年齢階層別の分布(2020年新規開設科目)

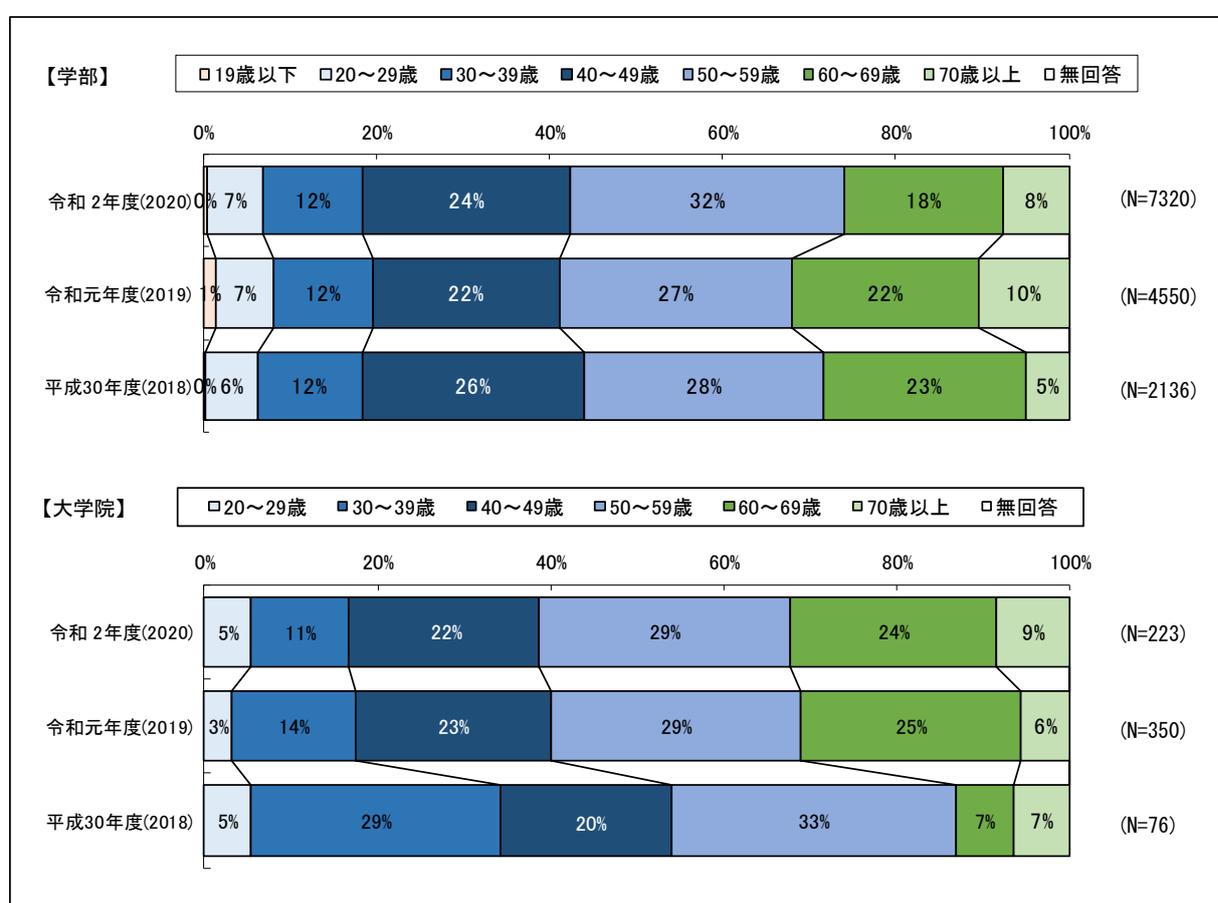
年齢階層別に本年度(2020年新規開設科目)の回答者の分布を見ると(図1-1)、学部では50歳代が最も多く32%、次いで40歳代24%、60歳代が18%で、40歳代から60歳代で7割以上を占めていた。

昨年度と比べると、50歳代が増え、60歳代が減っていた。

大学院は学部同様、50歳代が最も多く29%で、40歳代から60歳代の構成比が高く、全体の8割近くに達していた。

昨年度との比較では30歳代が減少し、70歳以上が僅かに増加していた。

図1-1 年齢階層別回答者



(3) 性別の傾向（2020年新規開設科目）

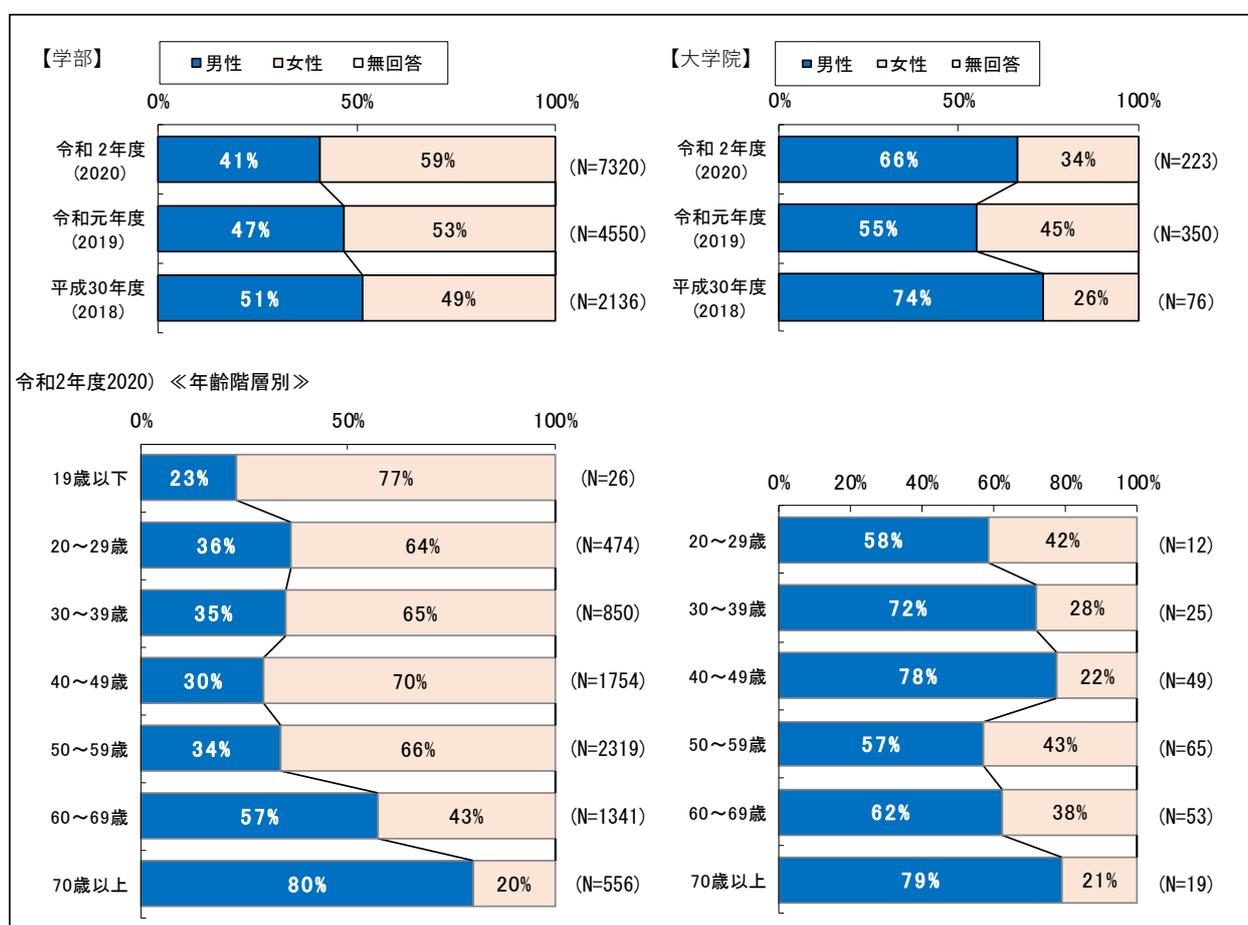
学部について、男女別全体では（図1-2）、「男性」は41%、「女性」は59%となり、この3年間では、女性の増加傾向が見られる。

年代毎の男女の構成を見ると、19歳以下から50歳代までは女性の割合が圧倒的に多く、反対に60歳代以上から男性が多くなり、70歳以上は男性が8割を占めていた。

大学院では、「男性」66%、「女性」34%で、昨年度より男性が11ポイント増えていた。

年代別では30歳代と40歳代および70歳以上で、男性の割合が特に多く、7割以上を占めていた。

図1-2 性別回答者



(4) 職業別分布 (2020年新規開設科目)

学部在籍者の職業は(図1-3)、「会社員」が最も多く21%、次いで「無職」「教員」「パート・アルバイト」が13~15%で続いている。

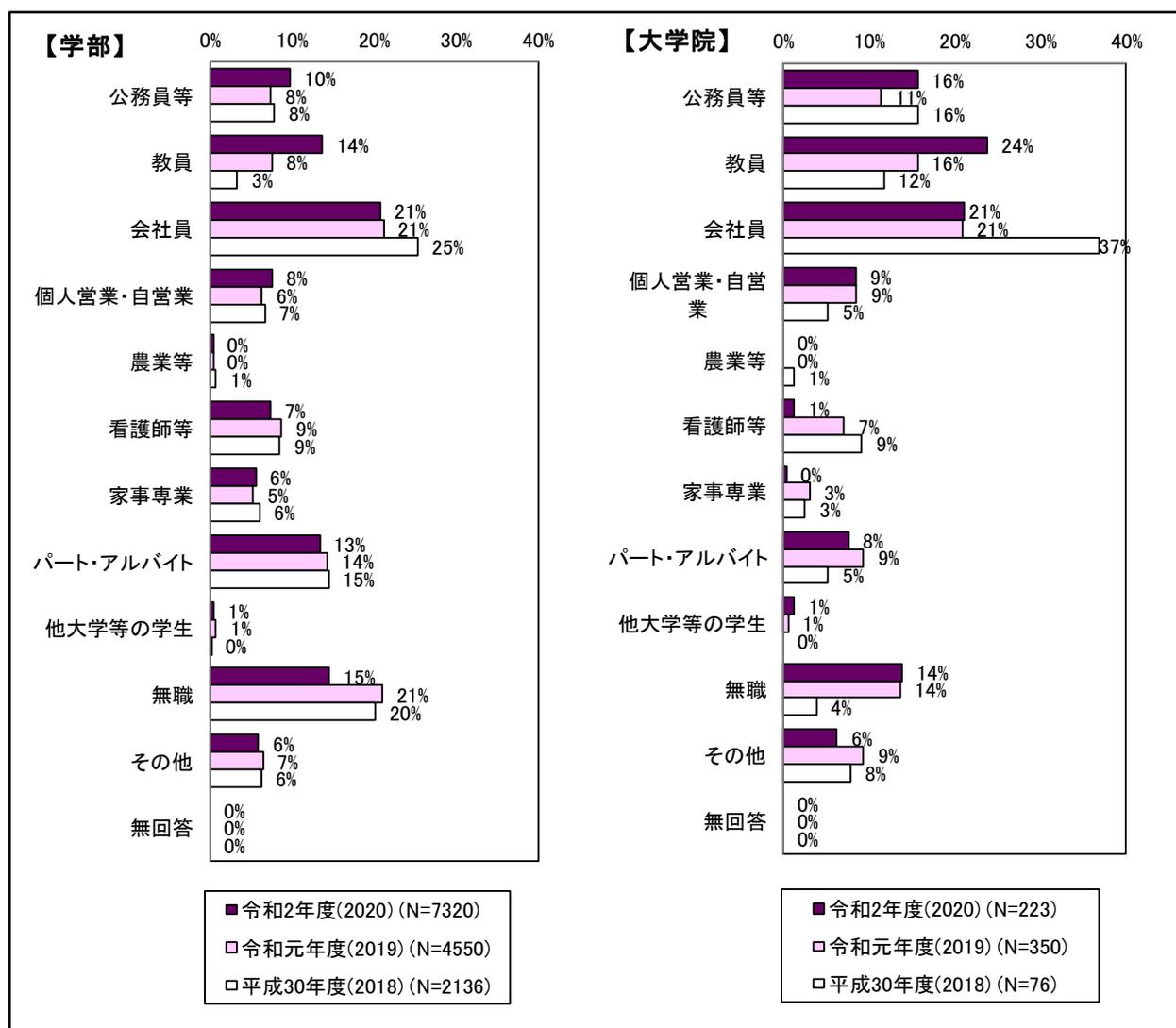
時系列で見ると、昨年度と比べ増減が目立っていたのは、「教員(14%)」の6ポイント増と「無職(15%)」の6ポイント減であった。

大学院では「教員」が24%と大幅増で、昨年度トップの「会社員」を上回り、他に1割以上だったのは、「会社員」「公務員等」「無職」であった。

時系列で見ると、昨年度よりも「教員」が大幅な増加で(+8ポイント)、他に「公務員等」がわずかに増え、反対に「看護師等」が減っていた。

なお、ここでの年齢別、性別、職業別の回答者の割合は、調査対象年度の科目による相違も影響しているため、放送大学の全学生の構成や時系列変化とは必ずしも同じではないことに注意されたい。

図1-3 回答者の職業



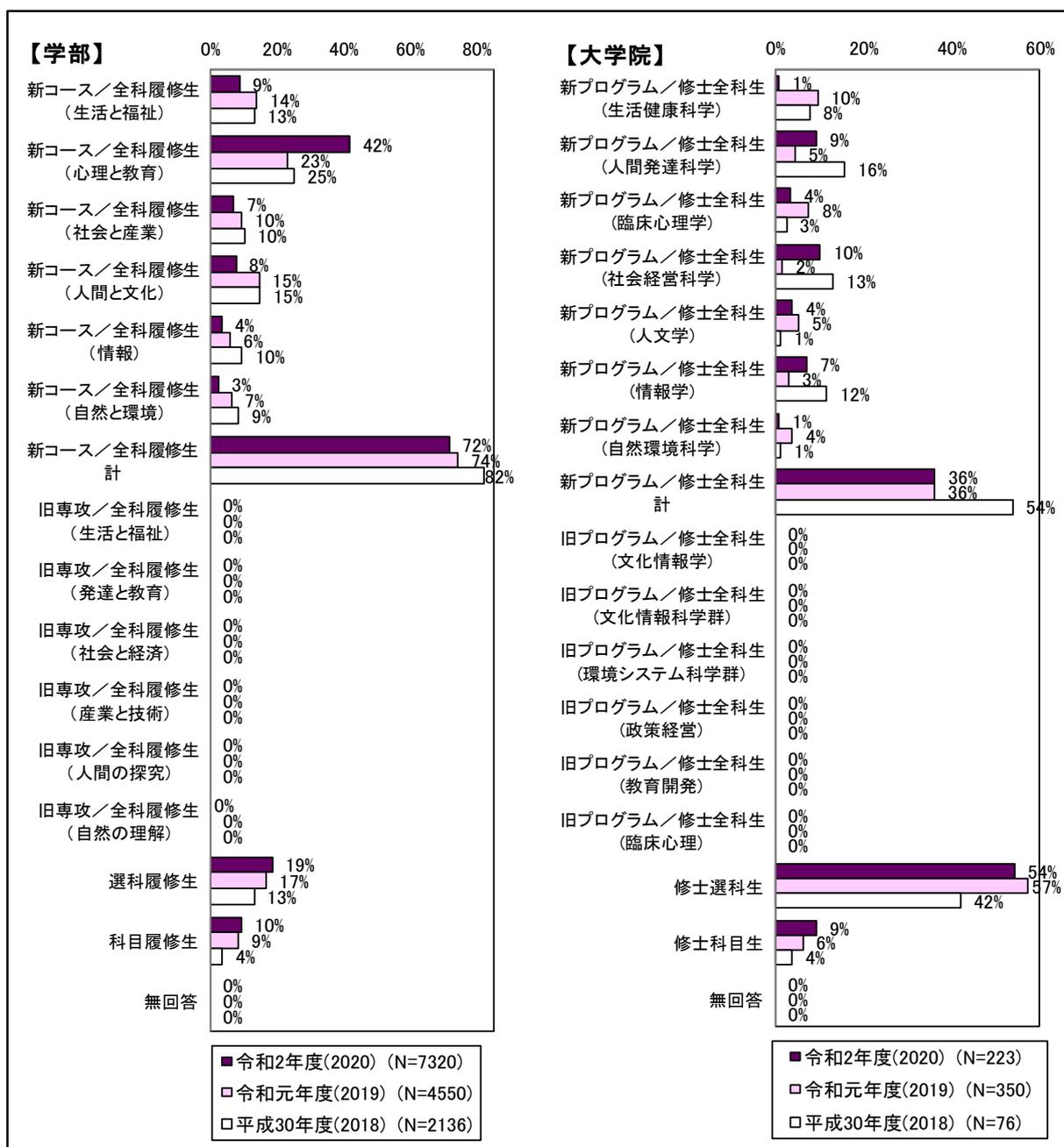
(5) 所属コース（プログラム）別分布（2020年新規開設科目）

所属コース（プログラム）別の分布では（図1-4）、学部は全科履修生（新コース）が72%を占め、その中では、「心理と教育（42%）」が昨年度より20ポイント近く増加し、全体の4割に達していた。「生活と福祉」「人間と文化」は昨年度より5ポイント以上減少していた。

大学院では修士選科生が54%を占めており、修士全科生（新プログラム）が36%、修士科目生が9%であった。

修士全科生の所属プログラムでは「社会経営科学（10%）」「人間発達科学（9%）」が上位であった。

図1-4 回答者の所属コース（プログラム）



I-6. 評価結果の提供と公表

I-6-1. 評価結果の提供

本授業評価は、先にも掲げたように「個別授業科目の改善支援」「カリキュラム全体の改善支援」「認証評価に関わる資料提供」という3つの大きな目的のもとに実施開始年度当初に企画された。また、当時の授業評価小委員会（以下「小委員会」という。）での検討の結果、得られたデータは次のように資料提供されることとなった。

- (1) 当該科目を担当した主任講師への提供……担当科目の詳細な評価結果を主任講師に提供する。担当科目の評価結果には、担当科目と比較可能な全科目平均等及び自由記述部分が含まれる。
- (2) コース主任及びプログラム・コーディネーターへの提供……全てのコース・プログラムに対して、その関係する資料一式を提供する。
- (3) 教授会及び教務委員会等関連委員会への提供……大学全体のカリキュラム編成に関しての検討や意思決定に際しての資料とするため、教授会及び各委員会に提供する。

実際に主任講師等へ提供した個別科目に関する資料の内容は、13頁～18頁の「提供資料サンプル」に示した通りである。

I-6-2. 評価結果の公表

さて、収集された授業評価の結果は授業改善の目的で用いることに加えて、現在では大学の社会的責務として評価結果の公表を強く求められていることから、以下のことを基本的な方針とすることとしている。

(1) 公表への基本姿勢

授業評価の結果については、基本的にできる限り広く社会に提示することが必要である。放送大学に課せられた社会的使命、教育体系全体における位置付け、そして納税者国民への説明責任等を勘案するならば、言うまでもなくそれが理の当然である。そこで、当面は以下に示す形態で公表していくこととする。

(2) 公表する内容

以下のデータに関して公表することとする。

- ① 調査の概要 : 授業評価の目的、方法、実施時期、調査対象者数、調査票等
- ② 回答者の概要 : 基本属性別に見た有効回答者数
- ③ 評点平均 : 全対象科目を総計した結果について、回答者の属性別、科目の分野別、メディア別等の各設問の評点平均値
- ④ 自由記述の概略 : 特徴的・代表的な記述

(3)公表の方法

(2)の内容について、放送大学ホームページ及び広報誌「On Air」紙上等で適宜公表することを基本とする。

I-7. その他

オンライン授業科目について

2015年度から開設されたオンライン授業科目については、原則放送授業に準じた授業評価項目をアンケート調査することとしているが、次の理由により全体集計には入れず、「Ⅲ. 自由記述のまとめ」に当該科目の自由記述の集計等を参考情報として掲載するに留める。

- ・調査時期（4月5日～8月31日）が異なること
- ・放送授業と同様に調査できない項目が一部あること（例：印刷教材を作成していない）
- ・対象科目が少ない（学部10科目、大学院2科目）こと

提供資料サンプル【学部】

学部 1 2020年度学生による授業評価の調査結果【2020年度新規開設科目】（単純集計）

コース・プログラム等 ○○○○

科目名（コード） ○○○○

(○○○○)

教員氏名 ○○○○

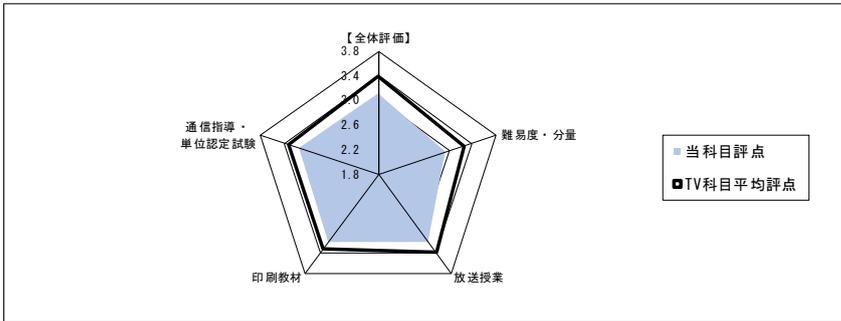
(注)平均評点は、「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」として算出。

1. 取組み姿勢

	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点			【当科目評点と、TV科目平均評点との差】
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	TV科目平均評点	
取組み姿勢	A-1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ	208	44%	33%	18%	5%	3.17	3.44	3.46	-0.29
	A-2 放送授業を十分に視聴した	208	46%	33%	17%	5%	3.20	3.25	3.32	-0.12
	A-3 印刷教材を熱心に学習した	208	30%	46%	21%	3%	3.03	3.39	3.39	-0.36

夏季集中科目（司書）

2. 授業評価



	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点			【当科目評点と、TV科目平均評点との差】
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	TV科目平均評点	
難易度・分量	B-1 放送授業の難易度は適切だった	208	23%	52%	18%	8%	2.89	3.25	3.23	-0.34
	B-2 放送授業の内容は適切な分量であった	208	29%	44%	21%	6%	2.95	3.31	3.29	-0.34
	B-3 印刷教材の難易度は適切だった	208	21%	52%	23%	5%	2.89	3.25	3.23	-0.34
	B-4 印刷教材の内容は適切な分量であった	208	30%	50%	15%	5%	3.06	3.32	3.30	-0.24
放送授業	B-5 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	208	33%	36%	24%	6%	2.97	3.31	3.35	-0.38
	B-6 講師の熱意が十分に伝わった	208	53%	36%	6%	5%	3.38	3.50	3.54	-0.16
	B-7 放送授業は教材としてよくできていると感じた	208	35%	44%	14%	8%	3.06	3.34	3.37	-0.31
	B-8 テレビの特性が十分に生かされていると感じた	208	50%	32%	9%	9%	3.23	3.23	3.32	-0.09
印刷教材	B-9 印刷教材と放送教材との内容的関連性は適切だった	208	36%	47%	14%	3%	3.17	3.34	3.35	-0.18
	B-10 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	208	29%	46%	21%	5%	2.98	3.25	3.25	-0.27
	B-11 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	208	46%	47%	6%	2%	3.36	3.18	3.31	0.05
	B-12 印刷教材は教材としてよくできていると感じた	208	33%	50%	14%	3%	3.14	3.32	3.34	-0.20
通信指導・単位認定試験	B-13 通信指導のコメントは、納得のいくものだった	208	30%	52%	11%	8%	3.05	3.32	3.32	-0.27
	B-14 通信指導は学習内容の理解に役立った	208	47%	42%	8%	3%	3.33	3.42	3.42	-0.09
	B-15 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度ははかるのにふさわしい内容だった	208	38%	35%	20%	8%	3.03	3.25	3.22	-0.19
全体評価	B-16 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	208	39%	46%	11%	5%	3.20	3.34	3.34	-0.14
	B-17 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	208	39%	41%	15%	5%	3.15	3.42	3.42	-0.27
	B-18 新しい知識が身につく視野が広がった	208	56%	35%	5%	5%	3.42	3.52	3.51	-0.09
	B-19 この科目の内容を全体としてよく理解できた	208	20%	47%	24%	9%	2.77	3.21	3.20	-0.43
	B-20 この科目の内容には全体として満足している	208	33%	42%	20%	5%	3.05	3.39	3.40	-0.35

3. 回答者の属性（単位：人）

学生種別	全科履修生（新コース所属）						全科履修生（旧コース所属）		選科履修生	科目履修生	無回答	計
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報コース	自然と環境	全科履修生【小計】	全科履修生【小計】				
	17	38	33	51	10	12	0	161	38	9	0	208

性別	男性	女性	無回答	計
	100	108	0	208

年齢	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	計
	8	13	29	44	59	44	11	0	208

職業	公務員等	教員	会社員	個人営業・自営業	農業等	看護師等	家事専業	パート・アルバイト	他大学等の学生	無職	その他	無回答	計
	18	6	61	13	0	5	14	39	1	37	14	0	208

通信指導・単位認定試験	単位認定試験		通信指導	無回答	計
	受験	未受験	未提出		
	188	7	7	6	208

単位認定のための学習方法	ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ	ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ	放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ	無回答	計
		19	27	162	0

2020年度学生による授業評価の調査結果【2020年度新規開設科目】（学生種別・通信指導提出状況・単位認定試験出席状況別クロス集計）【全体一覧】

学部

学部	A-1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ										A-2 放送授業を十分に視聴した										A-3 印刷教材を熱心に学習した									
	選択肢別の回答割合・回答数				肯定評価	平均	選択肢別の回答割合・回答数				肯定評価	平均	選択肢別の回答割合・回答数				肯定評価	平均	選択肢別の回答割合・回答数				肯定評価	平均						
	4	3	2	1			無回答	4	3	2			1	無回答	4	3			2	1	無回答	4			3	2	1	無回答		
合計（全体）	2136	54%	37%	8%	1%	0%	91%	3.44	2136	48%	33%	15%	4%	0%	81%	3.25	2136	51%	38%	10%	1%	0%	89%	3.39						
全 科	生活と福祉	284	51%	38%	9%	2%	0%	89%	3.39	284	43%	33%	17%	6%	0%	76%	3.13	284	55%	34%	10%	1%	0%	89%	3.42					
	心理と教育	541	53%	37%	8%	1%	0%	91%	3.43	541	46%	34%	17%	4%	0%	79%	3.20	541	49%	40%	11%	1%	0%	88%	3.37					
	社会と産業	219	54%	38%	7%	0%	0%	93%	3.47	219	47%	33%	16%	5%	0%	80%	3.21	219	52%	40%	8%	1%	0%	91%	3.42					
	人間と文化	322	63%	31%	6%	0%	0%	94%	3.57	322	62%	26%	10%	2%	0%	88%	3.47	322	62%	30%	8%	0%	0%	92%	3.53					
	情報	208	47%	39%	11%	3%	0%	86%	3.29	208	47%	33%	15%	6%	0%	79%	3.20	208	42%	40%	14%	4%	0%	82%	3.20					
	自然と環境	183	50%	43%	7%	1%	0%	93%	3.42	183	42%	39%	13%	6%	0%	81%	3.18	183	41%	45%	13%	1%	0%	86%	3.26					
	全科（旧専攻所属）	16	56%	38%	6%	0%	0%	94%	3.50	16	44%	44%	13%	0%	0%	88%	3.31	16	63%	31%	6%	0%	0%	94%	3.56					
	全科履修生 【小計】	1773	54%	37%	8%	1%	0%	91%	3.44	1773	48%	33%	15%	5%	0%	81%	3.24	1773	51%	38%	10%	1%	0%	89%	3.38					
	選科履修生	282	54%	38%	7%	1%	0%	92%	3.44	282	49%	33%	14%	5%	0%	82%	3.26	282	50%	42%	7%	0%	0%	92%	3.42					
	科目履修生	81	57%	36%	7%	0%	0%	93%	3.49	81	48%	37%	14%	1%	0%	85%	3.32	81	53%	41%	6%	0%	0%	94%	3.47					
通信指導 認定試験・ 通信指導未提出	単 位 受 験	2008	55%	37%	7%	1%	0%	92%	3.46	2008	49%	33%	14%	4%	0%	82%	3.26	2008	52%	39%	9%	1%	0%	91%	3.42					
	試験 認定 未 受 験	81	28%	37%	26%	9%	0%	65%	2.85	81	32%	35%	27%	6%	0%	67%	2.93	81	25%	37%	32%	6%	0%	62%	2.80					
	通信指導未提出	11	27%	46%	18%	9%	0%	73%	2.91	11	27%	18%	46%	9%	0%	46%	2.64	11	36%	36%	27%	0%	0%	73%	3.09					

(注) 1. 「選択肢別の回答割合」は、小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合もある。

2. 「肯定評価」は、調査票の選択肢「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計である。

3. 評価については、選択肢「あてはまる：4点」「ややあてはまる：3点」「あまりあてはまらない：2点」「あてはまらない：1点」として算出した。

2020年度学生による授業評価調査票（学部）

次の科目についてお答えください。

科目名	
科目コード	

I. この授業科目を学習して、あなたはどのような印象や感想をお持ちになりましたか。次の①～④及び(1)～(20)の項目について、あてはまる程度を4段階で評価し、4～1の番号にそれぞれ1つだけ○を付けてください。（この面が済みましたら、裏面にもお答えください。）

（注）通信指導を提出していない方、単位認定試験を受験していない方についても、回答できる範囲でお答えください。

A. 授業評価をしていただく前に、あなたの授業への取組みについてお尋ねします。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
① 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ。	4	3	2	1
② 放送授業を十分に視聴した。	4	3	2	1
③ 印刷教材を熱心に学習した。	4	3	2	1
④ 単位認定のための学習方法について、次の1～3のいずれか一つを選んでください。 1. ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ。 2. ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ。 3. 放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ。				

B. 以下のアンケートにお答えください。

＜授業の難易度・分量＞				
(1) 放送授業の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(2) 放送授業の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
(3) 印刷教材の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(4) 印刷教材の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
＜放送授業＞				
(5) 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった。	4	3	2	1
(6) 講師の熱意が十分に伝わった。	4	3	2	1
(7) 放送授業は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
(8) (テレビ科目についてのみお答えください) テレビの特性が十分に生かされていると感じた。	4	3	2	1
(ラジオ科目についてのみお答えください) 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた。				
＜印刷教材＞				
(9) 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった。	4	3	2	1
(10) 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった。	4	3	2	1
(11) 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(12) 印刷教材は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
＜通信指導・単位認定試験＞				
(13) 通信指導のコメントは、納得のいくものだった。	4	3	2	1
(14) 通信指導は学習内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(15) 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった。	4	3	2	1
＜全体評価＞				
(16) 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った。	4	3	2	1
(17) 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった。	4	3	2	1
(18) 新しい知識が身につく視野が広がった。	4	3	2	1
(19) この科目の内容を全体としてよく理解できた。	4	3	2	1
(20) この科目の内容には全体として満足している。	4	3	2	1

裏面に続きます。

提供資料サンプル【学部】

Ⅱ. 次の点について、ご自由にお書きください。

(学部)

(1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

(2) この科目を受講して改善すべきだと感じた点をお書きください。

(3) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

Ⅲ. この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。(あてはまる番号に○を付けてください。)

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
3. 通信指導を提出しなかった。

Ⅳ. あなたご自身についてお答えください。(あてはまる番号にそれぞれ○を付けてください。)

(1) 学生種別	<p>[全科履修生 新コース所属の方]</p> <p>1. 生活と福祉 2. 心理と教育 3. 社会と産業 4. 人間と文化 5. 情報 6. 自然と環境</p> <p>[全科履修生 旧専攻所属の方]</p> <p>7. 生活と福祉 8. 発達と教育 9. 社会と経済 10. 産業と技術 11. 人間の探究 12. 自然の理解</p> <p>[選科履修生・科目履修生]</p> <p>13. 選科履修生 14. 科目履修生</p>
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業 5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他 ()

どうもありがとうございました。

提供資料サンプル【大学院】

大学院1

2020年度学生による授業評価の調査結果【2020年度新規開設科目】（単純集計）

コース・プログラム等 ○○○○

科目名（コード） ○○○○

(○○○○)

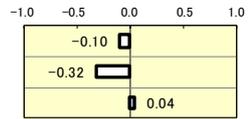
教員氏名 ○○○○

(注)平均評点は、「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」として算出。

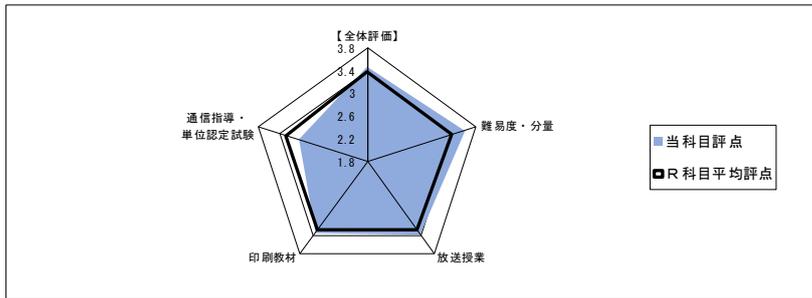
1. 取組み姿勢

取組み姿勢	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点		
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	R科目平均評点
A-1	全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ	45	43%	57%	0%	0%	3.43	3.53	3.53
A-2	放送授業を十分に視聴した	45	29%	43%	29%	0%	3.00	3.32	3.32
A-3	印刷教材を熱心に学習した	45	57%	43%	0%	0%	3.57	3.53	3.53

【当科目評点と、R科目平均評点との差】

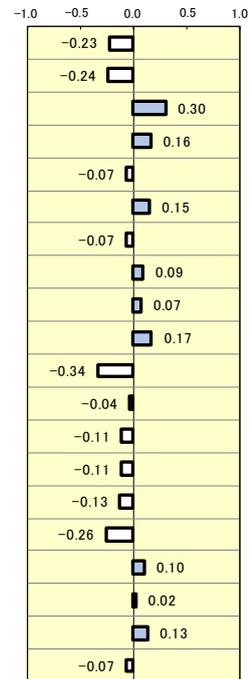


2. 授業評価



	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点		
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	R科目平均評点
難易度・分量	B-1 放送授業の難易度は適切だった	45	14%	86%	0%	0%	3.14	3.37	3.37
	B-2 放送授業の内容は適切な分量であった	45	14%	86%	0%	0%	3.14	3.38	3.38
	B-3 印刷教材の難易度は適切だった	45	71%	29%	0%	0%	3.71	3.41	3.41
	B-4 印刷教材の内容は適切な分量であった	45	57%	43%	0%	0%	3.57	3.41	3.41
放送授業	B-5 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	45	29%	57%	14%	0%	3.14	3.21	3.21
	B-6 講師の熱意が十分に伝わった	45	57%	43%	0%	0%	3.57	3.42	3.42
	B-7 放送授業は教材としてよくできていると感じた	45	29%	71%	0%	0%	3.29	3.36	3.36
	B-8 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	45	29%	57%	14%	0%	3.14	3.05	3.05
印刷教材	B-9 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	45	29%	71%	0%	0%	3.29	3.22	3.22
	B-10 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	45	43%	57%	0%	0%	3.43	3.26	3.26
	B-11 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	45	0%	86%	14%	0%	2.86	3.20	3.20
	B-12 印刷教材は教材としてよくできていると感じた	45	29%	71%	0%	0%	3.29	3.33	3.33
通信指導・単位認定試験	B-13 通信指導のコメントは、納得のいくものだった	45	14%	71%	14%	0%	3.00	3.11	3.11
	B-14 通信指導は学習内容の理解に役立った	45	14%	86%	0%	0%	3.14	3.25	3.25
	B-15 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度を高めるのにふさわしい内容だった	45	29%	43%	29%	0%	3.00	3.13	3.13
全体評価	B-16 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	45	14%	71%	14%	0%	3.00	3.26	3.26
	B-17 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	45	57%	43%	0%	0%	3.57	3.47	3.47
	B-18 新しい知識が身につく視野が広がった	45	71%	14%	14%	0%	3.57	3.55	3.55
	B-19 この科目の内容を全体としてよく理解できた	45	43%	57%	0%	0%	3.43	3.30	3.30
	B-20 この科目の内容には全体として満足している	45	29%	71%	0%	0%	3.29	3.36	3.36

【当科目評点と、R科目平均評点との差】



3. 回答者の属性（単位：人）

学生種別	修士全科生（新コース所属）										計		
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	人文学	情報学	自然環境科学	修士全科生（旧コース所属）	修士全科生【小計】	修士選科生		修士科目生	無回答
	3	9	0	0	1	1	0	0	14	26	5	0	45

性別	男性	女性	無回答	計	年齢	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	計
		27	18	0		45		0	0	7	7	11	14	6

職業	公務員等	教員	会社員	個人営業・自営業	農業等	看護師等	家事専業	パート・アルバイト	他大学等の学生	無職	その他	無回答	計
		3	7	7	6	0	4	2	1	2	10	3	0

通信指導・単位認定試験	単位認定試験		通信指導		無回答	計
	受験	未受験	未提出	提出		
	43	2	0	0	0	45

単位認定のための学習方法	ほとんどの放送教材の学習だけで臨んだ			ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ			放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ			無回答	計
		5	5	5	13	13	13	27	0		

2020年度学生による授業評価の調査結果【2020年度新規開設科目】（学生種別、通信指導提出状況・単位認定試験出席状況別クロス集計）【全体一覽】

大学院	A-1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ										A-2 放送授業を十分に視聴した										A-3 印刷教材を熱心に学習した									
	選択肢別の回答割合・回答数				肯定評価	平均	選択肢別の回答割合・回答数				肯定評価	平均	選択肢別の回答割合・回答数				肯定評価	平均	選択肢別の回答割合・回答数				肯定評価	平均						
	4	3	2	1			無回答	4	3	2			1	無回答	4	3			2	1	無回答	4			3	2	1	無回答		
合計(全体)	76	57%	40%	4%	0%	3.53	76	47%	37%	16%	0%	3.32	76	58%	37%	5%	0%	3.53	76	58%	37%	5%	0%	3.53						
生活健康科学	6	17%	67%	17%	0%	3.00	6	33%	67%	0%	0%	3.33	6	33%	50%	17%	0%	3.17	6	33%	50%	17%	0%	3.17						
人間発達科学	12	83%	17%	0%	0%	3.83	12	58%	33%	8%	0%	3.50	12	83%	17%	0%	0%	3.83	12	83%	17%	0%	0%	3.83						
臨床心理学	2	100%	0%	0%	0%	4.00	2	50%	0%	50%	0%	3.00	2	100%	0%	0%	0%	4.00	2	100%	0%	0%	0%	4.00						
社会経営科学	10	100%	0%	0%	0%	4.00	10	80%	0%	20%	0%	3.60	10	100%	0%	0%	0%	4.00	10	100%	0%	0%	0%	4.00						
人文学	1	100%	0%	0%	0%	4.00	1	0%	100%	0%	0%	3.00	1	100%	0%	0%	0%	4.00	1	100%	0%	0%	0%	4.00						
情報学	9	44%	56%	0%	0%	3.44	9	33%	56%	11%	0%	3.22	9	33%	44%	22%	0%	3.11	9	33%	44%	22%	0%	3.11						
自然環境科学	1	100%	0%	0%	0%	4.00	1	100%	0%	0%	0%	4.00	1	100%	0%	0%	0%	4.00	1	100%	0%	0%	0%	4.00						
修士全科学 【小計】	41	71%	27%	2%	0%	3.68	41	54%	34%	12%	0%	3.41	41	71%	22%	7%	0%	3.63	41	71%	22%	7%	0%	3.63						
修士選科生	32	38%	56%	6%	0%	3.31	32	34%	44%	22%	0%	3.13	32	44%	53%	3%	0%	3.41	32	44%	53%	3%	0%	3.41						
修士科目生	3	67%	33%	0%	0%	3.67	3	100%	0%	0%	0%	4.00	3	33%	67%	0%	0%	3.33	3	33%	67%	0%	0%	3.33						
単 位 認 定 試 験	74	57%	41%	3%	0%	3.54	74	47%	37%	16%	0%	3.31	74	58%	37%	5%	0%	3.53	74	58%	37%	5%	0%	3.53						
通信指導 未提出	2	50%	0%	50%	0%	3.00	2	50%	50%	0%	0%	3.50	2	50%	50%	0%	0%	3.50	2	50%	50%	0%	0%	3.50						
通信指導 未提出	0	0%	0%	0%	0%	0.00	0	0%	0%	0%	0%	0.00	0	0%	0%	0%	0%	0.00	0	0%	0%	0%	0%	0.00						

(注) 1. 「選択肢別の回答割合」は、小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合もある。

2. 「肯定評価」は、調査票の選択肢「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計である。

3. 評価については、選択肢「あてはまる：4点」「ややあてはまる：3点」「あまりあてはまらない：2点」「あてはまらない：1点」として算出した。

2020年度学生による授業評価調査票（大学院）

次の科目についてお答えください。

科目名	
科目コード	

- I. この授業科目を学習して、あなたはどのような印象や感想をお持ちになりましたか。次の①～④及び(1)～(20)の項目について、あてはまる程度を4段階で評価し、4～1の番号にそれぞれ1つだけOを付けてください。（この面が済みましたら、裏面にもお答えください。）

(注) 通信指導を提出していない方、単位認定試験を受験していない方についても、回答できる範囲でお答えください。

あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
-------	---------	------------	---------

A. 授業評価をしていただく前に、あなたの授業への取組みについてお尋ねします。

①	全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ。	4	3	2	1
②	放送授業を十分に視聴した。	4	3	2	1
③	印刷教材を熱心に学習した。	4	3	2	1
④	単位認定のための学習方法について、次の1～3のいずれか一つを選んでください。 1. ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ。 2. ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ。 3. 放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ。				

B. 以下のアンケートにお答えください。

＜授業の難易度・分量＞					
(1)	放送授業の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(2)	放送授業の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
(3)	印刷教材の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(4)	印刷教材の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
＜放送授業＞					
(5)	講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった。	4	3	2	1
(6)	講師の熱意が十分に伝わった。	4	3	2	1
(7)	放送授業は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
(8)	(テレビ科目についてのみお答えください) テレビの特性が十分に生かされていると感じた。	4	3	2	1
	(ラジオ科目についてのみお答えください) 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた。				
＜印刷教材＞					
(9)	印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった。	4	3	2	1
(10)	印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった。	4	3	2	1
(11)	図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(12)	印刷教材は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
＜通信指導・単位認定試験＞					
(13)	通信指導のコメントは、納得のいくものだった。	4	3	2	1
(14)	通信指導は学習内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(15)	単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった。	4	3	2	1
＜全体評価＞					
(16)	授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った。	4	3	2	1
(17)	学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった。	4	3	2	1
(18)	新しい知識が身につく視野が広がった。	4	3	2	1
(19)	この科目の内容を全体としてよく理解できた。	4	3	2	1
(20)	この科目の内容には全体として満足している。	4	3	2	1

裏面に続きます。

提供資料サンプル【大学院】

Ⅱ. 次の点について、ご自由にお書きください。

(大学院)

(1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

(2) この科目を受講して改善すべきだと感じた点をお書きください。

(3) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

Ⅲ. この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。(あてはまる番号に○を付けてください。)

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
3. 通信指導を提出しなかった。

Ⅳ. あなたご自身についてお答えください。(あてはまる番号にそれぞれ○を付けてください。)

(1) 学生種別	[修士全科生 新プログラム所属の方] 1. 生活健康科学 2. 人間発達科学 3. 臨床心理学 4. 社会経営科学 5. 人文学 6. 情報学 7. 自然環境科学 [修士全科生 旧プログラム所属の方] 8. 文化情報学 9. 文化情報科学群 10. 環境システム科学群 11. 政策経営 12. 教育開発 13. 臨床心理 [修士選科生・修士科目生] 14. 修士選科生 15. 修士科目生
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業 5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他 ()

どうもありがとうございました。

Ⅱ. 評定尺度調査の分析結果

【評定尺度調査の分析にあたって】

今回用いた評定尺度は、「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」による4段階評価である。

本報告書においては、データの理解や分析のしやすさを考慮し、便宜的に4段階のカテゴリーに4～1の点数を振り、その平均値を算出することによって、データの代表値とした。

ただし評定尺度の各カテゴリーに振られた「数字」を「数値」として加減乗除の演算をすることは、厳密に言えば統計処理として適切でない。

3が2よりもあてはまる程度が大きいことは言えても、4と3の間と3と2の間が等距離（つまり1の間隔）だという保証はどこにもないからである。

しかし4つのカテゴリーごとの相対度数（パーセント）から何らかの傾向を掴み取るとは容易ではないため、平均値を回答の傾向を推察する目安の1つとして用いたい。

また、ここでの平均値は何らかの単位を持つものではないので、データ同士の相対比較でのみ、その傾向を読み取ることになる。仮にある項目の平均値が、他の項目より低かったとしても、大部分の回答者がその項目に対して肯定的な評価をしていれば、その項目の評価は低いと簡単に断言できるものではないからである。つまり絶対的な評価が把握しにくいと言える。そこで、「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答した対象者の割合を合計して提示した。

これによって、その評価項目に対し肯定的評価をしている学生がいかほどの割合で存在するかを推測する目安とする。

さらに回答者の属性ごとの回答者数について、本来ならば、グラフ等のデータごとに回答者数を示すべきであるが、全てのデータに回答者数を掲載すると極めて煩雑になるため、ここに一括して掲載することにした（次頁表2-1）。

以下、本章においては、常に次頁の回答者数に基づいてデータを見る必要がある。特に回答者数の少ない層ほど誤差が大きくなる傾向で、注意が必要である。

たとえば、大学院では職業別の「看護師等」（3人）、「家事専業」（1人）、「パート・アルバイト」（17人）、「他大学等の学生」（3人）、「その他」（14人）、（農業等は0人）で、年齢階層別では、「20～29歳」（12人）が挙げられる。

いずれも参考値としてグラフに記載しているが、極端な値の時は、コメントを割愛する事にする。

表 2 - 1 回答者数一覧

【学部】

全体		7,320		(単位:人)	
メディア		年齢階層			
テレビ科目(TV)	3,928	19歳以下	26		
ラジオ科目(R)	3,392	20～29歳	474		
職業		30～39歳	850		
公務員等	720	40～49歳	1,754		
教員	1012	50～59歳	2319		
会社員	1524	60～69歳	1,341		
個人営業・自営業	555	70歳以上	556		
農業等	31	コース			
夏季集中科目(司書)	540	基盤科目(外国語)	240		
家事専業	412	生活と福祉	893		
パート・アルバイト	984	心理と教育	4443		
他大学等の学生	34	社会と産業	473		
無職	1,067	人間と文化	559		
その他	441	情報	416		
		自然と環境	60		
		看護師資格取得	134		
		夏季集中科目(司書)	102		

【大学院】

全体		223		(単位:人)	
メディア		年齢階層			
テレビ科目(TV)	-	20～29歳	12		
ラジオ科目(R)	223	30～39歳	25		
職業		40～49歳	49		
公務員等	35	50～59歳	65		
教員	53	60～69歳	53		
会社員	47	70歳以上	19		
個人営業・自営業	19	プログラム			
農業等	0	人間発達科学	54		
看護師等	3	臨床心理学	62		
家事専業	1	社会経営科学	45		
パート・アルバイト	17	人文学	24		
他大学等の学生	3	情報学	38		
無職	31				
その他	14				

Ⅱ－1. 学部の分析結果

Ⅱ－1－1. 項目平均から見た全体的傾向

ここからは、A-1～B-20 の評価項目（14 頁の提供資料サンプルを参照）ごとに、平均値と肯定的評価のグラフを基に、そのデータから目立つ点や、特徴的傾向を記述していくことにする。

平均値は、評価項目の選択肢である「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」に対して順に 4 点、3 点、2 点、1 点の得点を与え、その得点合計を回答者数で割った値である。全員が「あてはまる」とした場合、平均値は 4.00 で最も高くなり、全員が「あてはまらない」とすると最低の 1.00 となる。

また、肯定的評価は文字通り「あてはまる」と「ややあてはまる」の比率の合計である。

平均値より肯定的な評価の方が（例えば回答者の 80% と）イメージしやすく、平均値と肯定的評価に齟齬が出た場合、どちらを採るか合理的な判断ができないので、記述については肯定的評価を用いて、平均値は参考値として扱っていきたい。

また、過去 2 年間との年度間の比較（23 頁、25 頁等）の箇所は、比率の差の検定結果から、全体の回答者数（2020 年度：7320 人 2019 年度：4550 人 2018 年度：2136 人）が多いため、各比率の差が概ね 2 ポイントで有意となり、2 ポイント以上で差があることとした。

テレビ科目とラジオ科目のメディア間の比較では、同検定結果から概ね 2 ポイントで有意差が見られるため、年度間比較と同様 2 ポイント以上で差があることとした。

図 2－1 の肯定的評価では各項目とも 90% 以上で、特に『全体評価（B-16～B-20）』は 94% と最も高く評価されていた。

『授業評価に関わる項目平均（B-1～B-20）』と『全項目平均（A-1～B-20）』はそれぞれ 92% と同率の項目平均であった。

図 2－1 【学部】項目平均による全体的傾向

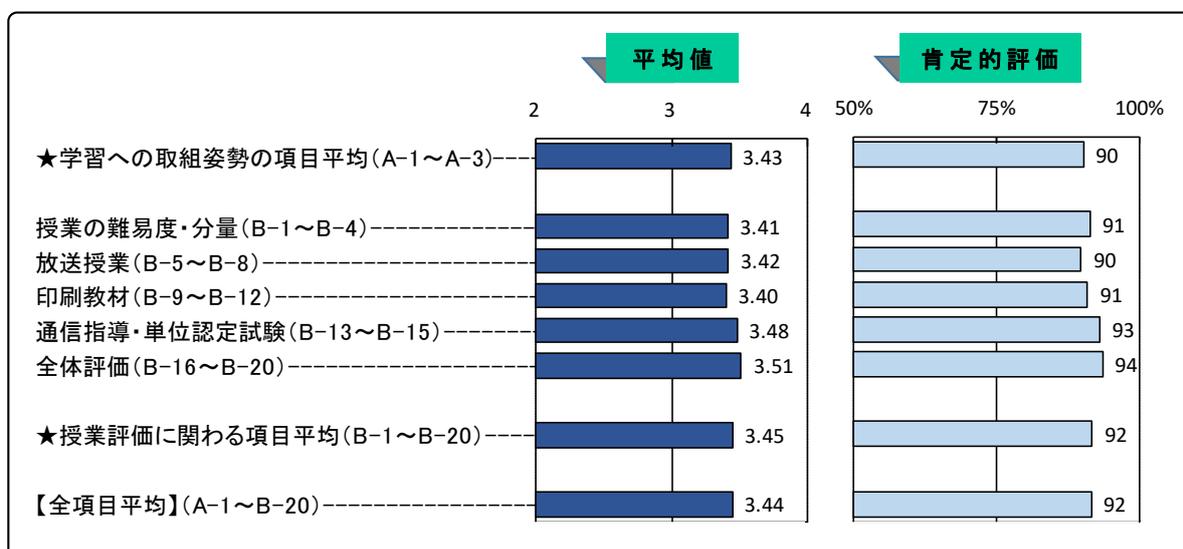
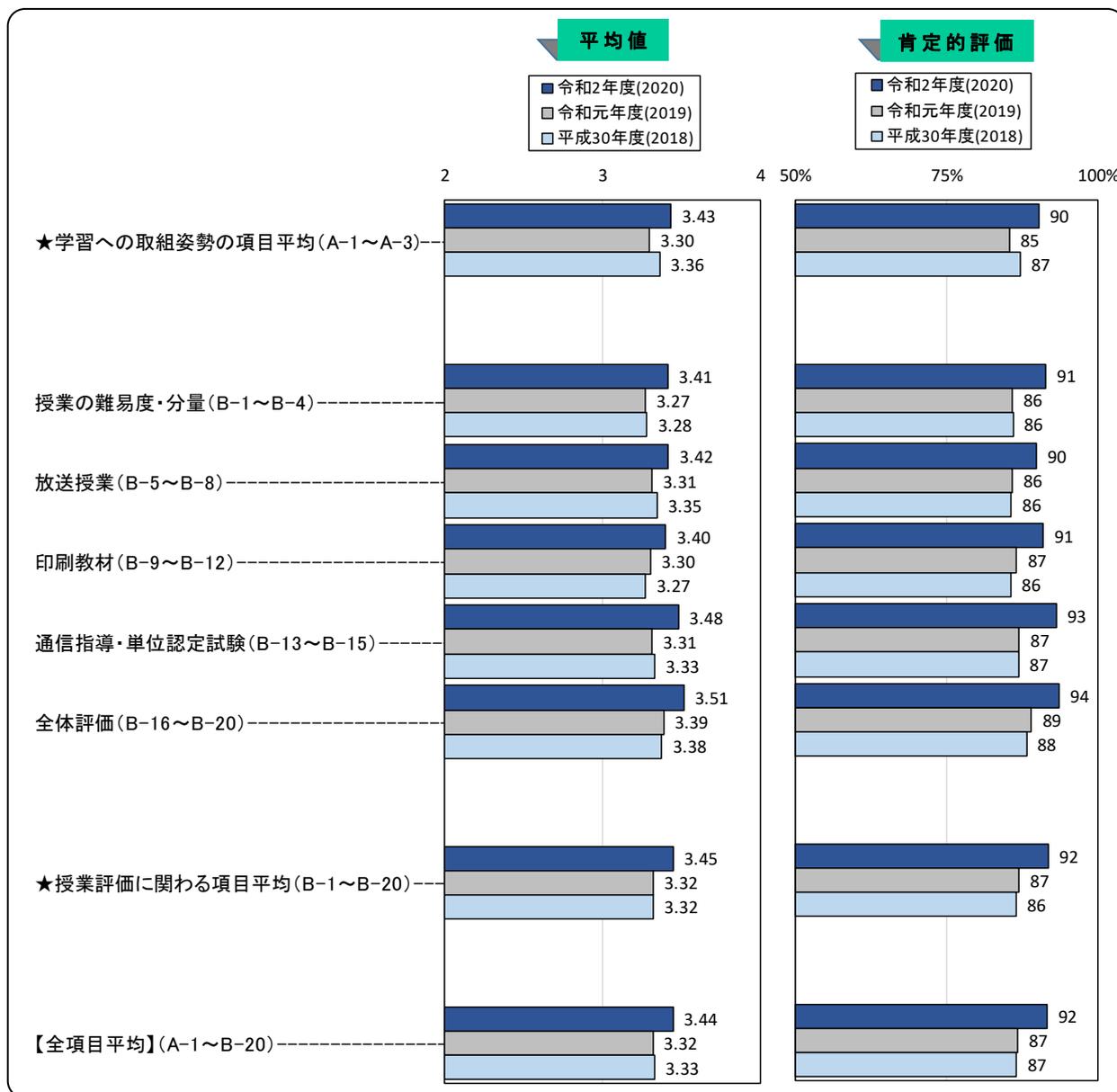


図2-2の項目平均による全体的傾向では、肯定的評価が本年度は、全ての項目で昨年度より4~6ポイント増の90%以上となり、過去2年度を上回っていた。

全項目の中で『全体評価』が最も高く、94%に達していた。

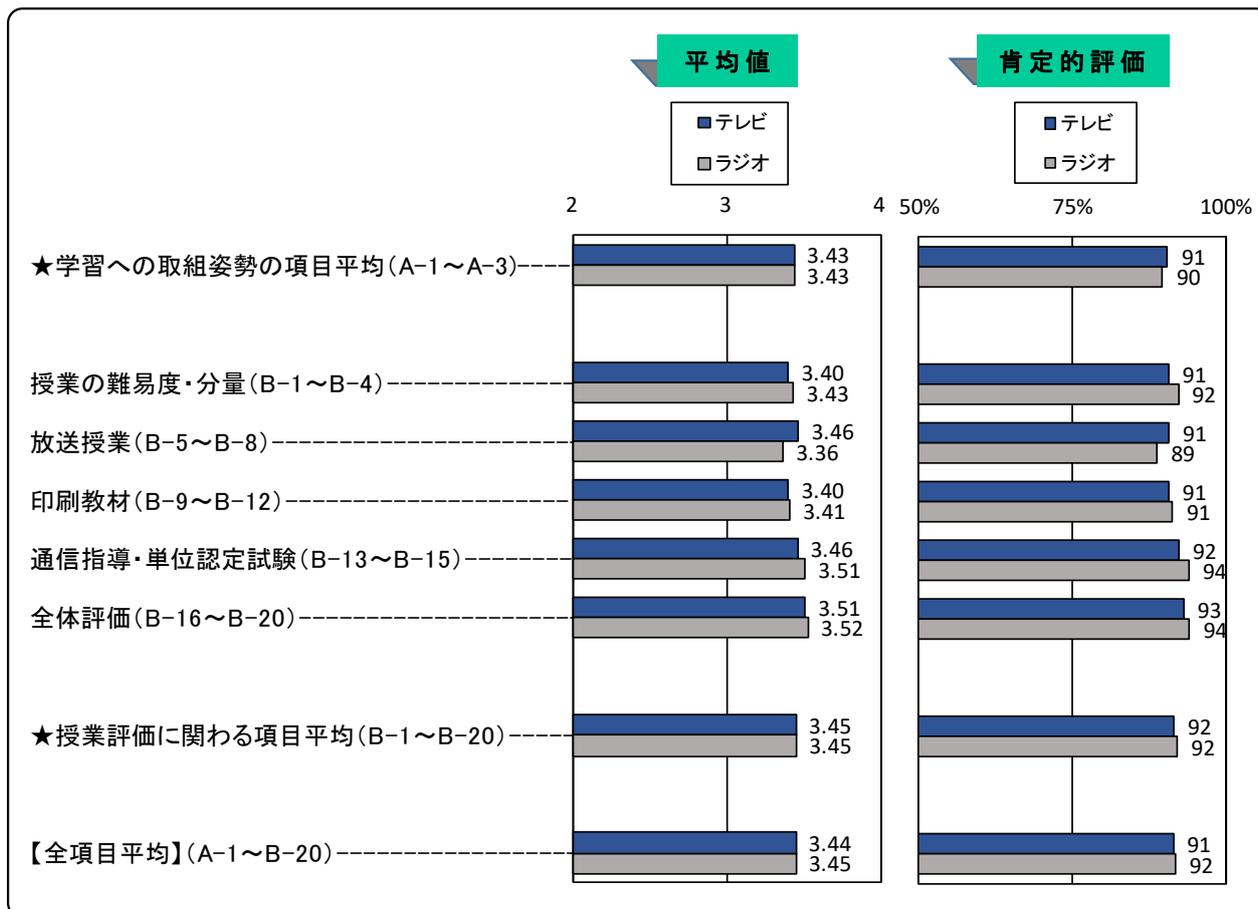
図2-2 【学部】項目平均による全体的傾向（開設年度比較）



メディア別では（図2-3）、テレビ科目（n=3928）とラジオ科目（n=3392）のメディア間で『放送授業』と『通信指導・単位認定試験』以外は各メディア受講生の評価はほとんど変わらなかった。

『放送授業』はテレビ科目が3ポイントアップの91%で高く、『通信指導・単位認定試験』はラジオ科目が94%で2ポイント高かった。

図2-3 【学部】項目平均によるメディア別全体的傾向



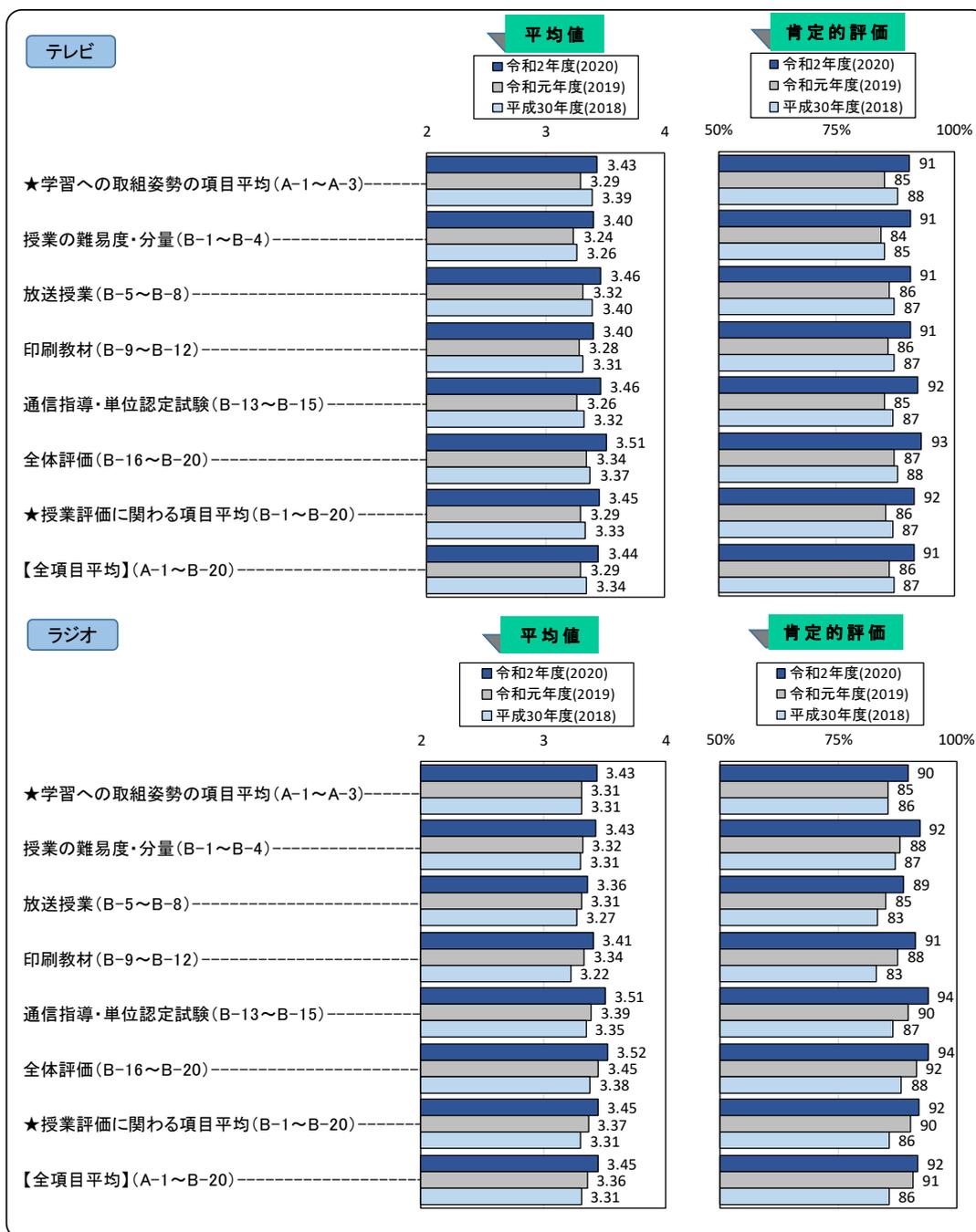
次にメディア別の項目平均を時系列で比較してみると（図2-4）、テレビ科目では、本年度は昨年度より全ての項目が上昇しており、特に『学習への取組み姿勢』『授業の難易度・分量』『通信指導・単位認定試験』『全体評価』が6～7ポイント増で、91～93%に達していた。

その結果、『授業評価に関わる項目平均』も6ポイント増の92%となっている。

ラジオ科目でも、『学習への取組み姿勢』から『全体評価』までは、昨年度を上回っており、中でも『学習への取組み姿勢』と『授業の難易度・分量』『放送授業』『通信指導・単位認定試験』は4～5ポイント増であった。

最も評価が高かったのは、『通信指導・単位認定試験』と『全体評価』で、共に94%に達していた。

図2-4 【学部】項目平均によるメディア別全体的傾向（開設年度比較）

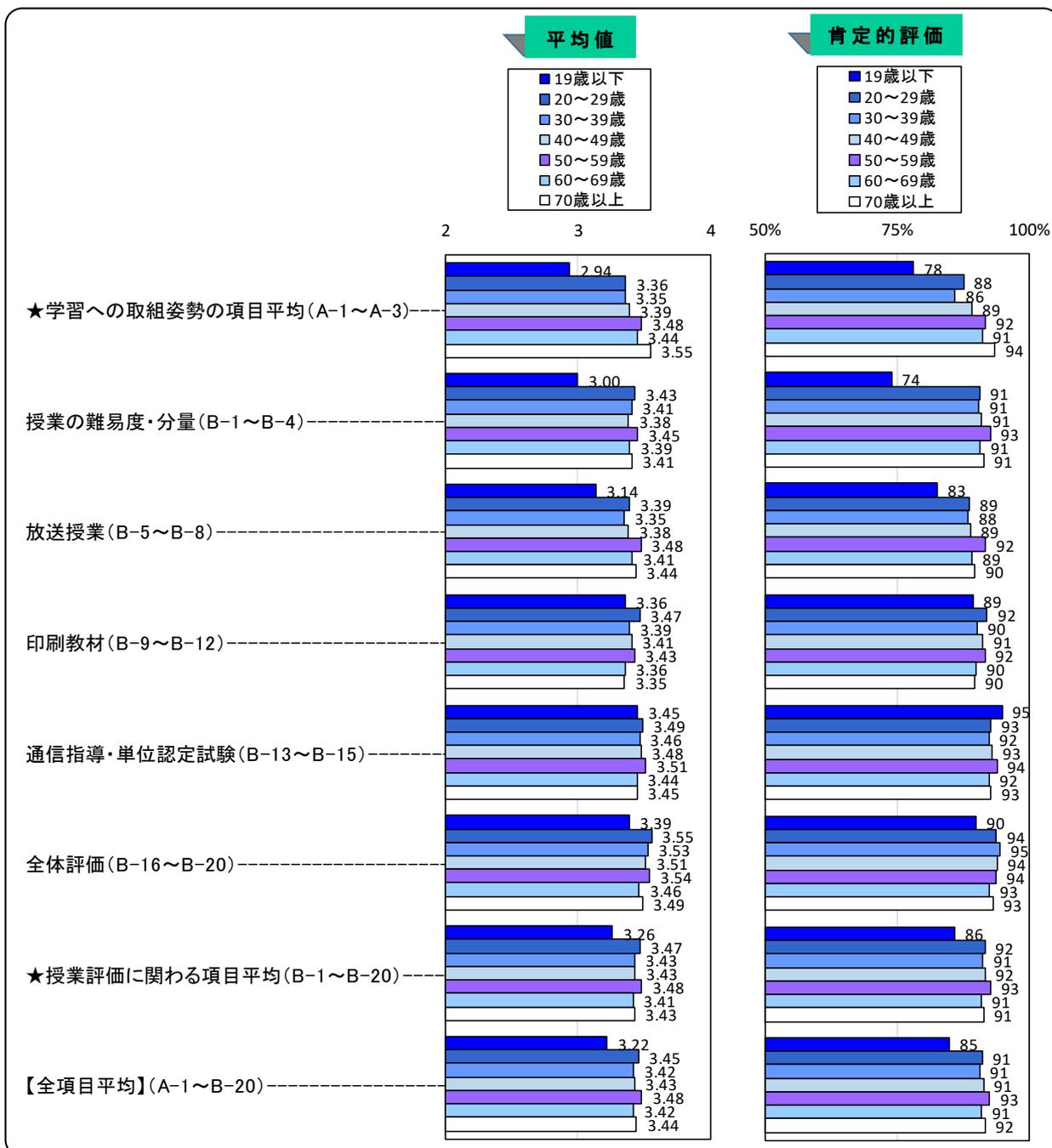


年齢階層別（図2-5）では、19歳以下は、『通信指導・単位認定試験』以外は他の年代より極端に肯定評価が低い項目が多く、特に『授業の難易度・分量』の評価が74%と他の年代を17ポイント以上下回っていた。

反対に『通信指導・単位認定試験』は唯一、他の年代を上回り、95%に達していた。

また、『学習への取組み姿勢』では70歳以上が94%で最も高く、『放送授業』では50歳代が92%で最も高かった。

図2-5 【学部】項目平均による年齢階層別全体的傾向

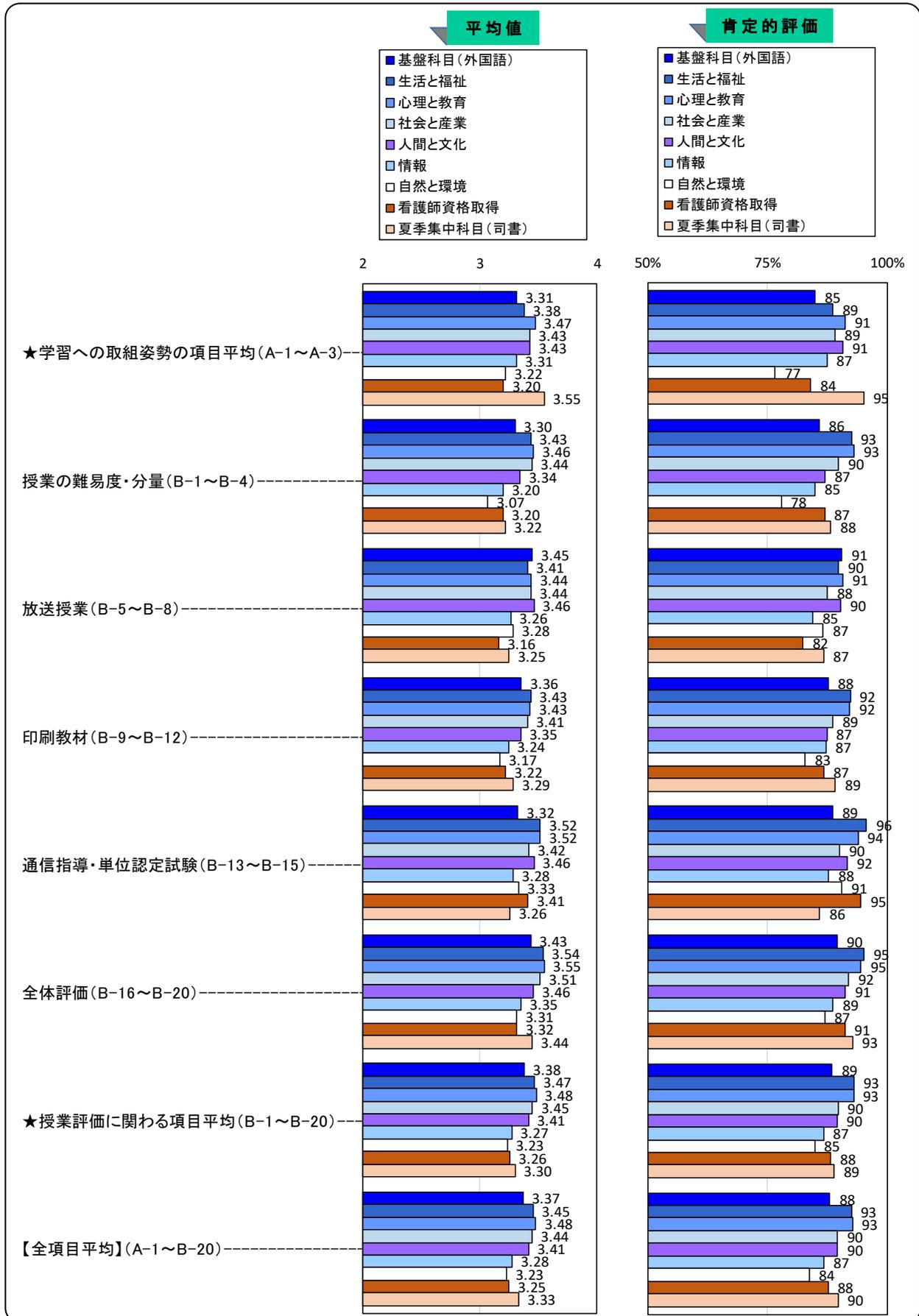


所属コース別に項目平均を見ると（次頁図 2-6）、「生活と福祉」と「心理と教育」は、『授業の難易度・分量』『印刷教材』『全体評価』において、肯定評価が最も高く 92%～95%であった。

反対に「自然と環境」は『放送授業』と『通信指導・単位認定試験』以外の項目で、他の所属コースより肯定的評価が極端に低く、最も評価の低い『学習への取組み姿勢』は 77%と他の所属コースに比べ大きな差が見られた。

その結果、『授業評価に関わる項目平均』と『全項目平均』において、「生活と福祉」と「心理と教育」の肯定的評価が最も高く、「自然と環境」が最も低かった。

図 2 - 6 【学部】項目平均による所属コース別全体的傾向

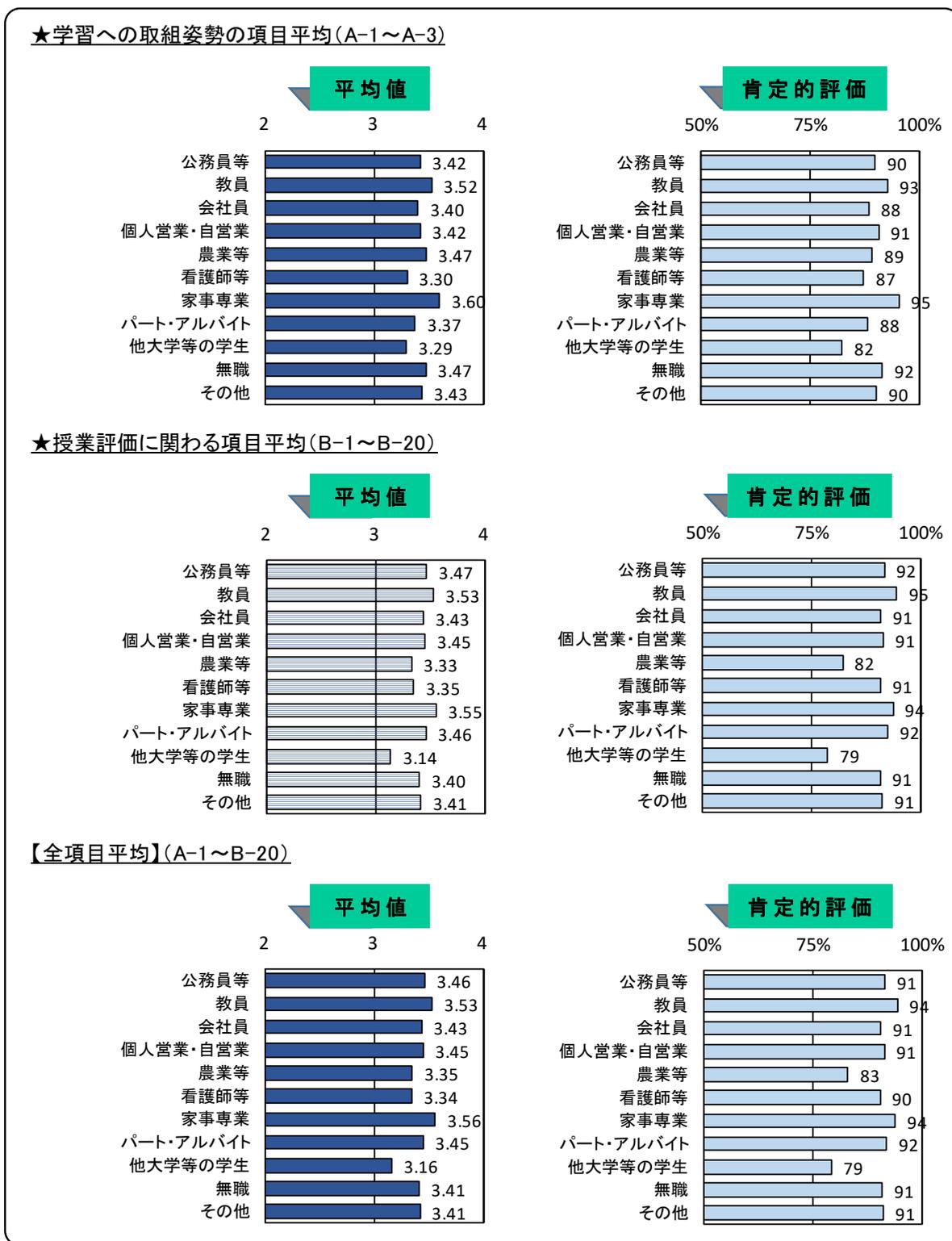


職業別の（図2-7）肯定的評価は「教員」と「家事専業」に特徴的な傾向が見られ、下記全ての項目で上位1,2位の高評価で、93～95%であった。

反対に「他大学等の学生」は全ての項目で8割前後と最も評価が低く、上位1,2位に比べ10ポイント以上の差が見られた。

他に「農業等」も評価が低く、『授業評価に関わる項目平均』と『全項目平均』では、82～83%に過ぎなかった。

図2-7 【学部】項目平均による職業別全体的傾向



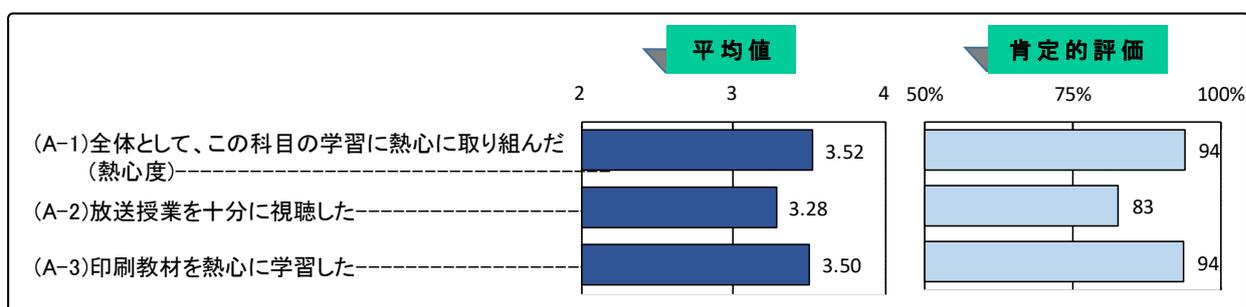
Ⅱ－1－2. 学習への取組み姿勢

ここからはそれぞれの評価項目ごとに調査結果を見ていく。

全回答者の学習への取組み姿勢（図2－8）は、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」と（A-3）「印刷教材を熱心に学習した」が共に94%と、その熱心度は高かった。

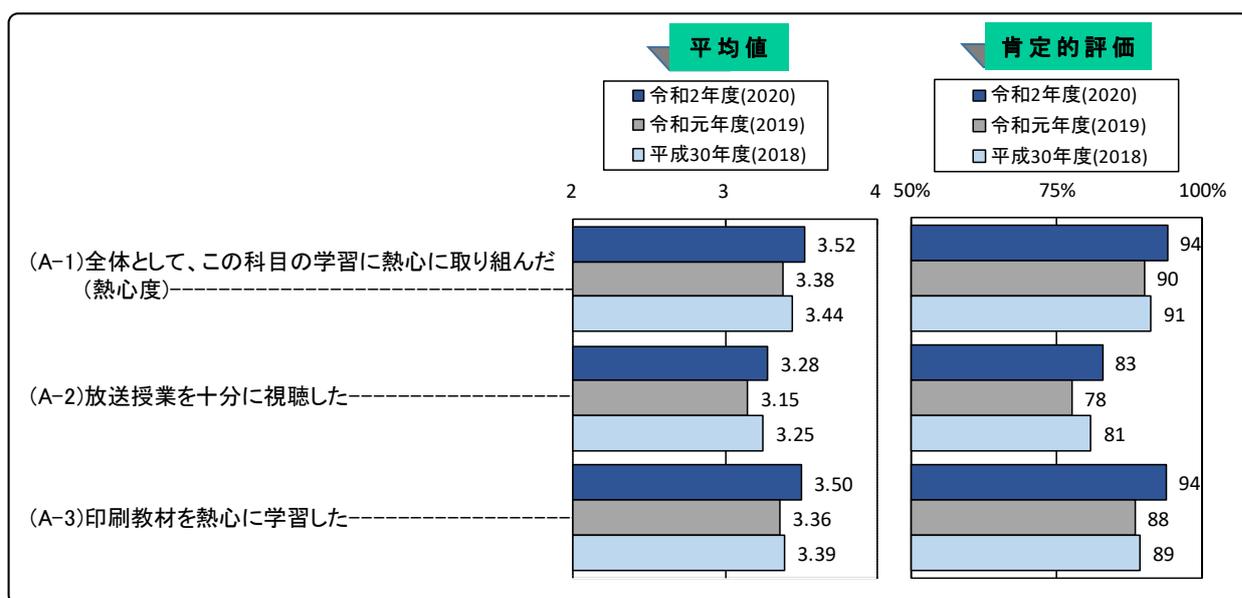
（A-2）「放送授業を十分に視聴した」は83%と、前述の2項目に比べ低く、印刷教材での学習のウェイトの方が高かった。

図2－8 【学部】回答者全体の取組姿勢



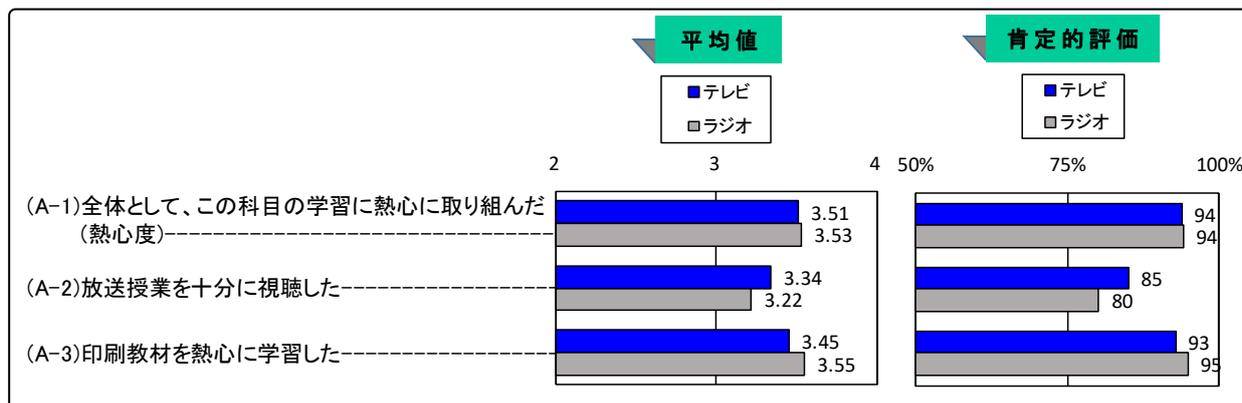
取組姿勢を時系列で見ると（図2－9）、全ての項目で本年度の結果が、昨年度、一昨年度を上回っており、昨年度との比較で特に（A-3）「印刷教材を熱心に学習した」の比率の上昇幅は大きく、6ポイント増の94%であった。

図2－9 【学部】回答者全体の取組姿勢（時系列）



次にメディア別の取組姿勢では（図2-10）、テレビ科目とラジオ科目を比べると（A-1）「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」は両メディア共、同率の94%であったが、（A-2）「放送授業を十分に視聴した」はテレビ科目が高く、（A-3）「印刷教材を熱心に学習した」は、ラジオ科目が高かった。

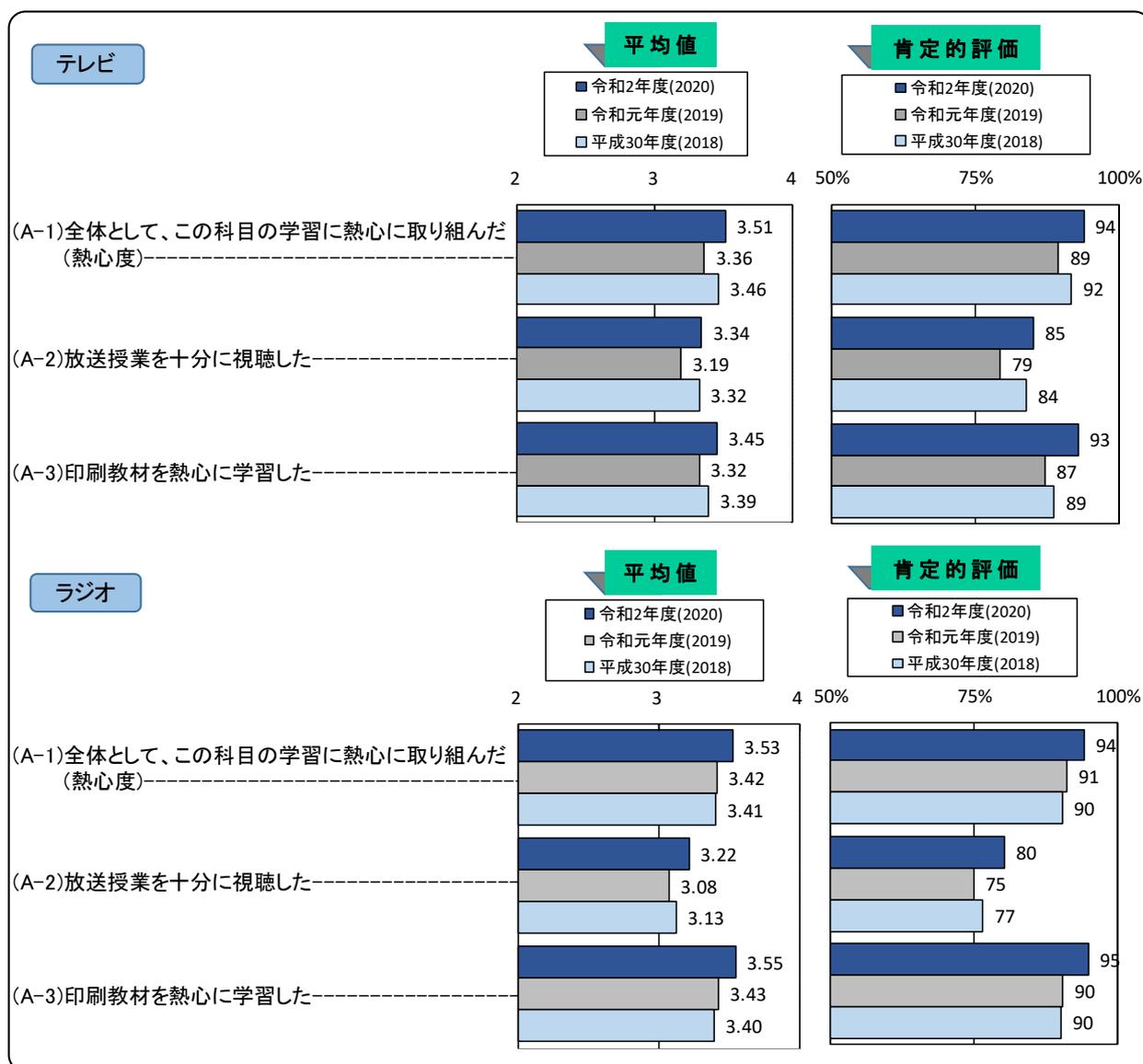
図2-10 【学部】メディア別の取組姿勢



メディア別の取組姿勢を時系列で見ると（図2-11）、テレビ科目は、過去2年度と比べ3項目とも評価が上がっており、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」と(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は、昨年度よりそれぞれ6ポイント増で、大きな上昇が見られた。

ラジオ科目でも、過去2年度と比べ3項目とも評価が上がっており、昨年度からは(A-2)「放送授業を十分に視聴した」と(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」で共に5ポイント増と上昇幅が大きかった。

図2-11 【学部】メディア別の取組姿勢（時系列）



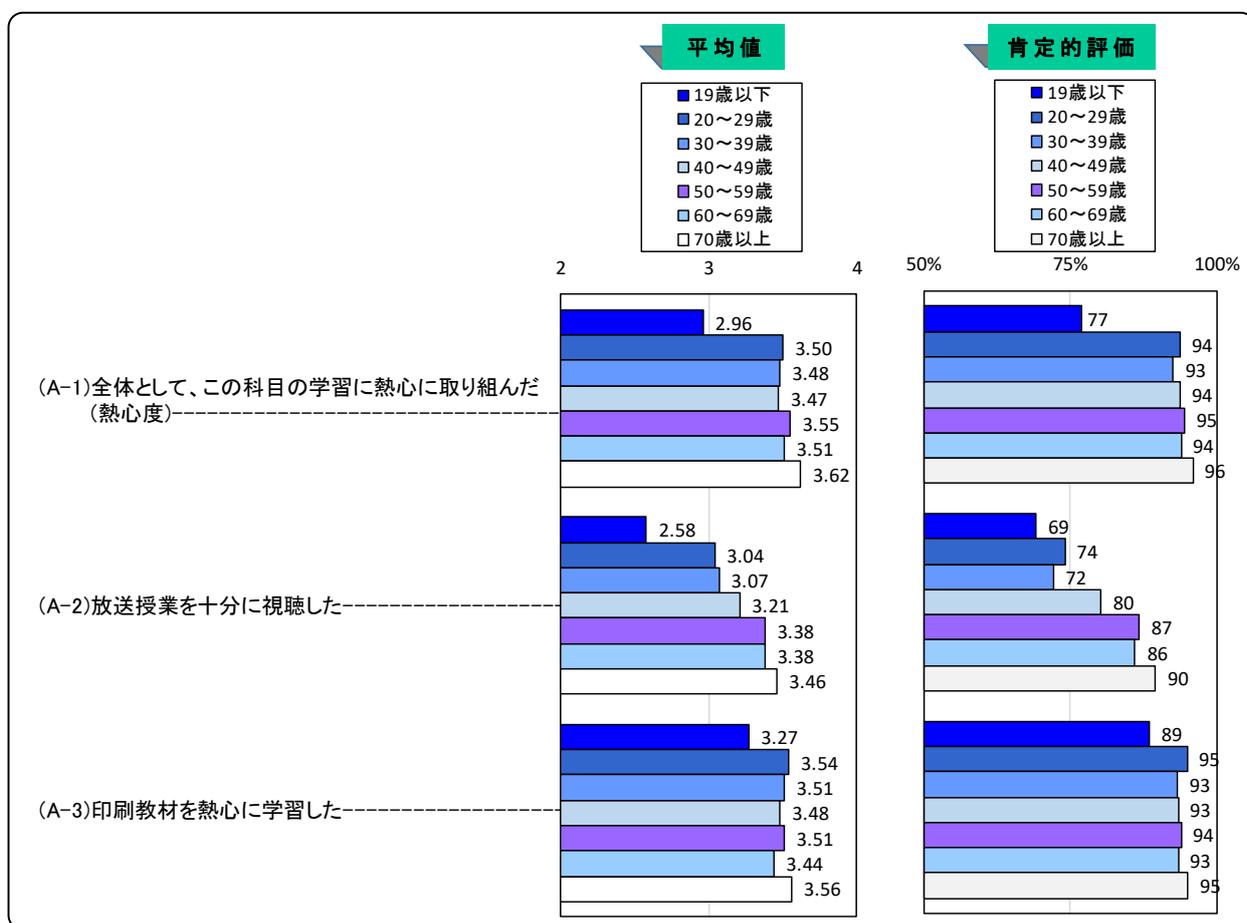
年齢階層別に取り組姿勢を見ると（図2-12）、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」は19歳以下が77%と、その度合いが最も低く、それ以上の年代は95%前後の熱心度で、大きな差が現れていた。

(A-2)「放送授業を十分に視聴した」も19歳以下が69%と、低く、他に20歳代、30歳代など若い年代でも8割を下回っていた。

反対に70歳代は90%と、「放送授業を十分に視聴した」受講生は、9割に達していた。

(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」では、19歳以下が90%をわずかに下回っていたが、それ以上の年代は94%前後とその熱心度は高かった。

図2-12 【学部】年齢階層別に取り組姿勢

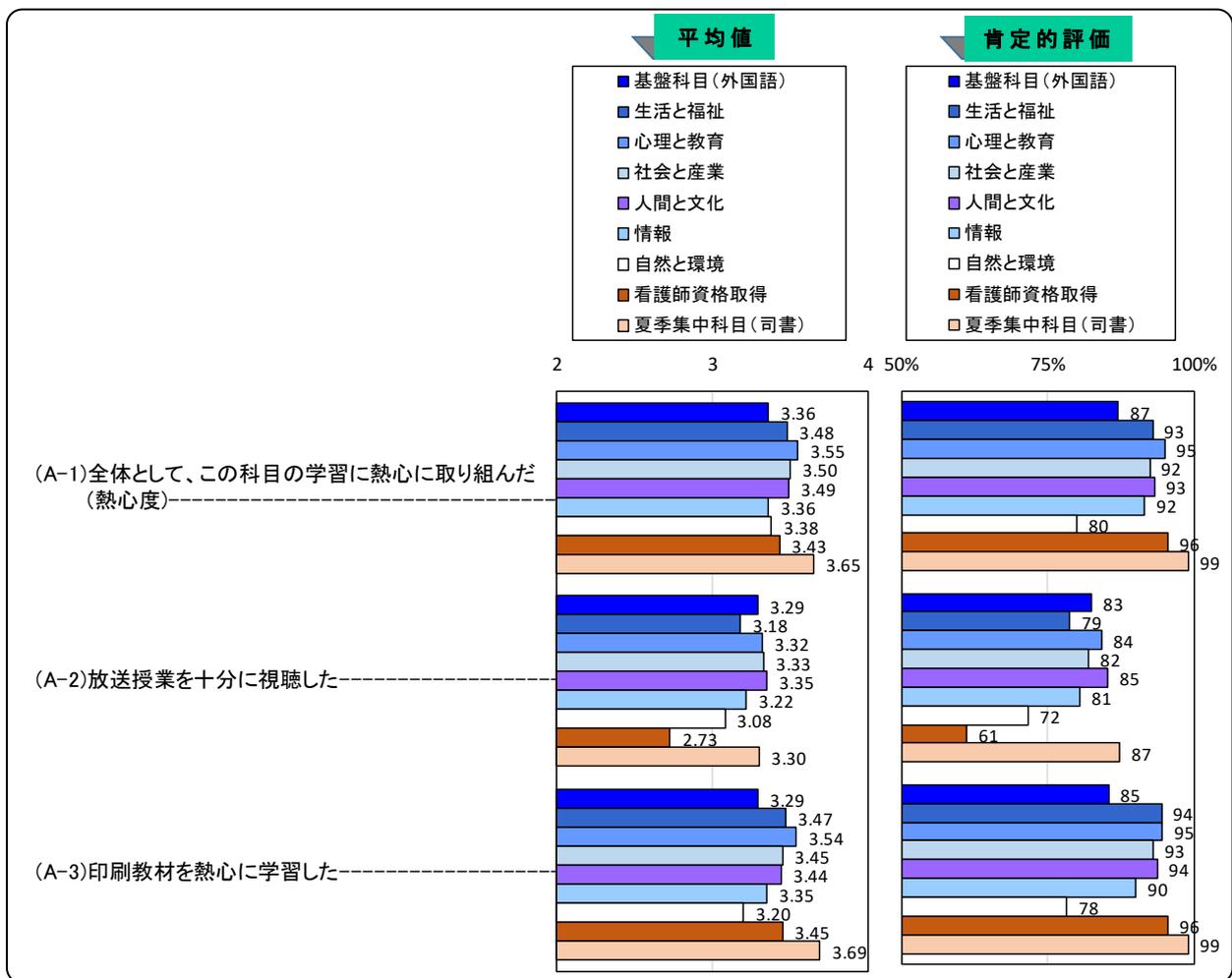


所属コース別に取り組姿勢を見ると(図2-13)、全ての項目で「夏季集中科目(司書)」の度合いが最も高く、特に(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」と(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は、その受講生の99%が積極的に取り組んでいた。

この2項目については「看護師資格取得」でも同様に、それぞれ96%と、高かったが、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」については61%と、最下位で極端な傾向が見られた。

反対に「自然と環境」はいずれの項目も、取り組む姿勢は低く、最も高い(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」でも80%に過ぎなかった。

図2-13 【学部】所属コース別の取り組姿勢



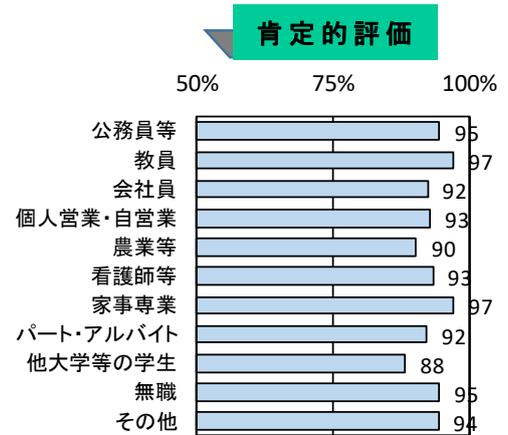
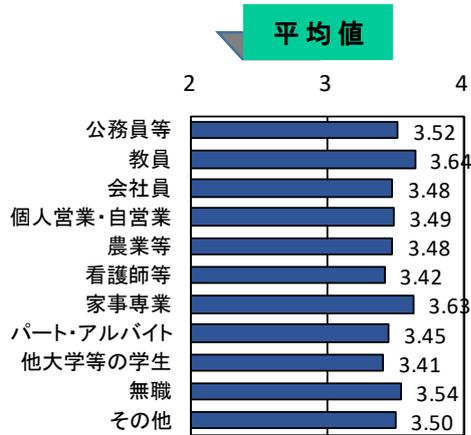
職業別に取り組姿勢を見ると（次頁図 2 - 1 4）、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」は「他大学等の学生」（88%）が他の職業と比べ、その割合が低かったが、他は 90～97%と、熱心度は高かった。

(A-2)「放送授業を十分に視聴した」についても「他大学等の学生」は 71%と、最も低く、最も高い「家事専業」（93%）から -22 ポイントと大きな差が見られた。

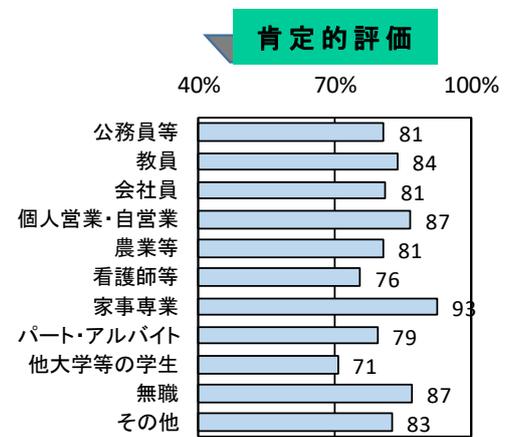
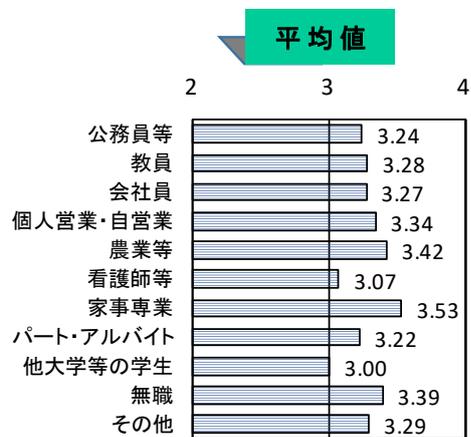
(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」でも「他大学等の学生」（88%）は最も低率だったが、他の職業の取り組み姿勢は 92～97%と、高かった。

図 2 - 1 4 【学部】職業別の取組姿勢

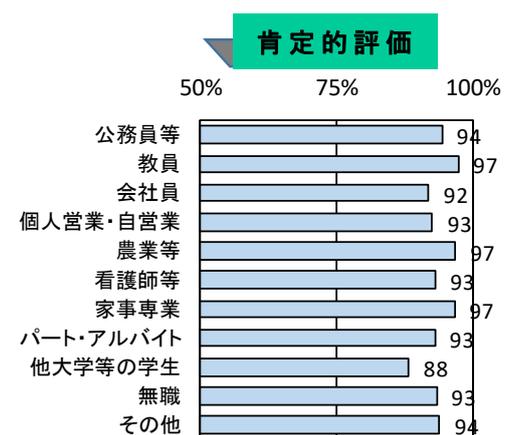
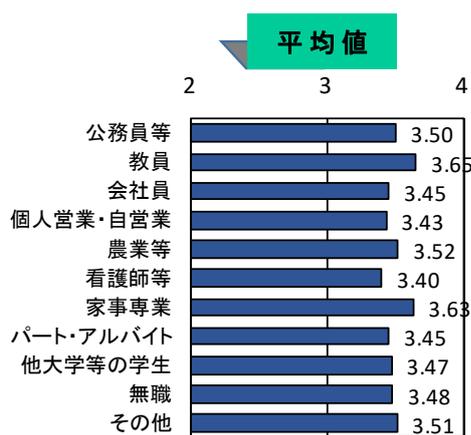
(A-1)全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ



(A-2)放送授業を十分に視聴した



(A-3)印刷教材を熱心に学習した



単位認定のための学習方法（次頁図 2 - 1 5）では、全体は『放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ』が 71%と、多くを占め、『ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ』が 22%、『ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ』は僅か 6%で、「印刷教材の学習」で見ると、その利用は 93%であった。

メディア別では「テレビ科目」は『放送教材と印刷教材の両方』が「ラジオ科目」より多く、「ラジオ科目」は『ほとんど印刷教材の学習だけ』が「テレビ科目」より多かった。

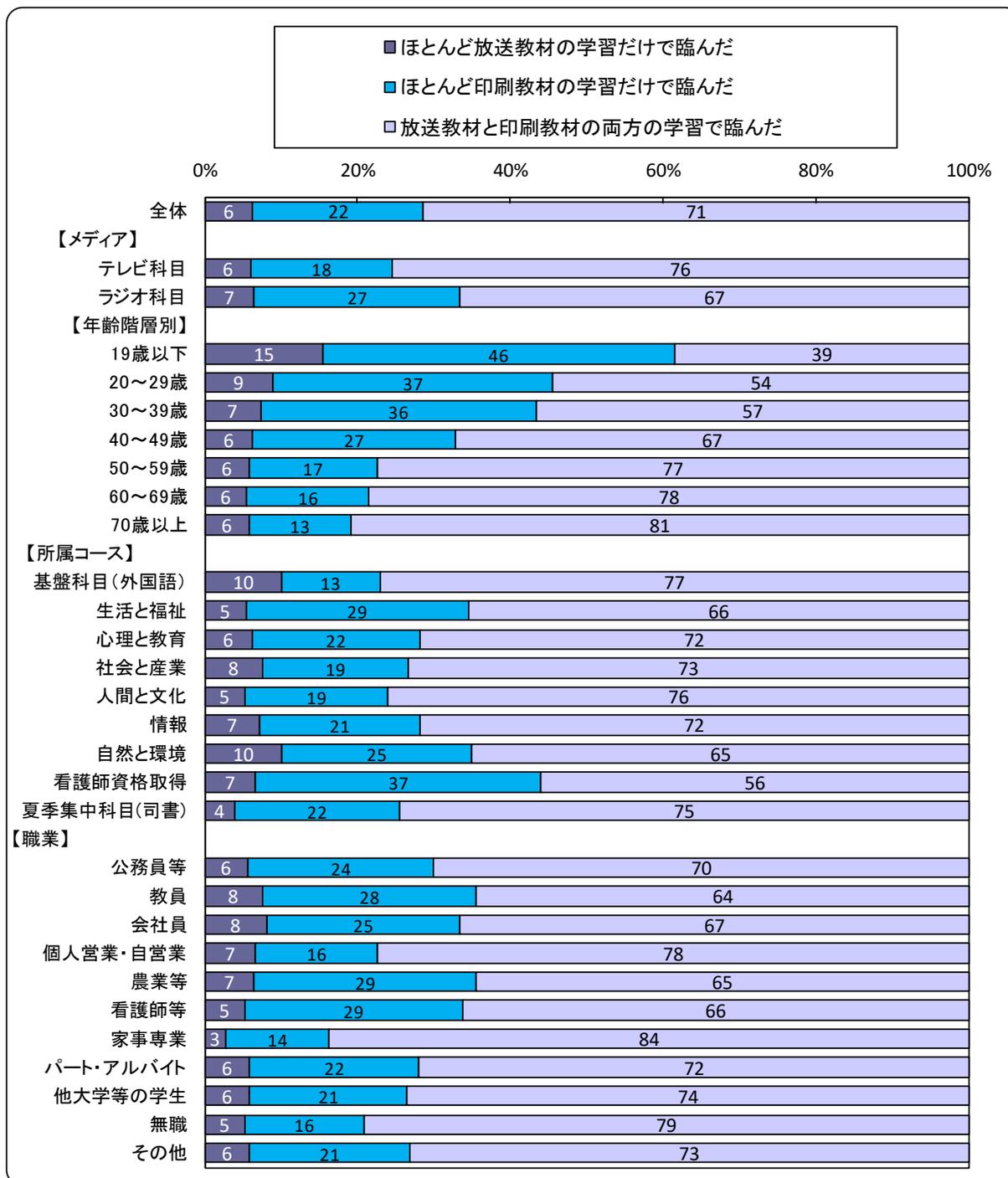
年齢階層別では、19 歳以下は唯一『ほとんど印刷教材の学習だけ』が『放送教材と印刷教材の両方』を上回り、特徴的であった。

それ以上の年代では、『放送教材と印刷教材の両方の学習』が年代の上昇につれ、増加傾向で、70 歳以上で 81%に達していた。

所属コース別では「生活と福祉」と「看護師資格取得」は、『印刷教材の学習だけ』が他の所属コースと比べ特に高く、その順に 29%、37%であった。

職業別では、概ね全体と同じ傾向であったが、「家事専業」だけは『放送教材と印刷教材の両方の学習』が 84%と、突出していた。

図 2 - 1 5 【学部】 単位認定のための学習方法



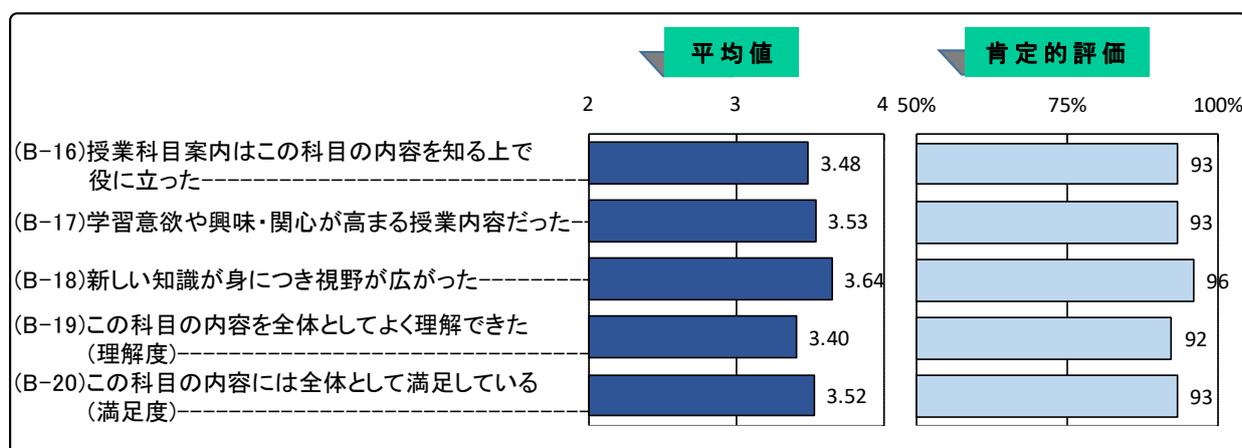
Ⅱ－1－3. 学部の授業評価

(1) 全体評価

次に学部の授業評価について、評価項目ごとに見ていく。

全体評価の各項目（図2－16）については、(B-18)「新しい知識が身につく視野が広がった」が96%と、最も高く、それ以外の項目も92～93%で、高く評価されていた。

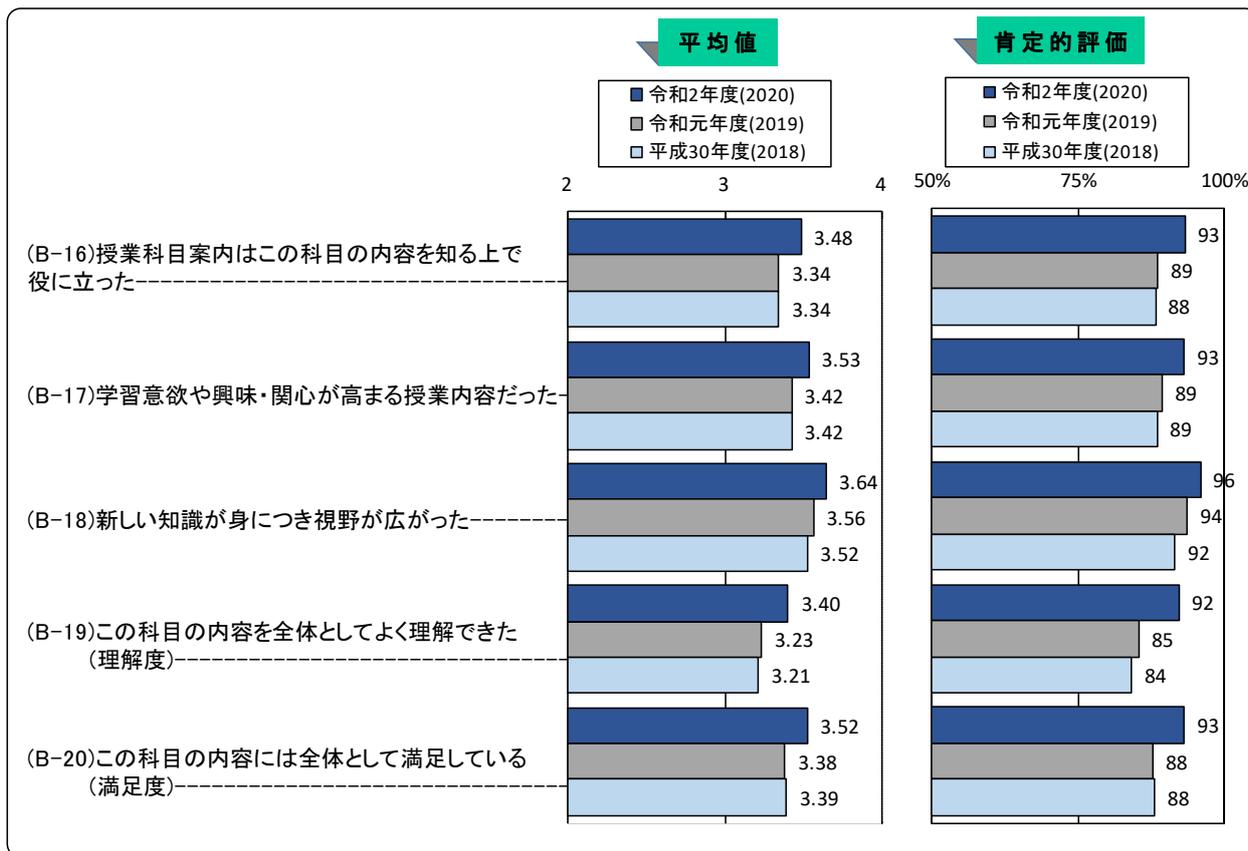
図2－16 【学部】回答者全体の全体評価



全体評価を時系列で見ると（図2-17）、本年度は下記全ての項目で、昨年度と一昨年度から評価が上昇しており、(B-18)「新しい知識が身につく視野が広がった」は最も高く96%に達していた。

上昇の幅については、(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」が昨年度より7ポイントアップで最も大きかった。

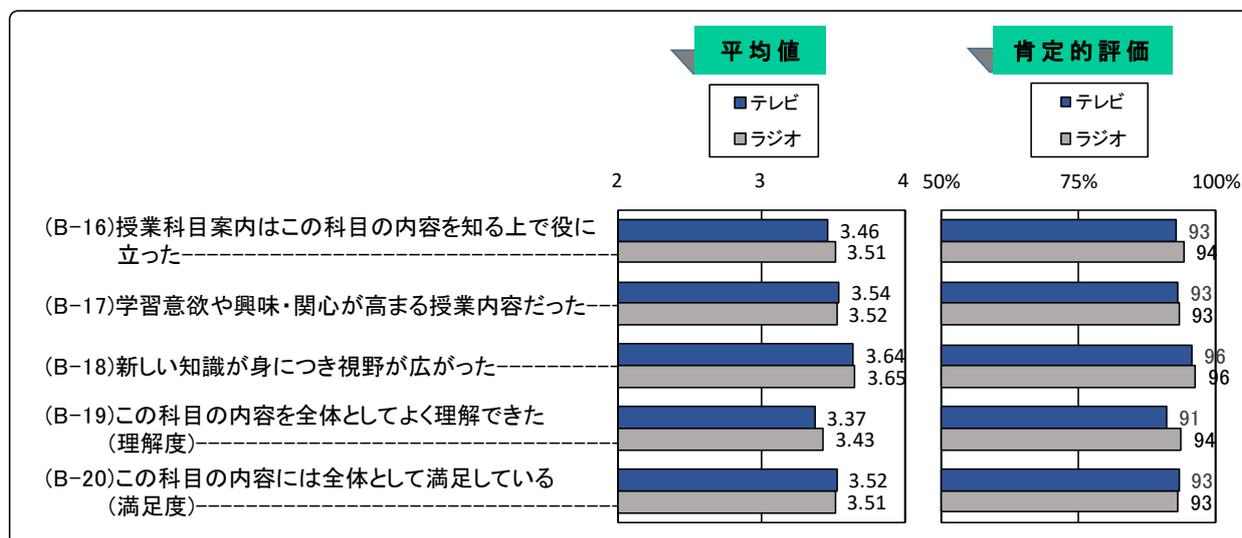
図2-17 【学部】 回答者全体の全体評価（時系列）



メディア別に全体評価を見ると（図2-18）、(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」はラジオ科目の評価の方が高かった。

それ以外の項目では、両メディアの評価は同じ水準であった。

図2-18 【学部】メディア別の全体評価



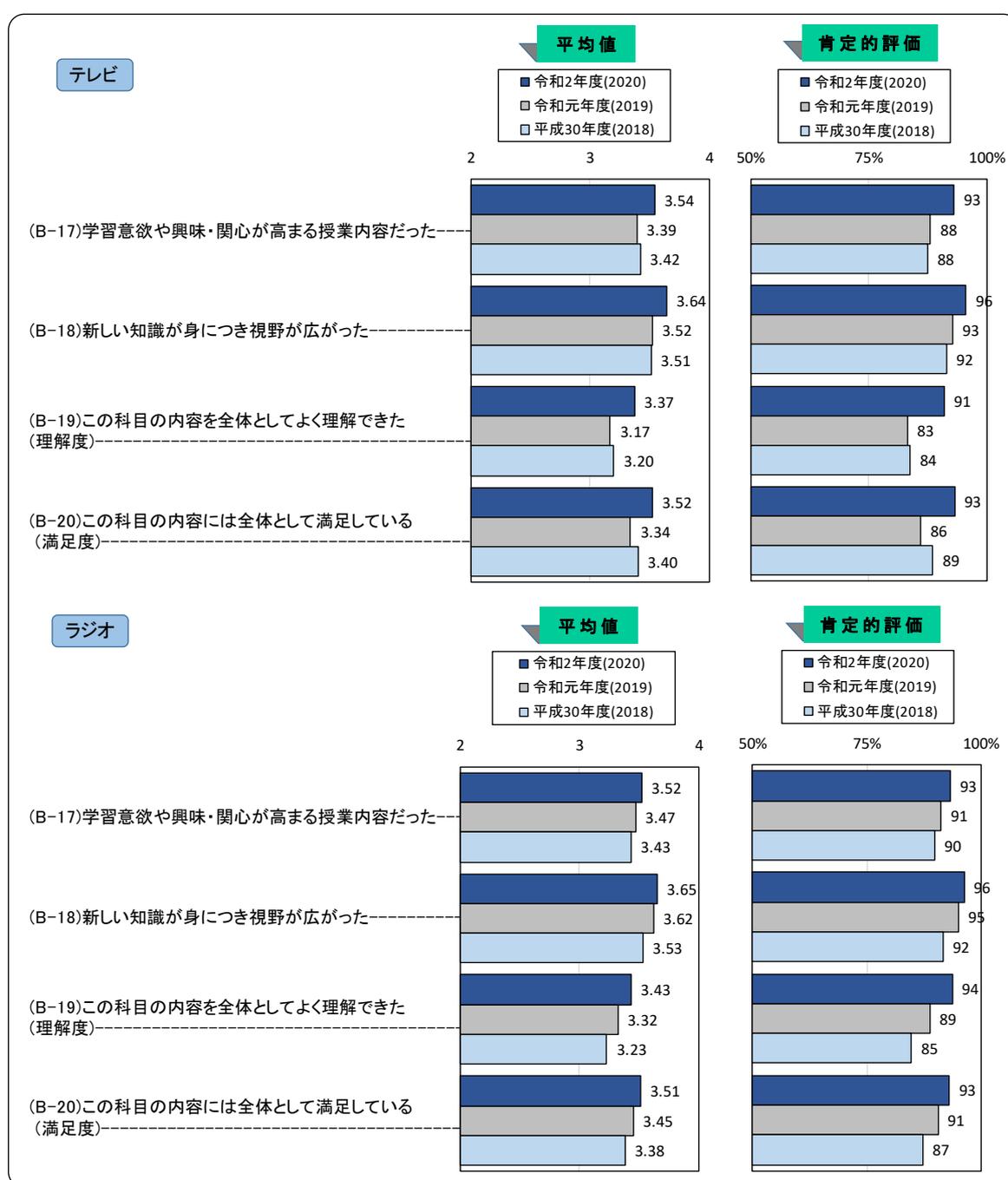
メディア別の全体評価を時系列で見ると（図2-19）、テレビ科目の評価は、下記全ての項目において、過去2年度から上昇傾向となり、(B-18)「新しい知識が身につく視野が広がった」が96%と、最も高かった。

テレビ科目の昨年度からの上昇幅は、(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」が最も大きく、8ポイントであった。

ラジオ科目の評価も概ね、下記全ての項目が、過去2年度から上昇しており、テレビ科目同様、(B-18)「新しい知識が身につく視野が広がった」が96%と、最も高かった。

昨年度からの上昇幅については、(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」が最も大きく、5ポイントであった。

図2-19 【学部】メディア別の全体評価



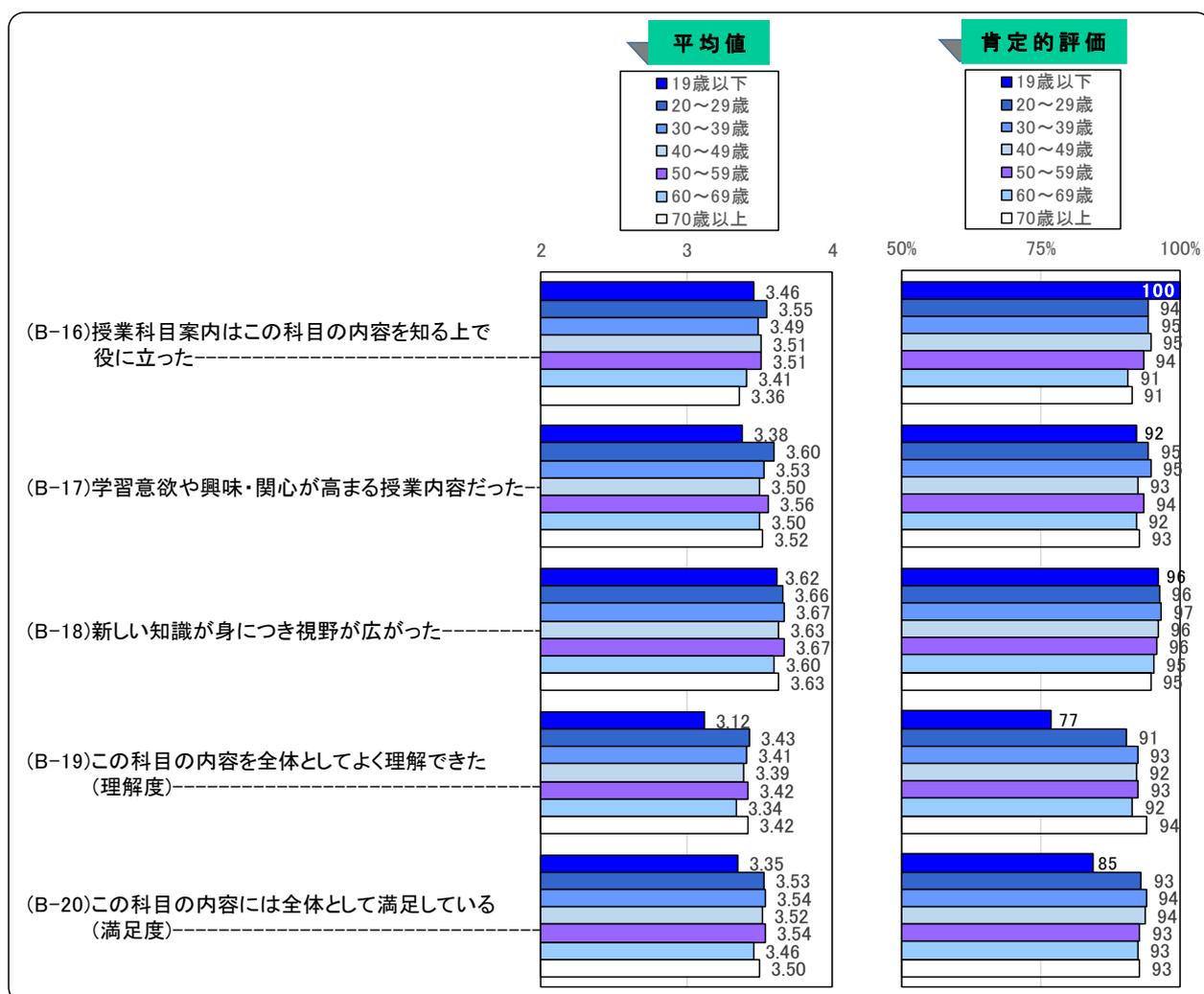
年齢階層別に全体評価（図 2 - 2 0）を見ると、(B-16)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」では 19 歳以下が最も高く、26 人全員が肯定的な評価をしていた。

反対に他の年代と比べ評価が低かったのは、60 歳代と 70 歳以上で、共に 91%であった。

(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」については、19 歳以下の評価が最も低く 77%と、それ以上の年代と比べ 14 ポイント以上、下回っていた。

(B-20)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」については、前述の傾向と同じで、19 歳以下の評価が最も低く 85%で、それ以上の年代と比べ 8 ポイント以上、下回っていた。

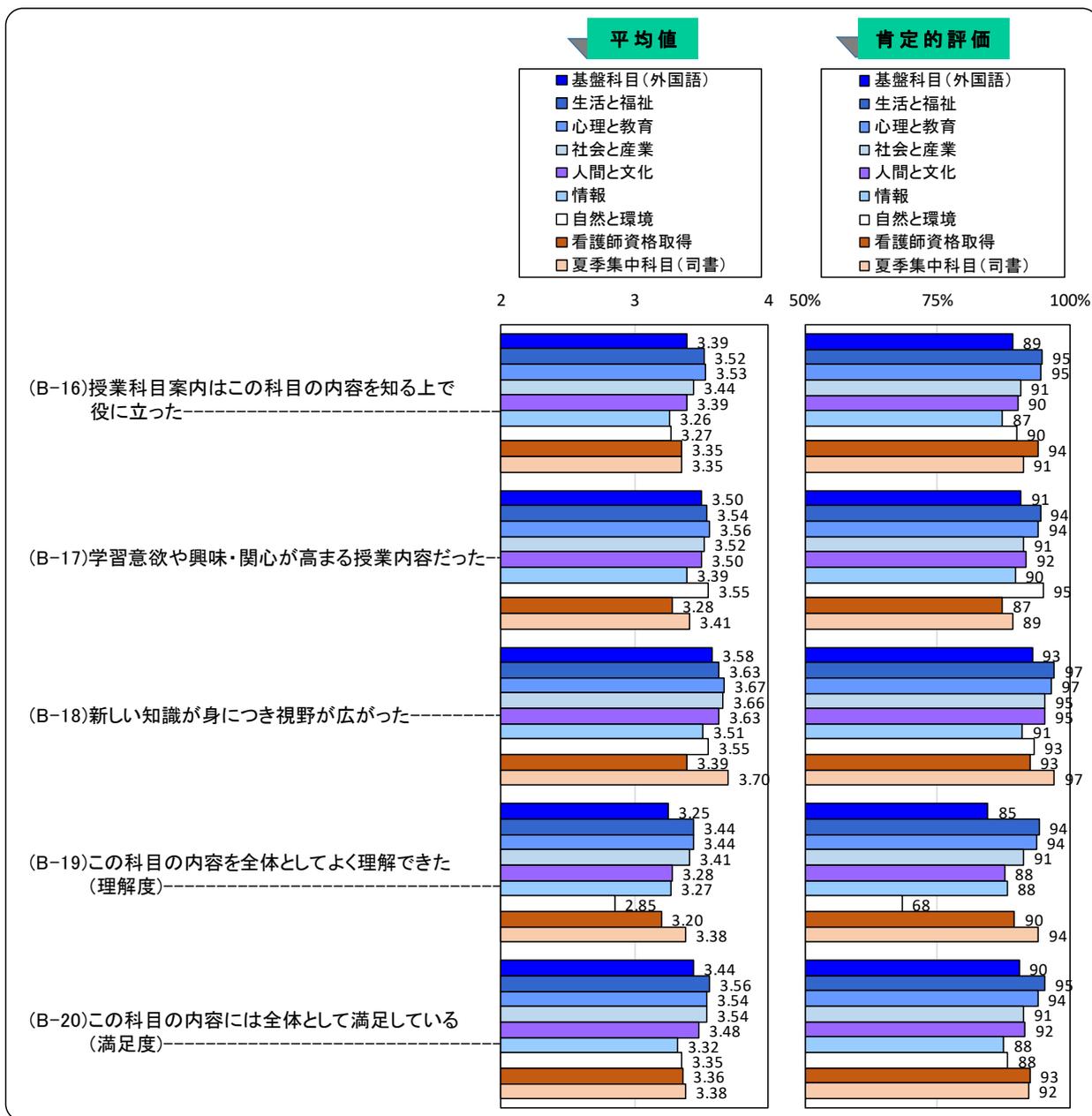
図 2 - 2 0 【学部】年齢階層別の全体評価



所属コース別の全体評価では（図 2 - 2 1）、(B-18)「新しい知識が身につく視野が広がった」に対する評価は、どの所属コースも 90%を上回り、特に「生活と福祉」「心理と教育」「社会と産業」「夏季集中科目（司書）」は、それぞれ 97%と、高かった。

その他の項目では、各所属コースは、概ねいずれも 90%前後の評価であったが、(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」については、「自然と環境」の理解度だけが 68%と、極端に低かった。

図 2 - 2 1 【学部】所属コース別の全体評価



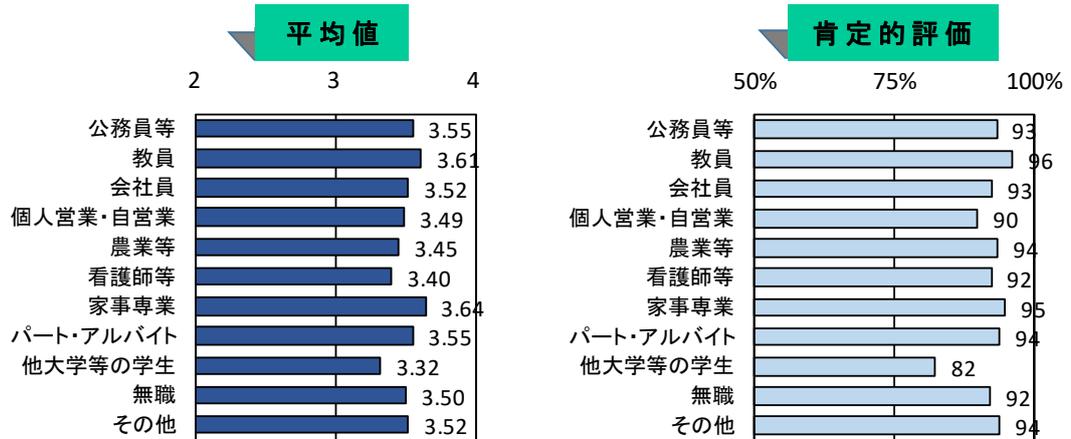
職業別の全体評価（次頁図 2-22）では、次頁全ての項目で評価が高かったのは「教員」で、3項目とも 96～97%であった。

項目別で反対に評価が低かったのは、(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」では「他大学等の学生」(82%)で、他の職業よりも 8 ポイント以上下回っていた。

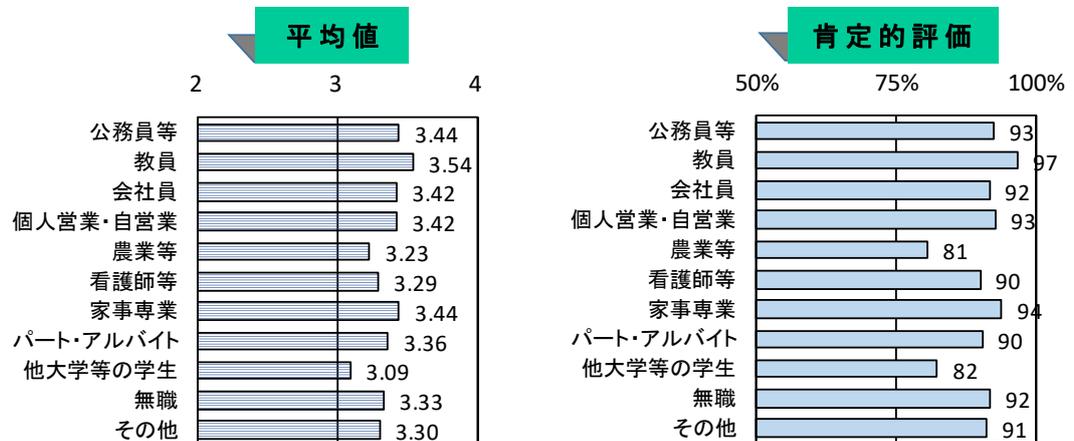
(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」と(B-20)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」については、「農業等」と「他大学等の学生」がいずれも 90%を下回っていた。

図 2 - 2 2 【学部】職業別の全体評価

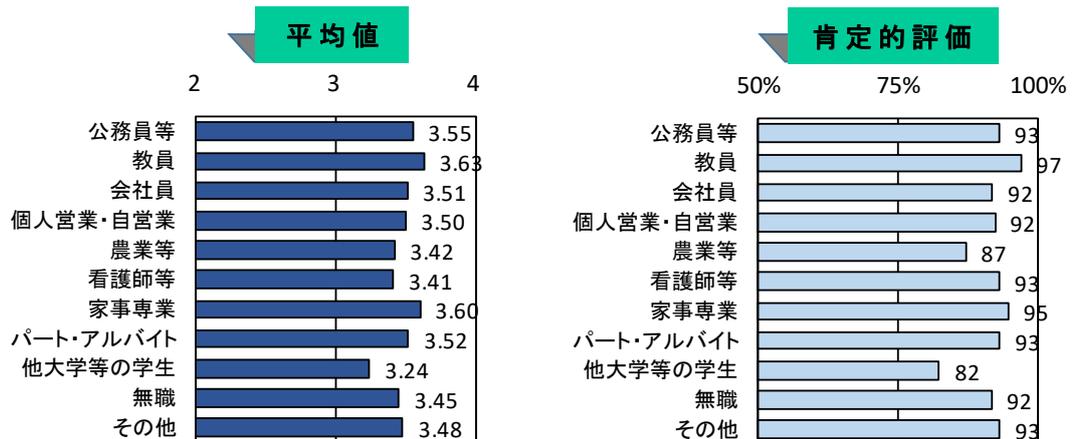
(B-17)学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった



(B-19)この科目の内容を全体としてよく理解できた



(B-20)この科目の内容には全体として満足している(満足度)

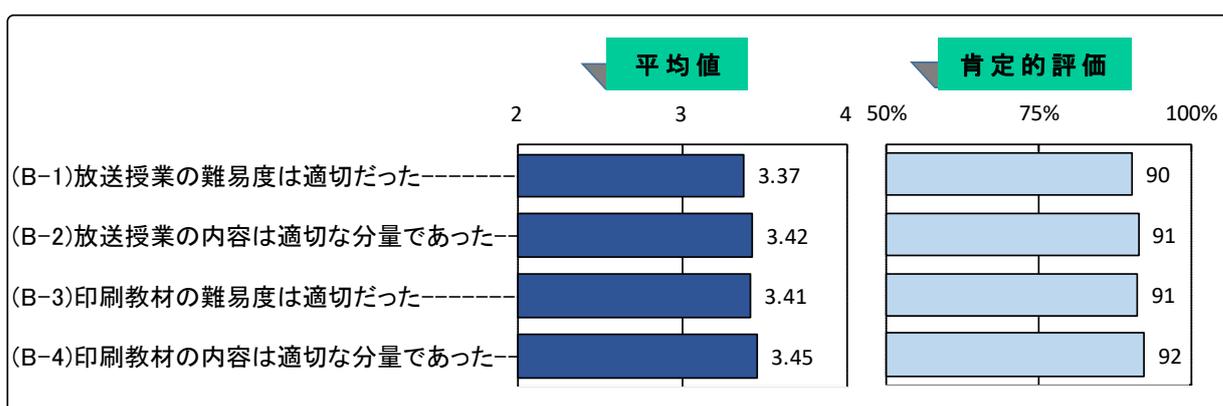


(2) 授業の難易度・分量

次に授業の難易度・分量（図2-23）について、評価項目ごとに見ていくことにす
る。

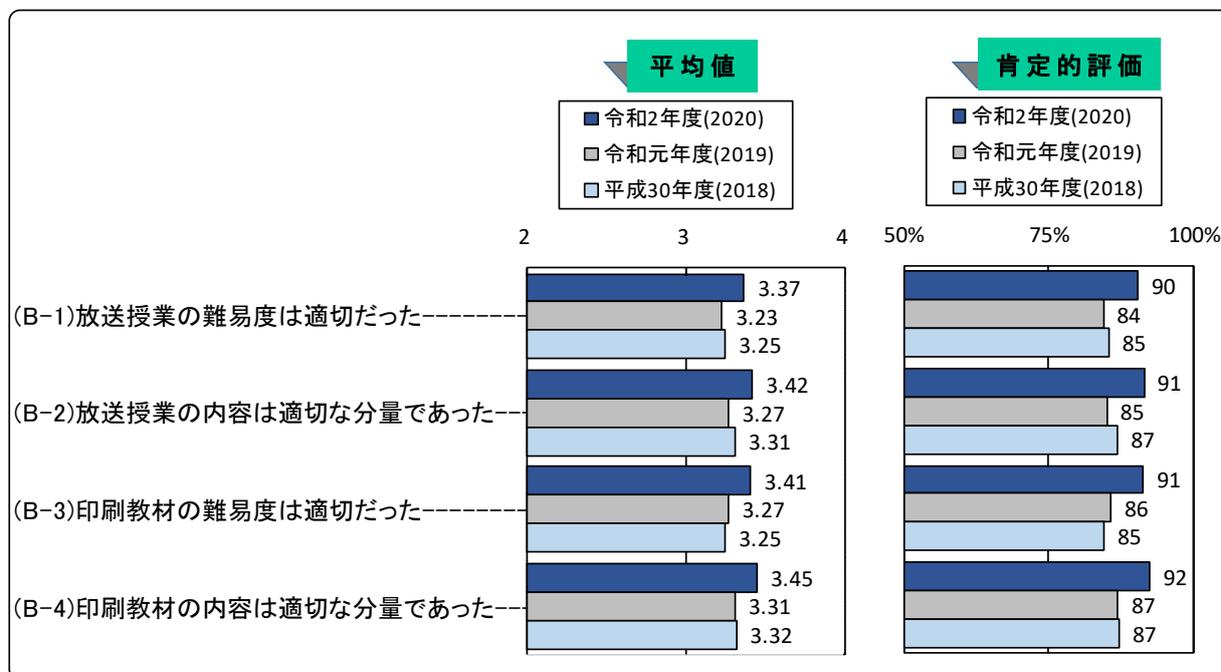
全項目で肯定的評価は、91%前後に達し、下記の項目間に大きな差は見られなかった。

図2-23 【学部】 回答者全体の授業難易度・分量の評価



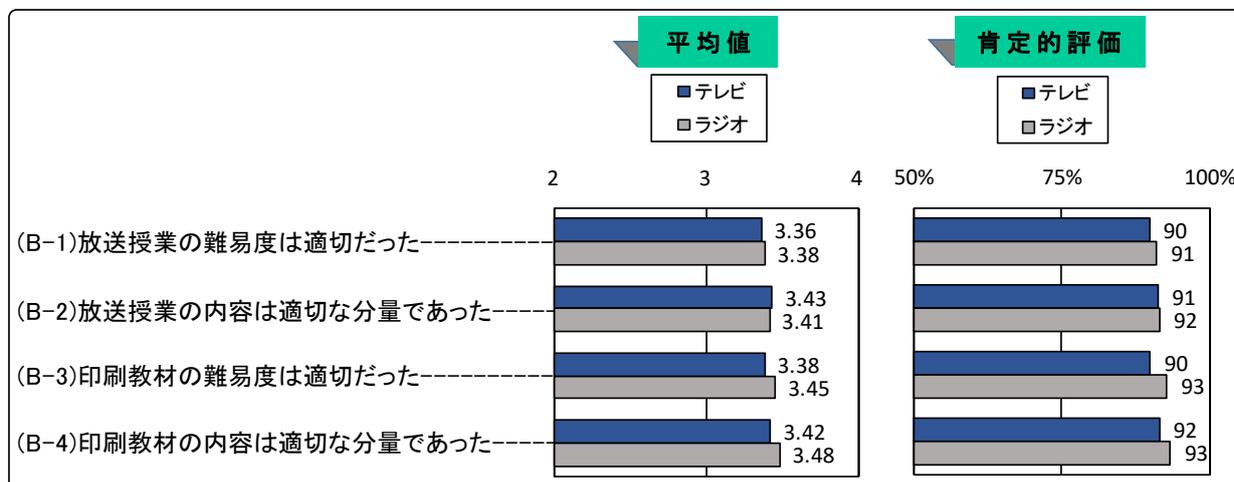
開設年度で比較すると（図2-24）、本年度は、下記4項目全てで、過去2年度から大きく評価を上げ、上昇の幅は4~6ポイントとなり、全ての項目は9割に達していた。

図2-24 【学部】 回答者全体の授業難易度・分量の評価（開設年度比較）



メディア別に授業の難易度・分量を見ると（図2-25）、両メディアは、全ての項目で90%を越え、メディア間にほとんど差はないが、(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」だけは、ラジオ科目が93%で、テレビ科目を3ポイント上回っていた。

図2-25 【学部】メディア別の授業難易度・分量の評価

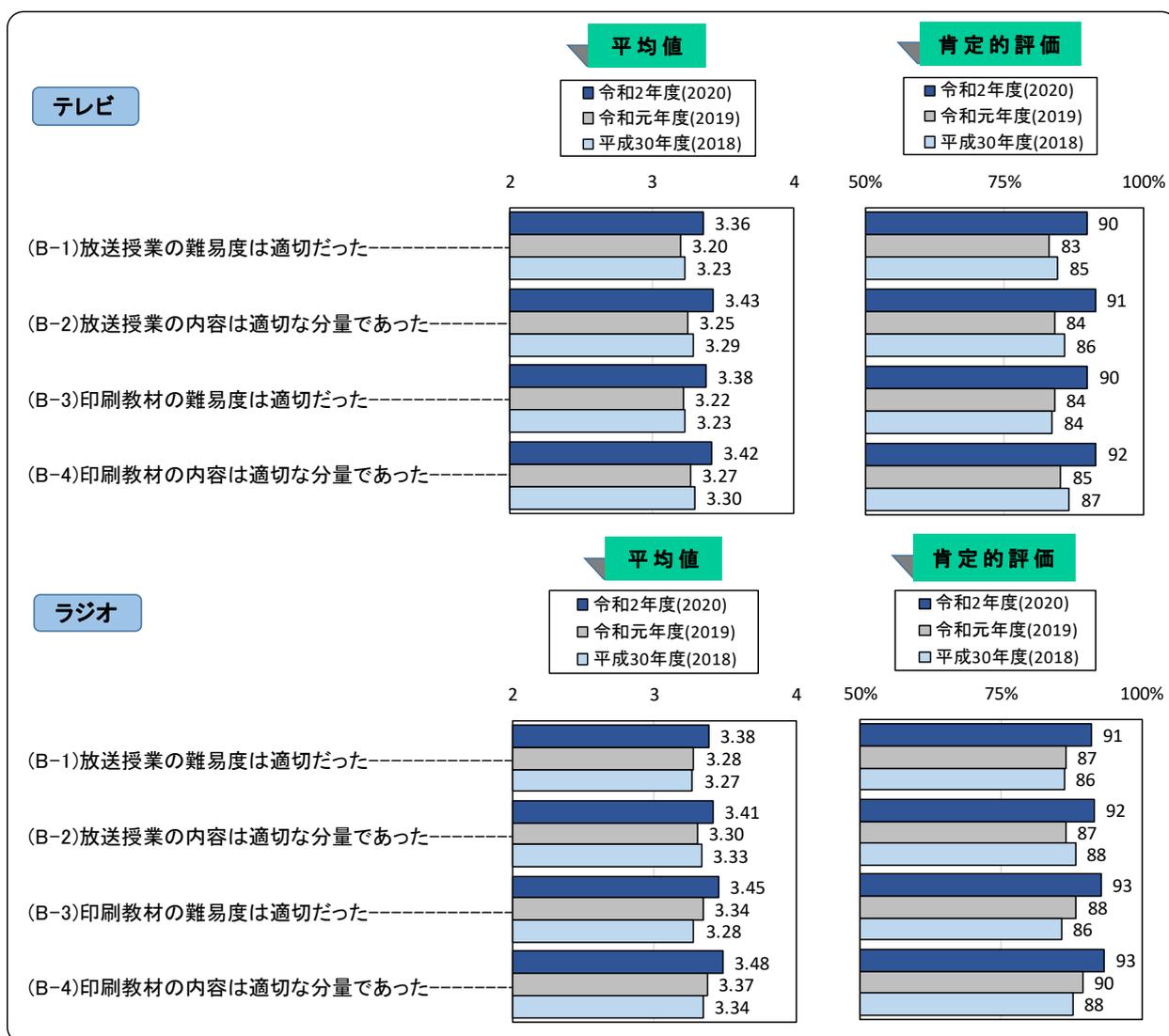


メディア別の授業の難易度・分量を開設年度で比較すると（図2-26）、テレビ科目の肯定的評価は、全ての項目で昨年度を6～7ポイント上回っており、大きな上昇が見られた。

ラジオ科目もテレビ科目同様、昨年度から上昇傾向が見られ、特に(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」と(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」は5ポイント増であった。

昨年度からの上昇幅は、ラジオ科目よりテレビ科目の方が大きかった。

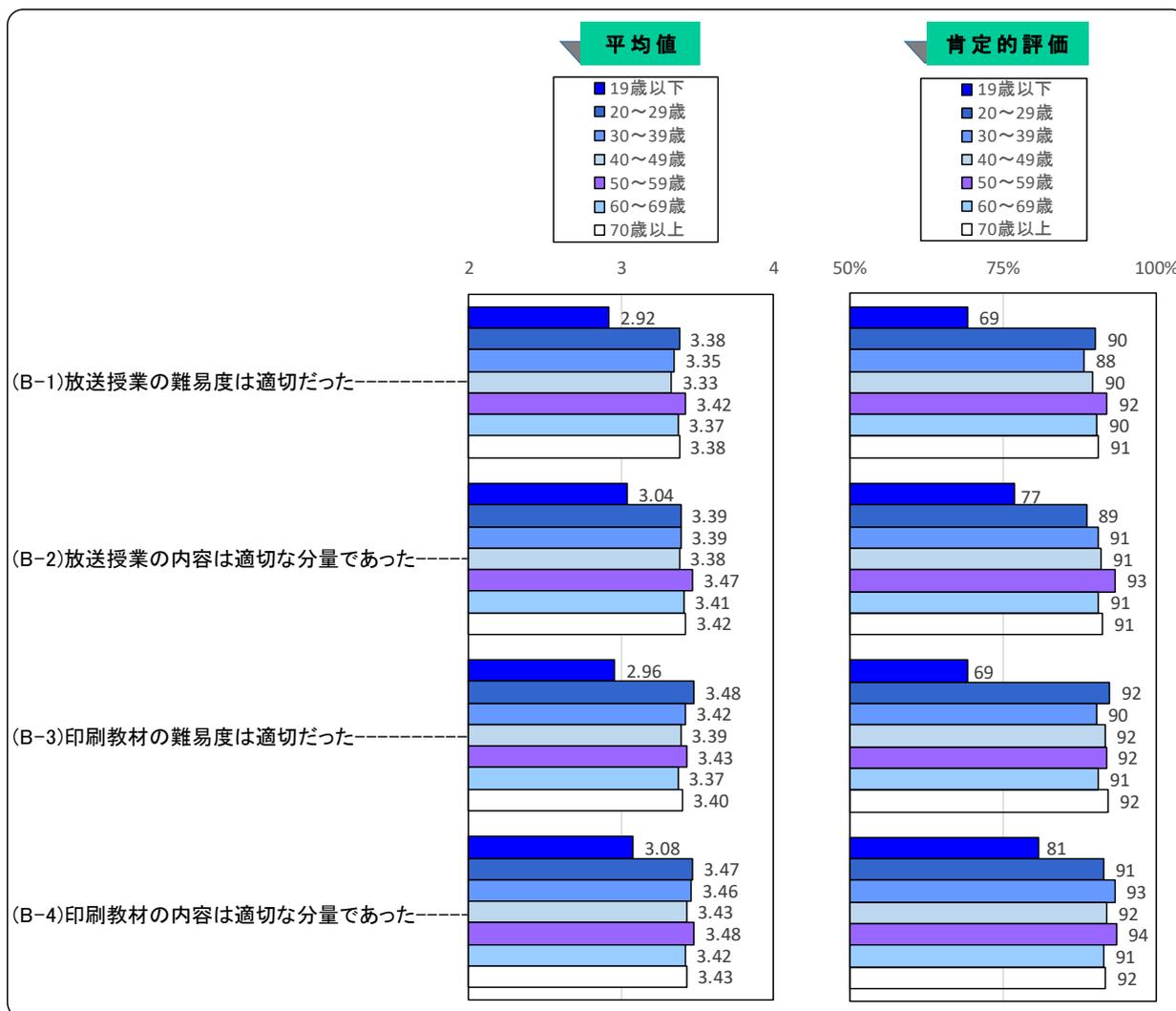
図2-26 【学部】メディア別の授業難易度・分量の評価（開設年度比較）



年齢階層別に授業の難易度・分量を見ると（図2-27）、特徴的であったのは、下記全ての項目において19歳以下の評価が、他の年代に比べ極端に低く、その幅は10～23ポイントと大きかった。

20歳代以上のそれ以外の年代では、どの項目も90%前後と一様であった。

図2-27【学部】年齢階層別の授業難易度・分量の評価

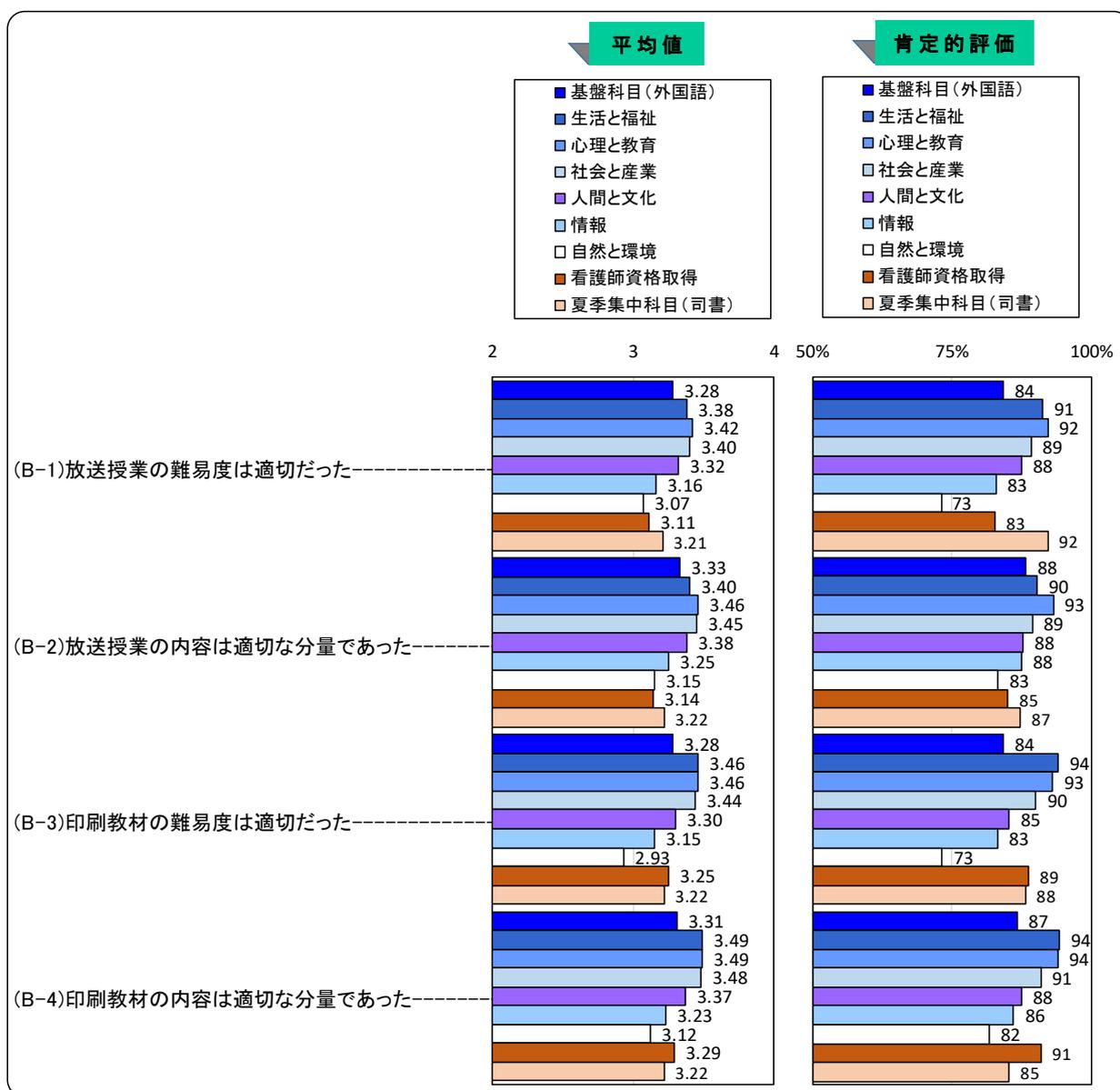


所属コース別に授業の難易度・分量を見ると（図2-28）、下記全ての項目で特徴的であったのは、「生活と福祉」と「心理と教育」が上位1、2位を占め、その評価は90～94%と、高かった。

また、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」では「夏季集中科目（司書）」の評価も高く、92%であった。

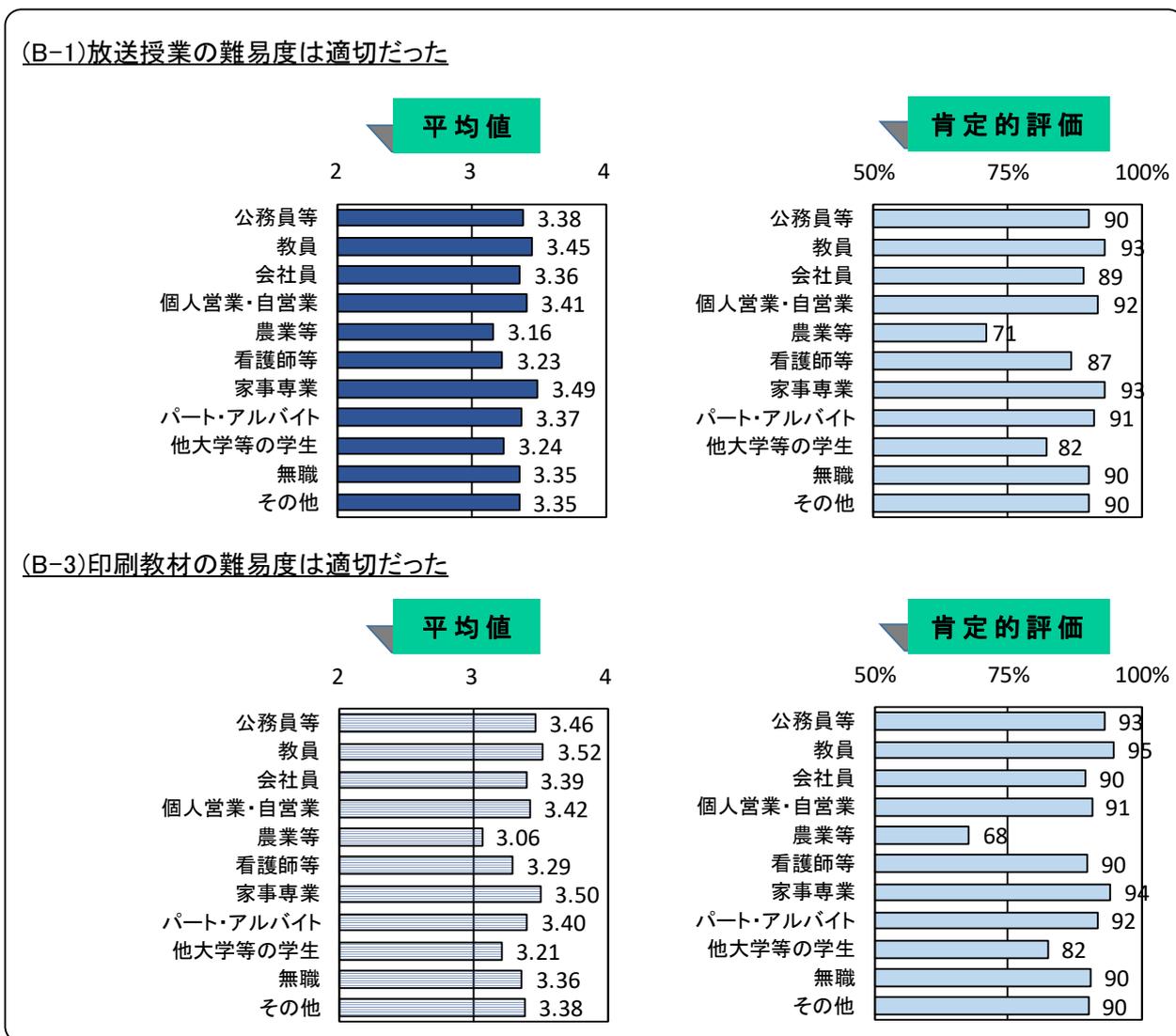
反対に全ての項目で最も評価が低かったのは「自然と環境」で、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」と(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」では、他の所属コースから10ポイント以上の開きがあり、それぞれの難易度に対する評価は低かった。

図2-28 【学部】所属コース別の授業難易度・分量の評価



職業別に授業の難易度を見ると（図2-29）、下記2項目で目立つ点は、「農業等」の評価が極端に低く、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」で71%、(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」で68%と、他の職業と比べ順に、-11ポイント、-14ポイントと差が大きく、それぞれの難易度に対する評価は低かった。

図2-29【学部】職業別の授業難易度の評価



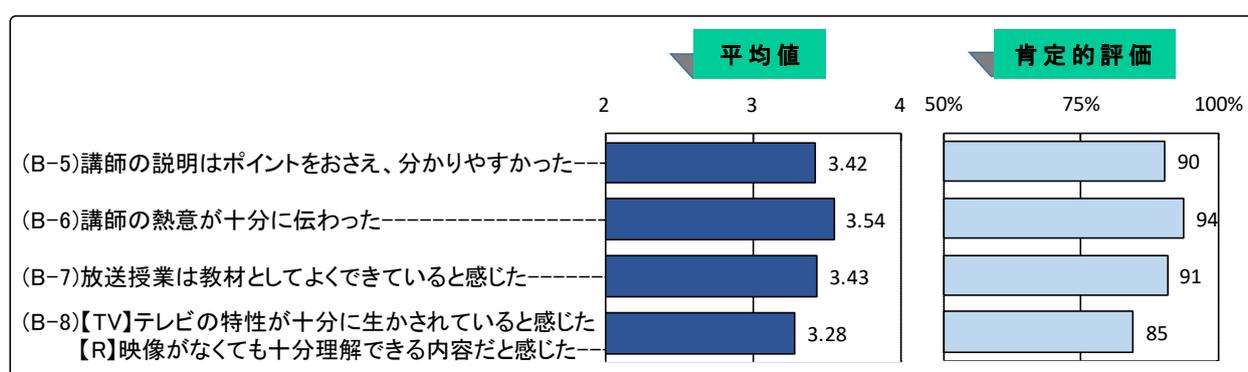
(3) 放送授業

ここからは放送授業について、評価項目ごとに見ていくことにする。

放送授業に関する4つの評価項目（図2-30）で最も評価が高かったのは、(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」で94%に達していた。

最も低かったのは、(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」で85%と、他の項目に比べ非常に低かった。

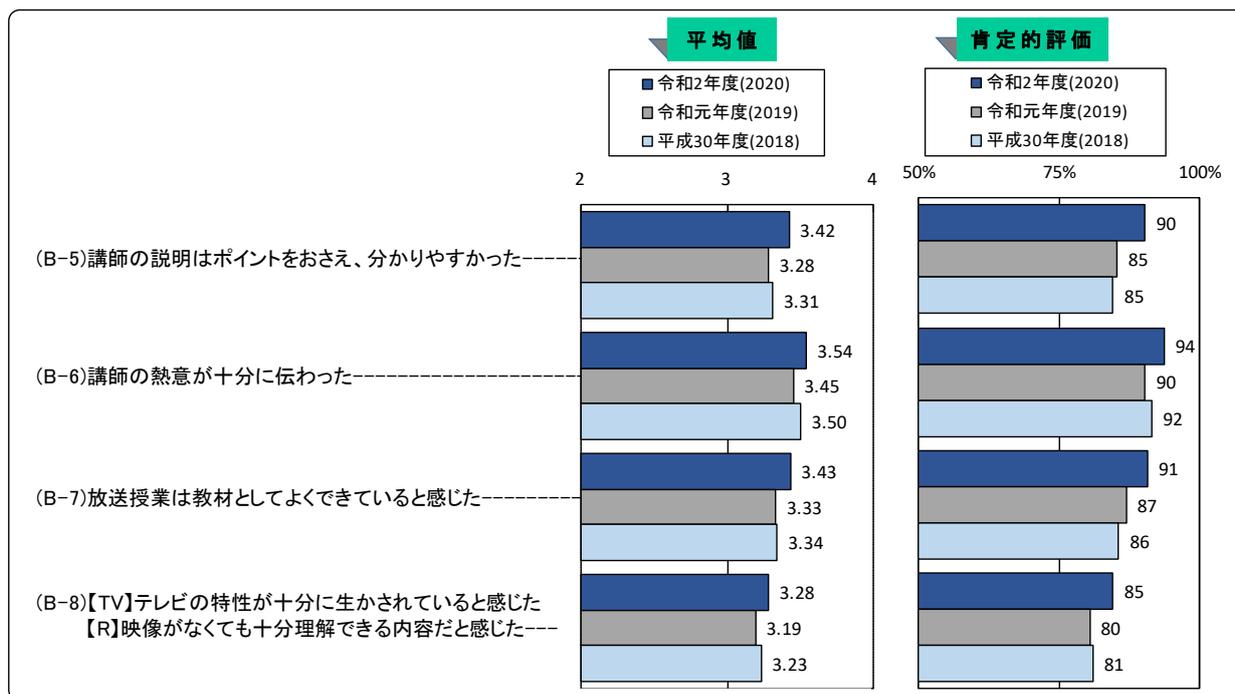
図2-30 【学部】回答者全体の放送授業の評価



放送授業の評価を時系列で見ると（図2-31）本年度は、4項目全てで過去2年度から大幅に評価を上げていた。

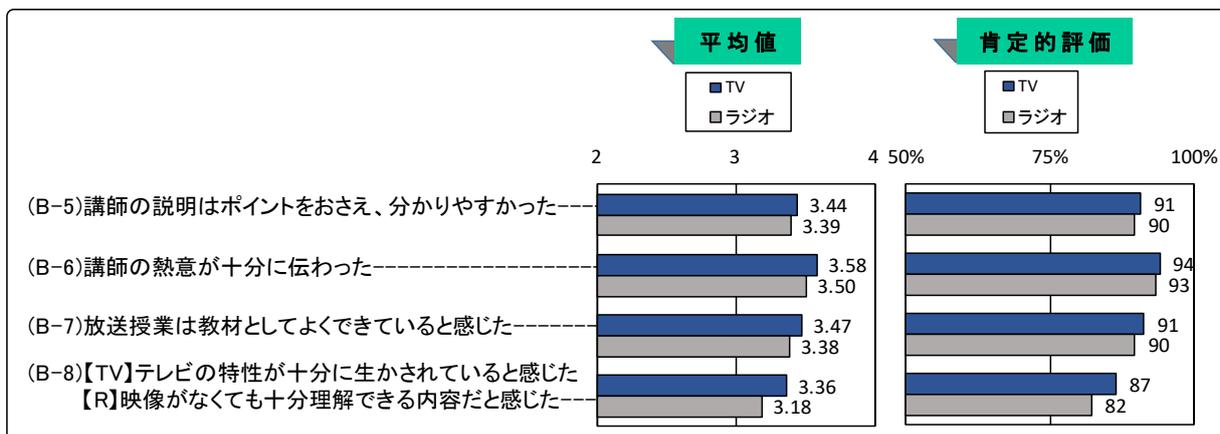
特に(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」と(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に活かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」の上昇幅は大きく、昨年度と比べ5ポイントの増加であった。

図2-31 【学部】回答者全体の放送授業の評価（時系列）



メディア別に放送授業の肯定的評価を見ると（図2-32）、「(B-8)【TV】テレビの特性が十分に活かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」のメディア間に差があり、テレビ科目(87%)がラジオ科目(82%)を上回っていた。

図2-32 【学部】メディア別の放送授業の評価

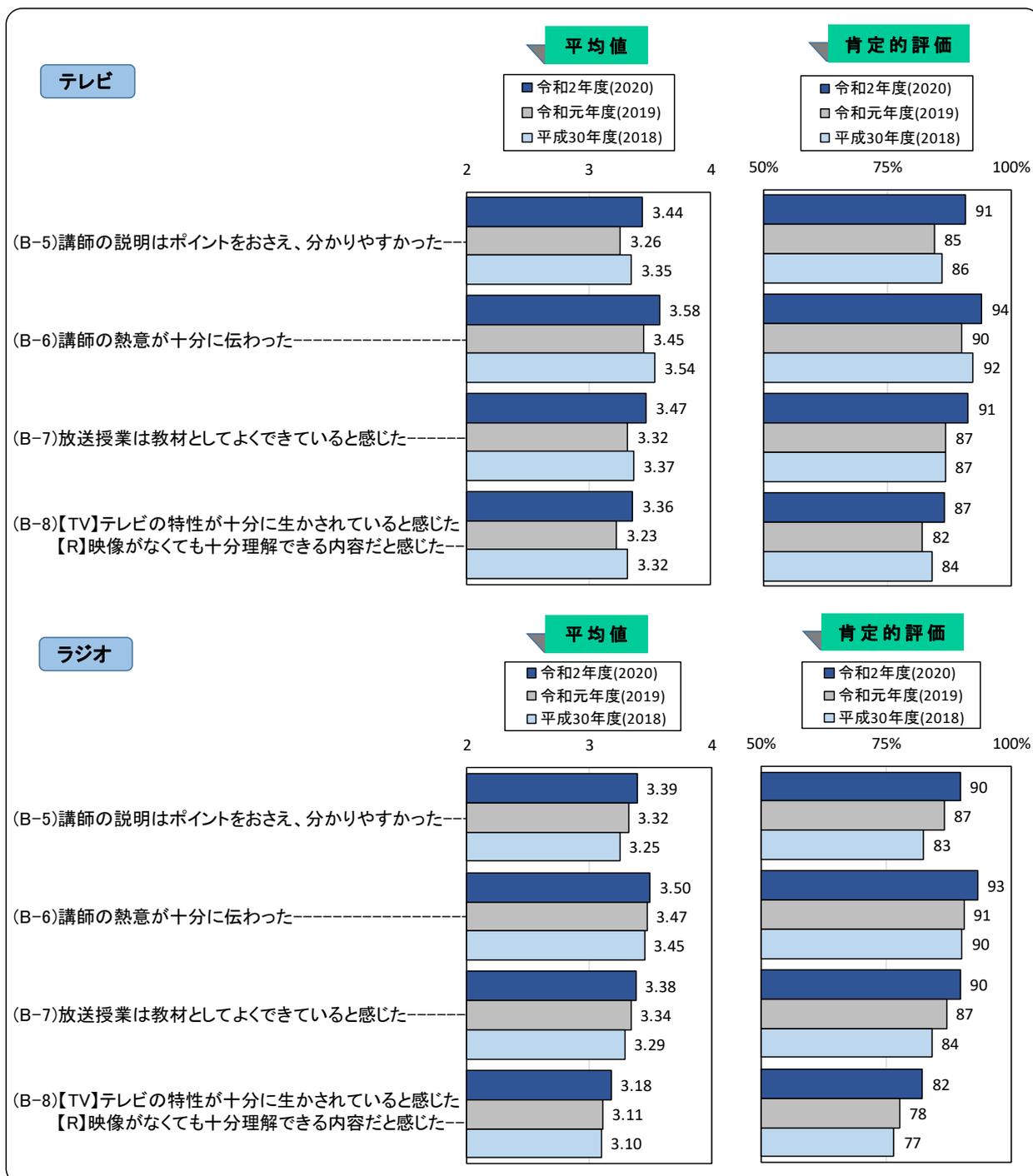


また、メディア別に放送授業の評価を時系列で見ると(図2-33)、テレビ科目では、4項目全てで過去2年度から有意な差が見られ、評価を上げていた。

昨年度との比較では、4~6ポイント増で、特に、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」の上昇幅は大きかった。

ラジオ科目でも、過去2年度から評価が上昇しており、(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」の評価が最も高く93%であった。

図2-33 【学部】メディア別の放送授業の評価(時系列)

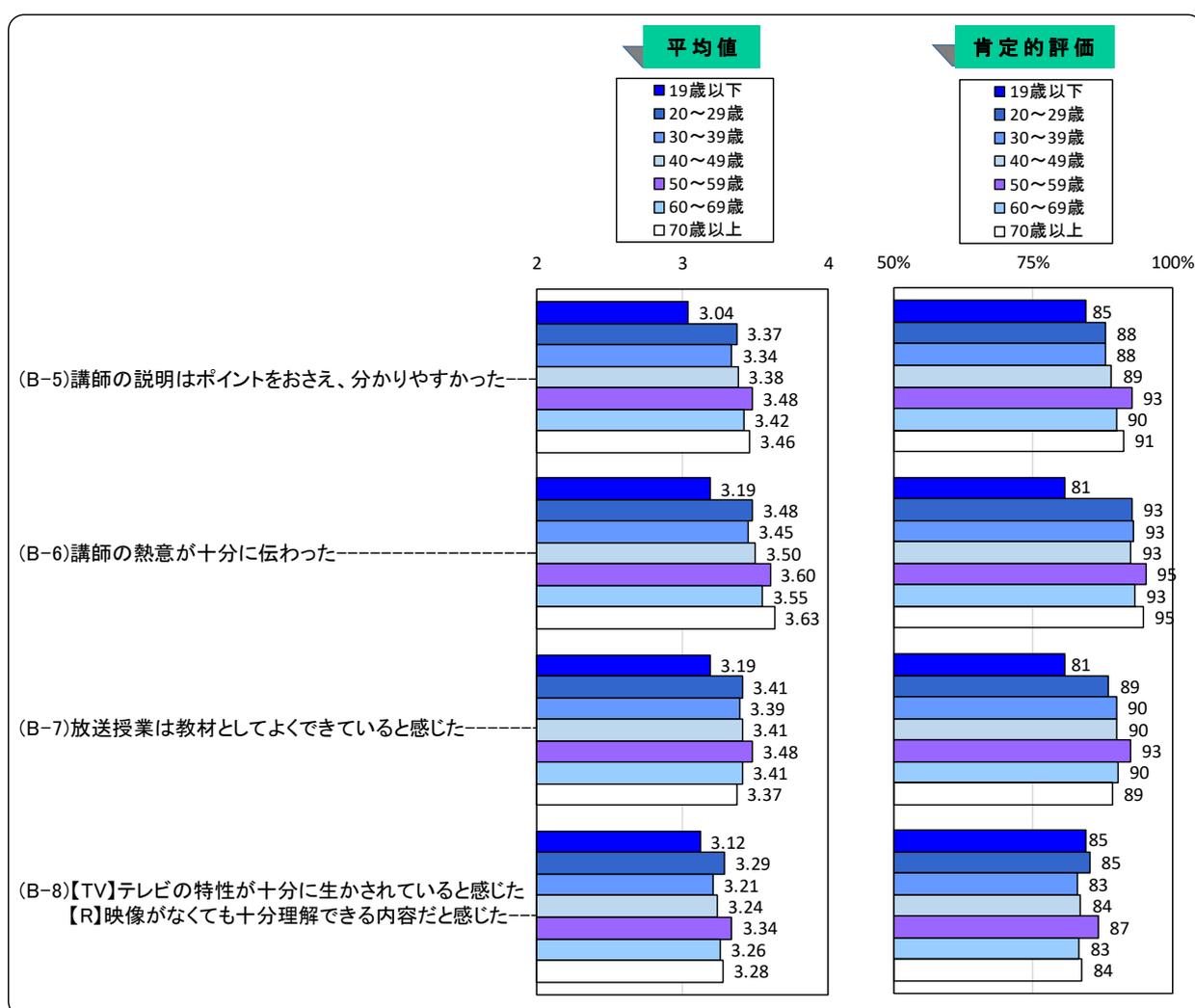


年齢階層別の放送授業の評価で（図 2 - 3 4）特徴的であったのは、下記の項目全てで 50 歳代の評価が最も高く、(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」では 95%に達していた。

他に 70 歳以上も (B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」と (B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」で順に 91%と 95%と、高い評価であった。

反対に B-5～B-7 の 3 項目で評価が低かったのは 19 歳以下で、(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」と (B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は、他の年代から 10 ポイント前後下回り、その評価は共に 81%に過ぎなかった。

図 2 - 3 4 【学部】年齢階層別の放送授業の評価



所属コース別に放送授業の評価を見ると（図2-35）、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」と(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に活かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」では、「基盤科目」と「心理と教育」の評価が高かった。

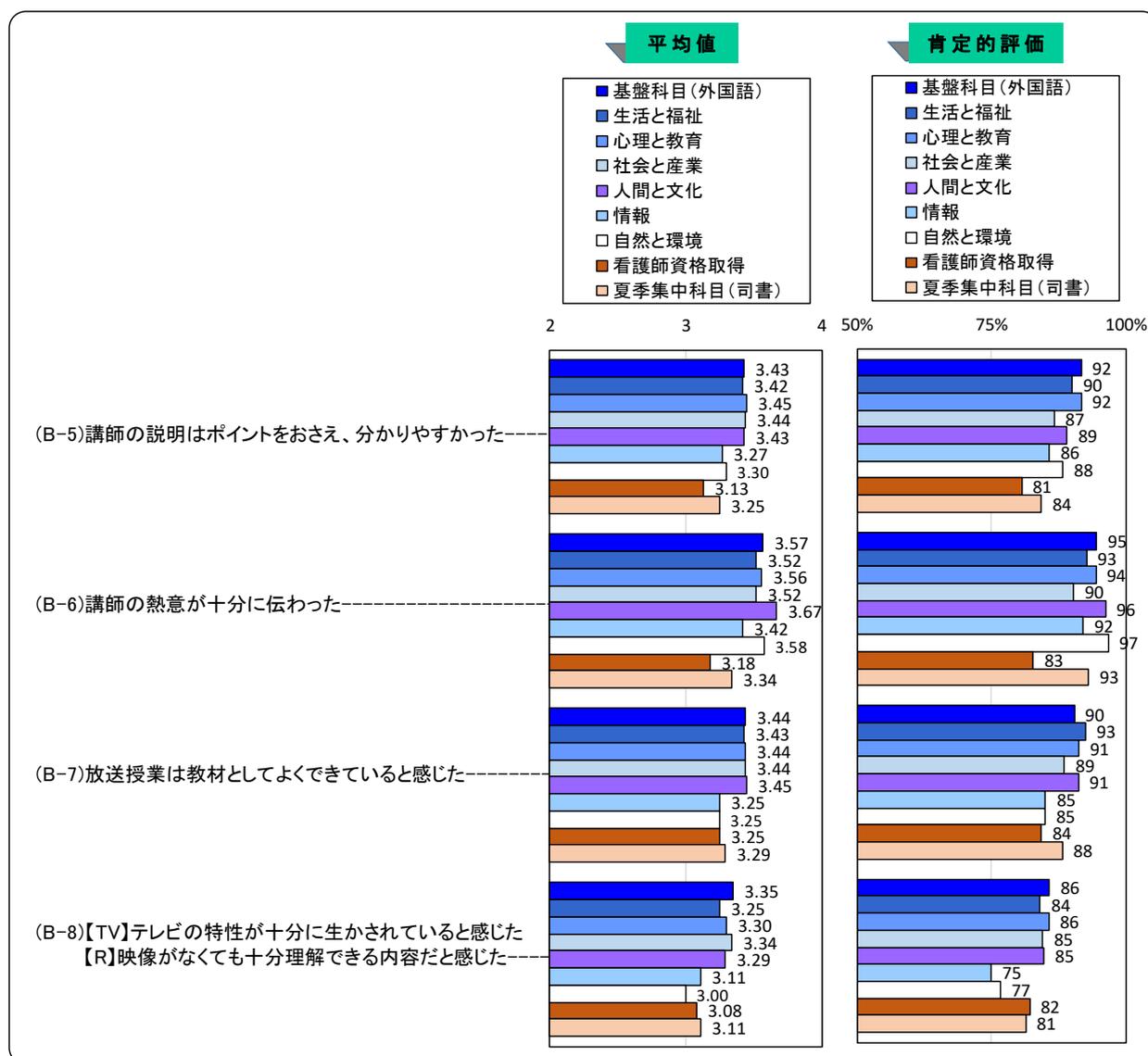
(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」は「自然と環境」が最も高く 97%に達していた。

(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」では「生活と福祉」の評価が最も高く、93%であった。

反対に評価が低かったのは、B-5～B-7の3項目では、「看護師資格取得」で、81～84%に過ぎなかった。

同様に B-8 では、「情報」と「自然と環境」の評価が7割台で、全4項目の中で最も低い評価であった。

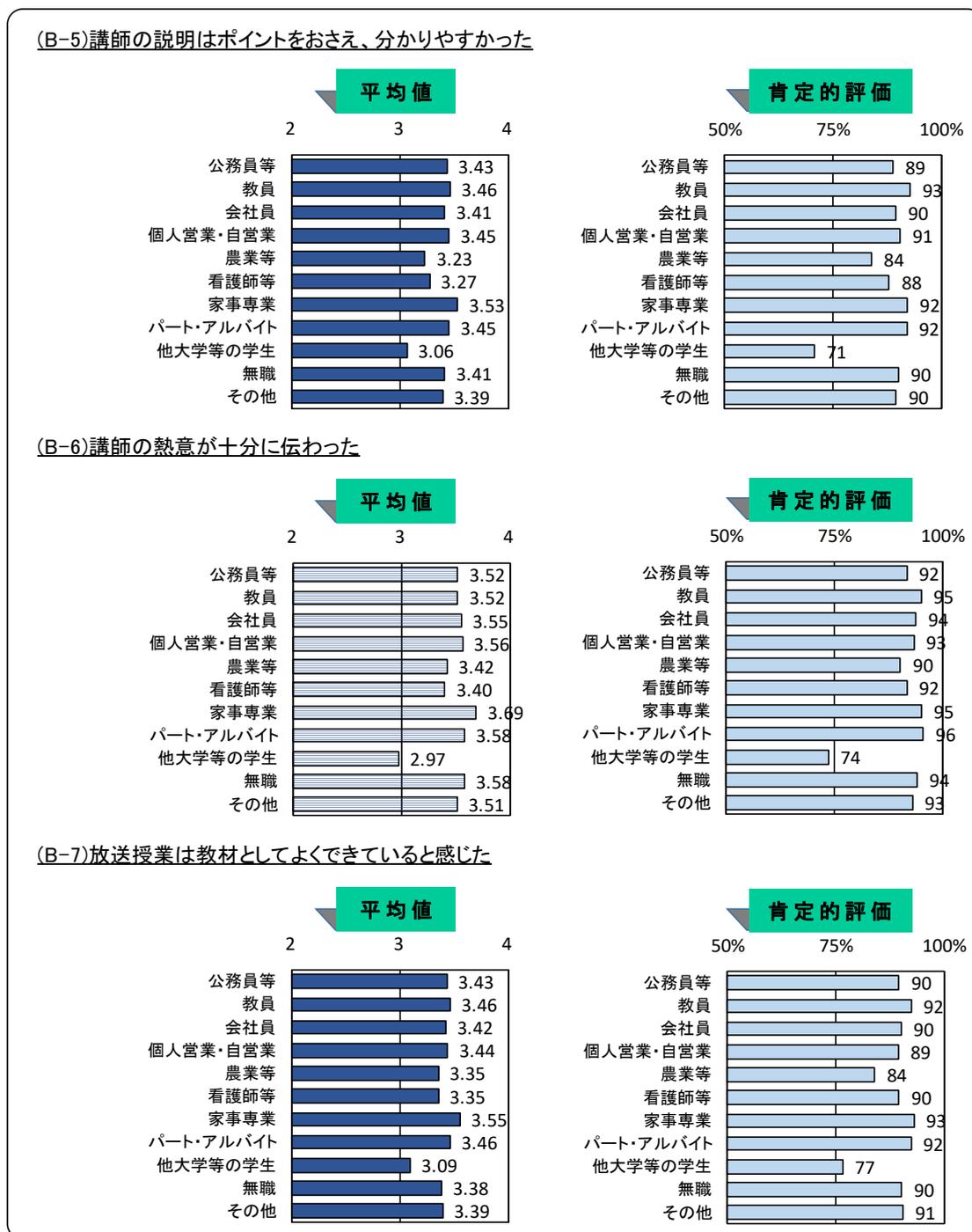
図2-35 【学部】所属コース別の放送授業の評価



職業別の放送授業の評価（図2-36）で特徴的な傾向が見られ、全ての項目で上位1、2位占めた職業は、「教員」「家事専業」「パート・アルバイト」で、特に(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」は95～96%と、高い評価であった。

反対に「他大学等の学生」の評価は全ての項目で最も低く、特に(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」で71%と、それ以外の職業から13ポイント以上、評価が低かった。

図2-36 【学部】職業別の放送授業の評価



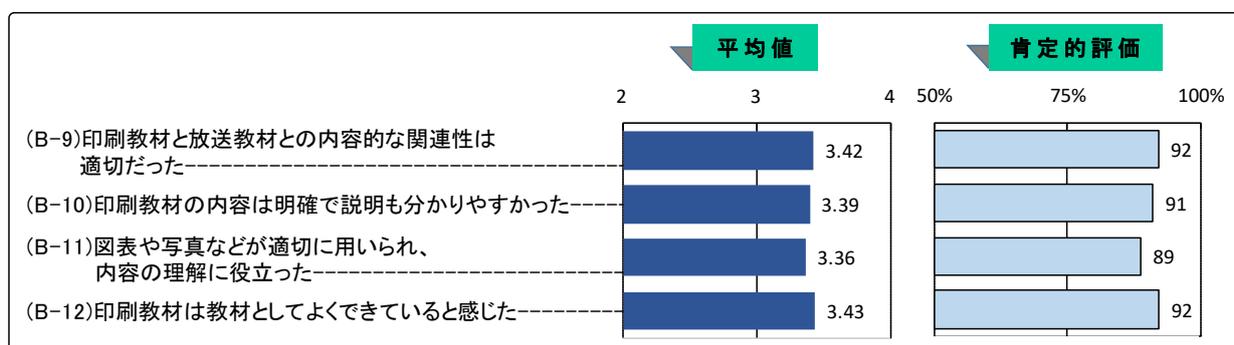
(4) 印刷教材

ここからは印刷教材について、評価項目ごとに見ていくことにする。

印刷教材の評価項目では（図2-37）、(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」と(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」及び(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」はいずれも90%を超え、高い評価であった。

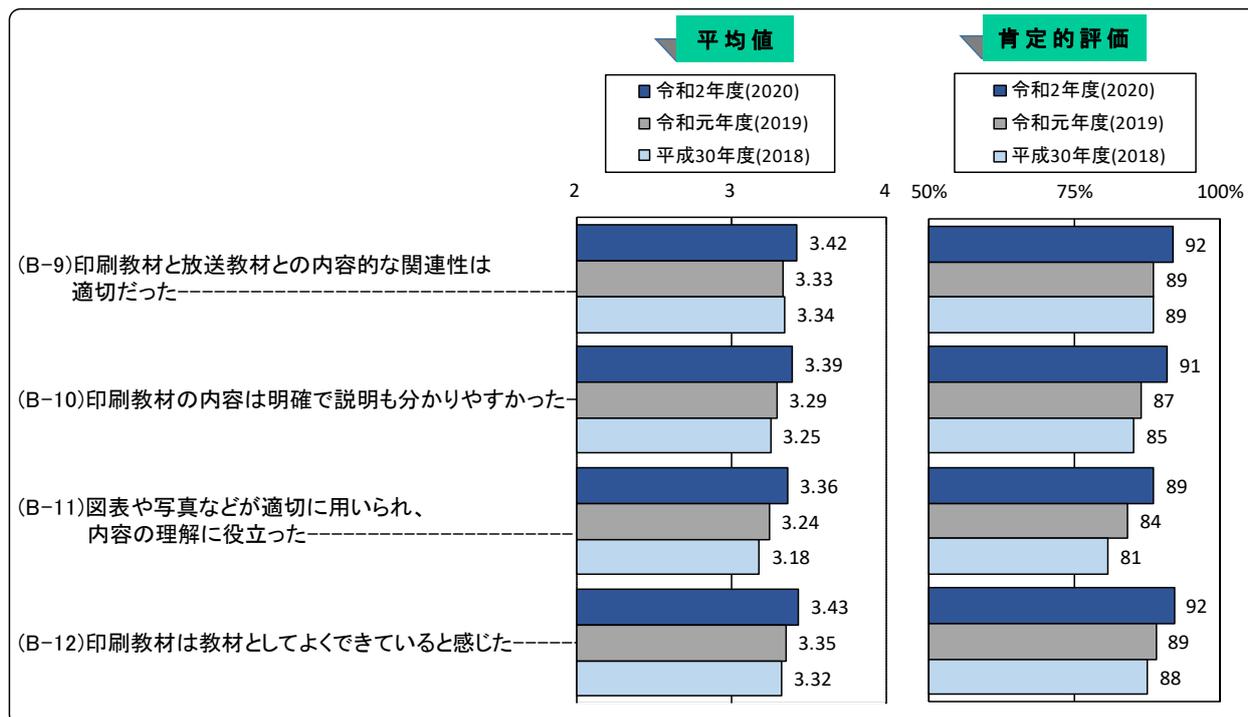
(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」は他の項目と比べると89%と、評価がやや低かった。

図2-37【学部】回答者全体の印刷教材の評価



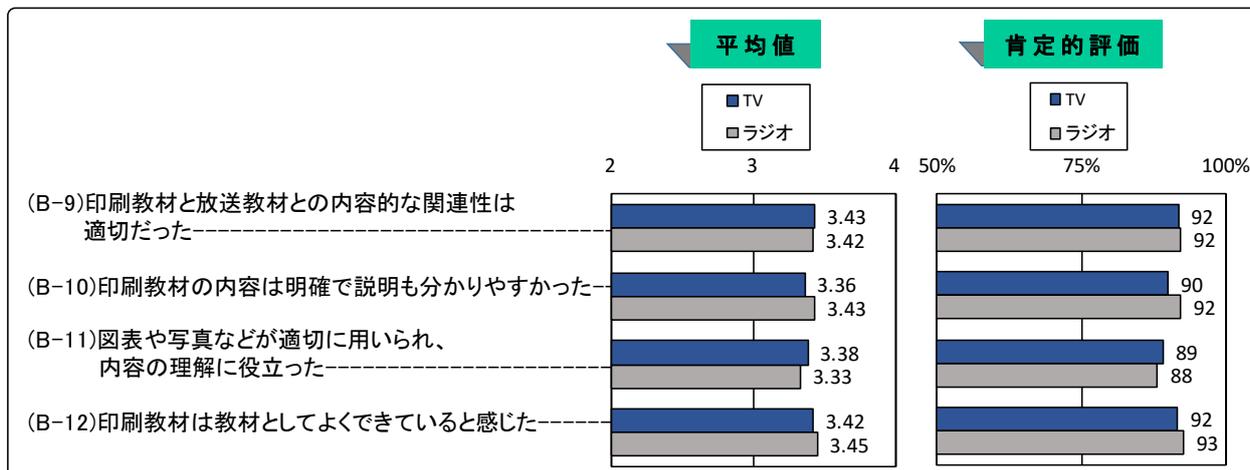
印刷教材の評価を時系列で見ると（図2-38）、本年度は全て項目で昨年度から更に評価を上げ、特に(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」では昨年度より+5ポイントと、評価に大幅な上昇が見られた。

図2-38【学部】回答者全体の印刷教材の評価（時系列）



メディア別に印刷教材の評価を見ると（図2-39）、(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」を除く3項目では、両メディアは同水準であったが、(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」では、ラジオ科目の評価の方が高かった。

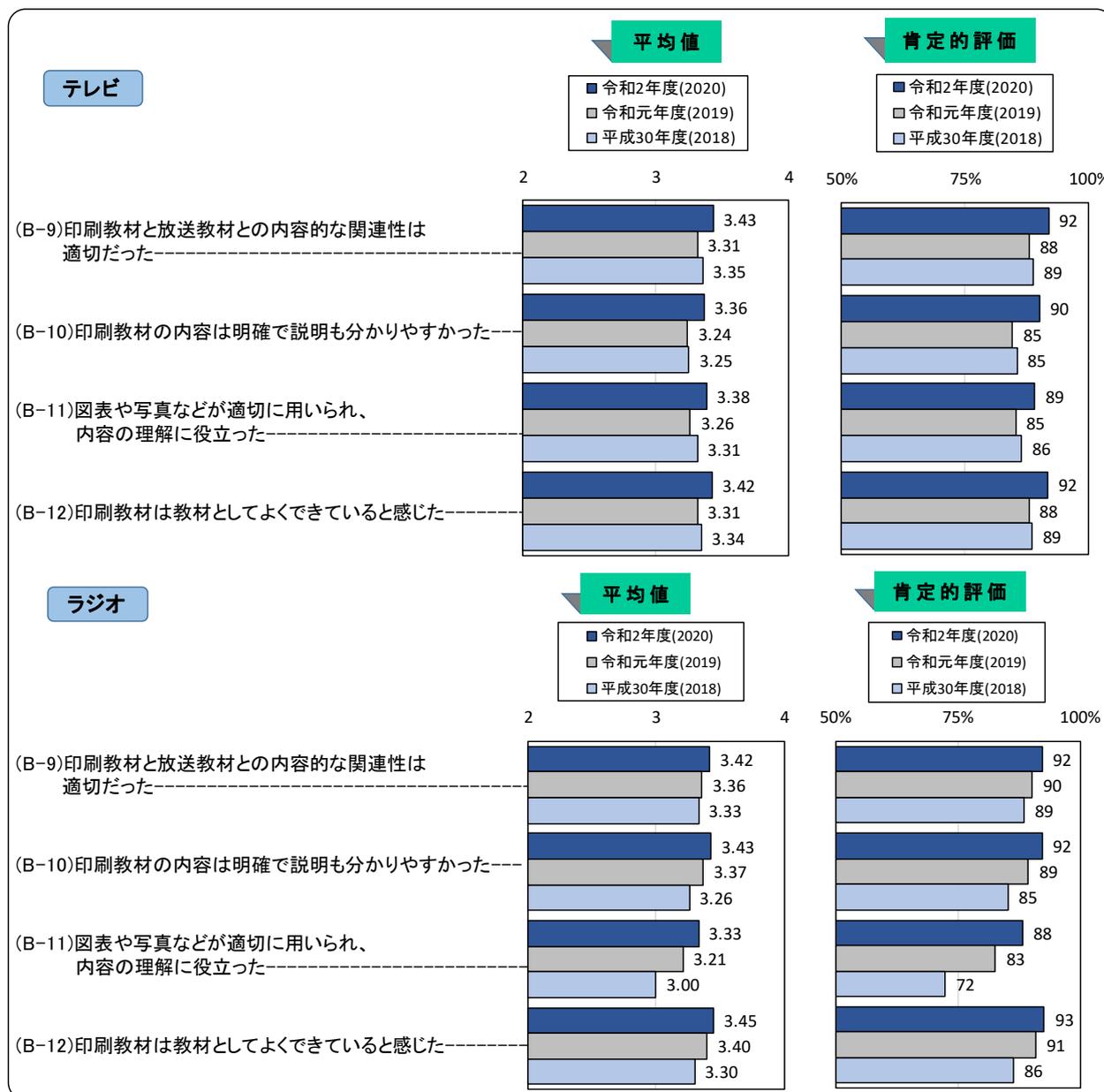
図2-39 【学部】メディア別の印刷教材の評価



メディア別の印刷教材の結果を時系列で見ると（図2-40）、テレビ科目では、本年度は、4項目全てで過去2年度と比べ評価に大きな上昇が見られた。特に(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」では、過去2年度から+5ポイントとその上昇幅は最も大きかった。

ラジオ科目についても、過去2年度から4項目全てで評価を上げており、(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」においては、昨年度より+5ポイントで、一昨年度からは16ポイントの大幅増であった。

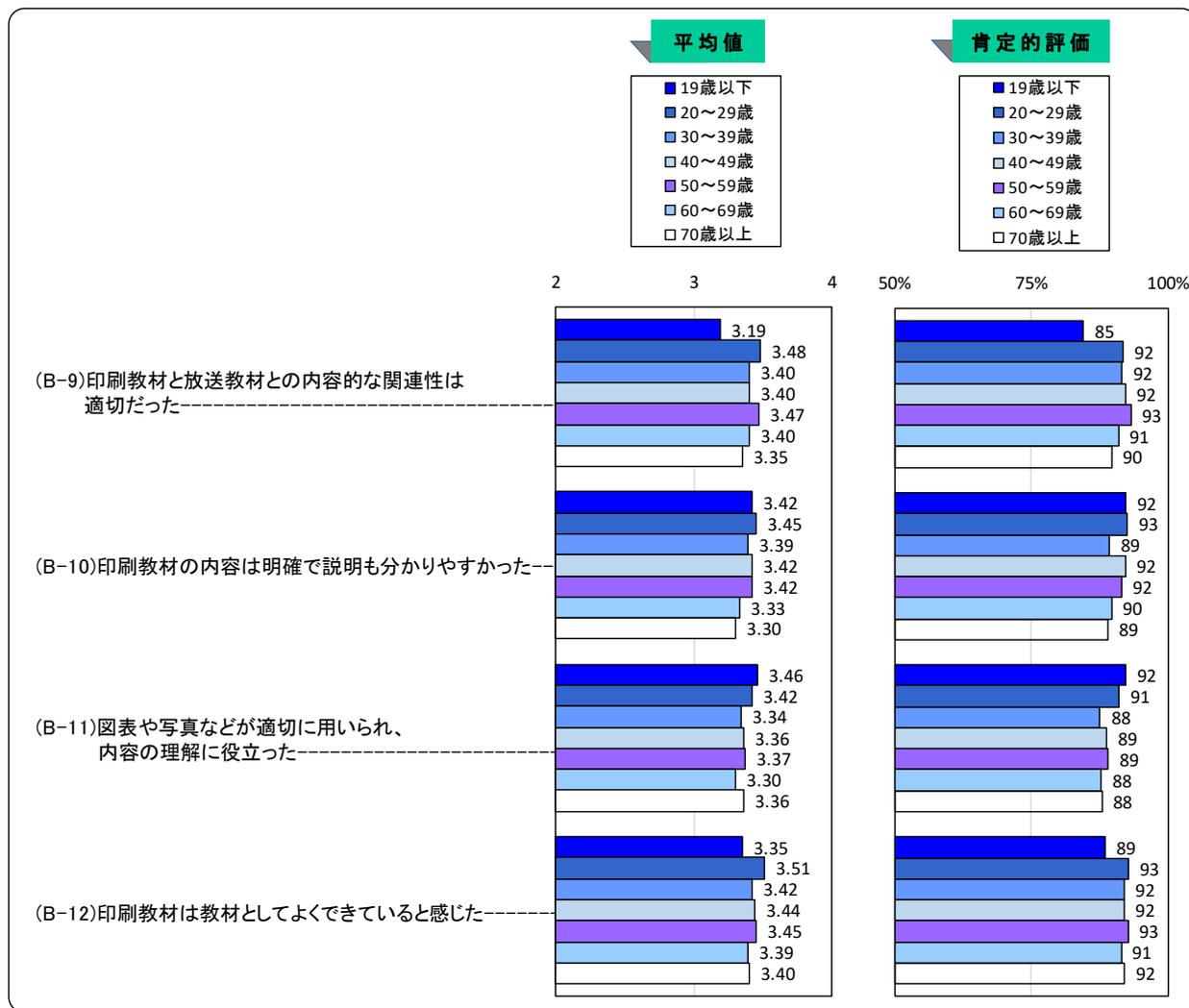
図2-40 【学部】メディア別の印刷教材の評価（時系列）



年齢階層別に印刷教材の評価を見ると（図2-4-1）、(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」は、19歳以下では85%と、他の年代よりかなり評価が低かった。

一方、(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」では、19歳以下(92%)と20歳代(91%)は、他の年代と比べると評価が高かった。

図2-4-1 【学部】年齢階層別の印刷教材の評価



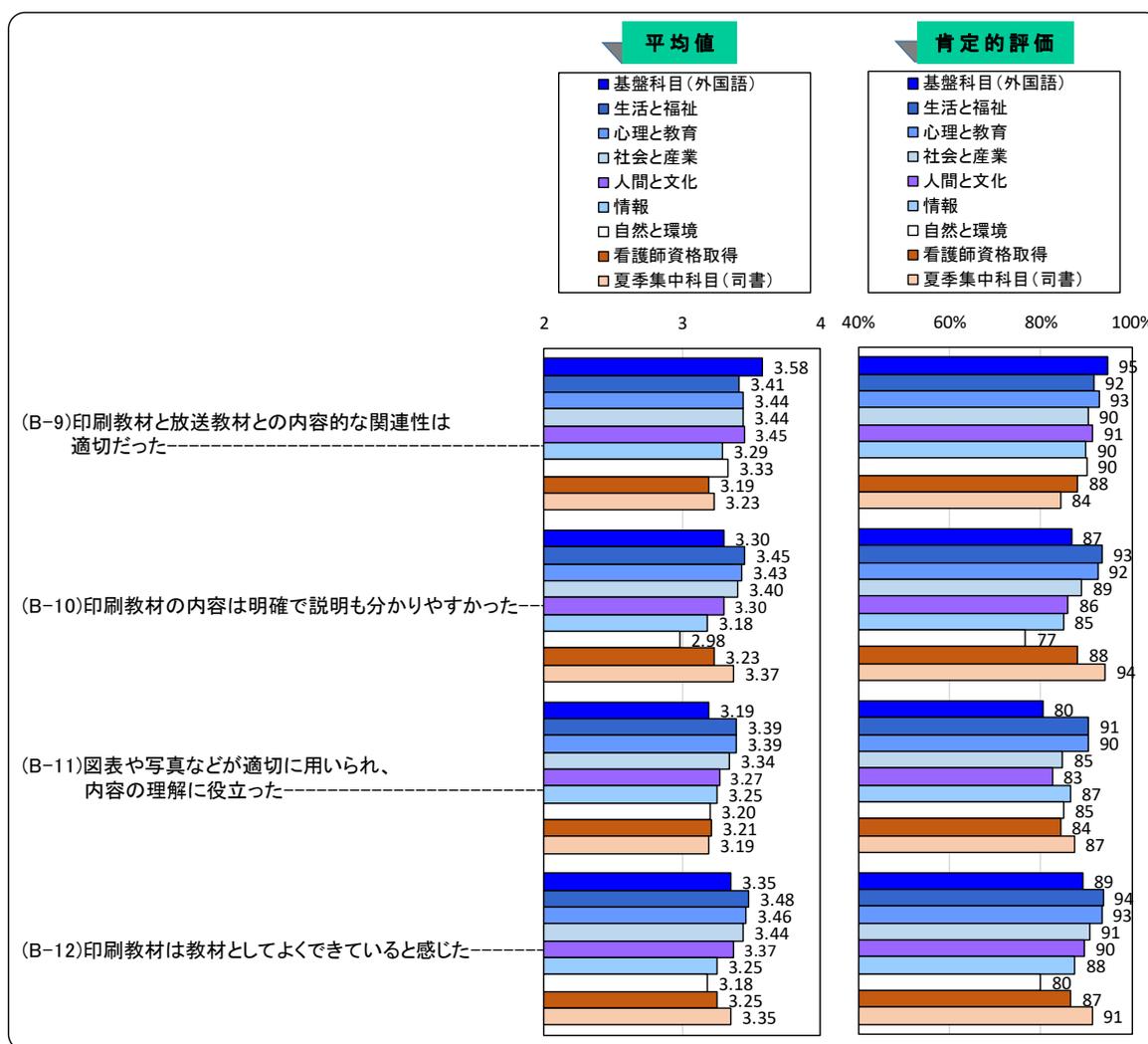
所属コース別に印刷教材の評価を見ると（図2-42）、(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」では、「基盤科目（外国語）」が95%と、評価が高く、反対に「夏季集中科目（司書）」が84%と、低い評価であった。

(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」については、「自然と環境」が極端に低評価で、特徴的な傾向が見られた。

(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」は、「生活と福祉」と「心理と教育」が90%を超え高い評価で、反対に「基盤科目（外国語）」が80%の低評価で、上位との差は大きかった。

(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」でも、大きな差が見られ、「生活と福祉」と「心理と教育」が93~94%の高い評価であったのに対し、「自然と環境」が80%と、極端に低い評価であった。

図2-42 【学部】所属コース別の印刷教材の評価

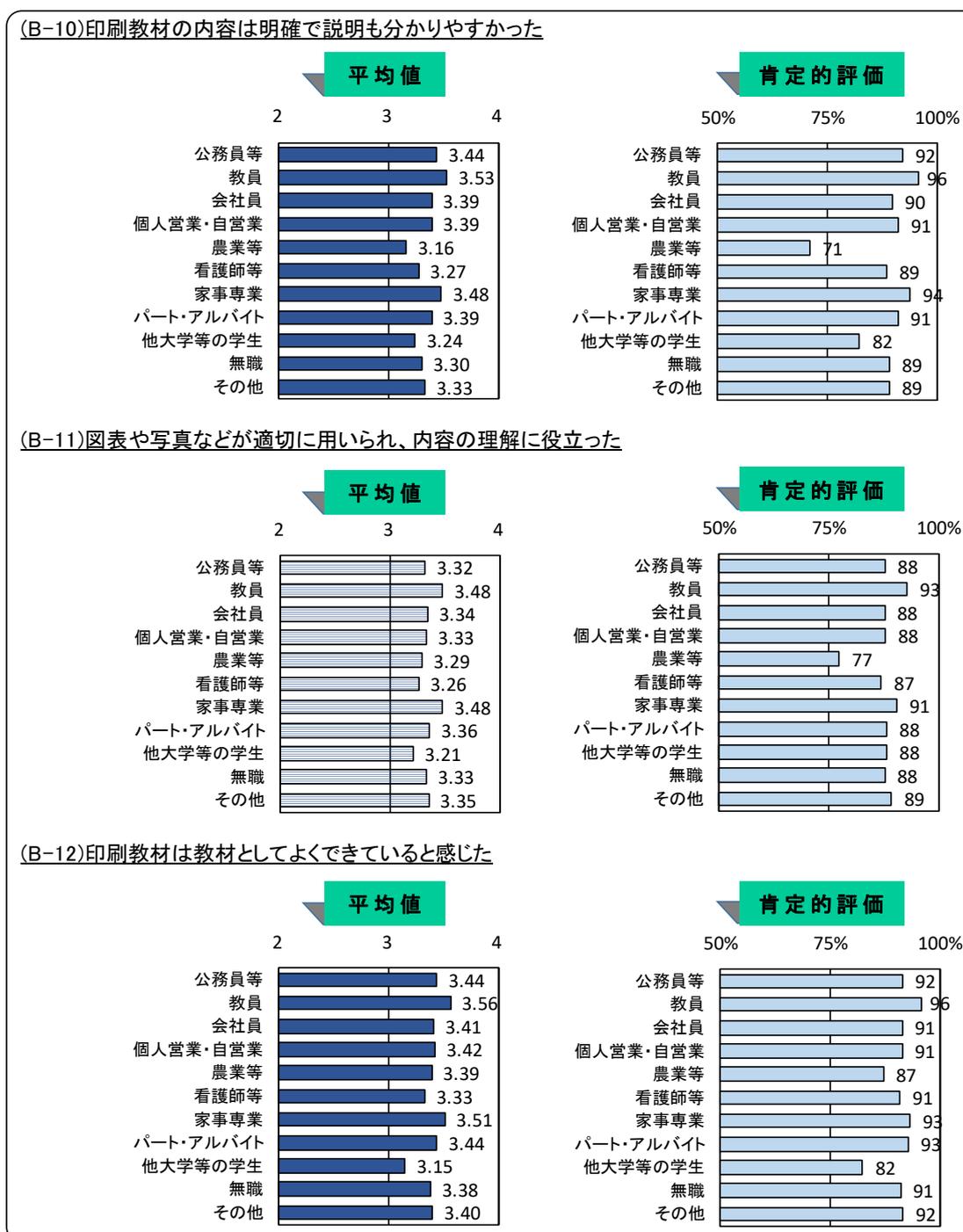


職業別の印刷教材の評価で（図 2 - 4 3）特徴的であったのは、下記の 3 項目全てで「教員」の評価が最も高く、93～96%と、高率であった。

反対に(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」と(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」で最も低い評価であったのは、「農業等」で、他の職業より 10～11 ポイント下回り、評価は 70%代であった。

(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」では、「他大学等の学生」の評価が特に低く、82%に過ぎなかった。

図 2 - 4 3 【学部】職業別の印刷教材の評価

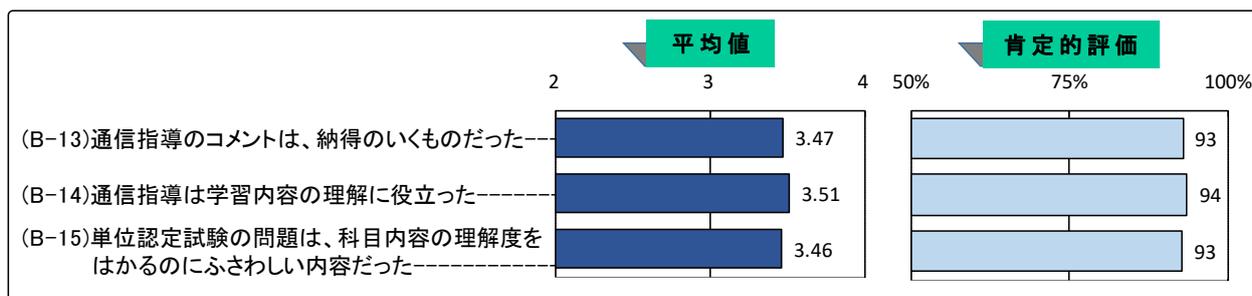


(5) 通信指導・単位認定試験

最後に通信指導・単位認定試験の評価について項目ごとに見ていくことにする。

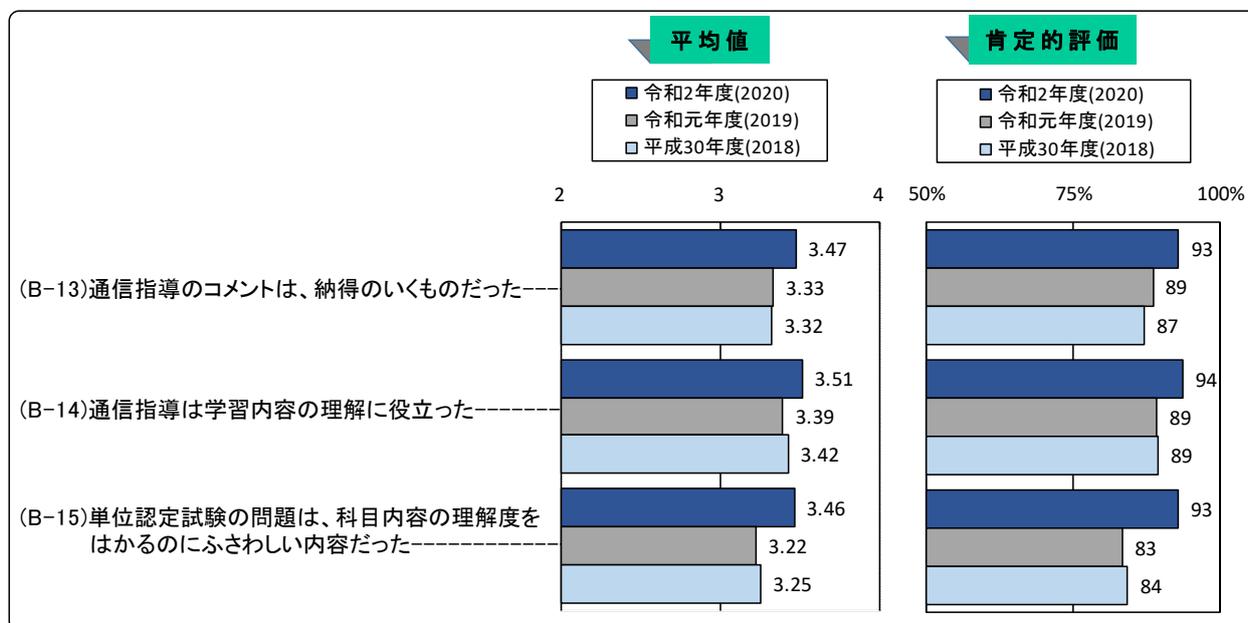
通信指導・単位認定試験については（図2-4-4）、全ての項目で90%を超え、高い評価であった。

図2-4-4 【学部】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価



通信指導・単位認定試験の評価を時系列で見ると（図2-4-5）、本年度は、下記の3項目全てで、過去2年度を大きく上回り、特に（B-15）「単位認定試験の問題は科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった」では、昨年度から+10ポイントと、大きく上昇していた。

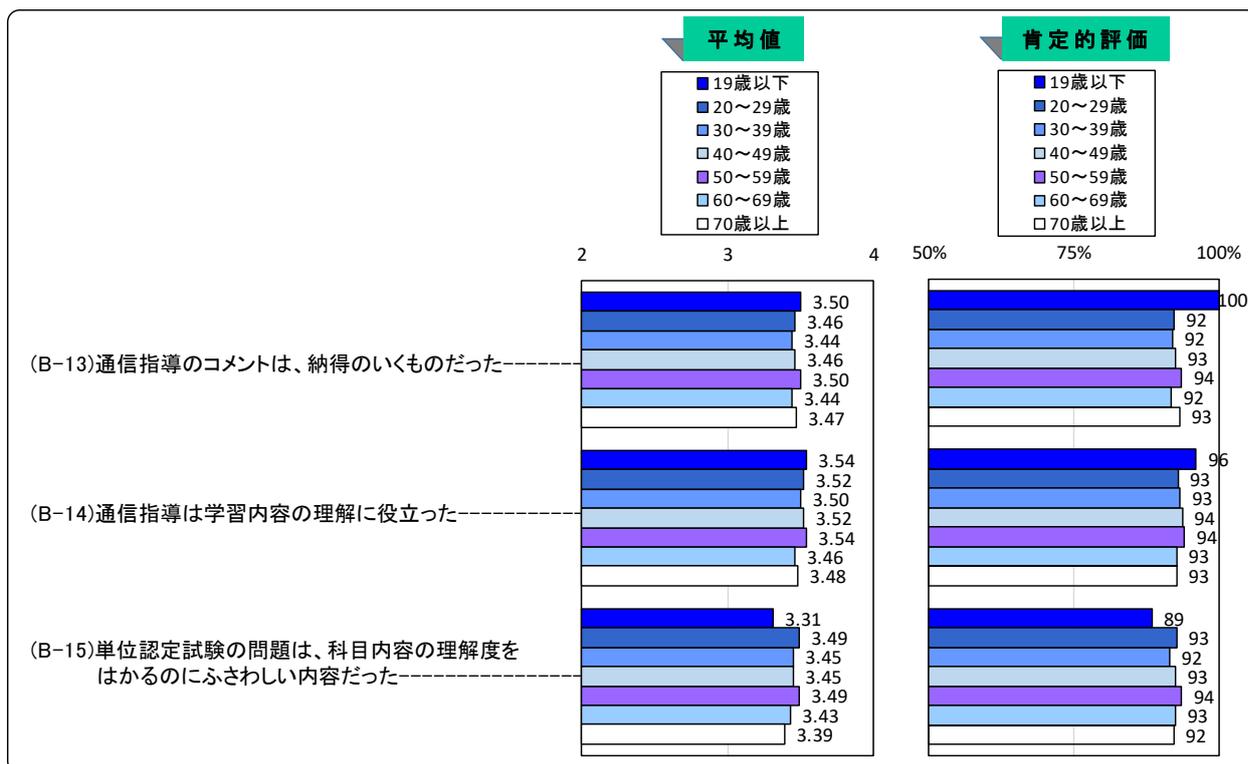
図2-4-5 【学部】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価（時系列）



年齢階層別に通信指導・単位認定試験の評価を見ると（図2-46）、特徴的であったのは（B-13）「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」と（B-14）「通信指導は学習内容の理解に役立った」では、特に評価が高かったのは19歳以下で、順に100%と96%と、他の年代の評価を上回っていた。

反対に（B-15）「単位認定試験の問題は科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」では、19歳以下が89%で最も評価が低く、唯一90%代に達していなかった。

図2-46 【学部】年齢階層別の通信指導・単位認定試験の評価

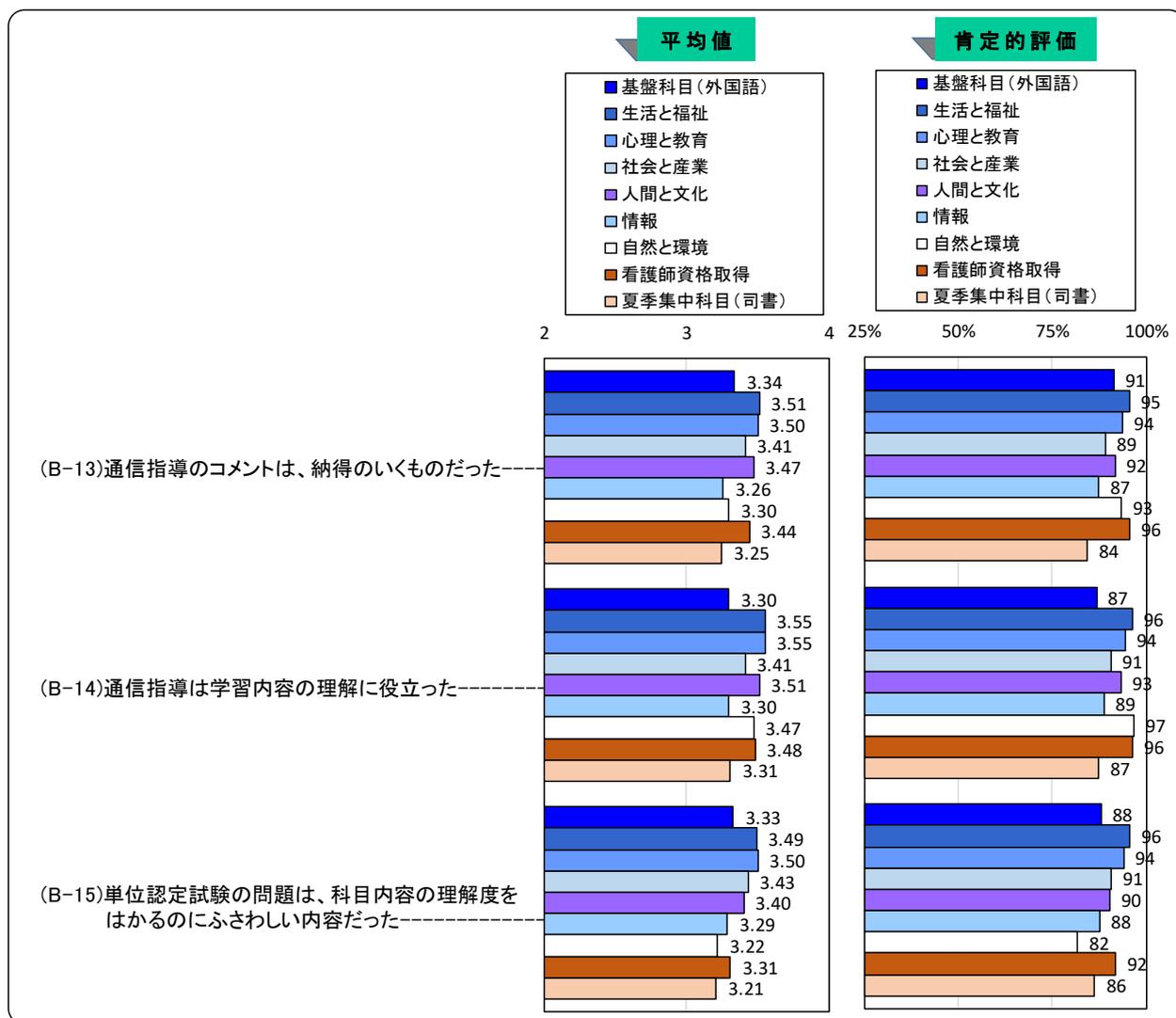


所属コース別に通信指導・単位認定試験の評価を見ると（図2-47）、(B-13)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」で目立っていたのは、「夏季集中科目（司書）」（84%）の評価が他の所属コースに比べ特に低かった。

(B-14)「通信指導は学習内容の理解に役立った」では、「基盤科目（外国語）」と「夏季集中科目（司書）」が共に87%と、低い評価であった。

(B-15)「単位認定試験の問題は、科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった」では、「自然と環境」が82%と、目立って低かった。

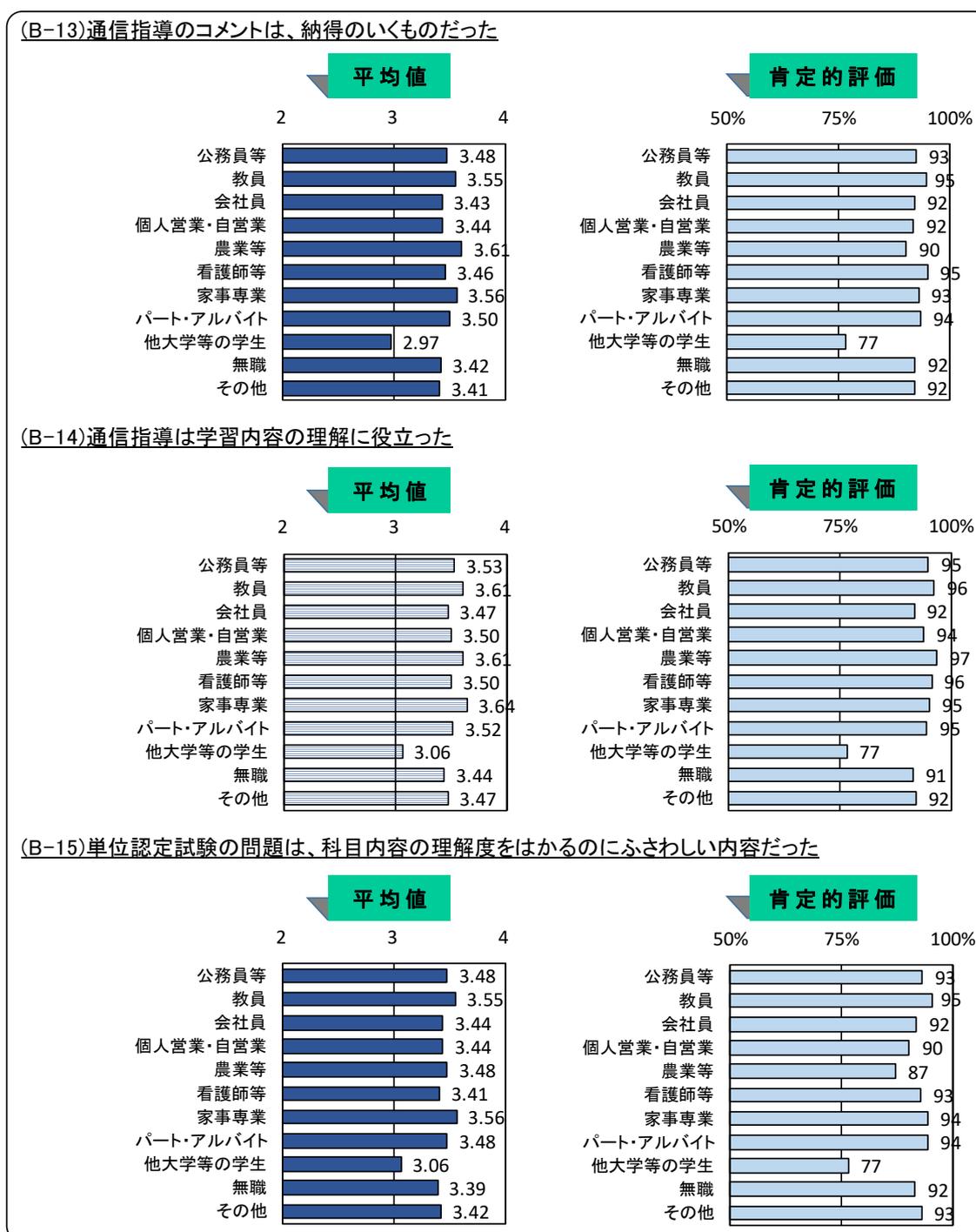
図2-47 【学部】所属コース別の通信指導・単位認定試験の評価



職業別に通信指導・単位認定試験の評価を見ると（図2-48）、(B-13)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」と(B-14)「通信指導は学習内容の理解に役立った」で目立つのは、「他大学等の学生」は、他の所属コースの評価が90%代であったのに対し、両項目とも77%と、通信指導に対する評価が非常に低かった。

(B-15)「単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」でも、「他大学等の学生」の評価が77%と、非常に低く、他の職業から10ポイント以上の差をつけられていた。

図2-48【学部】職業別の通信指導・単位認定試験の評価



Ⅱ-1-4. 学部の重回帰分析

重回帰分析とは、数量データである目的変数と説明変数の関係を調べ、重回帰式（モデル式）を導き出す解析手法である。

今回も、全体の満足度（B-20「この科目の内容には全体として満足している」）を目的変数とし、調査票 I.A「授業への取り組み姿勢」を除く B-1～B-19 の各項目を説明変数として分析を試みる。

本調査の選択肢はカテゴリーデータであるが、平均値の算出と同様『あてはまる→4』のように数値をポイント化する事で数量として扱い、重回帰分析を適用する。

最終的には「全体の満足度」に寄与する項目を明らかにすると共に、その影響力の強さを知る事を目的としている。

項目名	変数	対象
目的変数	y	全体の満足度 B-20
説明変数	x_1, x_2, \dots	各項目 B-1～B-19: 全 19 問(項目)
係数	a_1, a_2, \dots	重回帰分析によって得られる偏回帰係数

重回帰式 $y = a_0 + a_1x_1 + a_2x_2 + \dots + a_{19}x_{19}$ (説明変数が 19 個の場合)

サンプルサイズが十分でない場合や説明変数が多すぎると、全体の満足度を表すのに適した重回帰式を得られない事が経験的に分かっているため、重回帰分析の中で、説明変数間で強い相関関係がある場合、その一方の項目を自動的に削除する「変数減少法」を用いて解析を行った。

使用したデータは質問項目 I.B の全設問を全て回答した 7320 人のローデータを使用した。(一昨年度からオンライン利用によるアンケート形式に替わり、今回も全員が全設問を回答していた。)

その結果は以下の通りとなった。

■分析精度

自由度修正済み決定係数とは、得られた重回帰式が目的変数に対してどれだけ説明力(寄与度)があるかを示す指標で、「1」に近いほど良い結果で、この分析では 0.711 となった。

ダーヴィンワトソン比とは、残差同士の系列相関(自己相関)を示す指標で 0～4 までの値を示し、1 以下や 3 以上だと残差(誤差)に規則性があり、解析自体あるいはデータ自体に問題があり、「2」近辺の値ならよいとされるもので、その値は 2.007 となり。

以上の結果から、問題のない結果が得られた事が示されている。

◆分析精度

決定係数	0.711
自由度修正済み決定係数	0.710
ダーヴィンワトソン比	2.007
残差の標準偏差	0.358

今回の重回帰分析は、分散分析表が示すとおり、有意水準 0.01 の判定で、かなりの精度で式の当てはまりの良さが確認できた。

(有意水準とは危険率と同義で 0.01 の場合、判定を誤る確率が 1% である事を現している。)

◆分散分析表

変動	偏差平方和	自由度	不偏分散	分散比	p値	判定
全体変動	3233.865	7319				
回帰による変動	2299.011	12	191.584	1497.459	0.000	[**]
回帰からの残差変動	934.854	7307	0.128			

凡例	有意水準	凡例	有意水準
[**]	0.01	[*]	0.05

下表にある標準偏回帰係数とは説明変数の相互比較を可能にするためのもので、各説明変数の目的変数に対する影響力の度合いがこれで分かる。

その結果から「全体の満足度(B-20)」に寄与する項目で、その寄与度が最も高かったのは B-17(0.274)、次いで B-19(0.241)、他に B-18 (0.148)、B-7 (0.091) と続いた。

説明変数の影響力の度合いを比較するために、表中の標準偏回帰係数の中で最も小さい B-16 (0.037) を基準に、他の項目がその何倍になるか算出してみた。(表中の右端の数値) その結果、高い順に B-17:7.3 倍、B-19:6.5 倍、B-18:4.0 倍、B-7:2.4 倍となった。

今後の「全体の満足度」(肯定的評価 93%) を上げるためには、上位 2 項目(「B-17 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」・「B-19 この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」)の肯定的評価を上げる事が、効果的であると考えられる。

この 2 項目の肯定的評価について見てみると、B-17:93%、B-19:92%で、それぞれの肯定的評価を上げる余地は残っていると思われる。

目的変数	標準偏回帰係数	説明変数	判定	B-16との対比
B-20.全体の満足度	0.274	B-17 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	[**]	7.3
	0.241	B-19 この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)	[**]	6.5
	0.148	B-18 新しい知識が身につく視野が広がった	[**]	4.0
	0.091	B-7 放送授業は教材としてよくできていると感じた	[**]	2.4
	0.072	B-12 印刷教材は教材としてよくできていると感じた	[**]	1.9
	0.058	B-15 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった	[**]	1.5
	0.057	B-5 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	[**]	1.5
	0.057	B-3 印刷教材の難易度は適切だった	[**]	1.5
	0.037	B-16 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	[**]	1.0
	定数項	[**]		

※説明変数の中で有意水準が0.05以下の項目だけを掲載した

Ⅱ－２．大学院の分析結果

Ⅱ－２－１．項目平均から見た全体的傾向

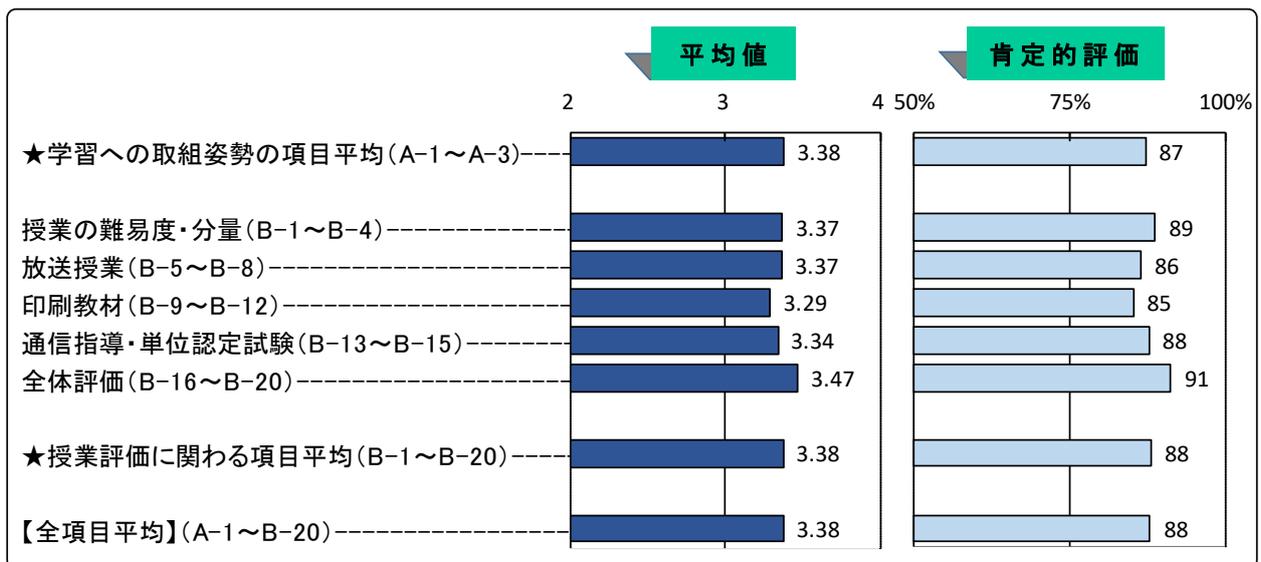
評価項目の内容ごとに回答者全体の平均値と肯定的評価を A-1～A-3 等の複数の項目の平均を算出しグラフ化（図 2－47）した。

学部同様、肯定的な評価（「あてはまる」＋「ややあてはまる」）の方が（例えば回答者の 80%）イメージしやすく、下図左側の平均値と肯定的評価に齟齬が生じた場合、どちらを採用するか合理的に判断出来ないため、コメントについては肯定的評価を用いて、平均値は参考値として扱っていきたい。

また、新規開設科目の年度比較は、比率の差の検定結果から、大学院は、学部ほど回答者数が多くないため（2020 年度：223 人、2019 年度：350 人、2018 年度：76 人）、本年度と昨年度の比較では概ね 6 ポイントの差で有意となったため、6 ポイント以上で差があることとした。

項目平均による全体的傾向をみると（図 2－47）、項目間では『授業の難易度・分量（B-1～B-4）』と『全体評価（B-16～B-20）』が 90%前後と高く、反対に『印刷教材（B-9～B-12）』が 85%と、低かった。

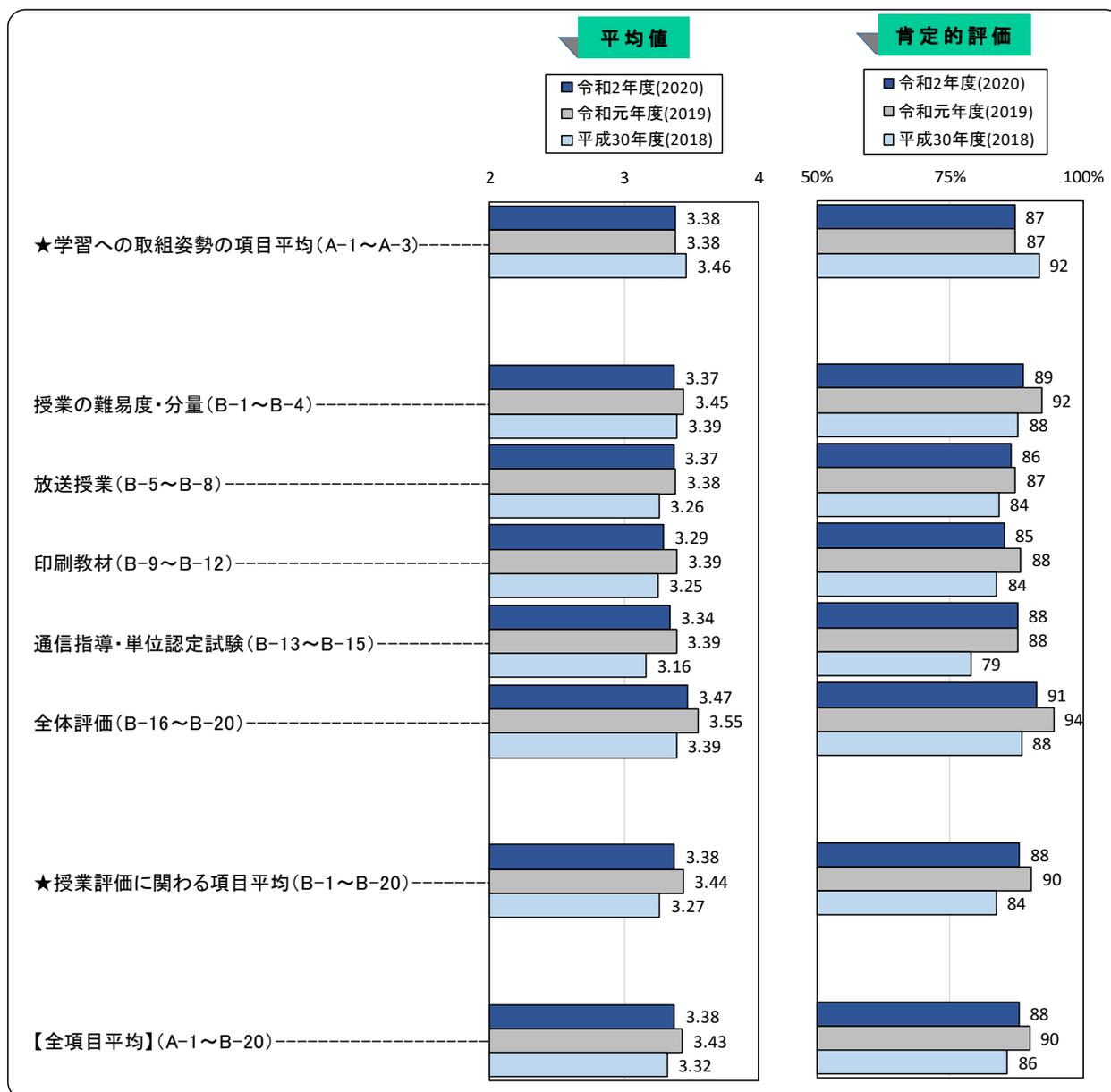
図 2－47 【大学院】項目平均による全体的傾向



項目平均を科目の開設年度で比較してみると(図2-48)、本年度は昨年度と比べ『学習への取組み姿勢(A-1~A-3)』と『通信指導・単位認定試験(B-13~B-15)』は昨年度と全く変わらなかったが、それを除く項目では、本年度は僅かに評価が下がっていた。

一昨年度との比較では『学習への取組み姿勢(A-1~A-3)』が5ポイントのマイナス、『通信指導・単位認定試験(B-13~B-15)』は9ポイントのプラスであった。

図2-48 【大学院】項目平均による全体的傾向(開設年度比較)

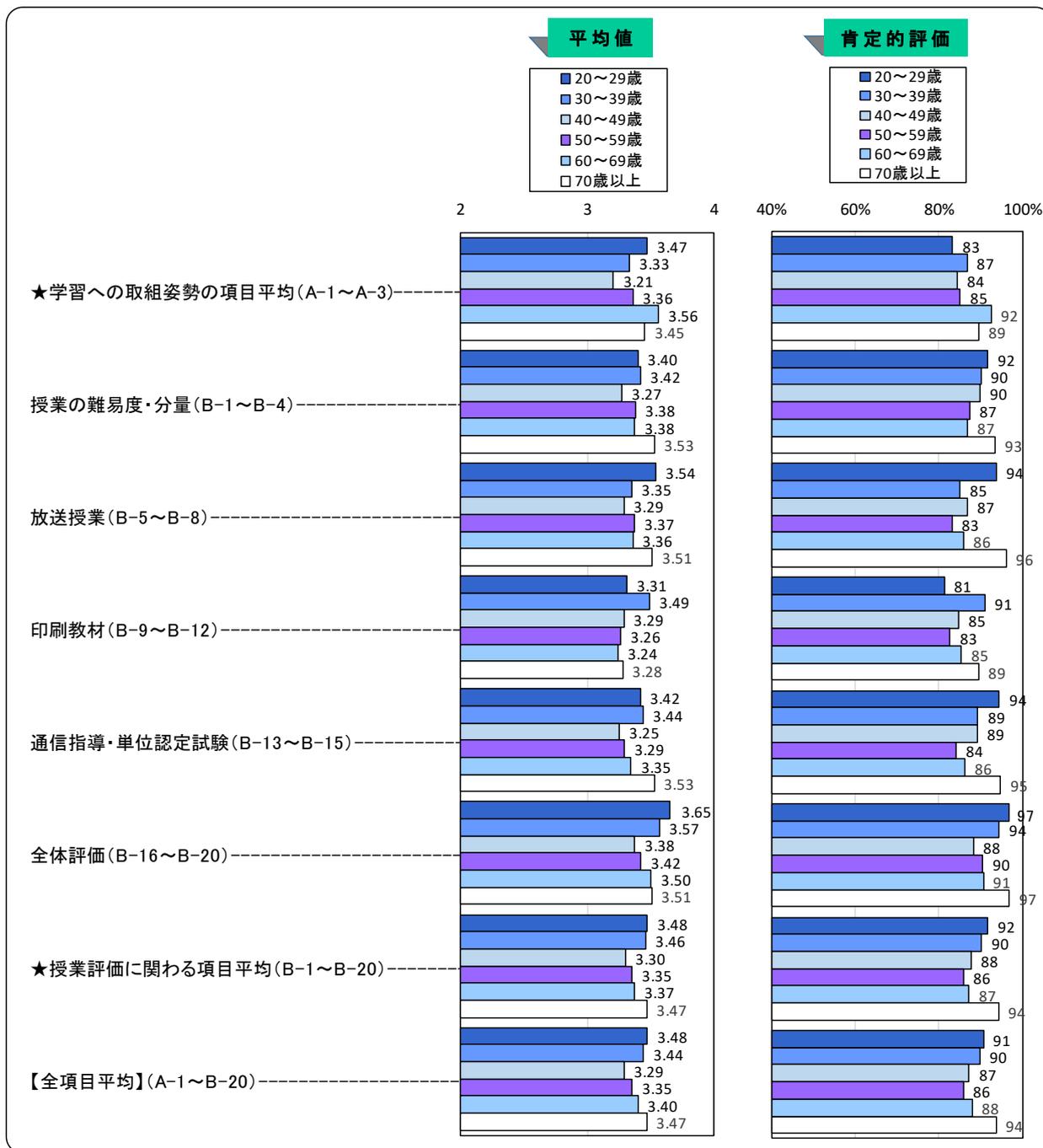


年齢階層別では（図 2 - 4 9）、『学習への取組み姿勢（A-1～A-3）』と『印刷教材（B-9～B-12）』を除く項目では、70 歳以上が 90% 越え、評価が高く、特に『全体評価（B-16～B-20）』では、97% と、項目間でも最も高い評価であった。

『学習への取組み姿勢（A-1～A-3）』では 60 歳代が最も高く 92%、『印刷教材（B-9～B-12）』では 30 歳代が 91% で最も高かった。

※「20～29 歳」は回答者数が 12 人と少人数である為、コメントを差し控えた。

図 2 - 4 9 【大学院】項目平均による年齢階層別全体的傾向



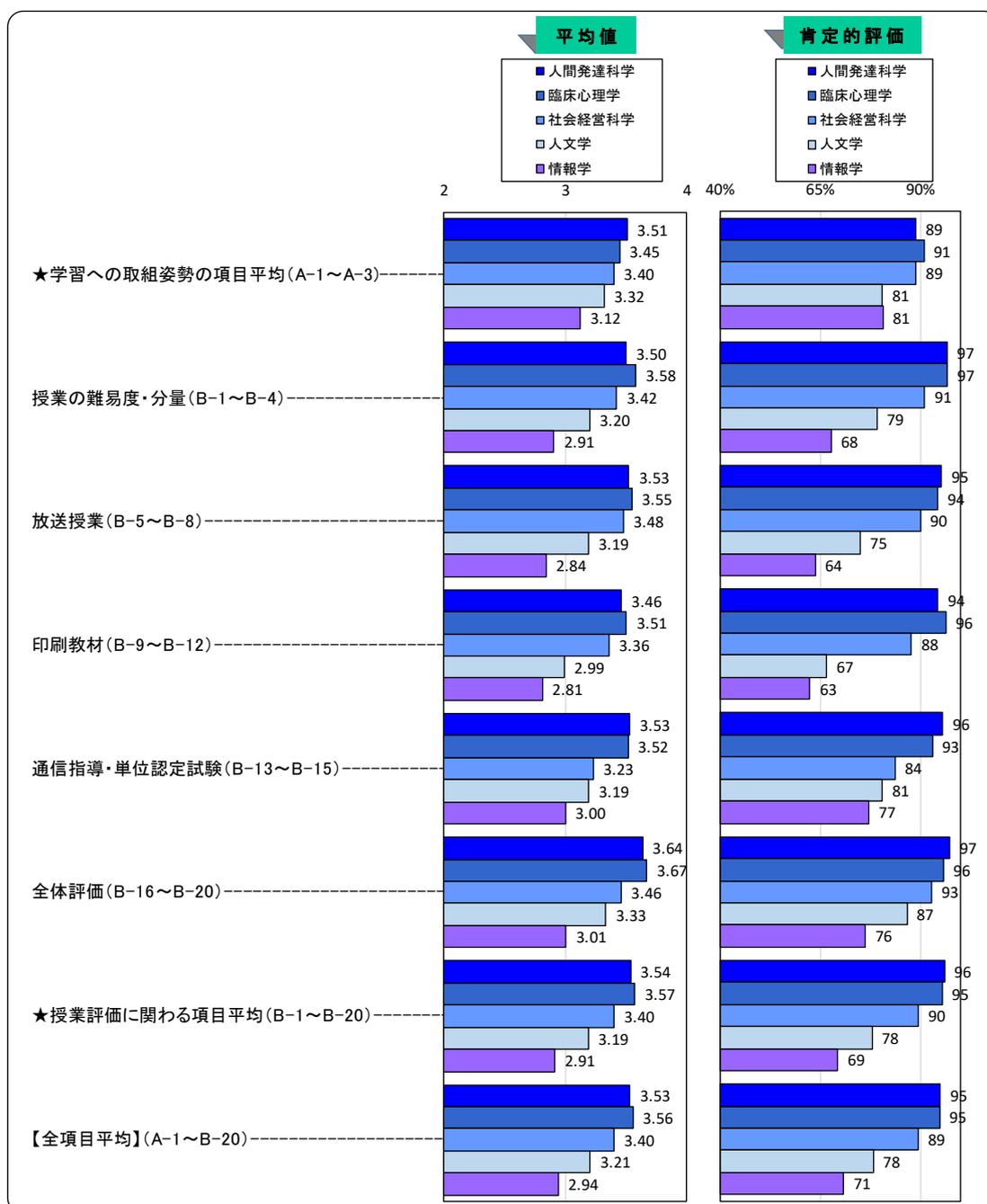
所属プログラム別に項目平均を見ると（図2-50）、全ての項目で「人間発達科学」と「臨床心理学」の評価が高く、特に『授業の難易度・分量（B-1～B-4）』と『全体評価（B-16～B-20）』で96～97%と高い評価で、「人間発達科学」「臨床心理学」に特徴的な傾向が見られた。

『学習への取組み姿勢（A-1～A-3）』では、「社会経営科学」も89%で上位グループ内であった。

反対に全ての項目で最も低い評価であったのは「情報学」で、特に『放送授業（B-5～B-8）』と『印刷教材（B-9～B-12）』で63～64%に留まっていた。

『学習への取組み姿勢（A-1～A-3）』は「人文学」も「情報学」と同率の81%で、他のプログラムと比べ最も評価が低かった。

図2-50 【大学院】項目平均による所属プログラム別全体的傾向

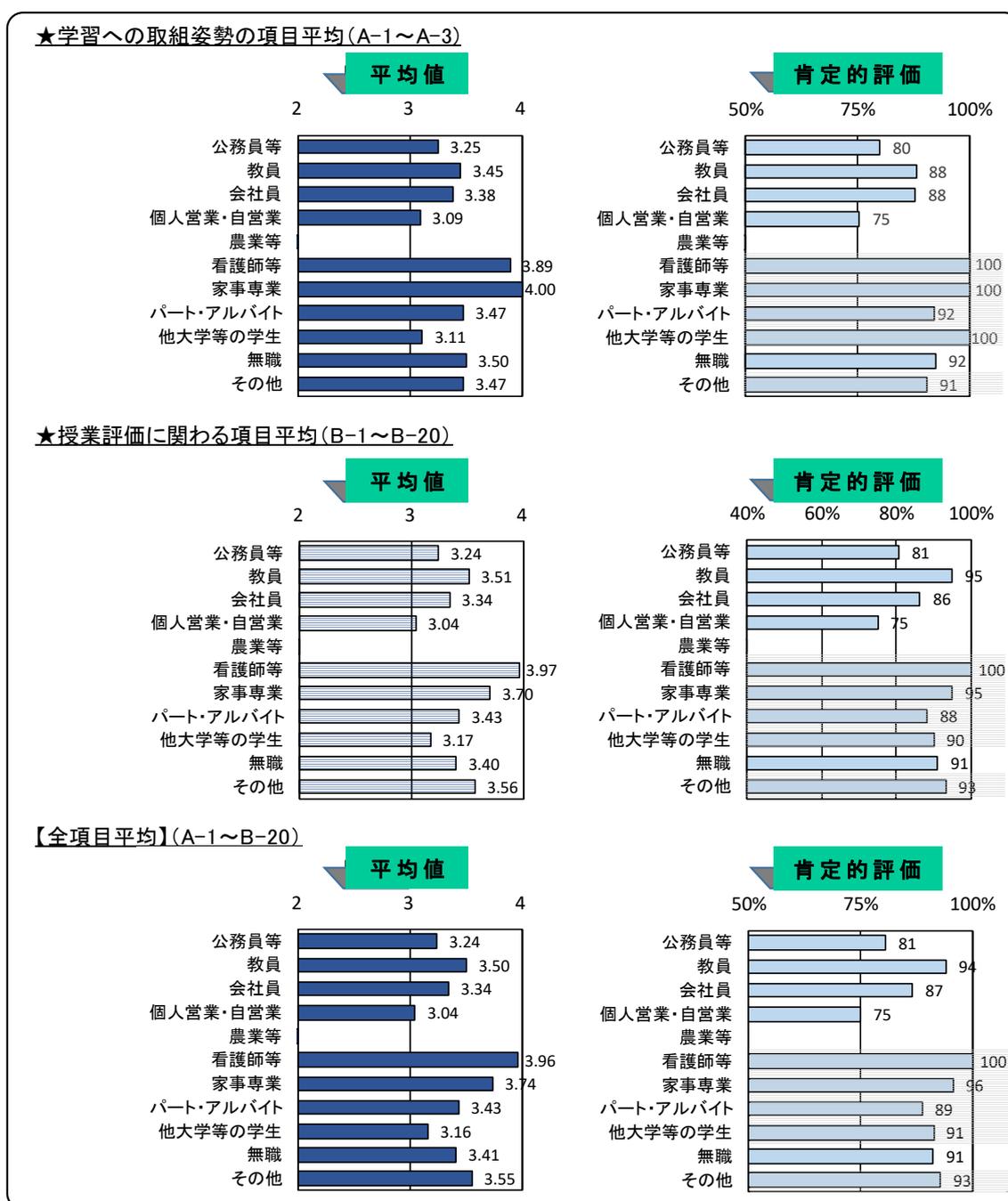


職業別では（図2-51）、「農業等」の従事者は一人もおらず、また、「看護師等」（3人）、「家事専業」（1人）、「パート・アルバイト」（17人）、「他大学等の学生」（3人）、「その他」（14人）は回答者数が少人数だった為、この頁を含めそれ以後も割愛する事とする。

『学習への取組み姿勢（A-1～A-3）』では、「無職」（92%）の評価が最も高く、反対に「個人営業・自営業」（75%）が極端に低く、評価に大きな開きが見られた。

『授業評価に関わる項目平均（B-1～B-20）』と【全項目平均（A-1～B-20）】については、共に「教員」の評価が、順に95%、94%で最も高く、反対に「個人営業・自営業」が両項目とも75%と、ここでも評価に大きな開きが見られた。

図2-51 【大学院】項目平均による職業別全体的傾向

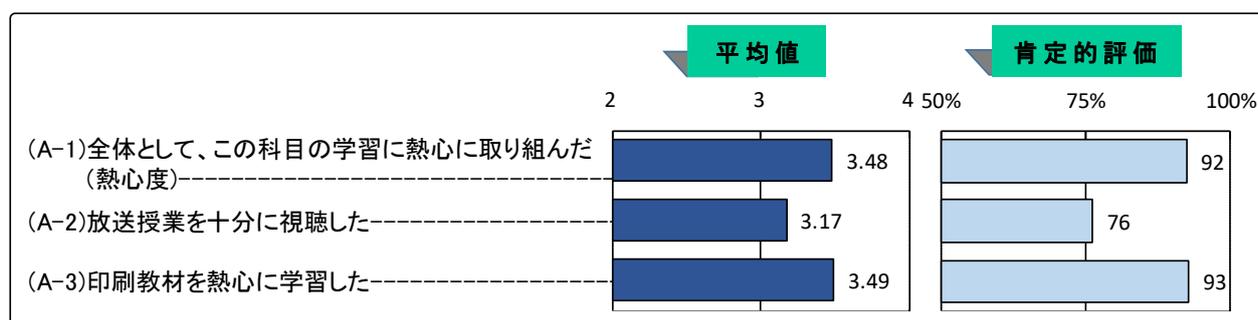


Ⅱ－2－2. 学習への取組み姿勢

ここからはそれぞれ評価項目ごとに調査結果を見ていく。

『学習への取組み姿勢』（図2-5-2）では、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」と(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は92～93%に達していたが、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は76%と、前述の2項目に比べ極端に取り組む姿勢が低かった。

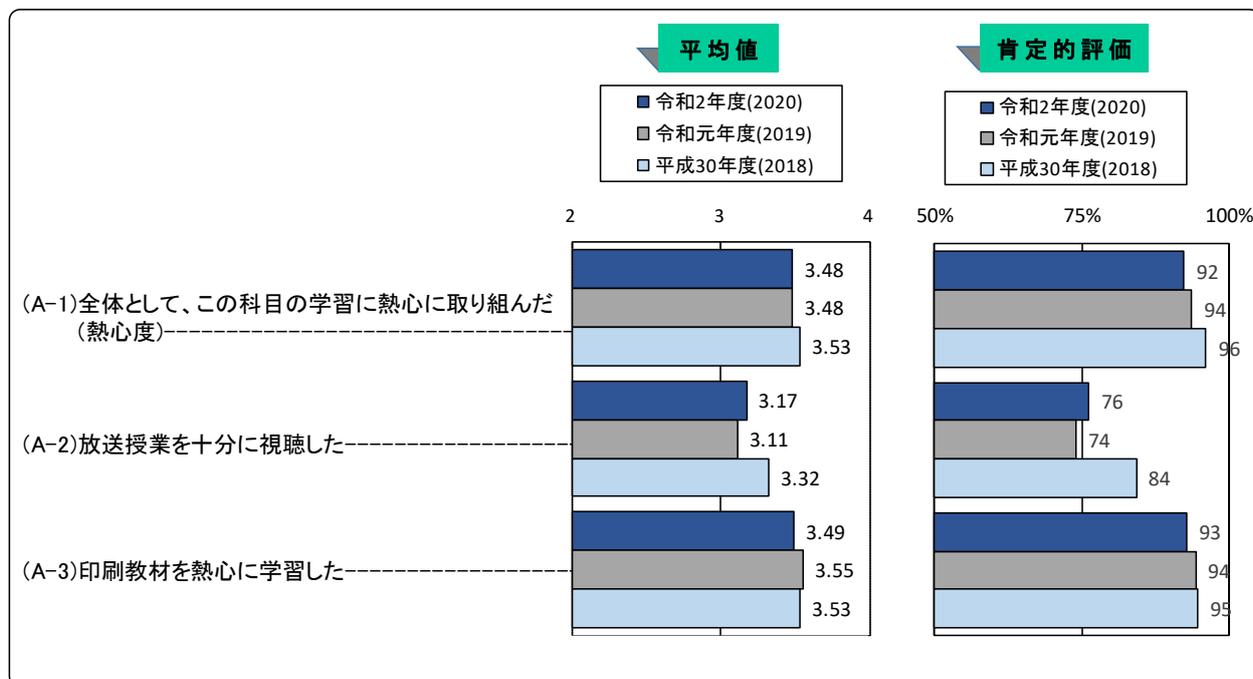
図2-5-2 【大学院】回答者全体の取組姿勢



『学習への取組み姿勢』を時系列で見ると（図2-53）、全ての項目で本年度の評価は昨年度と比べ、ほとんど変わりがなかった。

ただ、一昨年度と比べると、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」が8ポイントマイナスで、昨年度の落ち込みを回復する事ができていなかった。

図2-53 【大学院】回答者全体の取組姿勢（時系列）



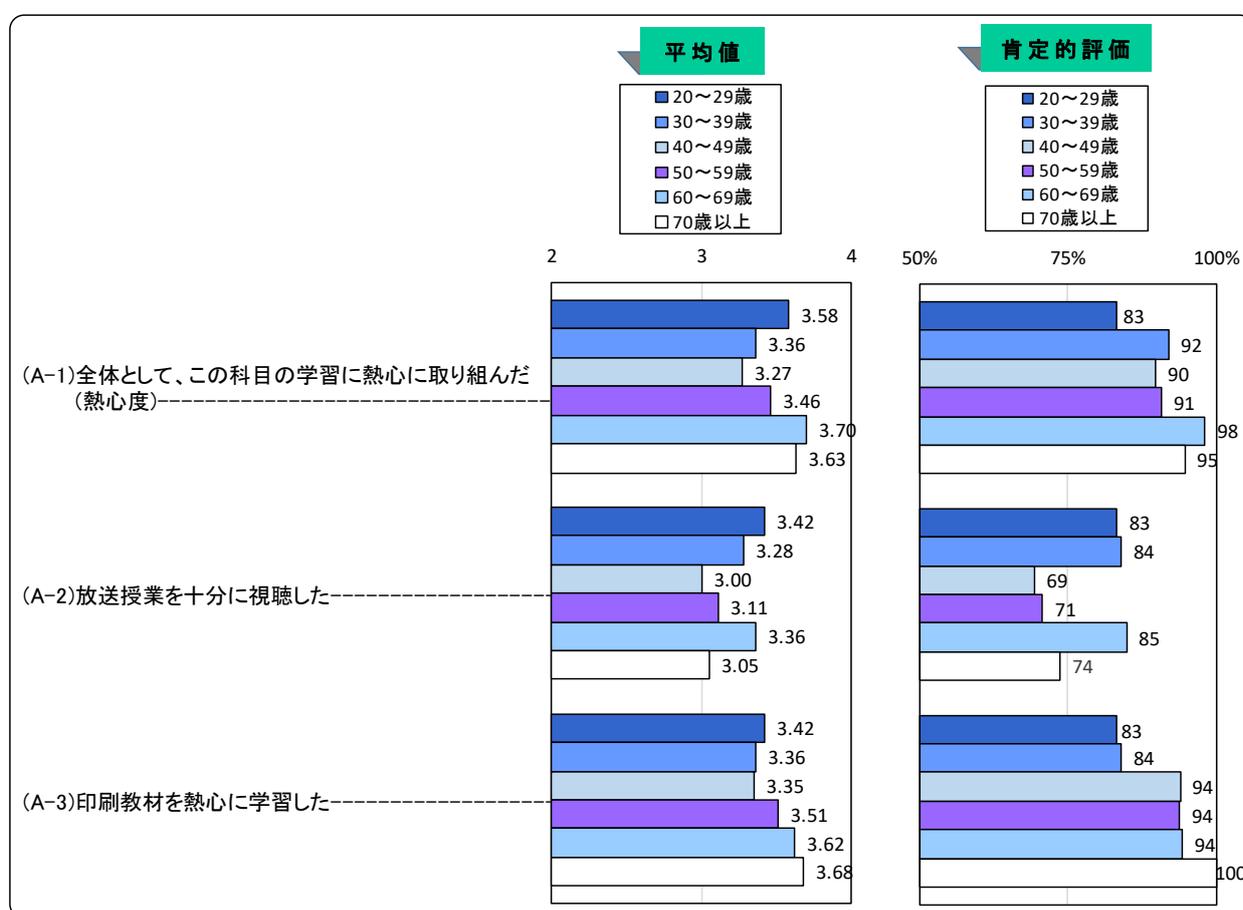
年齢階層別では（図 2 - 5 4）、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」では、60 歳代が 98% で、非常に高い評価であった。

(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は同様に、60 歳代が 85% と、最も高い評価で、40 歳代が最も低く、69% であった。

(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は、70 歳以上が 100% と、全員が肯定的評価で、反対に 30 歳代が 84% と、両者の評価に大きな開きが見られた。

※「20～29 歳」は回答者数が 12 人と少人数で極端な値を取る場合がある為、コメントを割愛した。また、これ以降のページも同様とする。

図 2 - 5 4 【大学院】年齢階層別の取組姿勢

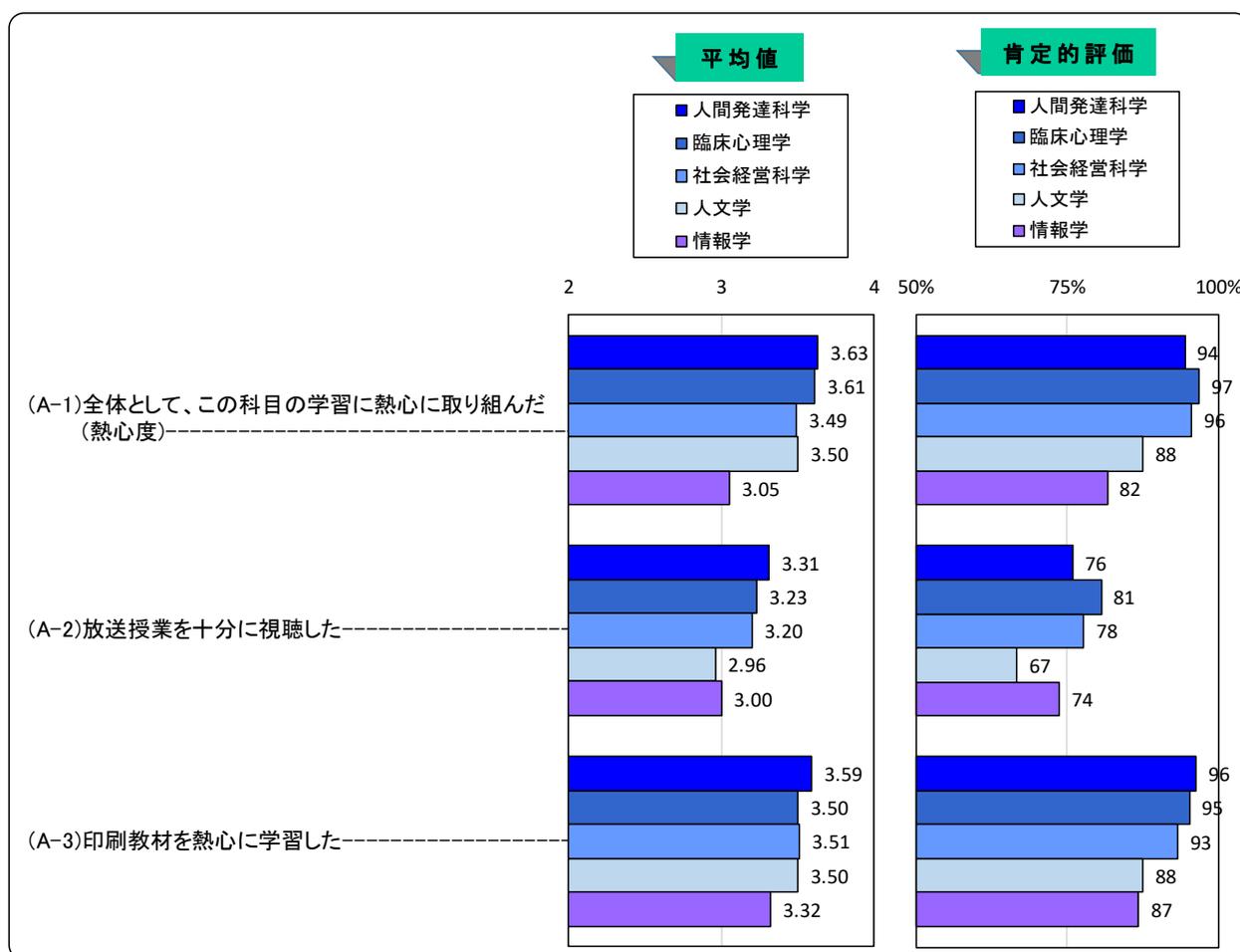


所属プログラム別では（図 2-55）、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」は、「臨床心理学」（97%）と「社会経営科学」（96%）の評価が高く、「情報学」（82%）が非常に低かった。

(A-2)「放送授業を十分に視聴した」については、「臨床心理学」が 81%と、最も高く、「人文学」が 67%で、極端に低かった。

(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」では、「人間発達科学」（96%）と「臨床心理学」（95%）の評価が高かった。

図 2-55 【大学院】所属プログラム別の取組姿勢



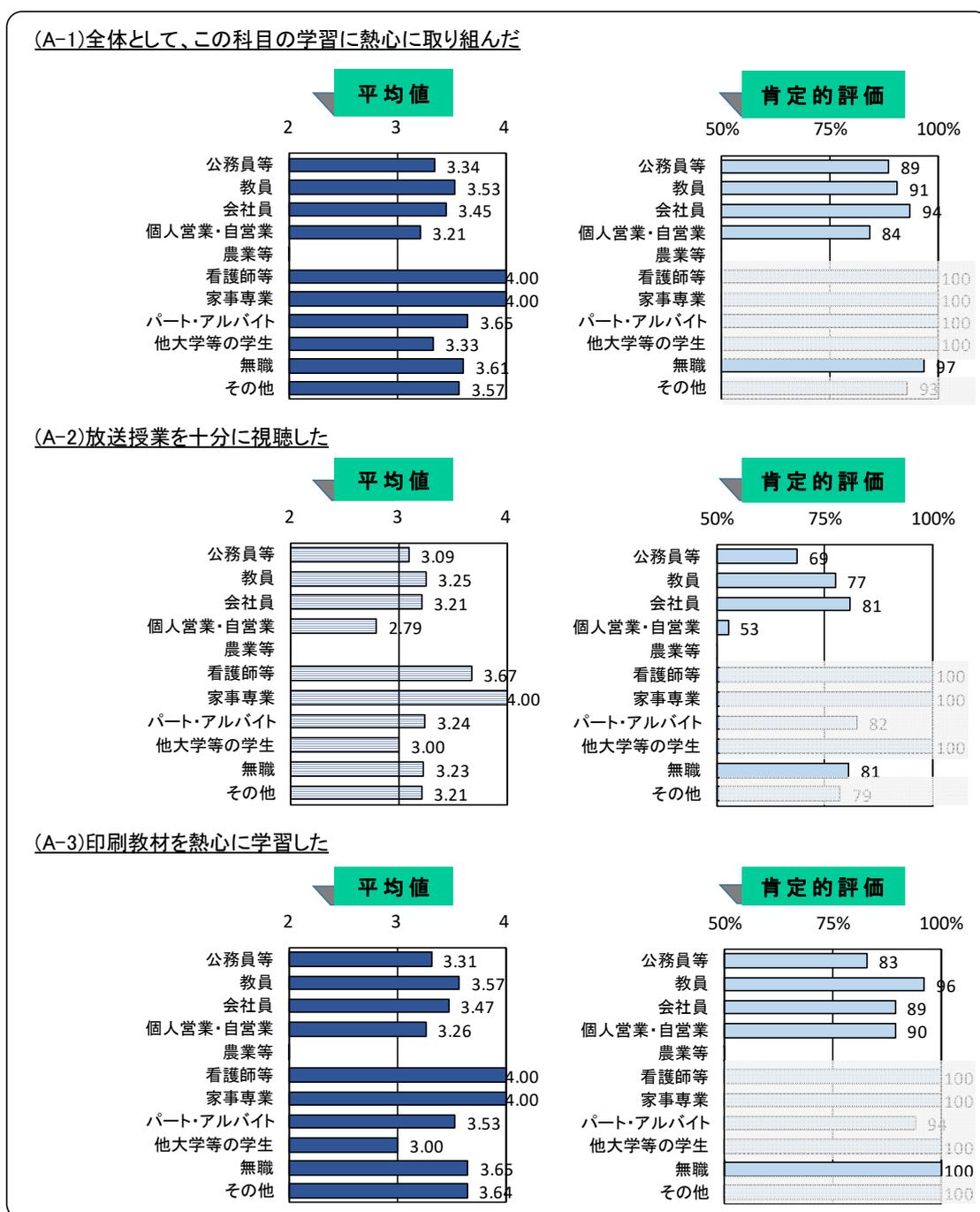
職業別では（図2-56）、「無職」の評価が全ての項目で最も高く、特に（A-3）「印刷教材を熱心に学習した」では100%で全員が肯定的評価であった。

（A-2）「放送授業を十分に視聴した」では、「会社員」（81%）も「無職」と同率で最も評価が高かった。

反対に評価が低かったのは、（A-1）「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」と（A-2）「放送授業を十分に視聴した」では「個人営業・自営業」で、特に（A-2）「放送授業を十分に視聴した」では、その評価が53%と、かろうじて過半数を保っていた。

（A-3）「印刷教材を熱心に学習した」は、「公務員等」が83%と、低い評価であった。

図2-56【大学院】職業別の取組姿勢



単位認定のための学習方法（図2-57）では、属性別の各層内で回答者数が17人以下と少ない、「20～29歳」「農業等」「看護師等」「家事専業」「パート・アルバイト」「他大学等の学生」と「その他」の7属性については、下記のグラフから除外した。

全体は、比率の高い順に「放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ」が67%と、過半数を占め、「ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ」が28%で、「ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ」は5%と、ごくわずかであった。

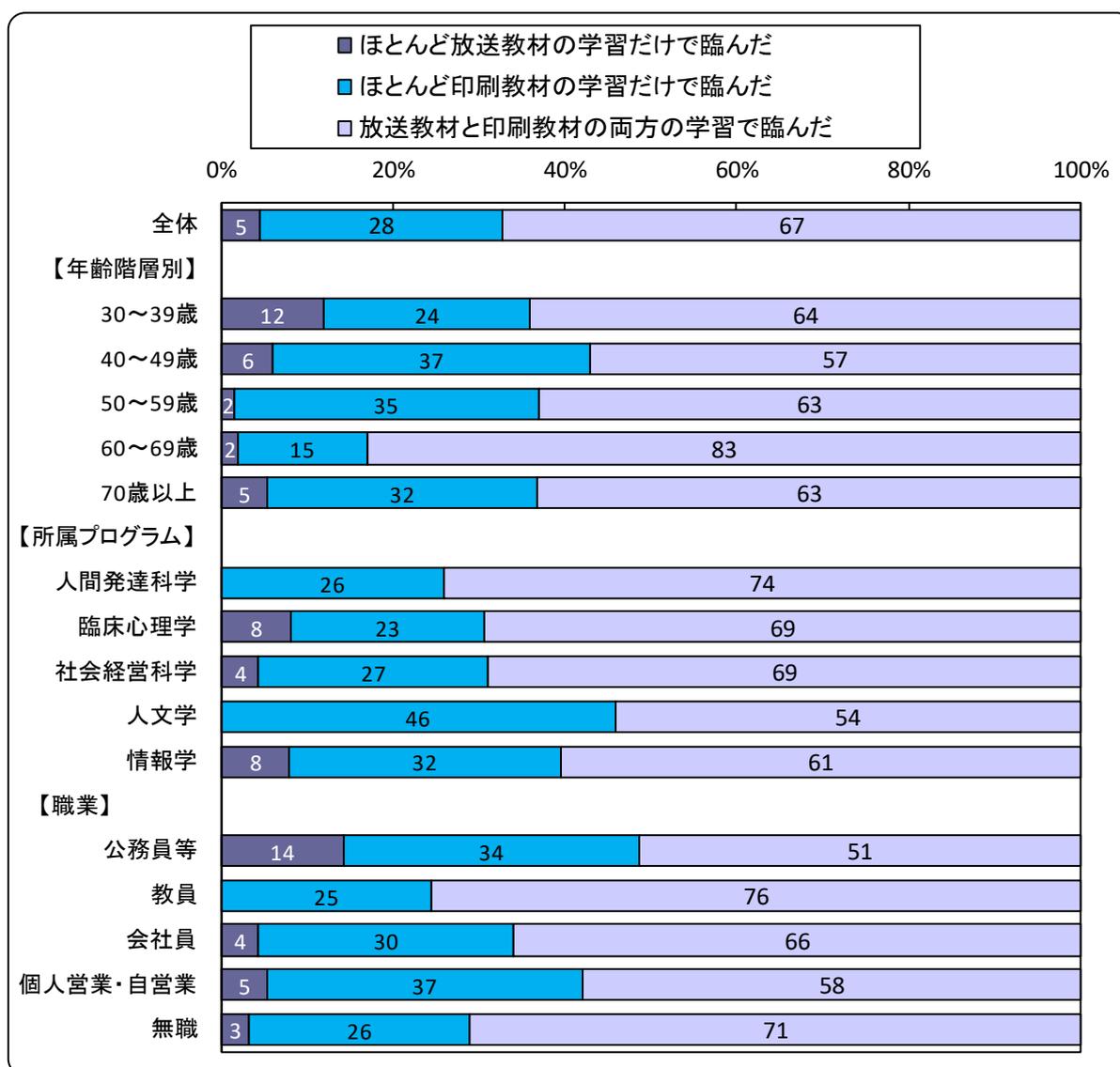
年齢階層別では、60歳代は、「放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ」が83%と、全体に比べ比率が高かった。

所属プログラム別では、「人文学」は「印刷教材の学習だけ」（46%）と「両方の学習で臨んだ」（54%）に大きな差はなく、ほぼ拮抗している。

「公務員等」は、「両方の学習で臨んだ」が51%と、他の職業と比べ最も低かった。

「個人営業・自営業」は、「印刷教材の学習だけ」が37%で、他の職業に比べ最も高かった。

図2-57 【大学院】単位認定のための学習方法



Ⅱ－２－３．大学院の授業評価

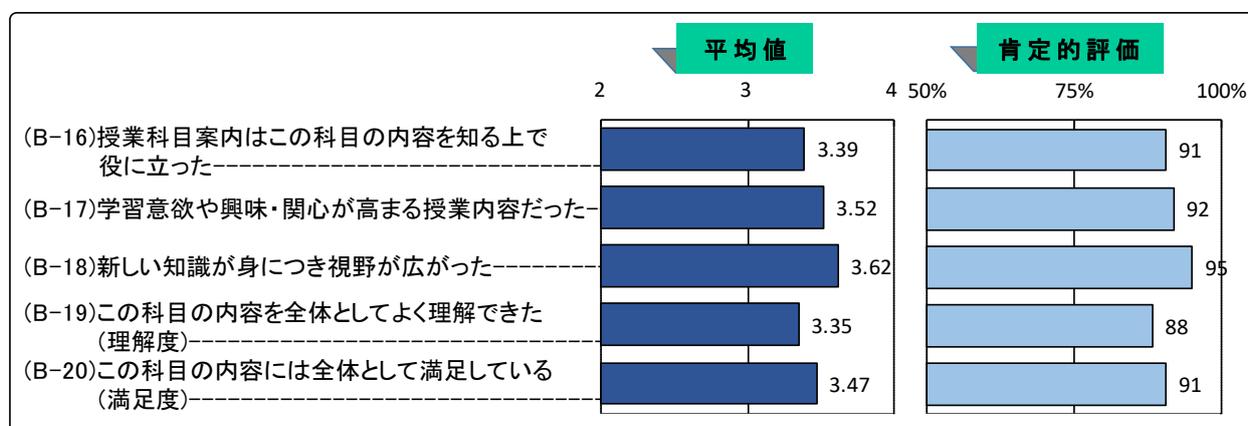
(1) 全体評価

ここからは大学院の授業評価について、評価項目ごとに見ていくことにする。

全体評価の項目では（図 2－58）、(B-18)「新しい知識が身につく視野が広がった」(95%) が最も高く評価されていた。

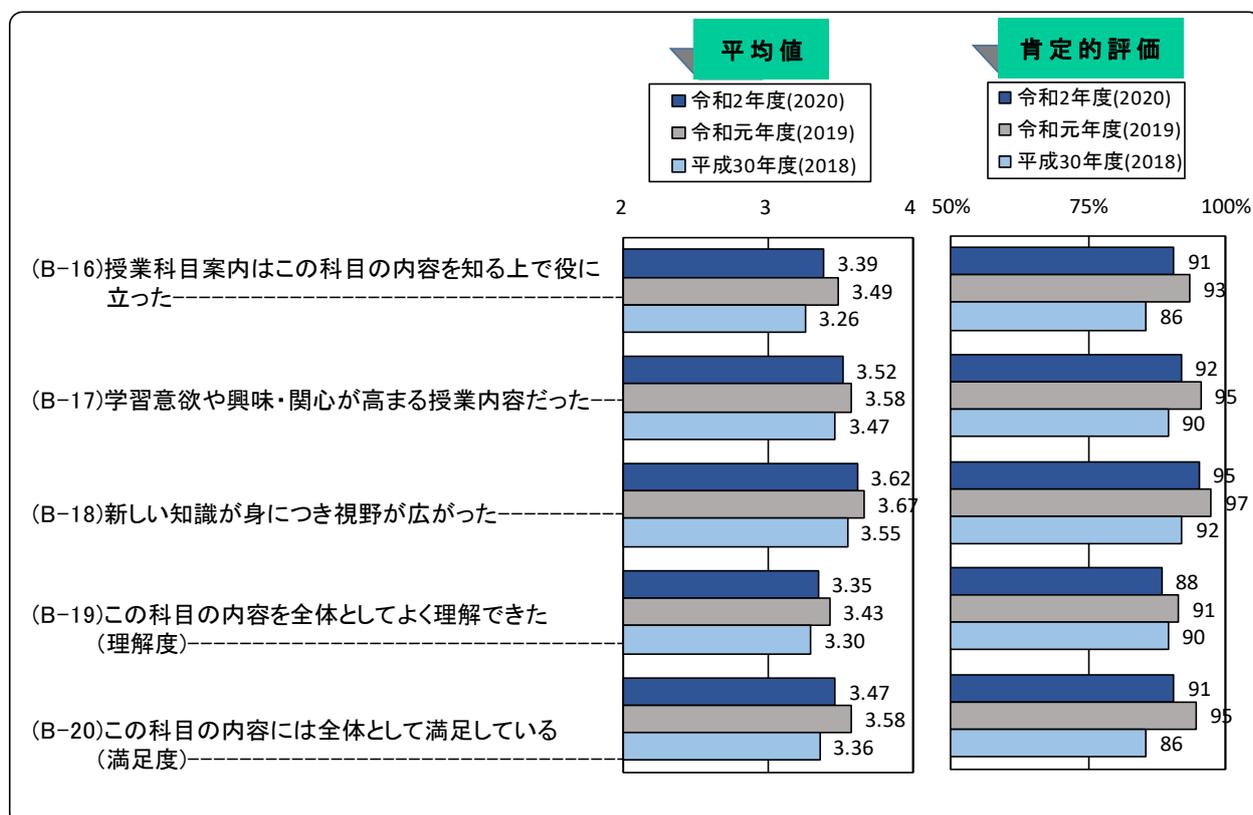
反対に (B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」は 88%と、最も低く、それ以外の項目については 91～92%であった。

図 2－58 【大学院】回答者全体の全体評価



全体評価を時系列で見ると（図2-59）、昨年度と比べ全ての項目で下降傾向が見られ、特に(B-20)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」の評価の落ち込みが大きかった。

図2-59 【大学院】回答者全体の全体評価（時系列）

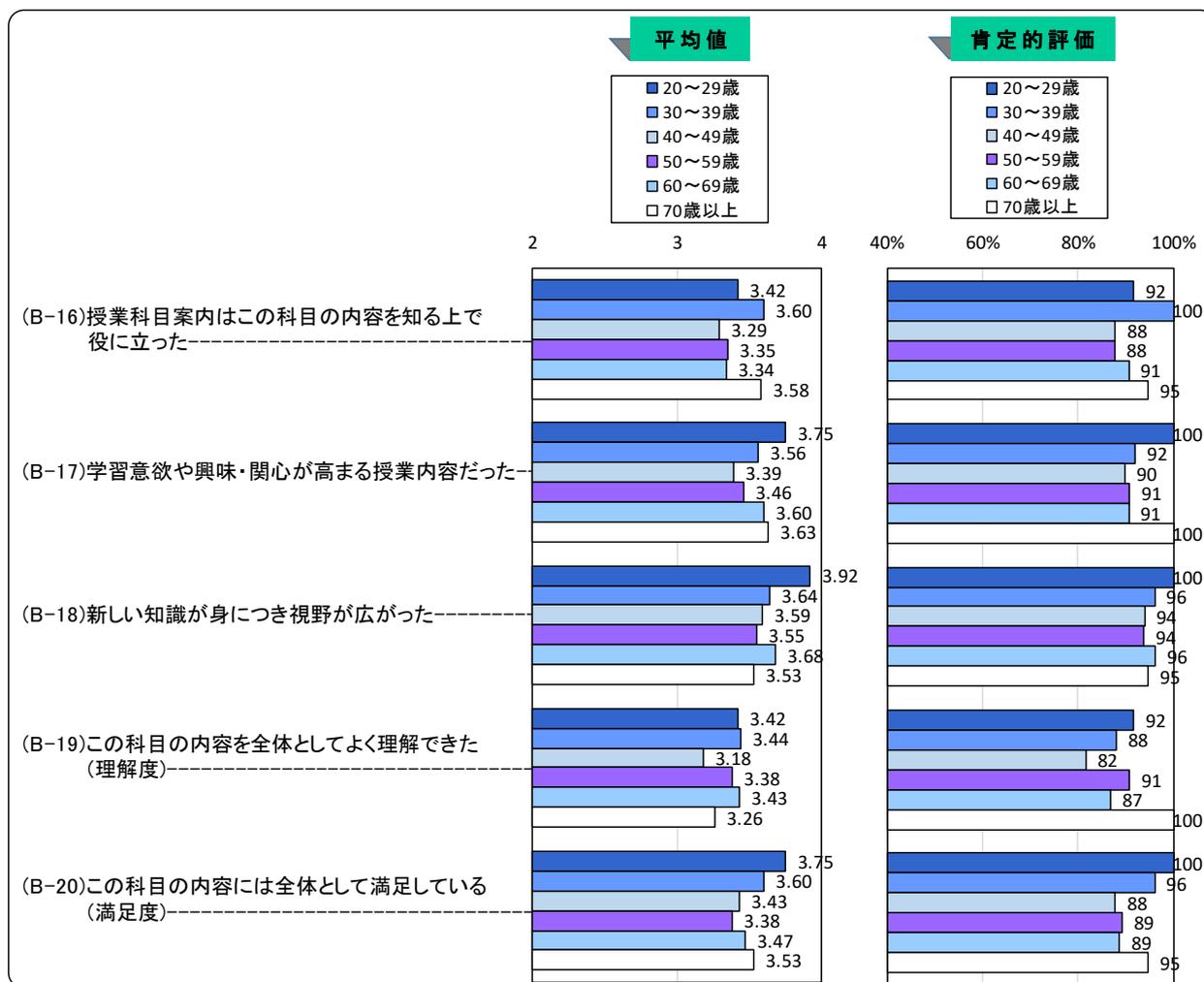


年齢階層別では（図2-60）、(B-16)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」については、30歳代が100%と、最も高く、(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」と(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」は、70歳以上が共に100%と、最も高かった。

(B-20)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」は30歳代と70歳以上が95%を超え、他の年代より高かった。

※「20～29歳」は回答者数が12人と少人数である為、コメントを差し控えた。

図2-60【大学院】年齢階層別の全体評価



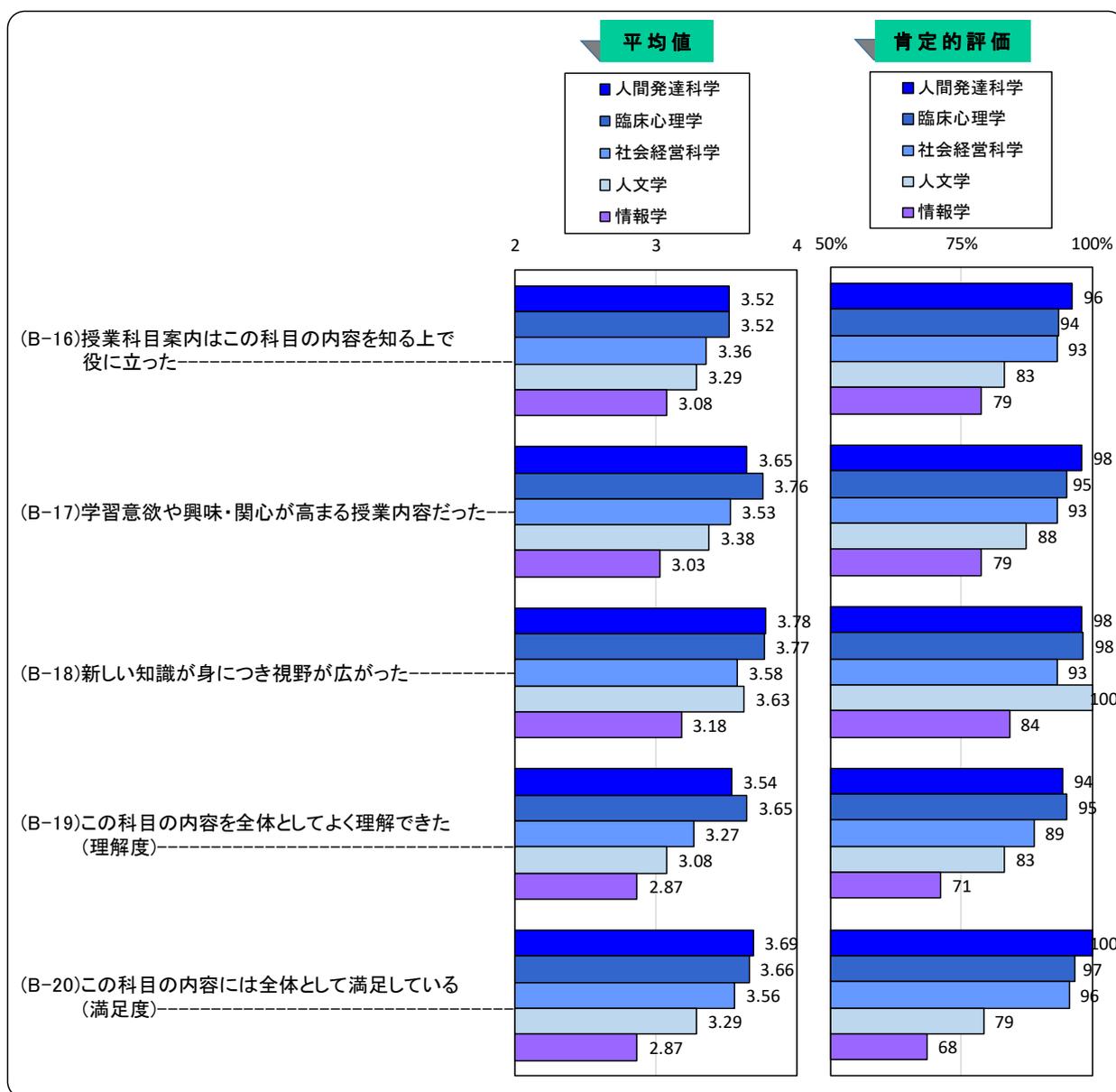
所属プログラム別に全体評価を見ると（図2-61）、(B-16)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」と(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」及び(B-20)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」では「人間発達科学」が最も評価が高く、特に(B-20)は100%と、非常に高かった。

(B-18)「新しい知識が身につく視野が広がった」では、「人文学」が100%で、「人間発達科学」と「臨床心理学」も共に98%と、評価が高かった。

(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」では、「人間発達科学」と「臨床心理学」が他のプログラムに比べ高い評価であった。

反対に「情報学」は全ての項目で最も低い評価で、目立つ特徴が現れていた。

図2-61【大学院】所属プログラム別の全体評価

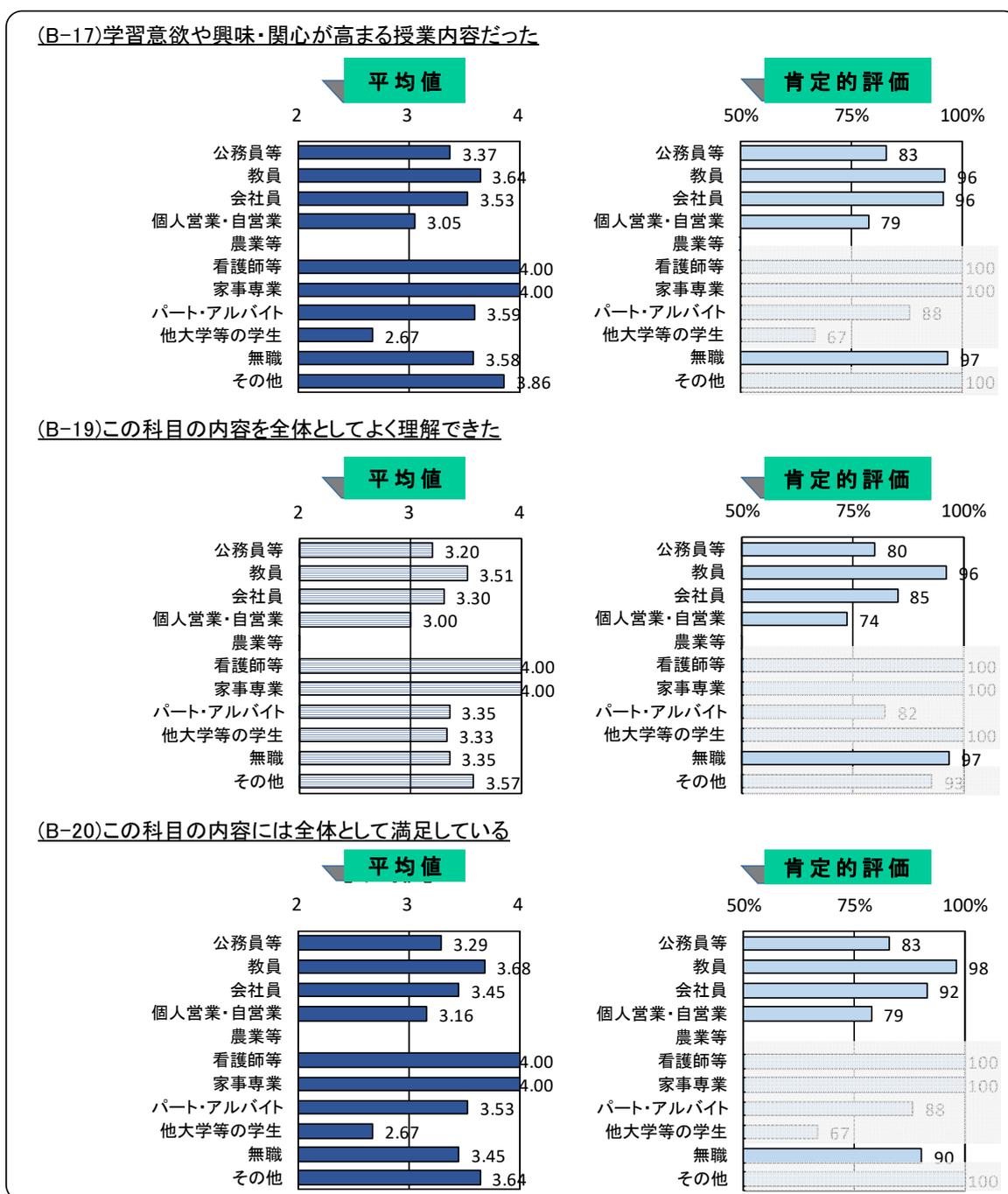


職業別（図2-62）では、(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」は、96%以上の「教員」「会社員」「無職」の評価の高いグループと、高くても83%以下の「公務員等」「個人営業・自営業」に二分されていた。

(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」では、「教員」(96%)と「無職」(97%)の評価が高く、「個人営業・自営業」は74%と、8割に達していなかった。

(B-20)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」では、「教員」の評価が非常に高く98%、「個人営業・自営業」が79%で、「満足度」の評価に大きな差が見られた。

図2-62【大学院】職業別の全体評価

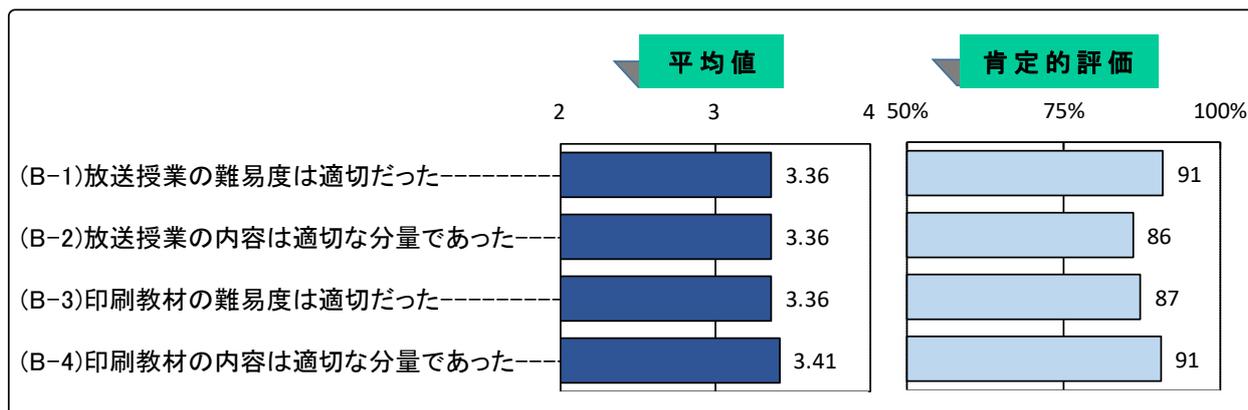


(2) 授業の難易度・分量

次に授業の難易度・分量について評価項目ごとに見ていく。

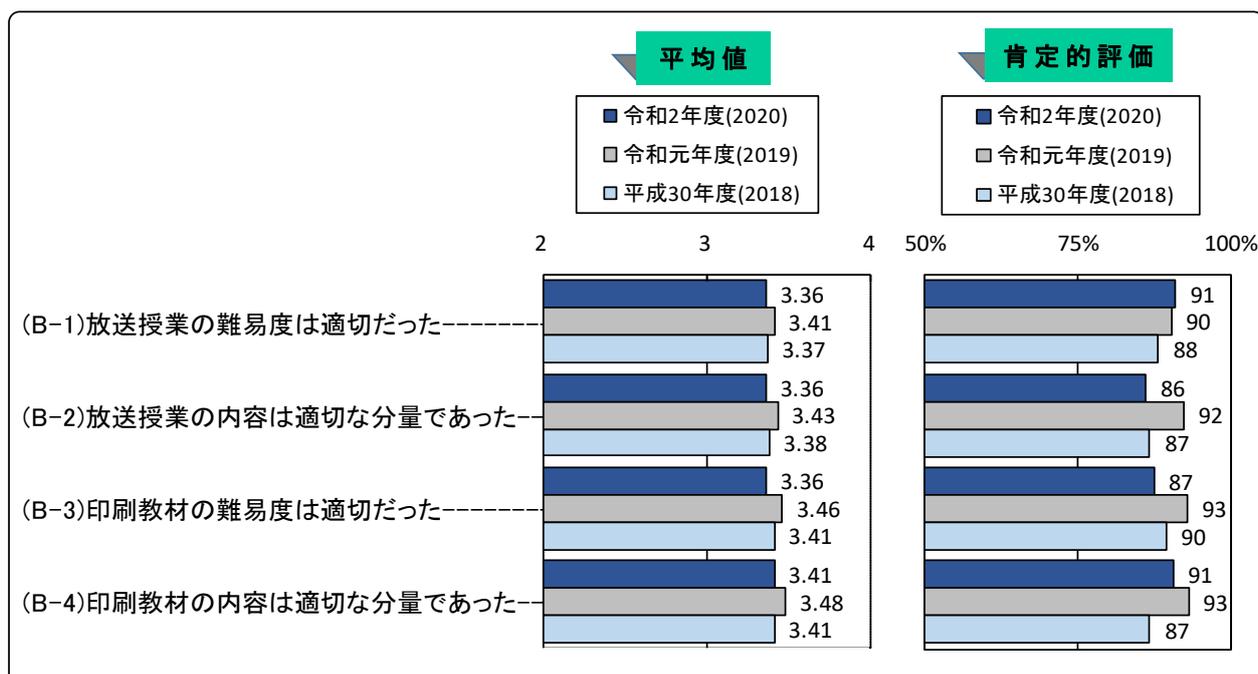
授業の難易度・分量の評価は(図2-63)は、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」と(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」が91%と、高い評価であった。

図2-63【大学院】回答者全体の授業難易度・分量の評価



開設年度別では(図2-64)、本年度と昨年度を比較すると、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」と(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」は、昨年度と同水準であったが、残る(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」と(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」は共に6ポイントの減少で下降幅は大きかった。

図2-64【大学院】回答者全体の授業難易度・分量の評価(開設年度比較)



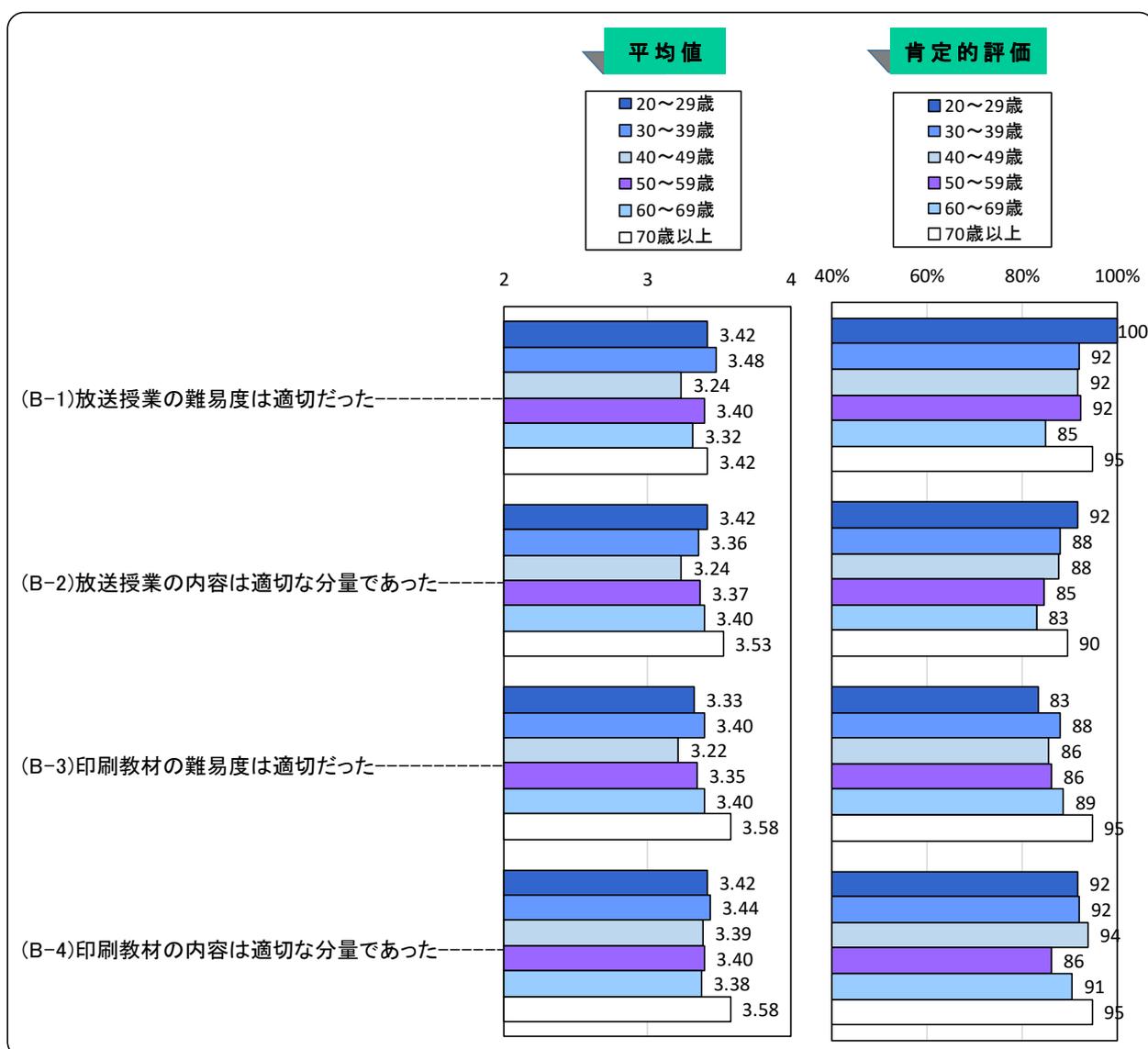
年齢階層別に授業の難易度・分量を見ると（図2-65）、下記4項目全てで70歳以上は評価が最も高く、いずれも90%以上であった。

反対に評価が低かったのは、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」と(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」では60歳代で、評価の最も高かった70歳以上と比べ7ポイント以上、下回っていた。

(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」では、50歳代の評価が低く、70歳以上と比べ9ポイント下回っていた。

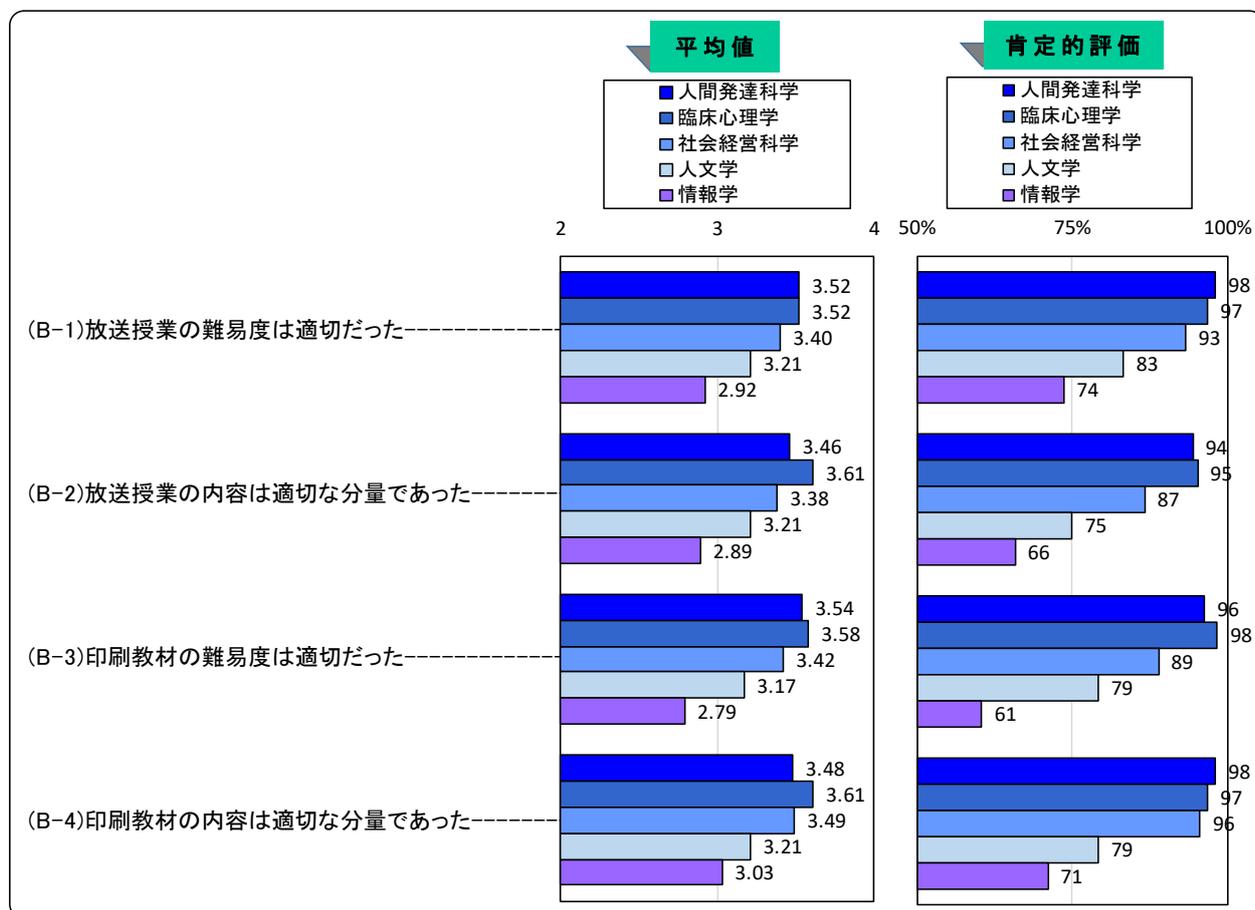
※「20～29歳」は回答者数が12人と少数である為、コメントを差し控えた。

図2-65 【大学院】年齢階層別の授業難易度・分量の評価



所属プログラム別に授業の難易度・分量を見ると（図2-66）、下記の4項目全てで同じ様な傾向が見られ、「人間発達科学」と「臨床心理学」は最も評価が高く94%～98%であったのに対し、「情報学」は高くても74%に留まり、特に(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」では、61%と極端な低評価であった。

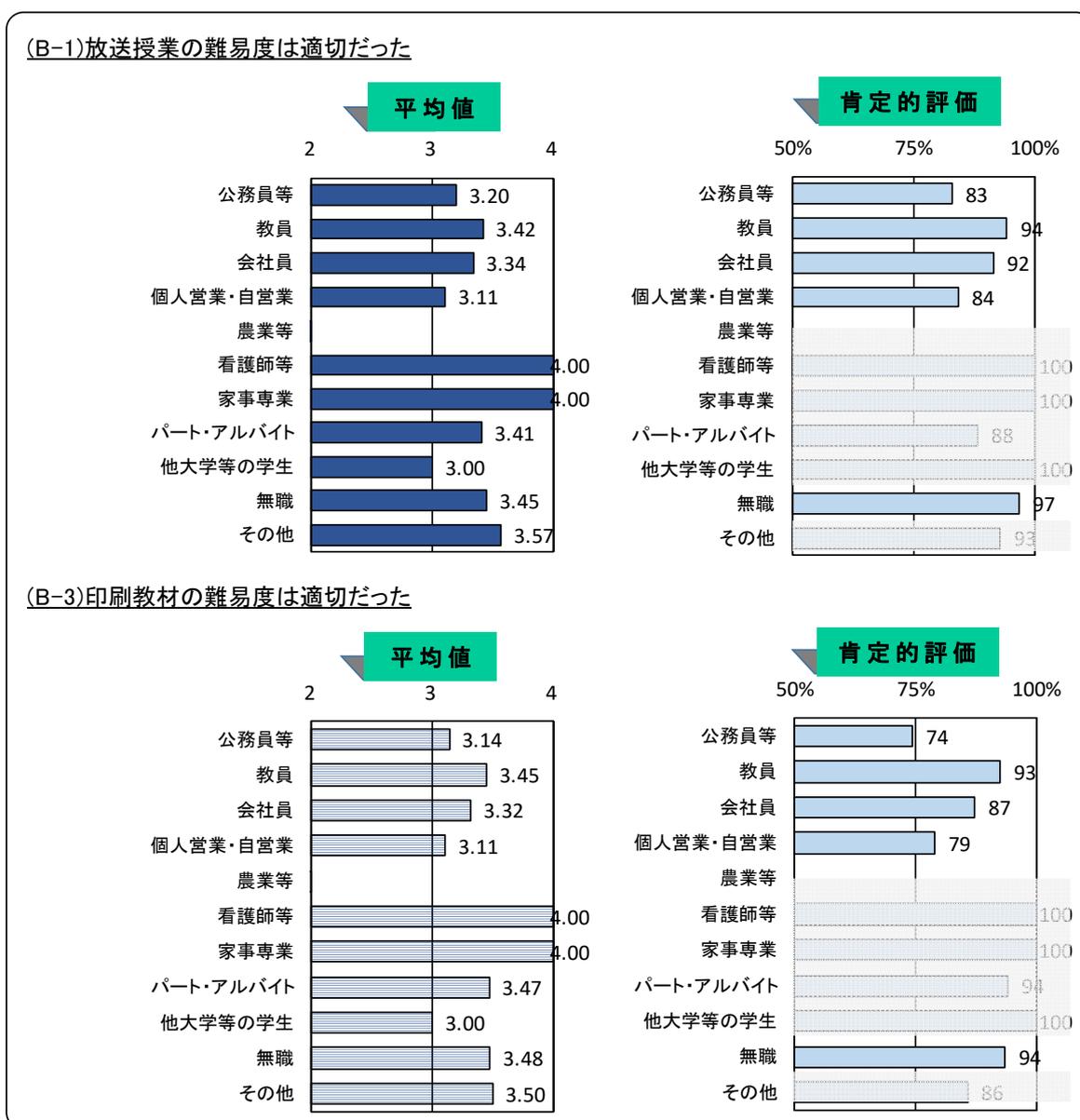
図2-66 【大学院】所属プログラム別の授業難易度・分量の評価



職業別に授業の難易度を見ると（図2-67）、下記の2項目で高い評価であったのは「教員」と「無職」で、93～97%に達していた。

反対に、下記2項目で最も評価が低かったのは「公務員等」で、(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」では、その評価が74%と非常に低かった。

図2-67【大学院】職業別の授業難易度の評価

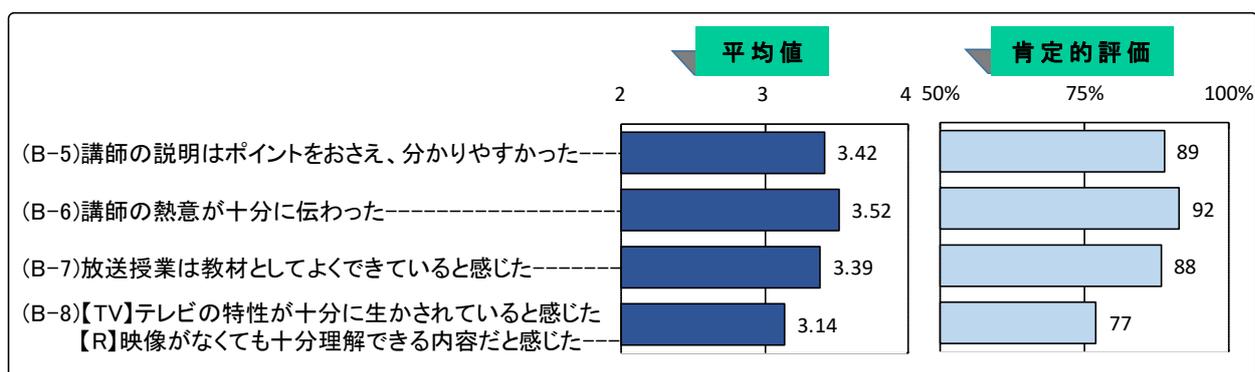


(3) 放送授業

ここからは放送授業について評価項目ごとに見ていく。

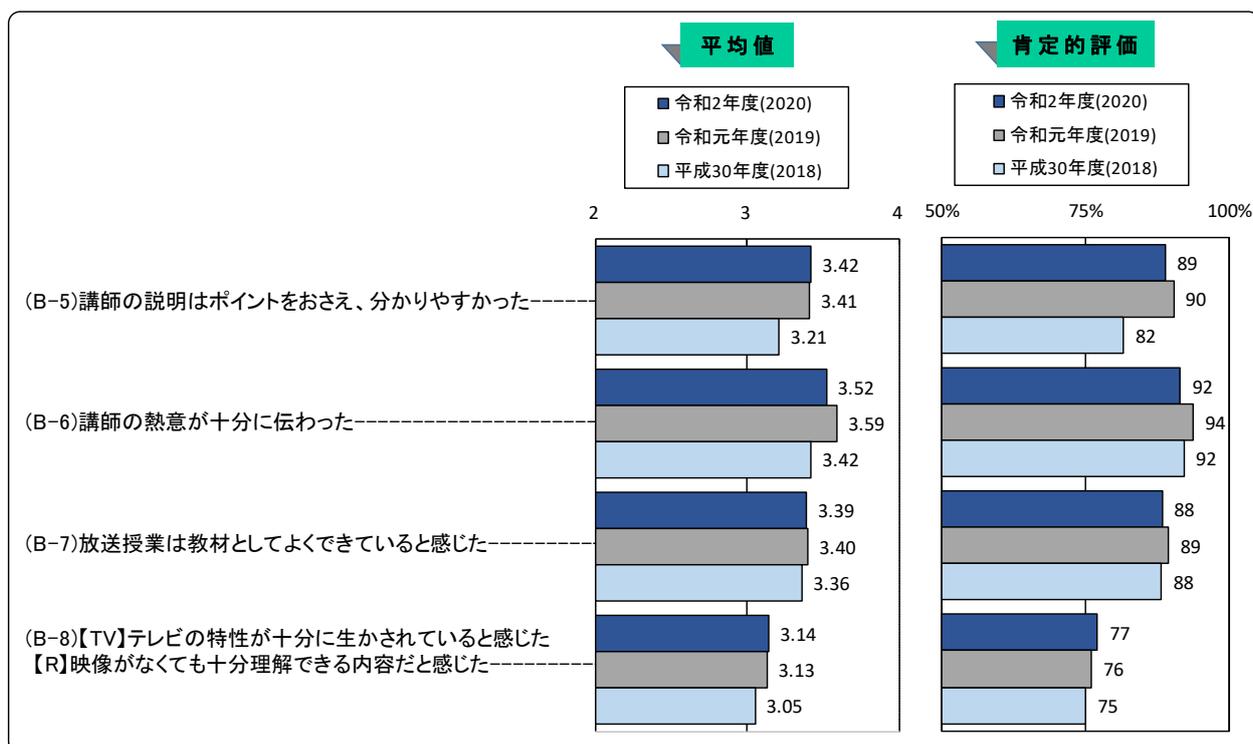
放送授業に関する評価項目を見ると(図2-68)、(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」が92%と最も高く、(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に活かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」は77%と、極めて評価が低かった。

図2-68 【大学院】回答者全体の放送授業の評価



放送授業の評価を時系列で見ると(図2-69)、下記4項目全てで、本年度と昨年度は同水準で、ほとんど変わりはない。

図2-69 【大学院】回答者全体の放送授業の評価(時系列)



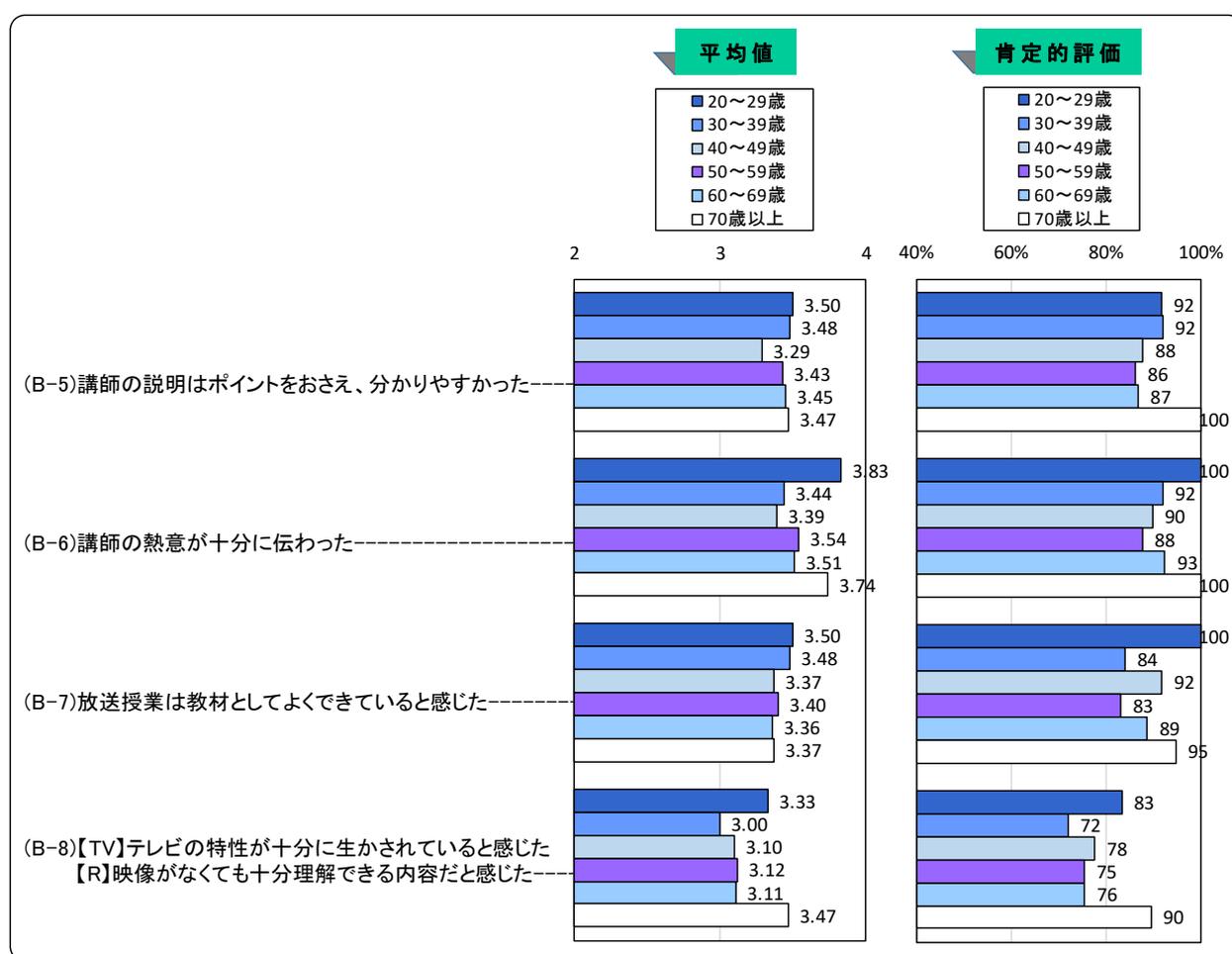
年齢階層別では（図2-70）、下記の全項目で70歳以上の評価が最も高く、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」と(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」では、100%に達していた。

反対に評価が低かったのは、(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」と(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」では、50歳代で、最も評価の高い70歳以上からそれぞれ12ポイントのマイナスであった。

同様に(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」では、30歳代の評価が最も低く、70歳以上から18ポイントの大幅減であった。

※「70歳以上」は回答者数が19人と少人数であることを、留意されたい。

図2-70【大学院】年齢階層別の放送授業の評価



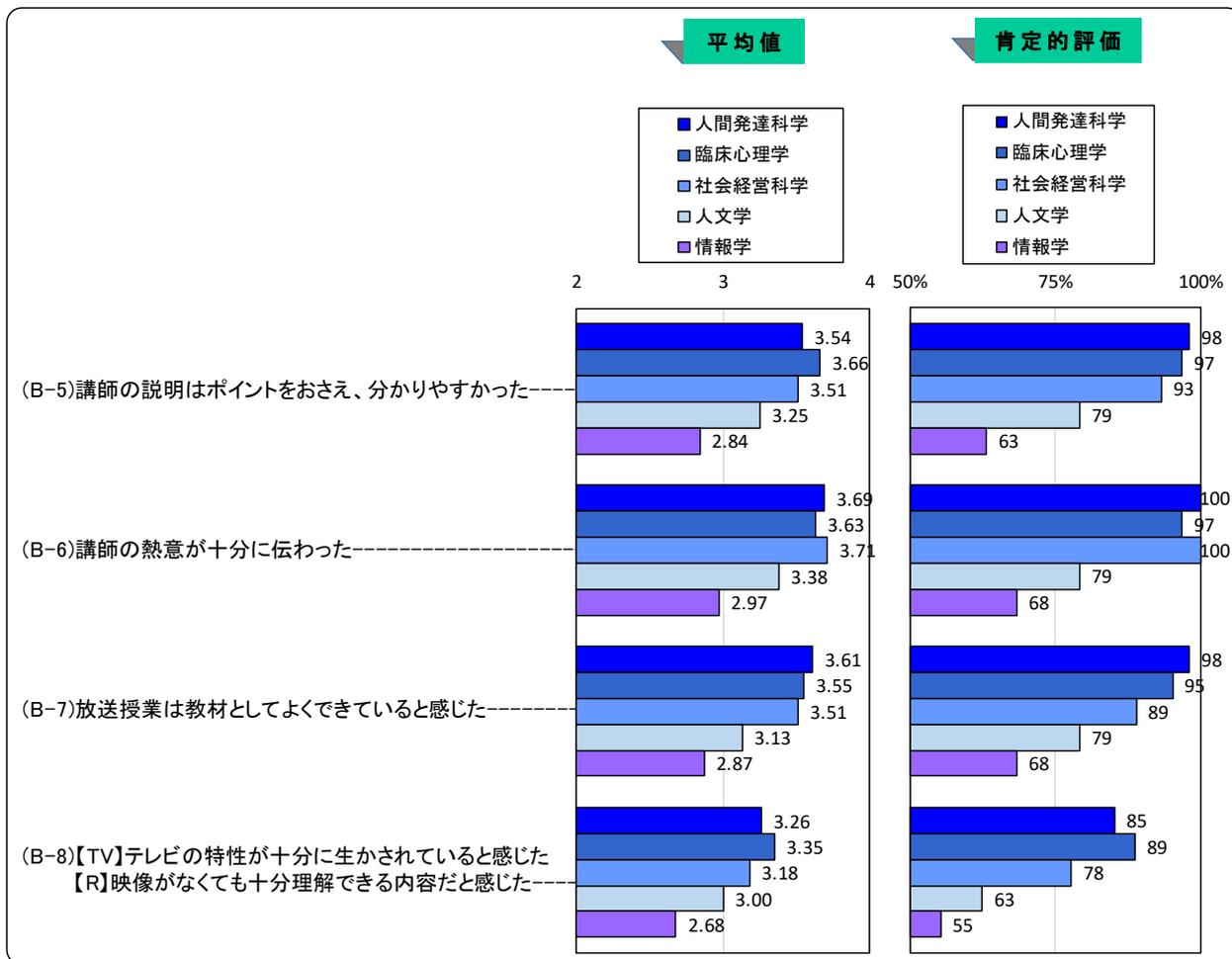
所属プログラム別では（図 2-71）、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」と(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は、「人間発達科学」と「臨床心理学」の評価が高かった。

(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」では、「人間発達科学」と「社会経営科学」が高く、共に 100%と、際立っていた。

(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に活かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」は、「臨床心理学」が高く、89%に達していた。

反対に、「情報学」が全ての項目で評価が極端に低く、特に(B-8)では、55%の肯定的評価に留まり、「情報学」履修者の放送授業に対する評価に、特徴的な傾向が見られた。

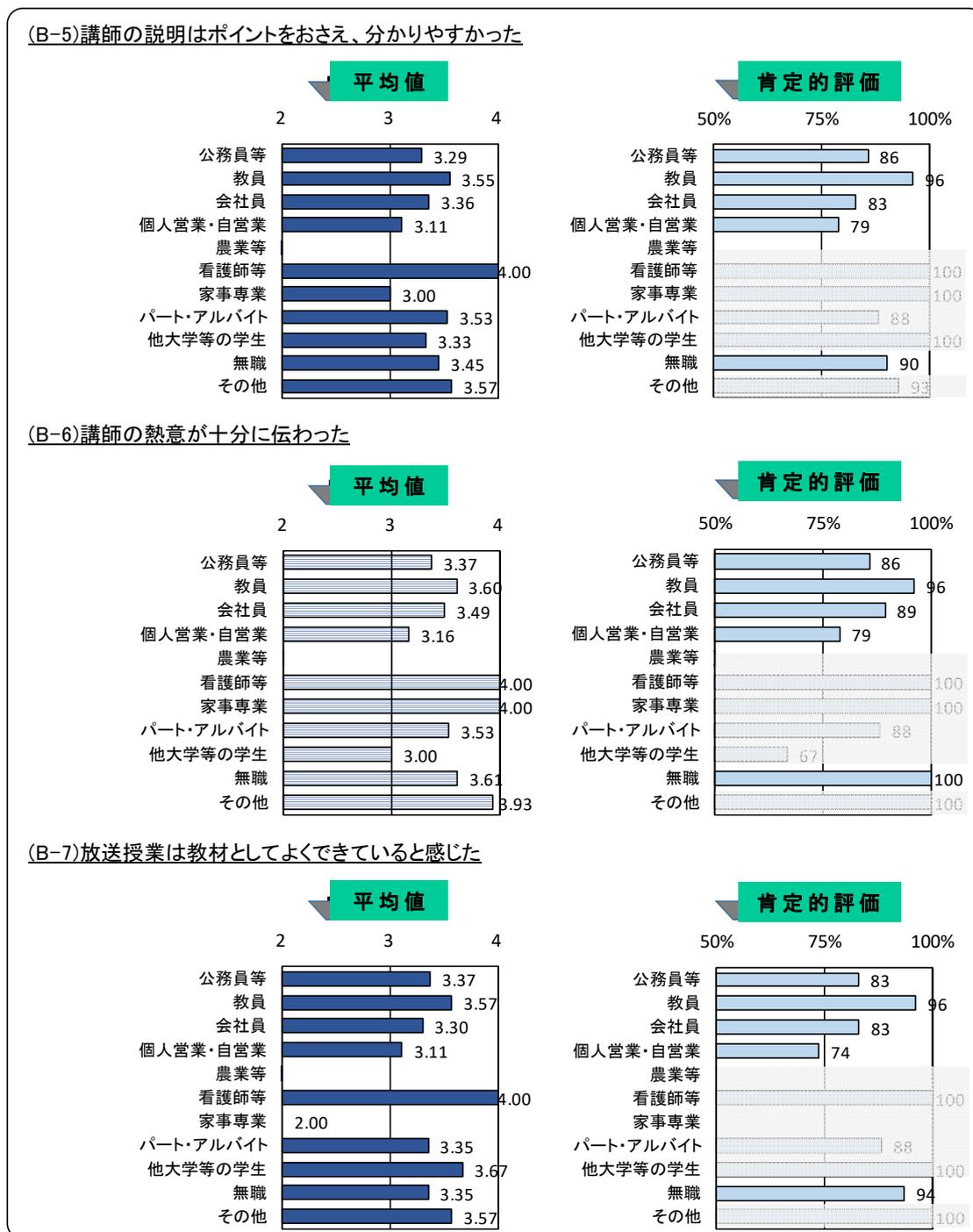
図 2-71 【大学院】所属プログラム別の放送授業の評価



職業別では（図2-72）、下記3項目で共通していたのは、「教員」と「無職」の評価が上位1、2位を占め、他の職業よりも際立っていた。

反対に「個人営業・自営業」は、他の職業と比べ評価が非常に低く、特徴的な傾向を示していた。

図2-72【大学院】職業別の放送授業の評価

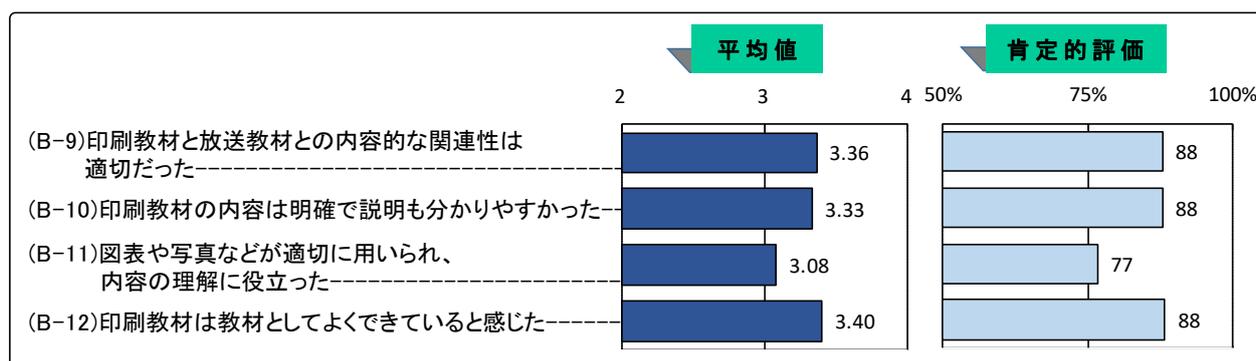


(4) 印刷教材

ここからは印刷教材について、評価項目ごとに見ていく。

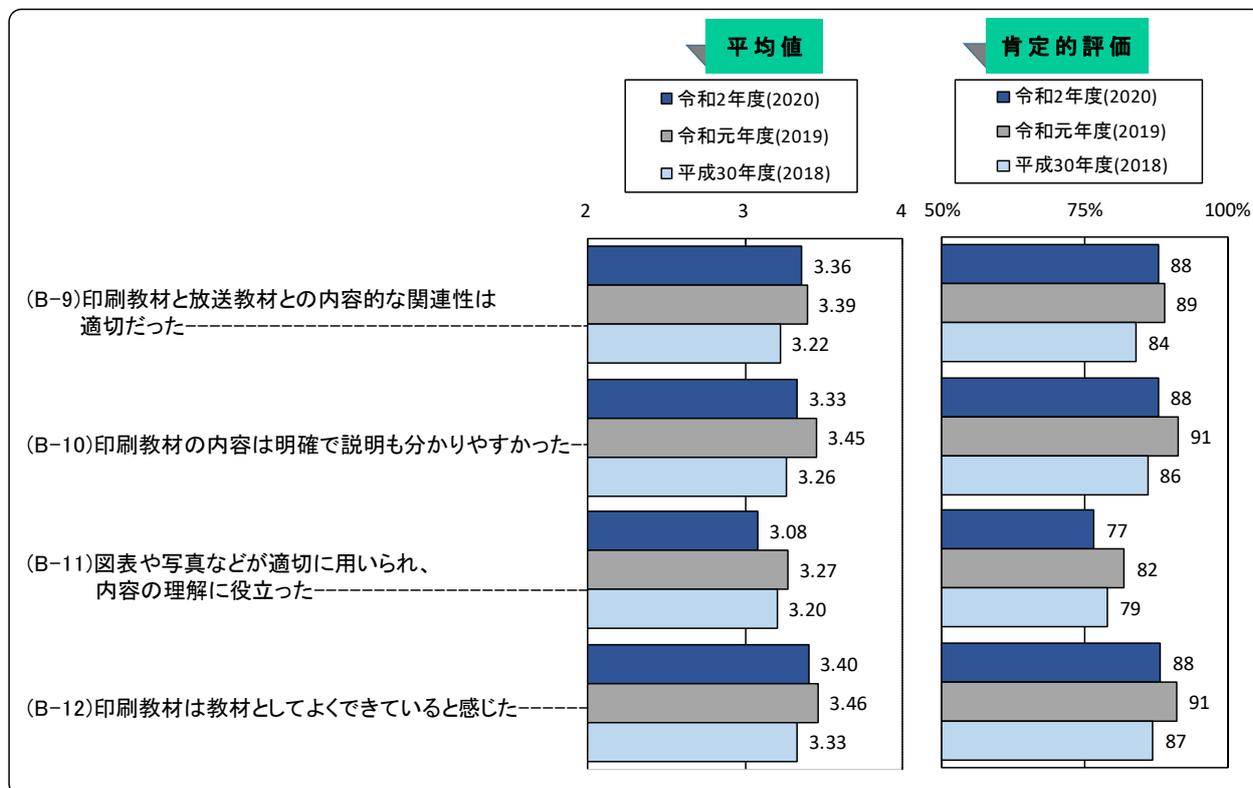
印刷教材の評価項目では（図2-73）、(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」を除く全ての項目で、88%と高い評価であったが、(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」は、77%と目立って低かった。

図2-73 【大学院】回答者全体の印刷教材の評価



印刷教材の評価を時系列で見ると（図2-74）、以下の4項目では、本年度は昨年度と比べ(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」が5ポイントの減少で、他の項目と比べると減少幅が目立った。

図2-74 【大学院】回答者全体の印刷教材の評価（時系列）



年齢階層別の評価（図 2 - 7 5）は、(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」では、30 歳代と 70 歳以上の評価が 95%以上に達していたが、40 歳代と 50 歳代の評価は、上位グループから 10 ポイント減と、低い評価であった。

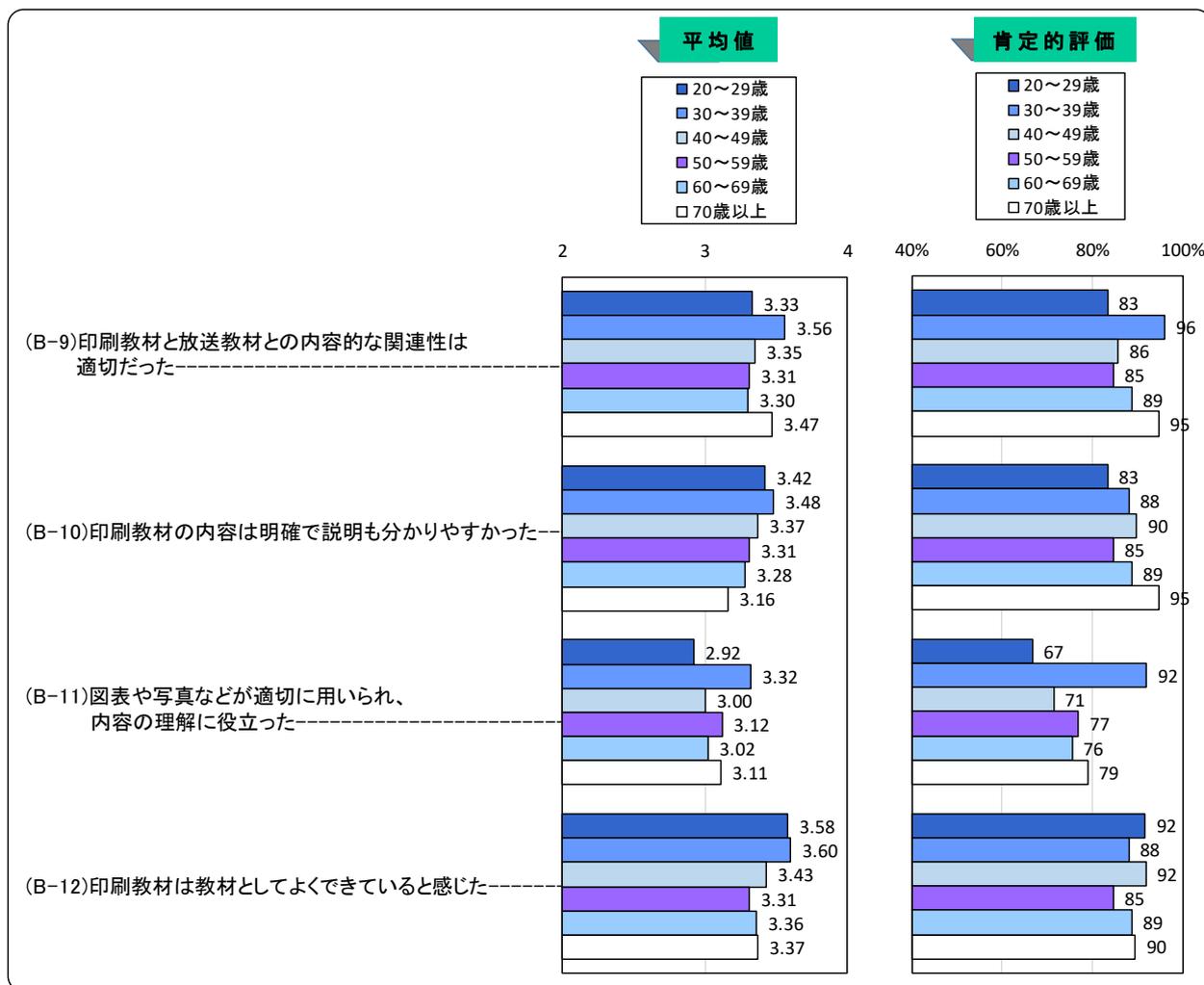
(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」では、70 歳以上の評価が 95%と、高かったのに対し、50 歳代は、そこから 10 ポイントのマイナスと、評価が低かった。

(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」は、30 歳代が 92%と、他の年代と比べ、突出していた。

(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は、40 歳代が 92%と最も高く、反対に 50 歳代が 85%と最も低かった。

※「20～29 歳」は回答者数が 12 人と少人数である為、コメントを差し控えた。

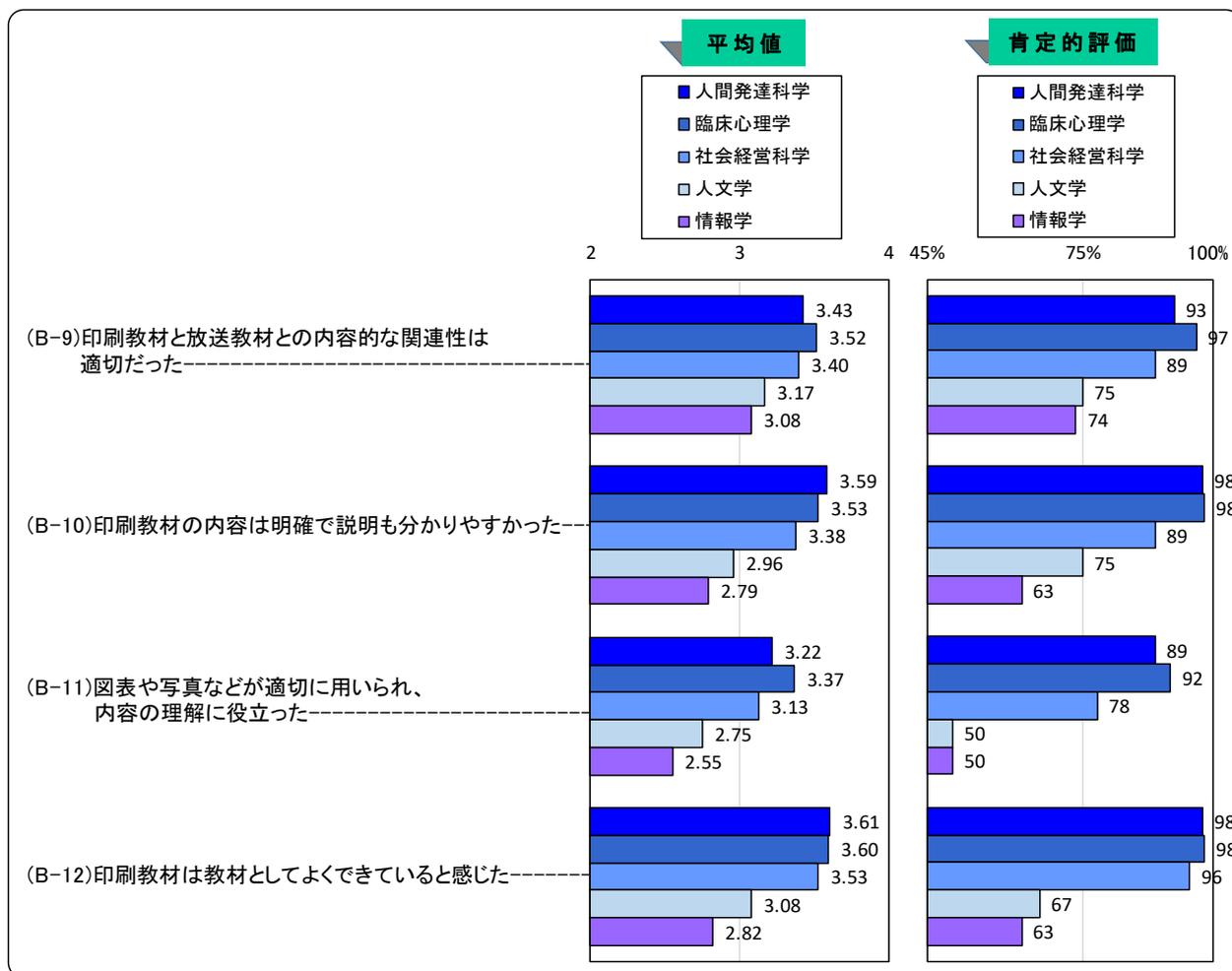
図 2 - 7 5 【大学院】年齢階層別の印刷教材の評価



所属プログラム別の評価を見ると（図2-76）、「人間発達科学」と「臨床心理学」は下記の全ての項目で、上位1,2位を占め、高い評価をしていた。

反対に「人文学」と「情報学」は全項目で評価が低く、特に(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」では、共に肯定的評価をしたのは50%に過ぎず、極めて低い評価であった。

図2-76 【大学院】所属プログラム別の印刷教材の評価

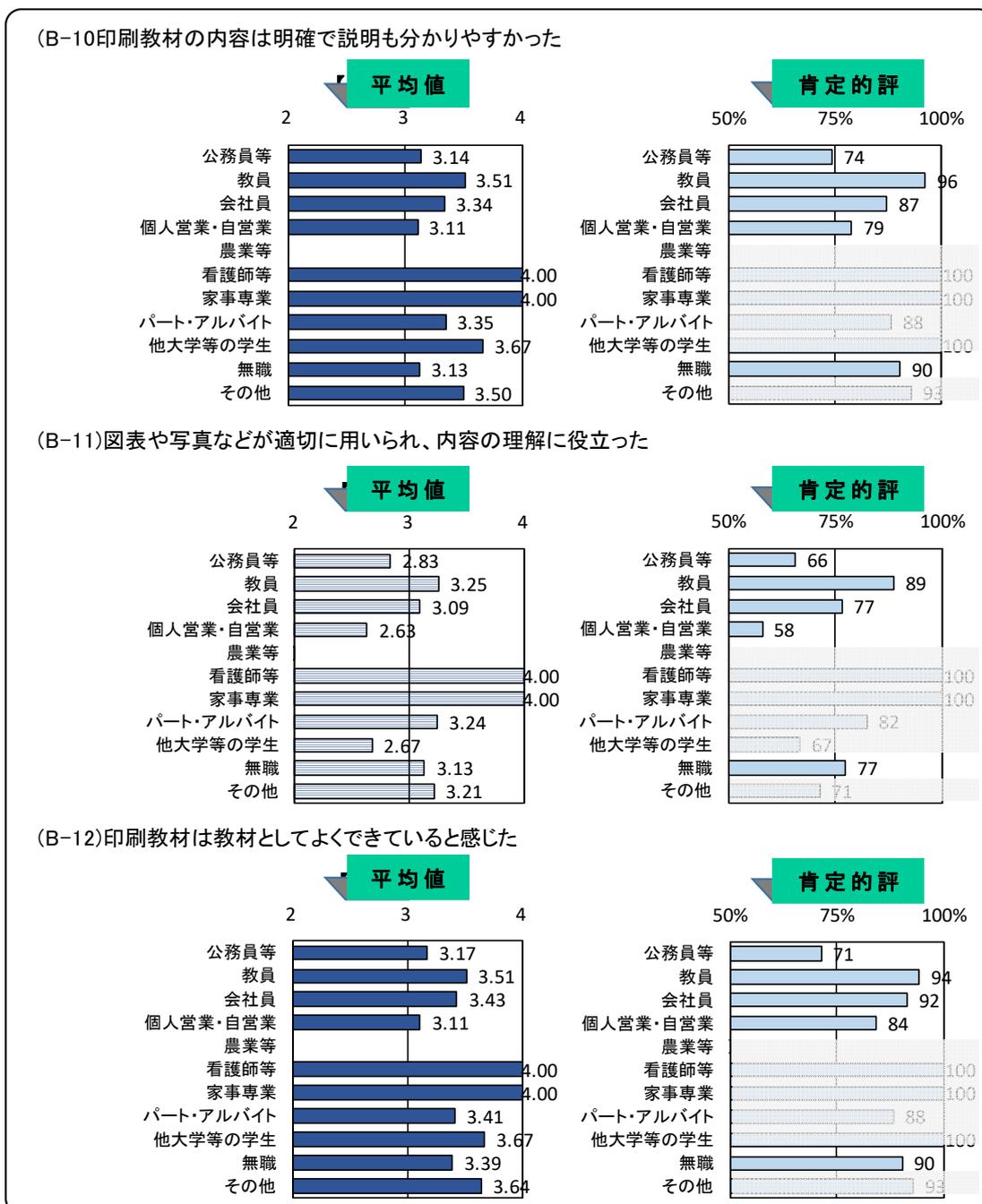


職業別では（図2-77）、下記の項目全てで「教員」の評価が最も高かった。

反対に評価が低かったのは、(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」と(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」では、「公務員等」であった。

(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」では、「個人営業・自営業」で、その評価は58%と極めて低かった。

図2-77【大学院】職業別の印刷教材の評価

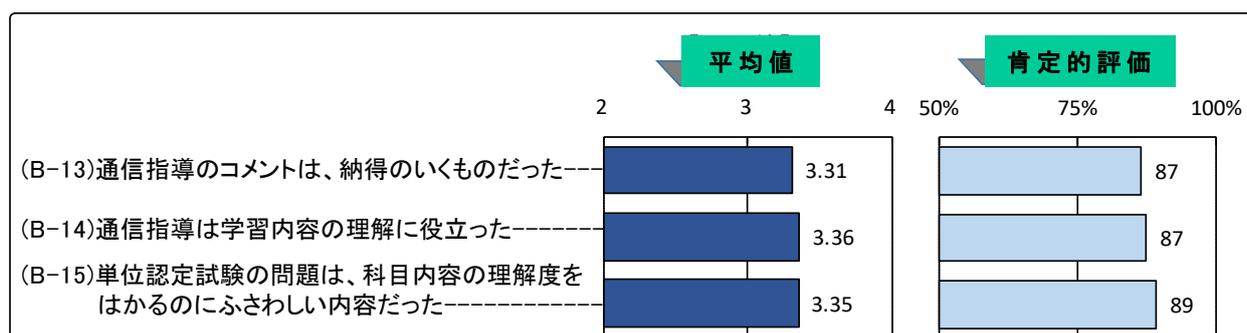


(5) 通信指導・単位認定試験

最後に通信指導・単位認定試験の評価について項目ごとに見ていくことにする。

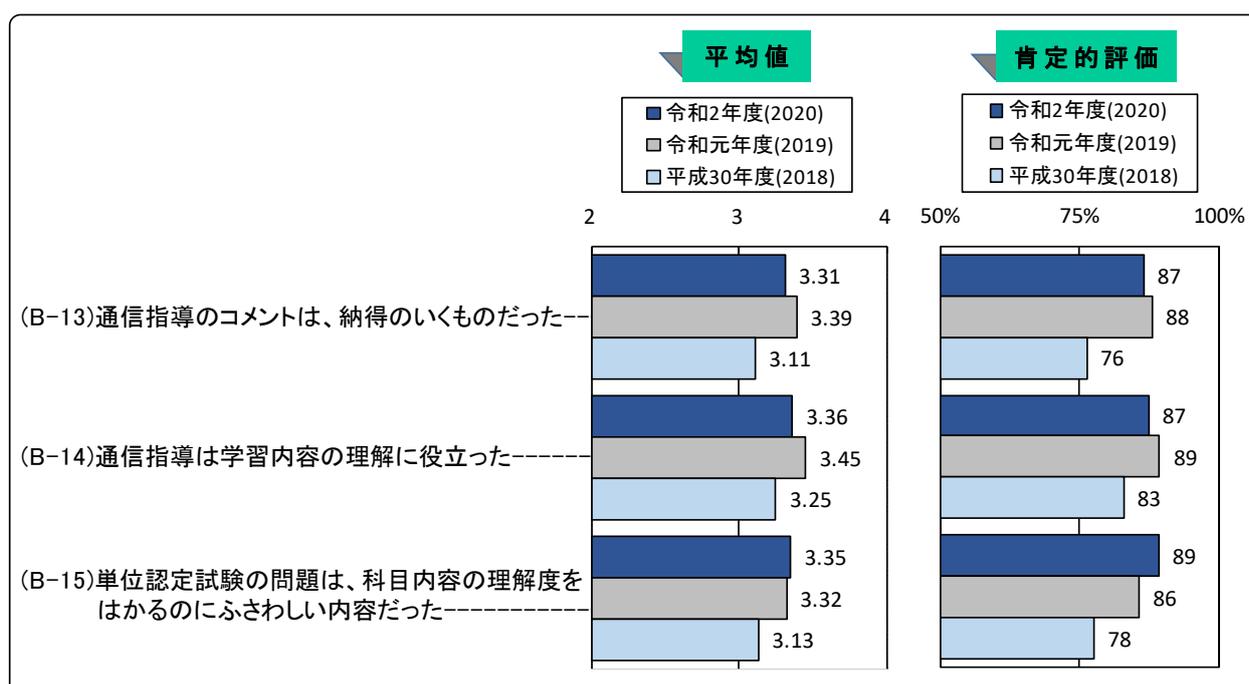
(図2-78)の通信指導については、(B-13)「通信指導のコメントは、納得のいくものだったのでは」と(B-14)「通信指導は学習内容の理解に役立った」は共に87%、(B-15)「単位認定試験の問題は、科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった」は89%と、前項目より僅かに高かった。

図2-78 【大学院】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価



通信指導・単位認定試験の評価を時系列で見ると(図2-79)、昨年度と比べ、(B-13)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」と(B-14)「通信指導は学習内容の理解に役立った」は1~2ポイントの減少であったが、(B-15)「単位認定試験の問題は科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった」は+3ポイントと僅かに上昇していた。

図2-79 【大学院】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価(時系列)



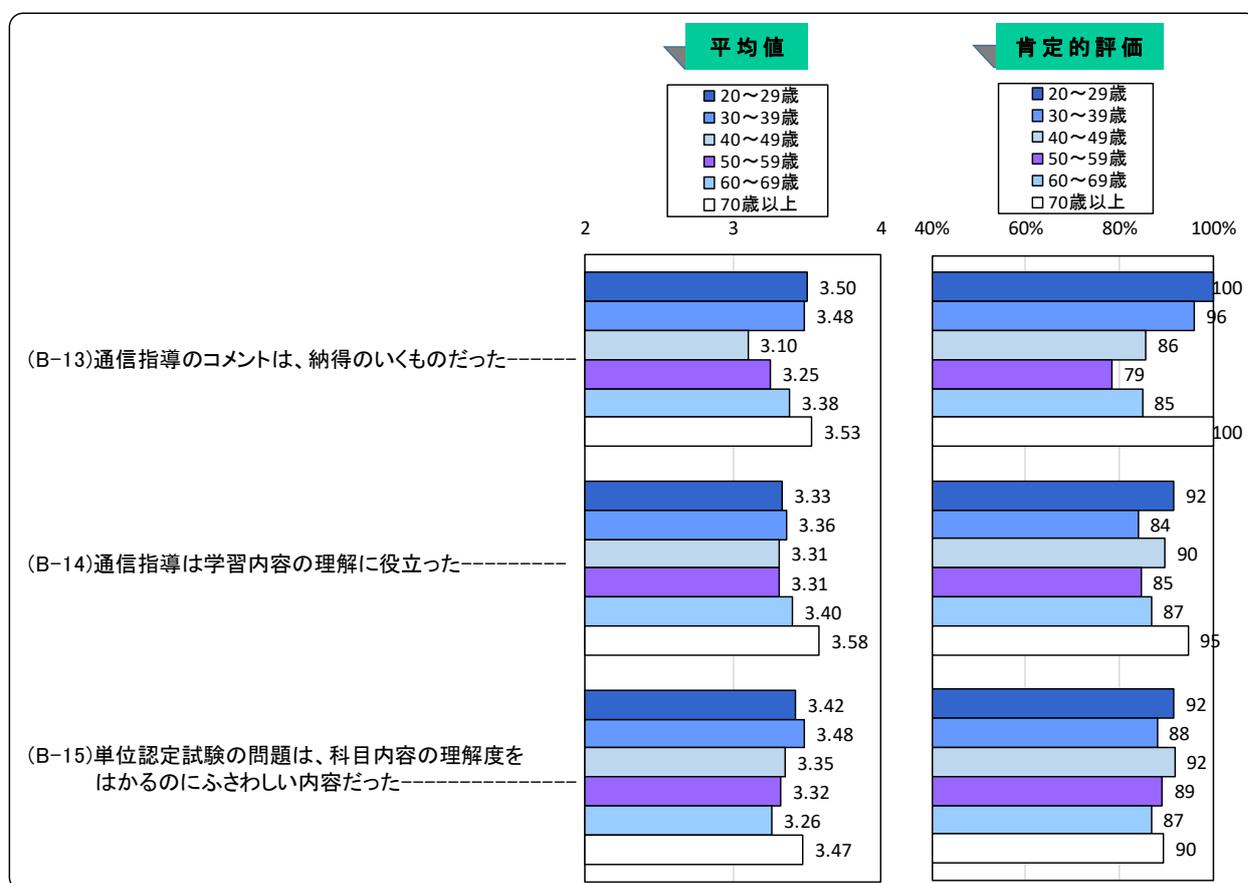
年齢階層別の評価（図 2 - 8 0）では、(B-13)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」は 70 歳以上が 100%と、最高の評価であったのに対し、50 歳代が 79%と、目立って評価が低かった。

(B-14)「通信指導は学習内容の理解に役立った」では、やはり 70 歳以上の評価が 95%と高く、反対に 30 歳代と 50 歳代が 84~85%と、低い評価であった。

(B-15)「単位認定試験の問題は科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった」は 40 歳代が 92%と、高い評価であった。

※「20~29 歳」は回答者数が 12 人と少人数である為、コメントを差し控えた。

図 2 - 8 0 【大学院】年齢階層別の通信指導・単位認定試験の評価



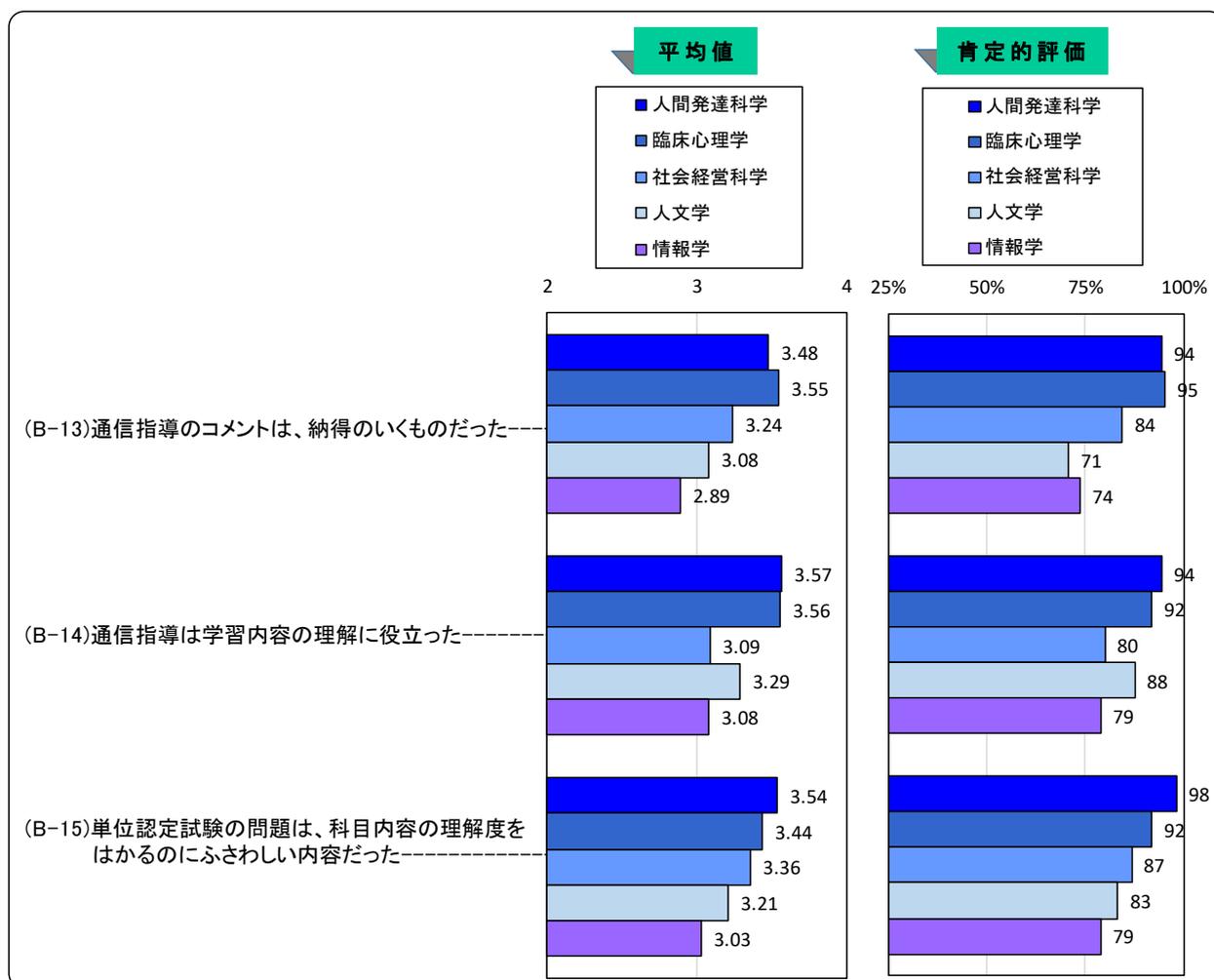
所属プログラム別では（図2-81）、(B-13)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」と (B-14)「通信指導は学習内容の理解に役立った」は、「人間発達科学」と「臨床心理学」の評価が92～95%と高かった。

(B-15)「単位認定試験の問題は科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」は、「人間発達科学」が98%と、極めて高かった。

反対に評価が低かったのは、(B-13)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」では、「人文学」(71%)と「情報学」(74%)、(B-14)「通信指導は学習内容の理解に役立った」では、「社会経営科学」(80%)と「情報学」(79%)であった。

また、(B-15)「単位認定試験の問題は科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」では、「情報学」が79%と、最も低い評価であった。

図2-81 【大学院】所属プログラム別の通信指導・単位認定試験の評価

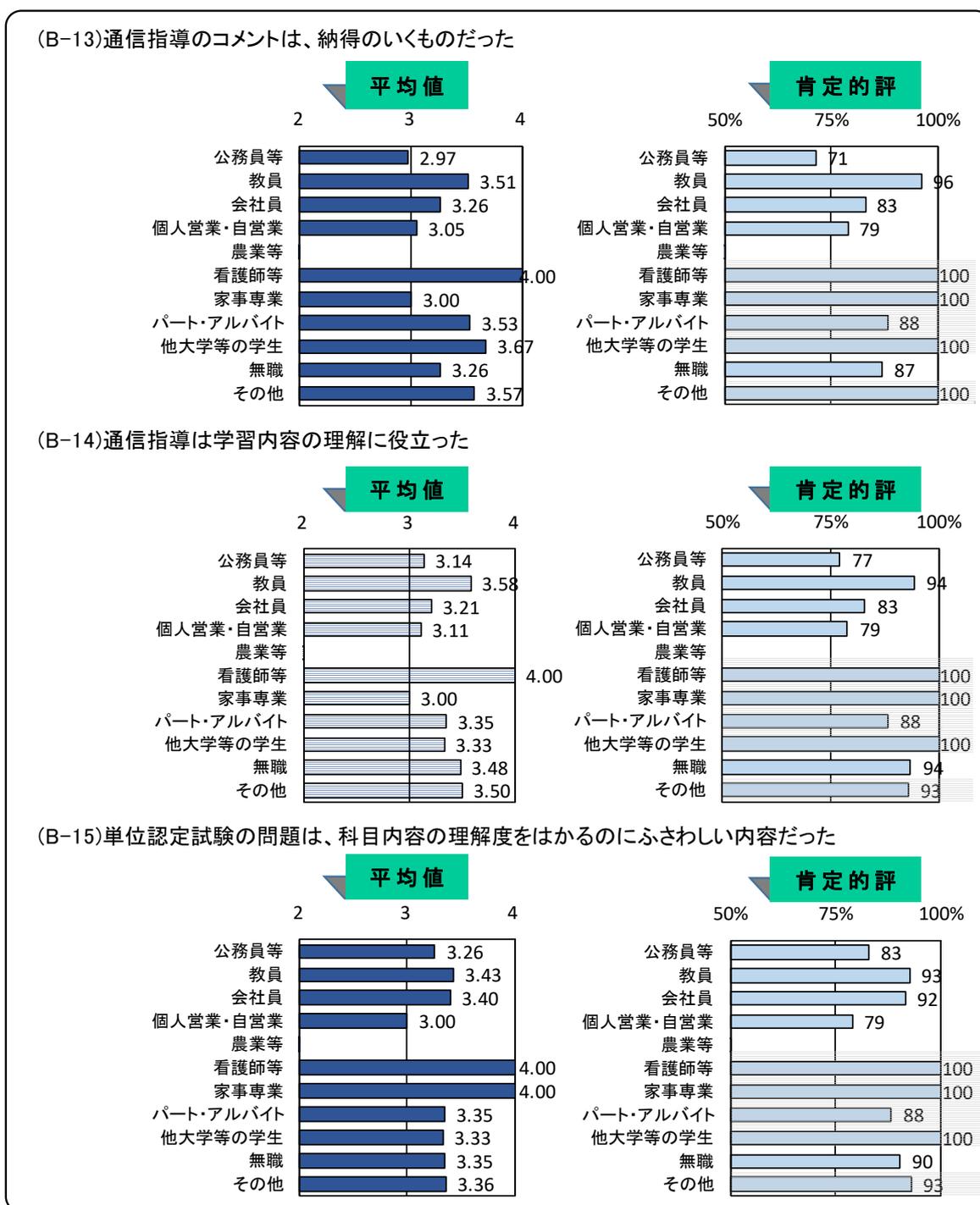


職業別では（図2-82）、(B-13)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」と(B-14)「通信指導は学習内容の理解に役立った」は、「教員」の評価が95%前後で高く、「公務員等」が70%代で低かった。

(B-14)「通信指導は学習内容の理解に役立った」では、無職の評価も94%と、高かった。

(B-15)「単位認定試験の問題は科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」では、「教員」と「会社員」が90%を超え高く、反対に「個人営業・自営業」の評価が79%に過ぎなかった。

図2-82【大学院】職業別の通信指導・単位認定試験の評価



Ⅱ－２－４．大学院の重回帰分析

大学院でも学部同様、重回帰分析を試みた。

その重回帰分析とは、数量データである目的変数と説明変数の関係を調べ、重回帰式（モデル式）を導き出す解析手法である。

今回も、全体の満足度（B-20「この科目の内容には全体として満足している」）を目的変数とし、調査票 I.A「授業への取り組み姿勢」を除く B-1～B-19 の各項目を説明変数として分析を試みる。

本調査の選択肢はカテゴリーデータであるが、平均値の算出と同様『あてはまる→4』のように数値をポイント化する事で数量として扱い、重回帰分析を適用する。

最終的には「全体の満足度」に寄与する項目を明らかにすると共に、その影響力の強さを知る事を目的としている。

項目名	変数	対象
目的変数	y	全体の満足度 B-20
説明変数	x_1, x_2, \dots	各項目 B-1～B-19: 全 19 問(項目)
係数	a_1, a_2, \dots	重回帰分析によって得られる偏回帰係数

重回帰式 $y = a_0 + a_1x_1 + a_2x_2 + \dots + a_{19}x_{19}$ (説明変数が 19 個の場合)

サンプルサイズが十分でない場合や説明変数が多すぎると、全体の満足度を表すのに適した重回帰式を得られない事が経験的に分かっているため、重回帰分析の中で、説明変数間で強い相関関係がある場合、その一方の項目を自動的に削除する「変数減少法」を用いて解析を行う事にする。

使用するデータは質問項目 I.B の全設問を全て回答した 223 人のローデータを使用する。(一昨年度からオンライン利用によるアンケート形式に替わり、今回も全員が全設問を回答していた。)

■分析精度

自由度修正済み決定係数とは、得られた重回帰式が目的変数に対してどれだけ説明力(寄与度)があるかを示す指標で、「1」に近いほど良い結果で、この分析では 0.841 であった。

ダーヴィンワトソン比とは、残差同士の系列相関(自己相関)を示す指標で、0～4 までの値を示し、1 以下や 3 以上だと残差(誤差)に規則性があり、解析自体、あるいはデータ自体に問題があり、「2」近辺の値ならよいとされ、その値は 1.803 となった。

以上の結果から、問題のない結果が得られた事が示されている。

◆分析精度

決定係数	0.841
自由度修正済み決定係数	0.837
ダーヴィンワトソン比	1.803
残差の標準偏差	0.304

今回の重回帰分析では下表の分散分析表が示すとおり、有意水準 0.01 の判定で、かなりの精度で式の当てはまりの良さが確認できた。

(有意水準とは危険率と同義で 0.01 の場合、判定を誤る確率が 1% である事を現している。)

◆分散分析表

変動	偏差平方和	自由度	不偏分散	分散比	p 値	判定
全体変動	125.561	222				
回帰による変動	105.638	6	17.606	190.884	0.000	[**]
回帰からの残差変動	19.923	216	0.092			

凡例	有意水準	凡例	有意水準
[**]	0.01	[*]	0.05

下表にある標準偏回帰係数とは説明変数の相互比較を可能にするためのもので、各説明変数の目的変数に対する影響力の度合いがこれで分かる。

標準偏回帰係数（全体の満足度に対する寄与度）が最も高かったのは、B-17「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」で 0.267、次いで B-12「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」(0.263)、他に B-18「新しい知識が身につく視野が広がった」(0.229)と続いていた。

説明変数の影響力の度合いを比較するために、表中の標準偏回帰係数の中で最も小さい B-6 (0.121) を基準に、他の項目がその何倍になるか算出してみた。(表中の右端の数値) その結果、高い順に B-17:2.2 倍、B-12:2.2 倍、B-18:1.9 倍となり、3 項目間に大きな違いは無かった。

今後の「全体の満足度」(肯定的評価 91%) を上げるためには、上位 3 項目(「B-17 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」・「B-12 印刷教材は教材としてよくできていると感じた」・「B-18 新しい知識が身につく視野が広がった」)の肯定的評価を上げる事に重点を置く施策が、効果的であると考えられる。

この 3 項目の肯定的評価について見てみると、B-17:92%、B-12:88%、B-18:95%で、それぞれの肯定的評価を上げる余地は残っていると思われる。

目的変数	標準偏回帰係数	説明変数	判定	B-6との対比
B-20.全体の満足度	0.267	B-17 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	[**]	2.2
	0.263	B-12 印刷教材は教材としてよくできていると感じた	[**]	2.2
	0.229	B-18 新しい知識が身につく視野が広がった	[**]	1.9
	0.131	B-7 放送授業は教材としてよくできていると感じた	[**]	1.1
	0.121	B-6 講師の熱意が十分に伝わった	[**]	1.0
		定数項	[**]	

※説明変数の中で有意水準が0.05以下の項目だけを掲載した

Ⅲ. 自由記述のまとめ

自由記述については、「受講してよかったと思う点」「受講して改善すべきだと感じた点」及び「本学の教育内容や教育方法などについてのご意見やご感想」の3問について伺った。その内「受講してよかったと思う点」と「受講して改善すべきだと感じた点」の2問について掲載した。

内容は、グラフと記述内容の抜粋、及び個々の記述内容を要約し、それぞれをカウントした、度数カウント表を掲載した。

グラフについては、自由記述の集計結果から、多く挙げられた項目とその項目の回答者全体の比率をグラフ化した。※回答者全体とは、所属する授業形態別。例)放送授業の学部など

Ⅲ-1. 学部（放送授業）

ここからは、全体（オンラインを除く）との比較で当該科目がどういう傾向にあったのかを見ていきたい。

※よかった点は放送授業では3%以上、オンライン授業では5%以上の項目を、改善すべき点は、両授業共、比率の高い上位5項目について掲載した。

【学部】「基盤科目（外国語）」の傾向

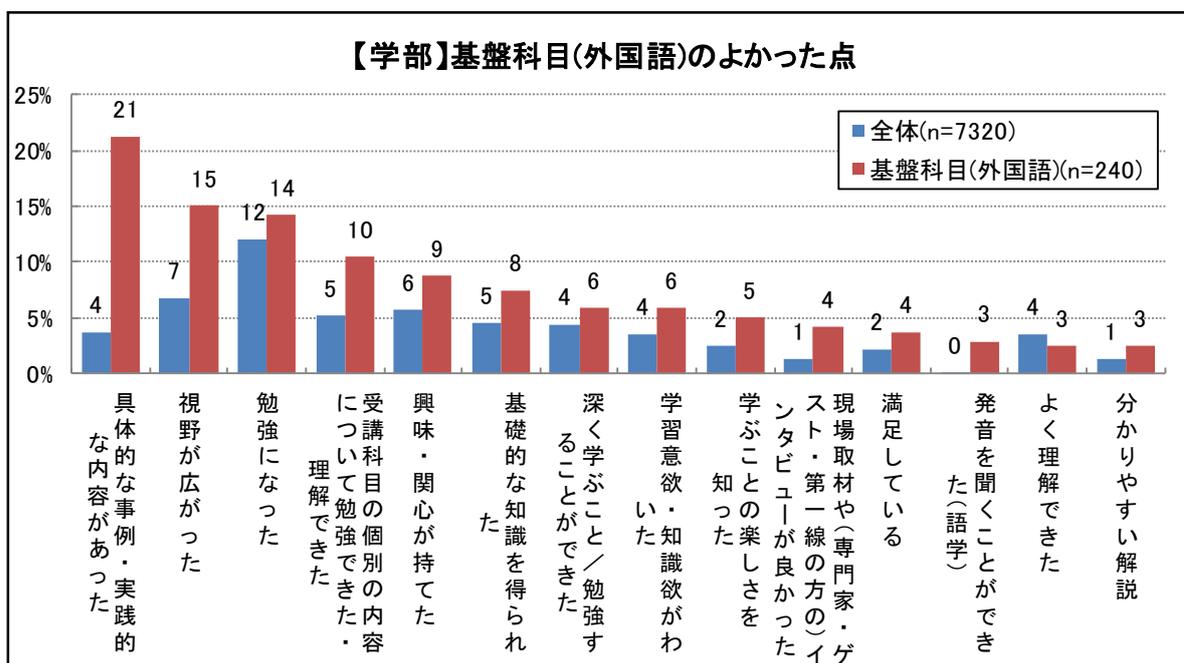
よかった点

「具体的な事例・実践的な内容があった」が21%と最も高く、全体が4%で、この意見が「基盤科目（外国語）」の特徴を現していると言えよう。

他に「視野が広がった」「勉強になった」が15%、14%と続き、この2項目も全体を上回っていた。

「受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた」「興味・関心が持てた」も10%前後挙げられていた。

図2-83 【学部】よかった点



【学部】「基盤科目（外国語）」の傾向

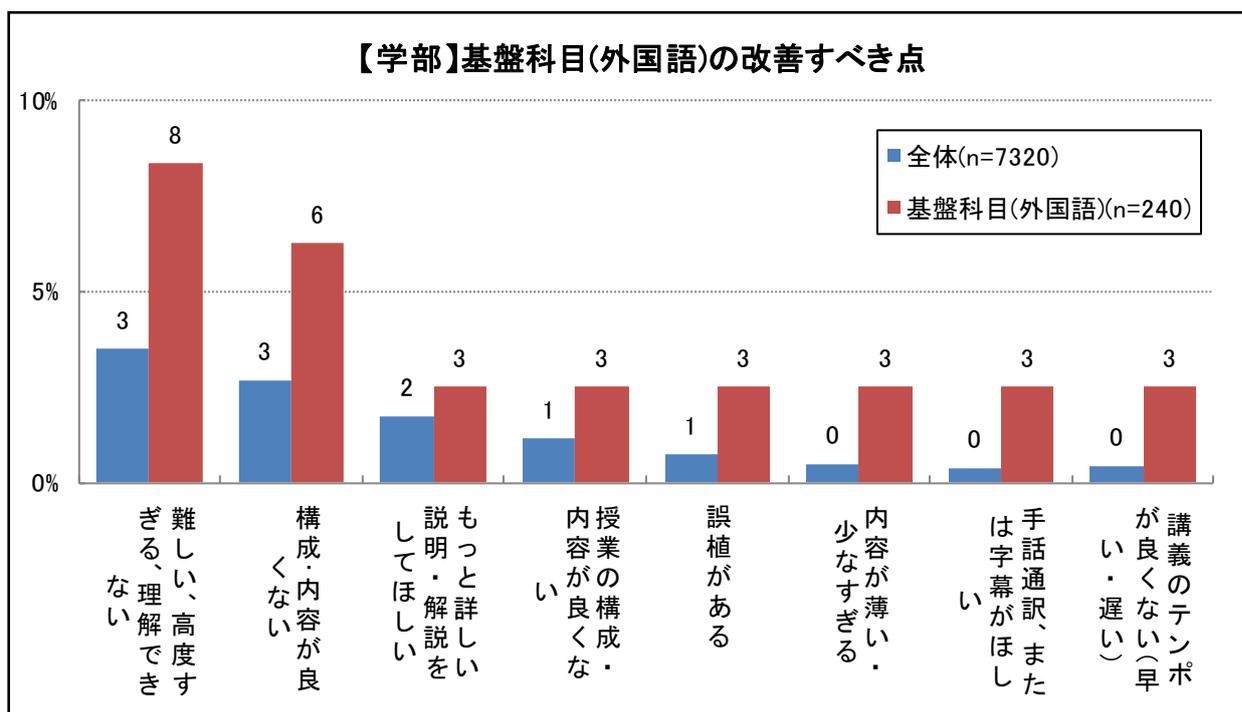
改善点

「難しい、高度すぎる、理解できない」が、8%と最も高く、全体を大きく上回っていた。

次いで「構成・内容が良くない」が6%で、これも全体より高かった。

他では「もっと詳しい説明・解説をしてほしい」などが3%で続いた。

図 2 - 8 4 【学部】改善すべき点



【学部】「基盤科目（外国語）抜粋

よかった点

- アメリカ大統領のよく練られた、内容の深い演説を直接視聴することができ、その時の雰囲気を感じる事ができた。
- 大統領のスピーチだけでなく、テレビ教材を通して、関係者へのインタビューや現地訪問などを盛り込むことでスピーチの歴史的背景が分かり、アメリカ史への理解が進んだ。
- 英単語の持つ複数の意味の理解が、今後の英語学習のために重要な意味を持つことになると改めて感じた。
- 英語だけを勉強しても味わえない、アメリカの文化や演説から伝わる雰囲気が、語学にどれだけ影響があるかを、改めて面白く学習できた。
- 文章の構成とパラグラフについては、経験上、何となく分かったつもりでいたが、間違った認識をしていた点が修正された。
- 英文の構成がよく分かった。知らない単語に出会った時、前後の文脈からその意味を類推する力が求められていることが分かった。
- 英語の授業でありながら、アメリカの歴史や文化、民族や国際関係等、様々な分野に興味を広がるような内容だった。
- 単語にはいろいろな意味があるので、場当たりに辞書を引いて終わるのではなく、日頃から辞書を読む習慣を身につける必要があることを学んだ。
- main thesis と paragraph の構造が理解でき、逐語訳が必須ではないことが分かり、英文への取り組みが少し楽になった。
- アメリカの政治思想、国際関係、大統領の個性、文化などの背景を理解することができた。
- 先生の解説がなければ、演説の歴史的背景、思想、経緯などが分からなかった。この講義を受けたからこそ、それぞれ有名な人たちの語りを深く理解できたのだと思う。
- 英語が苦手な私でしたが、韓国語は日本語と似たところがとても多く、外国語初心者としてはとても学びやすい語学だと思った。
- 放送授業に韓国人の方が2人出演していて、韓国人が話す韓国語を聞いたこと。
- 学習の順番や内容が整理されていたので、独学では掴みにくかった韓国語の学習がスムーズに進んだ。
- 2016 年度開講時も受講したが、今年の方が分かりやすかった。語幹というよりは、陽母音陰母音の方が感覚的に分かりやすいと思う。

改善点

- 映像を見るだけでも内容が濃く、その上で教科書を見ると、量が多く、難しく感じた。
- 大統領演説は目的をもって聞き手を説得し、誘導するプロパガンダなので、批判的な目線で考えられる場面もあれば良いと思う。
- スピーチの歴史的背景のみならず、大統領による修辭的な点も含め、表現の特徴を知りたいと思った。
- 英語と日本語のパラグラフと段落の持つ意味の違いや構成構造について、比較説明がもっとあると良い。
- 演説のスピードで内容を全て理解できないまま次々進めていくと、何となく全体を感じられる程度にしか捉えられなかった。
- 単語の使い方が複数あるという点について、自分で英英辞典で調べる前提なのだろうが、印刷教材にも少し載っていると嬉しい。
- 放送授業の校訂をしっかりと行ってほしい。乗組員→海苔クイン等、ありえないので笑ってしまうものもあった。
- 英語は反復繰り返しが必要だと思うが、量が多すぎて、復習する時間が取れなかった。
- 放送で講師が説明してくれた時の資料（要約の入ったもの）が教材になかったため、印刷教材でも補足していただきたい。
- 放送では多くの解説をしてもらっているが、その内容が教科書に反映されていないように思う。もう少しバランスが良いと、放送なしで自習がはかどると思う。
- 最初はパッチムが何なのかが分からず内容が進んでいき、意味を理解するのが難しかった。
- たった 45 分×15 回で、これだけの内容を理解するのは大変だと思う。もっと難易度を落としても良いのではないかと思った。
- もう少し韓国の文化（食べ物など）を紹介するコーナーがあれば、学習の息抜きにもなるし、興味深いものになったかと思う。
- アシスタントの方が話すことを通訳してくれるのだが、画面下に韓国語が出ればなお良いと思うし、勉強になると思った。
- テレビ授業の内容が堅苦しく難しく、見ていて楽しくなかった。ワンパターンで創意工夫が足りないと思った。

【学部】基盤科目(「外国語」)

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
具体的な事例・実践的な内容があった	50	1	51	放送授業:現場取材や(専門家・ゲスト・第一線の方の)インタビューが良かった	10		10
視野が広がった	36		36	放送授業:メディアの特性に合った授業内容だった	8		8
勉強になった	34		34	放送授業:発音を聞くことができた(語学)	7		7
受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた	25		25	放送授業:分かりやすい解説	6		6
興味・関心が持てた	21		21	放送授業:楽しかった	5		5
基礎的な知識を得られた	16	2	18	放送授業:講師の熱意・熱心さが伝わった	4		4
学習意欲・知識欲がわいた	14		14	放送授業:理解しやすかった	3		3
深く学ぶ(勉強する)ことができた	10	4	14	放送授業:講師(陣)が良かった	2		2
学ぶことの楽しさを知った	12		12	放送授業:印刷教材の内容が連動していて良かった	2		2
満足している	9		9	放送授業:構成・内容が良かった	1	1	2
よく理解できた	4	2	6	放送授業:重要な要点・ポイントが理解・把握・学習できた	1		1
身近に感じる内容だった	4		4				
適切な内容だった	3	1	4				
今後に役立つ内容	3		3				
専門的な内容だった	3		3				
知識の整理に役立った	2		2				
科目の学問的性質、位置づけがわかった	2		2				

印刷教材				通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材:構成・内容が良かった	2	3	5	通信指導:指導内容が良かった	1		1
印刷教材:良い教材だった	4		4				
印刷教材:体系的に学べた・理解することができた	2	1	3				
印刷教材:理解しやすかった	2		2				
印刷教材:熱意が伝わる教材だった	1		1				
印刷教材:手元に置き、今後も読みたい内容だった	1		1				

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
単位認定試験:評価が良かった	1		1

【学部】基盤科目(「外国語」)

改善点

(単位:人)

科目全般				印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	20		20	印刷教材:内容が薄い・少なすぎる	6		6
構成・内容が良くない	13	2	15	印刷教材:誤植がある	4	2	6
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	6		6	印刷教材:放送授業中の資料・データを載せてほしい	5		5
時間が取れなかった	5		5	印刷教材:構成・内容が良くない	2		2
内容の詰め込みすぎ	5		5	印刷教材:フリガナ、専門用語の説明などがほしい	2		2
興味・意欲がわかかなかった	2		2	印刷教材:理解しにくい	1		1
具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい	2		2	印刷教材:内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	1		1
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	2		2	印刷教材:文字が読みづらい	1		1
内容にまとまりがない	1		1	印刷教材:引用・参考文献、補助教材・問題集を紹介してほしい	1		1
内容が浅い	1		1	印刷教材:色刷りにしてほしい	1		1
現実に活かせる内容にしてほしい	1		1	印刷教材:DVD・CD等、付録の添付を考えてほしい	1		1
引用・参考文献、補助教材、問題集を紹介・発刊してほしい	1		1	印刷教材:付録のCDの内容に不満がある	1		1
授業科目案内は内容が不十分だった	1		1	印刷教材:あまり良い教材ではなかった		1	1
交流の場を用意してほしい	1		1				

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
放送授業:手話通訳、または字幕がほしい	6		6
放送授業:授業の構成・内容が良くない	6		6
放送授業:講義のテンポが良くない(早い・遅い)	6		6
放送授業:理解しにくい	4		4
放送授業:印刷教材の内容が異なる、連動していない	4		4
放送授業:講師(ナレーター)の音が聞き取りづらい	3		3
放送授業:講師の解説、指導が良くなかった	3		3
放送授業:図・表・写真・映像を多く取り入れてほしい	3		3
放送授業:テレビの図・表・写真が見にくい、見せ方を改善してほしい	3		3
放送授業:専門家の意見が聴きたい	2		2
放送授業:授業に興味・関心が持てなかった	1	1	2
放送授業:講師の熱意が伝わらない	1		1
放送授業:(各章ごとに)まとめや学習ポイント、総括がほしい	1		1
放送授業:メディアを変更してほしい		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
通信指導:指導内容、対応に不満がある	1		1
通信指導:課題(問題)の範囲、難易度、量が適切ではなかった		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
単位認定試験:試験の設問内容に違和感があった	1		1
単位認定試験:試験内容が授業・教材・通信指導のI	1		1
単位認定試験:試験時間が短い	1		1
単位認定試験:試験の解答方法を変更・改善してほしい	1		1
単位認定試験:簡単すぎる、難易度を上げるべき		1	1

主な改善点の提案:集約

- 難しい、高度すぎる、理解できない
- 構成・内容が良くない
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい

- 放送授業:手話通訳、または字幕がほしい
- 放送授業:授業の構成・内容が良くない
- 放送授業:講義のテンポが良くない(早い・遅い)
- 印刷教材:内容が薄い・少なすぎる

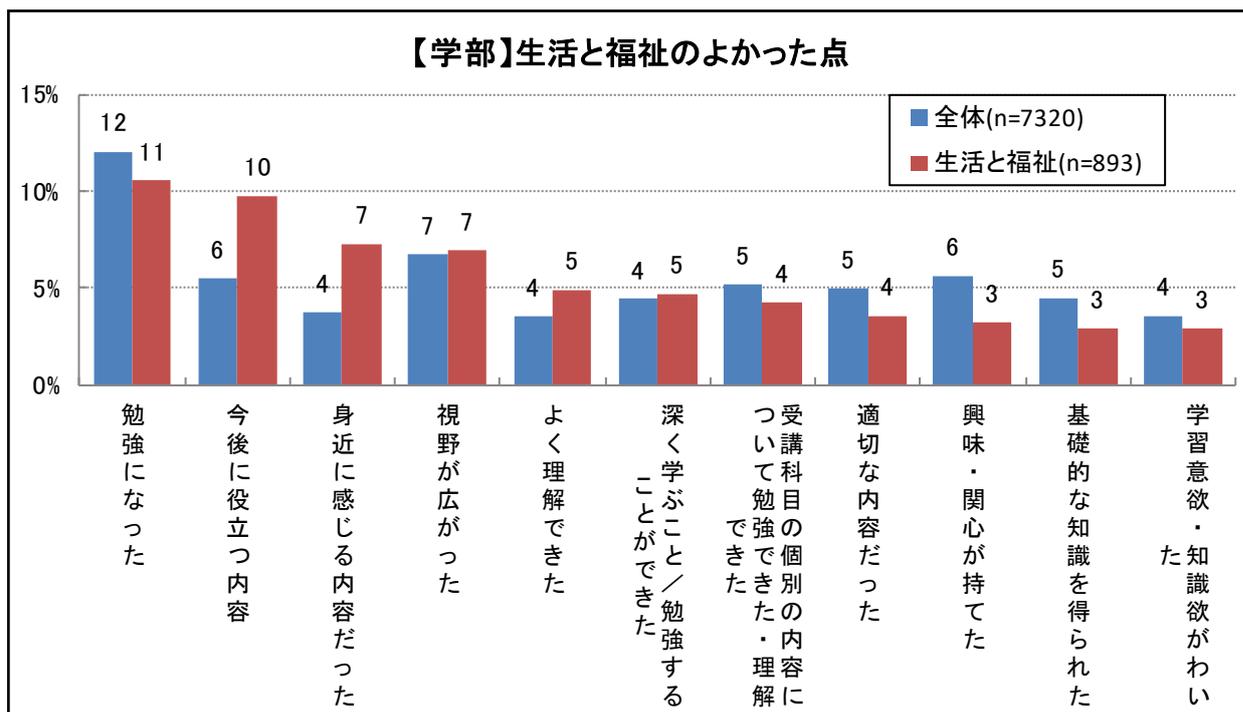
【学部】「生活と福祉」の傾向

よかった点

「勉強になった」と「今後に役立つ内容」が1割挙げられ、「今後に役立つ内容」は全体を上回っていた。

他に「身近に感じる内容だった」「視野が広がった」が7%であった。

図 2 - 8 5 【学部】よかった点

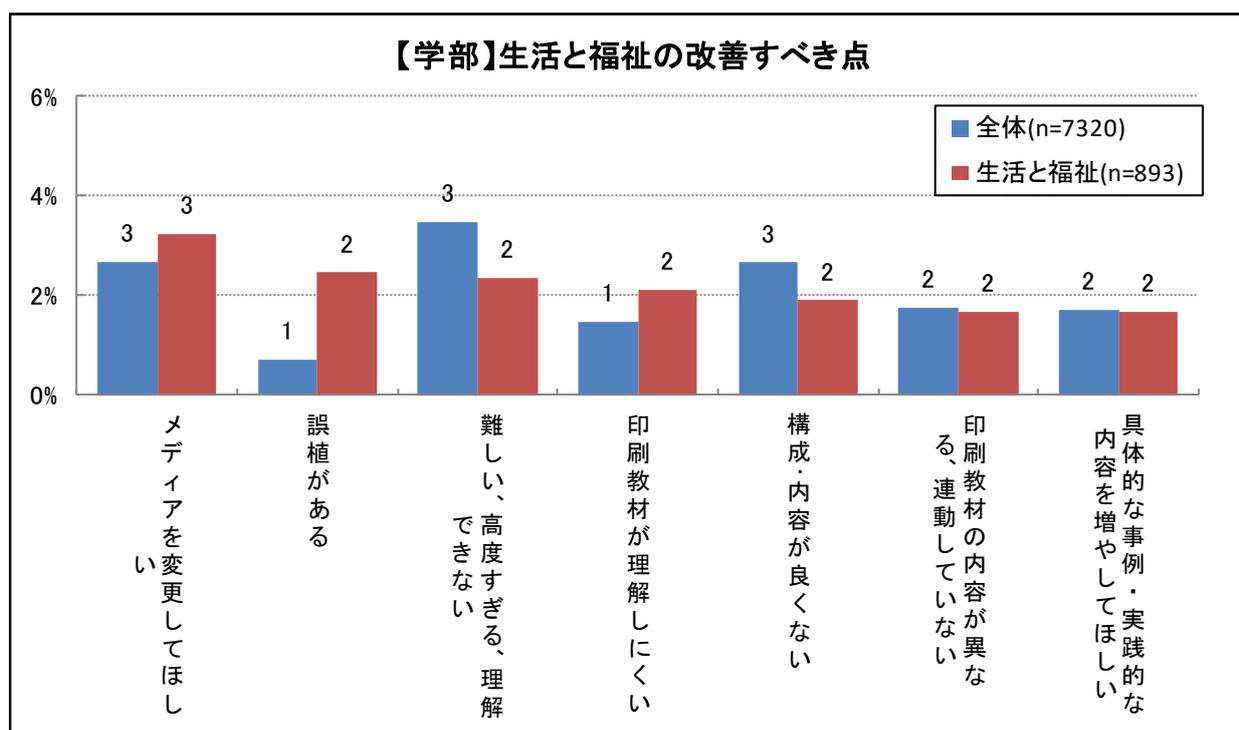


【学部】「生活と福祉」の傾向

改善点

「メディアを変更してほしい」「誤植がある」「難しい、高度すぎる、理解できない」などが挙げられていたが、いずれも3%以下で比率が低かった。

図2-86 【学部】改善すべき点



【学部】「生活と福祉」抜粋

よかった点

- 年金生活の設計、親の介護費用、子や孫の支援、持続可能な生活への知識が高まり、視野が広がった。
- これを学ぶことで経済的に豊かになることはないのだが、様々な仕組みを理解して、消費をコントロールしたり、収入を増やしたりしてみようと思った。
- 身の回りの情報とその扱いについて包括的に解説されており、生活情報の取扱いに関して視野を広げることができた。
- レジリエンスを主軸に、コミュニティの安全・安心の為には、災害対応のコミュニティのレジリエンスを高めることの重要性について学べた。
- 地域コミュニティとの接点がない生活をしてきたので、よく分からない世の中の動きを理解する助けになった。
- 現代日本はリスク社会と最初に投げかけがあったが、60余年生きてきて漠然と感じていたことが何故そうなのか様々な角度から考察されて、納得できるものだった。
- 我が国の家族問題に対する支援がどの程度進んでいるのか、また、どのような課題が残っているのかが分かりやすく伝わる授業だった。
- 子供の問題、障害者、精神疾患 介護、死についてと幅広く問題が提示されていて、興味深かった。
- 社会保障の個別の開設ではなく、生涯を通じて関係する問題を広い視野で見つめることを教えて頂いた。
- 社会保障についてあやふやに理解していたことが、勉強を進めていくうちにはっきりしていき、受講して良かったと思った。
- 精神疾患やその治療について、さらに踏み込んだ講義が聞けたし、そこからさらに学びたいこと、興味のあることが出てきた。
- 仕事柄、精神疾患の患者さんとお話をする機会があるので、患者さんの思考を知る上で大変に役立った。
- あまたの災害にみまわれる世界中で、どんな支援が行われ、看護師さん達がどんな看護を行っているのか、よく分かった。
- 新しい看護の考え方に触れるとともに、原点回帰ともいうべきか、基礎基本をも学び直した感覚を持てた。
- 法律を通して、利用者、事業者、専門職、行政等との立場から、具体事例を題材にして説明されており、理解しやすかった。

改善点

- ラジオではなかなか知識の習得が不十分で、やはり目からの授業の方が良いと思った。
- 表やグラフを見ながらの話は、映像授業の方が分かりやすいと思う。
- 印刷教材のミスが多く、校正段階でのチェックを徹底してほしい。
- 高齢期の精神疾患については、認知症との関連についてが、大変複雑で、関連用語も多く、1コマの授業内では理解が不可能だった。
- ラジオ番組なので、テキストに載せる資料（表やグラフ）はもっとシンプルにした方が良いと思う。はっきり言って分かり難い。
- 放送授業の後に印刷教材を読み直したが、教材は少し読みづらい印象があった。
- 水害における治水対策としてのダム建設のあり方について、コミュニティ形成、レジリエンスはどうあるべきなのか、どう考えれば良いのかを知りたい。
- 女性からの視線、固執しすぎた感じは否めない。そこが狙いで大事な点だという熱意は感じるが、それが現実と比較してどうなのかは、正直、よく分からない。
- 講師の熱意は分かるのだが、単調な説明よりも事例をもう少し取り入れて、メリハリのある構成であればと思う。
- 印刷教材と放送授業の内容が必ずしも同じ必要はないと思うが、放送内容が異なると、印刷教材の疑問点が解決できない。
- ラジオの授業だったので仕方がない部分ではあるが、もう少し印刷教材に掲載されていない事項も知りたかった。
- エピソードから入って関連法規や判例、制度を学ぶこと自体は良いが、体系だって理解させる解説は不足していたと思われる。ほぼ語句の暗記に近くなってしまった。
- 精神疾患の治療がうまくいく場合とそうでない場合があるはずで、それらの原因などについて、さらに掘り下げた講義を聞きたかった。
- 講師によっては、ドイツは凄いとだけ言っているだけの人がいるので、あまり参考にならなかった。
- 図表の一部が、カラー版の資料をコピーしたり、縮小したものであり、大変見づらかった。特にグラフなどが見づらかった。

【学部】「生活と福祉」

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった	15	79	94
今後に役立つ内容	21	66	87
身近に感じる内容だった	21	44	65
視野が広がった	18	44	62
よく理解できた	5	39	44
深く学ぶ(勉強する)ことができた	6	36	42
受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた	10	28	38
適切な内容だった	4	28	32
興味・関心が持てた	5	24	29
学習意欲・知識欲がわいた	5	21	26
基礎的な知識を得られた	2	24	26
満足している	6	15	21
知識の整理に役立った	6	15	21
今までにない・目新しい内容(情報・知識)	6	12	18
具体的な事例・実践的な内容があった	3	14	17
視点、考え方が変わった	1	14	15
学ぶことの楽しさを知った	2	2	4
授業以外の自分の勉学・個人的な勉強に役立った		4	4
自分の意見・考えを持てるようになった		2	2
資料・データが充実していた		2	2
専門的な内容だった	1		1
授業科目案内は役に立った	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
放送授業:講師(陣)が良かった	2	18	20
放送授業:現場取材や(専門家・ゲスト・第一線の方の)インタビューが良かった	5	13	18
放送授業:分かりやすい解説	2	15	17
放送授業:講師の熱意・熱心さが伝わった	2	11	13
放送授業:構成・内容が良かった	2	8	10
放送授業:理解しやすかった	3	4	7
放送授業:楽しかった		5	5
放送授業:講師以外の人や複数の専門家の話を聞いた		4	4
放送授業:図・表・写真・映像があり、分かりやすかった	3		3
放送授業:良い授業だった	1	2	3
放送授業:対話形式の授業が良かった	1		1
放送授業:聞き手の方のお陰で楽しく受講できた		1	1
放送授業:印刷教材の内容が連動していて良かった		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材:理解しやすかった		7	7
印刷教材:構成・内容が良かった		6	6
印刷教材:手元に置き、今後も読みたい内容だった		4	4
印刷教材:図・表・写真・イラストがあり、分かりやすかった	1	2	3
印刷教材:体系的に学べた・理解することができた		3	3
印刷教材:様々な事例・具体的な事例が良かった		3	3
印刷教材:良い教材だった	1		1
印刷教材:熱意が伝わる教材だった	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
通信指導:課題(問題)の範囲、難易度、分量が適切だった		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
単位認定試験:受験して良かった		1	1
単位認定試験:科目内容の理解度ををはかるのに相応しい内容		1	1
単位認定試験:難易度が適切だった		1	1

【学部】「生活と福祉」

改善点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	4	17	21	放送授業:メディアを変更してほしい	1	28	29
構成・内容が良くない	5	12	17	放送授業:印刷教材の内容が異なる、連動していない	7	8	15
具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい	3	12	15	放送授業:印刷教材と異なる講義が聴きたい		13	13
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	2	8	10	放送授業:授業の構成・内容が良くない		8	8
内容が浅い		9	9	放送授業:図・表・写真・映像を多く取り入れてほしい	3	1	4
内容の詰め込みすぎ	1	6	7	放送授業:理解しにくい	1	3	4
最新の内容を講義してほしい	3	2	5	放送授業:解説中の印刷教材のページが分かりにくい	1	3	4
現実に活かせる内容にしてほしい	1	4	5	放送授業:手話通訳、または字幕がほしい		3	3
興味・意欲がわかなかった		5	5	放送授業:授業に興味・関心が持てなかった		3	3
引用・参考文献、補助教材、問題集を紹介・発刊してほしい	1	3	4	放送授業:講義のテンポが良くない(早い・遅い)		3	3
期待していた内容ではなかった		4	4	放送授業:講師(ナレーター)の音が聞き取りづらい		3	3
内容にまとまりがない	1	2	3	放送授業:講師の解説、指導が良くなかった		3	3
時間が取れなかった	1	1	2	放送授業:(各章ごとに)まとめや学習ポイント、総括がほしい		3	3
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい	1		1	放送授業:講師の熱意が伝わらない		2	2
関連する科目・基礎科目を開講してほしい		1	1	放送授業:講師により内容にバラつきがある、解説が異なる		2	2
交流の場を用意してほしい		1	1	放送授業:インターネットでの視聴方法が分かりにくい、使いづらい		1	1
				放送授業:専門家の意見が聴きたい		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材:誤植がある			22
印刷教材:理解しにくい	4	15	19
印刷教材:図・表・写真・イラストが小さくて見づらい	1	7	8
印刷教材:図・表・写真・イラストを増やしてほしい		7	7
印刷教材:構成・内容が良くない	1	3	4
印刷教材:フリガナ、専門用語の説明などがほしい		3	3
印刷教材:具体的な事例・実践的な内容を載せてほしい	1	1	2
印刷教材:内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる		2	2
印刷教材:色刷りにしてほしい		2	2
印刷教材:内容が薄い・少なすぎる	1		1
印刷教材:引用・参考文献、補助教材・問題集を紹介してほしい	1		1
印刷教材:文字が読みづらい		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
通信指導:課題(問題)の範囲、難易度、量が適切ではなかった		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
単位認定試験:試験の設問内容に違和感があった	1	1	2
単位認定試験:問題数が少なかった		1	1
単位認定試験:試験の解答方法を変更・改善してほしい		1	1

主な改善点の提案:集約

- 放送授業:メディアを変更してほしい
- 印刷教材:誤植がある
- 難しい、高度すぎる、理解できない

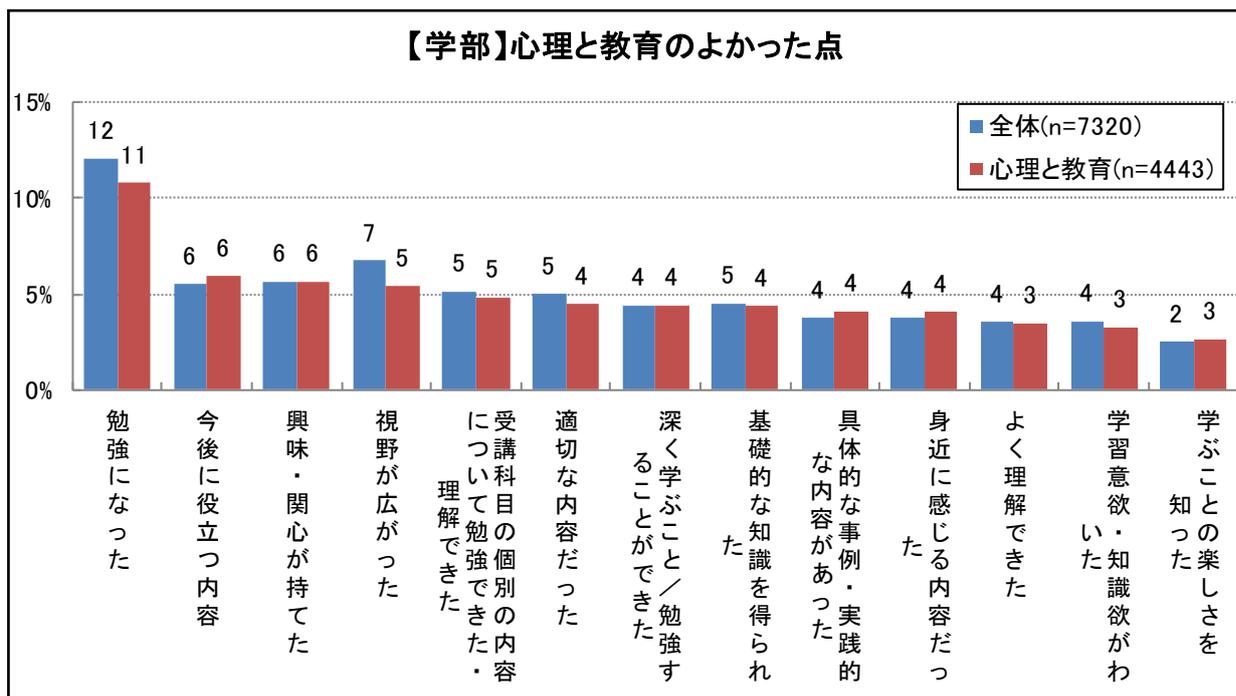
- 印刷教材:理解しにくい
- 構成・内容が良くない
- 具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい
- 放送授業:印刷教材の内容が異なる、連動していない

【学部】「心理と教育」の傾向

よかった点

「勉強になった」が最も高く 11%で、全体とほとんど変わらなかった。
他に「今後に役立つ内容」「興味・関心が持てた」などが上位に挙げられた。
それ以外は、5%以下で多岐にわたっていた。

図 2 - 8 7 【学部】よかった点

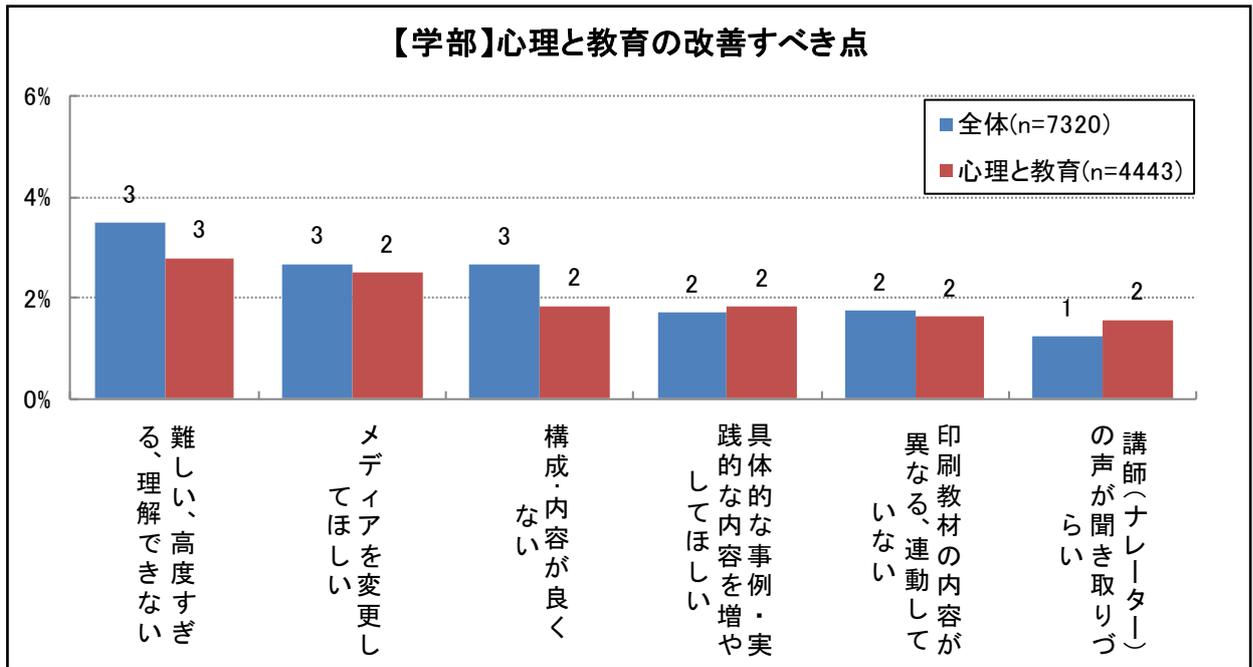


【学部】「心理と教育」の傾向

改善点

意見の集中はほとんどなく、改善点を挙げた割合も低かったため、最も高くても「難しい、高度すぎる、理解できない」が僅か3%で、後は2%の項目が続いていた。

図 2 - 8 8 【学部】改善すべき点



【学部】「心理と教育」抜粋

よかった点

- 認知行動療法の成り立ちや定義を正しく知ることができた。
- 特別支援の免許取得のために必要な内容について学習することができて良かった。
- 心理学自体には興味を持っていたが、その応用分野にはあまり興味を持っていなかった。今回、本科目を受講し、学校教育への興味を持つことができて良かった。
- 法と学校の関係が分かり、教職現場で働く上で、視野が広がったと思う。
- 犯罪の心理について、特に児童・少年の発達過程の影響が背景にある等、エビデンスを学ぶことができて良かった。
- 様々な分野での心理職の詳細について学ぶことができて良かった。
- 心理学だけでなく、どんな場面においても適応できるような、研究をする際に留意すべきことが網羅されており、非常に深い学びになったと感じた。研究における専門用語が沢山言い回されており、研究用語を学ぶことができた。
- 特別支援教育全体像が大まかに把握できた。
- テキストだけでは理解できない内容も、放送授業でいろいろな症例をドラマ風に解説、説明されていたので、初心者でも内容的には入りやすかった。
- 自らが中年世代となった現時点において、各回のテーマが、身にしみて感じられた点が良かった。
- 研究法というくくりで、どういう内容なのかとはじめは心配だったが、分かりやすく良かった。
- もっと詳しく学びたくなった。ほんの入り口に立ったという感じで、まだまだ奥の深い世界。心理の世界は本当に奥が深い。面接授業に繋がりたいと思っている。
- 社会心理学は、普段気づかない人間の内面を知ることができるので、とても楽しい。
- 世代を超え、世相を反映した科目だと理解している。
- 主任講師の落ち着いた話し方、丁寧な説明、ゲストとの対話など、とても分かりやすい授業だった。
- 最新の状況までアップデートされていて参考になった。これからもアップデートはし続けてほしい。
- アセスメントについての流れがよく分かる授業の進め方だった。具体的な例も挙げられて、理解しやすかった。今まで外の授業で習ったことも、改めて確認できた。
- 放送は聞きやすく、工夫されており、また、印刷教材は理解しやすく、読み物として何度も読み返している。受講生でない夫も興味深そうに通読していた。共に満足し、興味を持って取り組めた。
- 自分自身の現時点の心理学に対する習熟度を、理解するのに役立った。
- 授業内容がとても面白かった。錯覚の仕組みなど、知らなかったことが目からウロコで、初めて理解できるようになった。錯覚の不思議を友人たちにも教えてあげた。

改善点

- 法学にありがちな独特の言い回しが、理解を深めるにあたり、困難を要することとなっている。できるだけ平易な言葉で分かりやすく伝えていただけたらありがたい。
- 心理統計法の部分で、統計的仮説検定やベイズ統計に軽く触れているが、印刷教材や放送授業だけでは理解が難しかった。
- 本科目内容は、ラジオであると漠然と学習する感がある。画面上で図や映像を使って解説されると、より理解が進むと感じた。
- お手本としての援助者の穏やかな表情や態度を見ることができなくて、大変残念だったので、ぜひテレビ授業にしていただきたい。
- どちらかと言うと、子供の犯罪に重点を置いている内容だと思った。一般的な大人の犯罪についても深く知りたいと思った。
- 「連携」とは具体的に何をどうすることか、具体的な例が複数示されていると、実際の現場の様子と照らし合わせることができ、理解が深まったと思う。
- 放送教材での先生方の会話が認定試験の解答の選択肢に出ていたが、印刷教材には記載がないので、復習するのが難しかった。
- 講師の先生の中には、発音のイントネーション等に違和感を感じ、聞き取りにくい講義があった。
- 授業後半からクリティカルシンキングの重要性について説明していたが、最後の講義で簡単にしか説明していなかったため、もう少し詳細な説明がほしかった。
- 各章で執筆者が変わり、分かりにくい表現が多用されている章もあり、全体に統一感がなかったため、分かりづらいつと感じた。
- もっと突っ込んだ内容を期待していたので、表面的な説明ばかりに感じた。印刷教材と全く同じことを放送で言っているし、正直あまり面白くなかった。
- 印刷教材に書いてあることの中でポイントとなるところは、授業内に字幕で出して終わりではなく、フリップなどにしてきちんと説明してほしい。
- 概論なので仕方がない面もあると思うが、詰め込んだという感じが強く、急ぎ足な感じがした。
- 全体を広く浅く理解するという印象であったが、ポイントポイントで、もう少し深みがあっても良かったように思う。
- 講師をかえた方がよい。文章が棒読みで、全く内容が入ってこない。冒頭に「小学生でも分かる解説で」と述べるなど、不愉快でしかない。
- 印刷教材には西暦表記してあるのに、提出課題や単位認定試験では元号で出題されており、非常に違和感を感じた。

【学部】「心理と教育」

よかった点

(単位:人)

科目全般	放送授業			
	意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった		237	241	478
今後に役立つ内容		108	156	264
興味・関心が持てた		151	101	252
視野が広がった		144	95	239
受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた		111	103	214
適切な内容だった		110	88	198
深く学ぶ(勉強する)ことができた		106	91	197
基礎的な知識を得られた		117	76	193
具体的な事例・実践的な内容があった		105	78	183
身近に感じる内容だった		83	97	180
よく理解できた		85	70	155
学習意欲・知識欲がわいた		97	48	145
学ぶことの楽しさを知った		97	21	118
満足している		56	42	98
今までにない・目新しい内容(情報・知識)		30	45	75
知識の整理に役立った		33	29	62
視点、考え方が変わった		30	13	43
専門的な内容だった		23	19	42
自分の意見・考えを持てるようになった		10	23	33
引用・参考文献・補助教材、問題集の紹介が良かった		9	3	12
科目の学問的性質、位置づけがわかった		11		11
資料・データが充実していた		4	2	6
授業以外の自分の勉学・個人的な勉強に役だった		1		1

放送授業	通信指導			
	意見	テレビ	ラジオ	合計
放送授業:講師(陣)が良かった		70	27	97
放送授業:理解しやすかった		52	19	71
放送授業:構成・内容が良かった		50	17	67
放送授業:楽しかった		53	8	61
放送授業:講師以外の人や複数の専門家の話を聞いた		47	12	59
放送授業:現場取材や(専門家・ゲスト・第一線の方の)インタビューが良かった		43	5	48
放送授業:分かりやすい解説		30	14	44
放送授業:講師の熱意・熱心さが伝わった		22	19	41
放送授業:図・表・写真・映像があり、分かりやすかった		37		37
放送授業:対話形式の授業が良かった		17	4	21
放送授業:メディアの特性に合った授業内容だった		16	1	17
放送授業:良い授業だった		12	3	15
放送授業:アシスタントが良かった		13		13
放送授業:印刷教材の内容が連動していて良かった		9	2	11
放送授業:印刷教材と異なる内容で良かった		7	4	11
放送授業:聞き手の方のお陰で楽しく受講できた		3	6	9
放送授業:印刷教材とのバランスが良かった		6	1	7
放送授業:重要な要点・ポイントが理解・把握・学習できた		3		3
放送授業:講義のテンポが良かった		1	2	3

印刷教材	単位認定試験			
	意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材:理解しやすかった		18	18	36
印刷教材:構成・内容が良かった		12	9	21
印刷教材:良い教材だった		12	5	17
印刷教材:様々な事例・具体的な事例が良かった		2	7	9
印刷教材:手元に置き、今後も読みたい内容だった		5	3	8
印刷教材:図・表・写真・イラストがあり、分かりやすかった		2	6	8
印刷教材:学習内容の理解・整理に役立った		3	4	7
印刷教材:読み物として面白い内容だった		2	1	3
印刷教材:体系的に学べた・理解することができた		1		1
印刷教材:文字が大きくて読みやすかった			1	1

通信指導	単位認定試験			
	意見	テレビ	ラジオ	合計
通信指導:指導内容が良かった		5		5
通信指導:学習内容の理解・整理に役立った		1	1	2
通信指導:理解しやすかった		1		1
通信指導:課題(問題)の範囲、難易度、分量が適切だった		1		1

単位認定試験	単位認定試験			
	意見	テレビ	ラジオ	合計
単位認定試験:科目内容の理解度ををはかるのに相応		2		2
単位認定試験:受験して良かった		1	1	2
単位認定試験:評価が良かった			1	1

【学部】「心理と教育」

改善点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	87	37	124
構成・内容が良くない	35	47	82
具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい	32	49	81
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	39	24	63
内容の詰め込みすぎ	30	11	41
内容が浅い	25	16	41
期待していた内容ではなかった	4	14	18
興味・意欲がわかなかった	7	3	10
時間が取れなかった	7	2	9
内容にまとまりがない	5	4	9
授業科目案内は内容が不十分だった	5	4	9
現実に活かせる内容にしてほしい	5	3	8
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい	5	3	8
引用・参考文献、補助教材、問題集を紹介・発刊してほしい	3	4	7
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	4	2	6
受験・資格取得に役立つ内容にしほしい	1	4	5
面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	1	4	5
(各章ごとに)まとめや学習ポイント、総括がほしい	3		3
交流の場を用意してほしい	3		3
学校の対応が良くなかった	1	1	2

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材: 理解しにくい	35	18	53
印刷教材: 図・表・写真・イラストを増やしてほしい	14	16	30
印刷教材: 内容が薄い・少なすぎる	13	7	20
印刷教材: 誤植がある	13	4	17
印刷教材: 構成・内容が良くない	7	8	15
印刷教材: 具体的な事例・実践的な内容を載せてほしい	7	5	12
印刷教材: 放送授業中の資料・データを載せてほしい	8	2	10
印刷教材: 放送授業の要約を載せてほしい	4	3	7
印刷教材: 索引を充実させてほしい	2	5	7
印刷教材: 引用・参考文献、補助教材・問題集を紹介してほしい	6		6
印刷教材: 色刷りにしてほしい	5	1	6
印刷教材: フリガナ、専門用語の説明などがほしい	3	3	6
印刷教材: 内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	2	3	5
印刷教材: 文字が読みづらい	3	1	4
印刷教材: 図・表・写真・イラストが小さく見づらい	4		4
印刷教材: 講師により内容にバラつきがある、解説が異なる	1	1	

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
放送授業: メディアを変更してほしい	1	110	111
放送授業: 印刷教材の内容が異なる、連動していない	46	27	73
放送授業: 講師(ナレーター)の音が聞き取りづらい	30	40	70
放送授業: 授業の構成・内容が良くない	29	22	51
放送授業: 印刷教材と異なる講義が聴きたい	29	21	50
放送授業: 理解しにくい	25	18	43
放送授業: 講師の解説、指導が良くなかった	22	15	37
放送授業: 図・表・写真・映像を多く取り入れてほしい	24	3	27
放送授業: 講師により内容にバラつきがある、解説が異なる	16	6	22
放送授業: 講師の熱意が伝わらない	13	7	20
放送授業: 授業に興味・関心が持てなかった	13	6	19
放送授業: 解説中の印刷教材のページが分かりにくい	9	2	11
放送授業: 講義のテンポが良くない(早い・遅い)	6	5	11
放送授業: 講師以外は必要ない、違和感がある	5	6	11
放送授業: 手話通訳、または字幕がほしい	7	2	9
放送授業: (各章ごとに)まとめや学習ポイント、総括がほしい	6		6
放送授業: 視聴手段を増やしてほしい(ネット配信・DVD・ビデオ等)	1	5	6
放送授業: テレビの図・表・写真が見にくい、見せ方を改善してほしい	5		5
放送授業: 専門家の意見が聴きたい	2	1	3
放送授業: 授業中に使用された映像・音楽が他メディアで視聴できなかった		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
通信指導: 課題(問題)の解答・解答例・解説がほしい	10	2	12
通信指導: 添削・コメントに不満がある	4	1	5
通信指導: 課題(問題)の範囲、難易度、量が適切ではなかった	2	3	5
通信指導: 指導内容、対応に不満がある	2	1	3
通信指導: 課題(問題)が、放送授業、印刷教材と内容がずれている	2		2
通信指導: 課題(問題)が、単位認定試験と直結していない	1	1	

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
単位認定試験: 試験の設問内容に違和感があった	19	8	27
単位認定試験: 難しすぎる、難易度を下げるべき	15	5	20
単位認定試験: 試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった	11	6	17
単位認定試験: 問題数が少なかった	1	3	4
単位認定試験: 評価方法に疑問を感じる	1	2	3
単位認定試験: 問題数が多かった、範囲が広がった	2		2
単位認定試験: 簡単すぎる、難易度を上げるべき	1		1
単位認定試験: 問題の解答・解説・用紙がほしい	1		1
単位認定試験: 試験の解答方法を変更・改善してほしい		1	1

主な改善点の提案: 集約

- 難しい、高度すぎる、理解できない
- 放送授業: メディアを変更してほしい
- 構成・内容が良くない

- 具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい
- 放送授業: 印刷教材の内容が異なる、連動していない
- 放送授業: 講師(ナレーター)の音が聞き取りづらい
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい

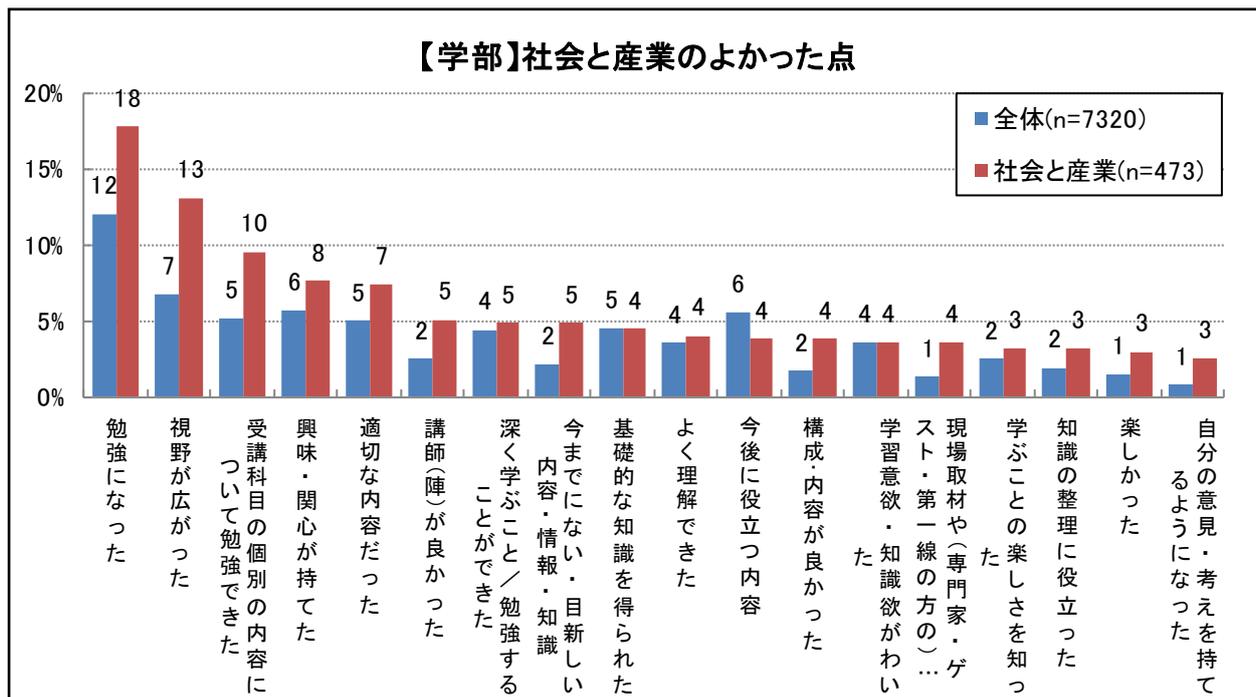
【学部】「社会と産業」の傾向

よかった点

10%以上の回答があったのは、「勉強になった」「視野が広がった」「受講科目の個別の内容について勉強できた」で、いずれも全体を上回っていた。

他に「興味・関心が持てた」「適切な内容だった」が上位に挙げられていた。

図 2 - 8 9 【学部】よかった点

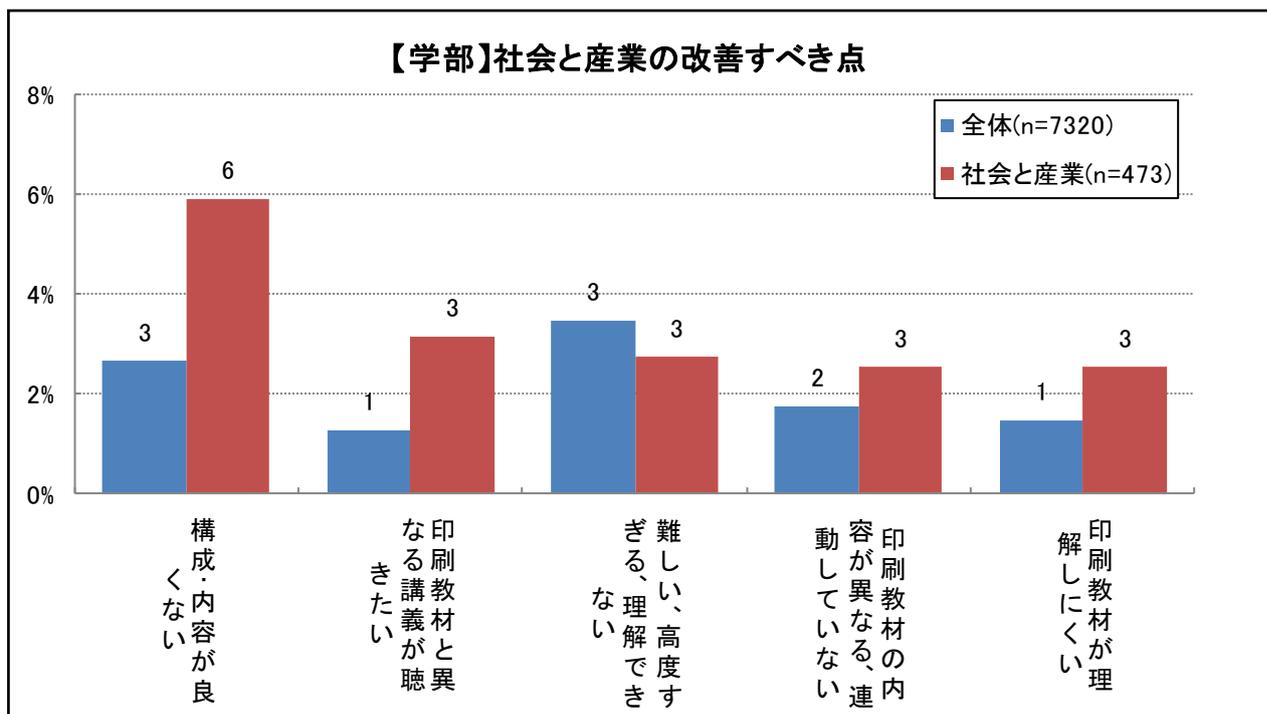


【学部】「社会と産業」の傾向

改善点

「構成・内容が良くない」が全体を上回り6%で、最も高かった。
その他では「印刷教材と異なる講義が聴きたい」などが3%で続いていた。

図2-90 【学部】改善すべき点



【学部】「社会と産業」抜粋

よかった点

- 報道等で知ることができない知識を多く知ることができた。学習ということの大事さを改めて認識した。
- 今まで考えてもいなかった思考が身についた点。
- この科目を選択したのは、なぜヨーロッパでは王室が残っている国とそうでない国があるのだろうという疑問を持ったからで、その理由が分かったことが良かった。色々な過程があって、現在のヨーロッパがあることを知ったのも良かった。
- 国内だけでなく、アジアの農業について関心が深まった。
- 実務的でリアルタイムの内容で迫力のある講義内容であった。金融制度の問題点、機構組織の陥穽を遠慮なく指摘されていたのは感動的でさえあった。消費者の視点が失われている金融制度ではないかとうすうす感じていたが、具体的で、体系的に解き明かし、問題の本質と改善方法を提案されていて、充実した講義を受けることができた。
- 講師の説明が柔らかくて好きである。
- 通常の教科書にない新たな視点からの授業内容である点が良かった。
- 今まで知らなかったことや、知ってはいても深い内容や原因についての理解が乏しかったことが、何度も放送授業を視聴しているうちに理解が深まり、さらに興味が湧いてきた。
- 行政を考える入口として良かったと思う。
- 現在の会計についてよく理解できた。政府会計については、ニュースなどで触れる機会は多いが、制度そのものについては理解していないことが多く、新たな知識を身に着けることができた。
- 災害が多い今日、私は実際に災害を体験していない。災害に遭われた方の心の部分を扱っていて、今後の教訓として役立つと思う。10章の「亡き人への手紙」や14章の「原発災害」が心に残った。
- 映像、音楽、印刷教材の特性を生かした立体的な構成に、複雑な世界政治をさまざまな面から理解させようという熱意を感じた。
- 論文形式の試験は大変だが、その分、真剣に講義を受けることができる。
- 現地でのインタビューも多く、分かりやすかった。
- 戦争についてこれまで学習してきたが、それは軍部や戦いなど日本内部のことであったり、独ソなど世界的なことだった。今回、戦争の状況がアジアの視野で功罪まで捉えられ、戦争や政治の実相を深く理解することができ、学習する幸せを感じた。
- 今までに習得した知見を整理できた。
- 先生の授業は視点が面白く、ユーモアがあって、何度見ても飽きない。
- 受講したことにより、ニュースの内容を知るだけでなく思考することが出来るようになったと思う。
- 自分が勤務している大学の現状に向き合うことができた。また、今後どうしたら魅力のある大学にできるかを考えるきっかけになった。
- ニュースの裏側の真実を、臨場感を持って解説されていたので、中東の政治状況の理解が深まった。

改善点

- 被災者の心情等は分かったが、そのために被災者以外の方が何をすることができるのか、その方向性だけでも聞きたかった。
- 中国の影がどの程度この地域に及んでいるのか、一带一路政策の浸透具合、他の有力国、タイ・ベトナム・インドネシアとの関わりなどにも触れてほしかった。
- 資格や技能などを取得するにあたり、必要性自己投資に対する動機付けなどを、もっと訴える内容があると良かった。
- 教科書をほとんど棒読みの放送授業だったので、放送を聞く興味がなくなってしまい、残念だった。
- 放送教材と印刷教材の内容がほとんど同じで、放送教材の意味をあまり感じられなかった。音声のみの放送教材は、もう少し耳に楽しい工夫があると良かった。
- 簿記を学んだことがない人は、理解するのは困難かと思うので、もう少しレベルを落とした方が良い。この科目を受けると、簿記が嫌いになりそう。
- 歴史の知識を前提としているため、説明が少ない事項があり、理解が進まないところがある。
- 放送授業と印刷教材がそれぞれ独立しているように思われ、勉強していく上で自分の理解が的を射ているのか、不安になることがある。
- 印刷教材の論理展開や表現が難しく、理解できなかつた。また、内容がマニアック過ぎた。
- 学習内容が多岐にわたるので、内容を絞った方が理解しやすいと感じる。
- 各論的なものに踏み込むと、キリがないのでやむを得ないとは思いますが、難易度が易しすぎるようにも思った。
- 中東全体の国名を記した地図がほしいと思った。個別に数カ国ずつの図が記載されていたが、それ以外の国との相対的位置が分からないことがあった。
- 実際にあった行政上の事件とかがあれば、より多く実感し、学べたかもしれない。
- 国際政治の舞台は刻々と変化する。その変化に対応した授業にしていきたい。
- 放送授業がつまらない。できれば少し抑揚をつけて読むなど、講師も工夫してほしかった。

【学部】「社会と産業」

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった	63	21	84
視野が広がった	53	9	62
受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた	29	16	45
興味・関心が持てた	30	6	36
適切な内容だった	28	7	35
今までにない・目新しい内容(情報・知識)	20	3	23
深く学ぶ(勉強する)ことができた	20	3	23
基礎的な知識を得られた	15	6	21
よく理解できた	13	6	19
今後に役立つ内容	16	2	18
学習意欲・知識欲がわいた	15	2	17
学ぶことの楽しさを知った	12	3	15
知識の整理に役立った	12	3	15
自分の意見・考えを持てるようになった	10	2	12
身近に感じる内容だった	9	2	11
満足している	7	2	9
視点、考え方が変わった	7	2	9
具体的な事例・実践的な内容があった	3		3
専門的な内容だった	1	1	2
授業以外の自分の勉強・個人的な勉強に役だった	1		1
資料・データが充実していた	1		1
引用・参考文献、補助教材、問題集の紹介が良かった	1		1
小テスト、練習問題が良かった	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
放送授業:講師(陣)が良かった	21	3	24
放送授業:構成・内容が良かった	18		18
放送授業:現場取材や(専門家・ゲスト・第一線の方の)インタビューが良かった	17		17
放送授業:楽しかった	14		14
放送授業:理解しやすかった	11		11
放送授業:分かりやすい解説	10	1	11
放送授業:講師の熱意・熱心さが伝わった	9		9
放送授業:図・表・写真・映像があり、分かりやすかった	9		9
放送授業:印刷教材と異なる内容で良かった	7		7
放送授業:良い授業だった	4	1	5
放送授業:メディアの特性に合った授業内容だった	3		3
放送授業:講師以外の人や複数の専門家の話を聞いた	1		1
放送授業:印刷教材の内容が連動していて良かった	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材:良い教材だった	3	1	4
印刷教材:理解しやすかった	2	2	4
印刷教材:構成・内容が良かった	2		2
印刷教材:様々な事例・具体的な事例が良かった	1		1
印刷教材:手元に置き、今後も読みたい内容だった	1		1
印刷教材:図・表・写真・イラストがあり、分かりやすかった		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
通信指導:指導内容が良かった	1		1
通信指導:学習内容の理解・整理に役立った	1		1
通信指導:記述式が良かった	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
単位認定試験:記述式が良かった	3		3

【学部】「社会と産業」

改善点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
構成・内容が良くない	22	6	28	放送授業:印刷教材と異なる講義が聴きたい	4	11	15
難しい、高度すぎる、理解できない	7	6	13	放送授業:印刷教材の内容が異なる、連動していない	10	2	12
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	6	4	10	放送授業:理解しにくい	3	4	7
内容が浅い	7	1	8	放送授業:授業の構成・内容が良くない	4	2	6
内容の詰め込みすぎ	4	4	8	放送授業:講師(ナレーター)の声が聞き取りづらい	3	3	6
具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい	5	1	6	放送授業:授業に興味・関心が持てなかった	1	4	5
最新の内容を講義してほしい	5		5	放送授業:メディアを変更してほしい		4	4
内容にまとまりがない	4	1	5	放送授業:手話通訳、または字幕がほしい	3		3
時間が取れなかった	2	3	5	放送授業:講師の熱意が伝わらない	3		3
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	3	1	4	放送授業:講師の解説、指導が良くなかった	2	1	3
引用・参考文献、補助教材、問題集を紹介・発刊してほしい	3		3	放送授業:専門家の意見が聴きたい	2	1	3
期待していた内容ではなかった	1		1	放送授業:講義のテンポが良くない(早い・遅い)	2		2
(各章ごとに)まとめや学習ポイント、総括がほしい	1		1	放送授業:図・表・写真・映像を多く取り入れてほしい	2		2
練習問題が(もっと)欲しかった	1		1	放送授業:テレビの図・表・写真が見にくい、見せ方を改善してほしい	2		2
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい	1		1	放送授業:講師により内容にバラつきがある、解説が異なる	1	1	2
質問や相談がしたい	1		1	放送授業:インターネットでの視聴方法が分かりにくい、使いづらい	1		1
興味・意欲がわかなかった		1	1	放送授業:(各章ごとに)まとめや学習ポイント、総括がほしい	1		1

印刷教材				通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材:理解しにくい	3	9	12	通信指導:課題(問題)の範囲、難易度、量が適切ではなかった	1	3	4
印刷教材:図・表・写真・イラストを増やしてほしい	3	5	8	通信指導:添削・コメントに不満がある	3		3
印刷教材:構成・内容が良くない	6	1	7	通信指導:通信指導の問題に誤りがあった	1		1
印刷教材:フリガナ、専門用語の説明などがほしい	2	1	3	通信指導:課題(問題)が、放送授業、印刷教材と内容がずれている		1	1
印刷教材:図・表・写真・イラストが小さくて見づらい	2		2				
印刷教材:文字が読みづらい	2		2				
印刷教材:放送授業中の資料・データを載せてほしい	2		2				
印刷教材:あまり良い教材ではなかった	1	1	2				
印刷教材:内容が薄い・少なすぎる	1	1	2				
印刷教材:誤植がある	1		1	単位認定試験:難しすぎる、難易度を下げるべき	2	1	3
印刷教材:具体的な事例・実践的な内容を載せてほしい	1		1	単位認定試験:試験の設問内容に違和感があった	1	2	3
印刷教材:色刷りにしてほしい	1		1	単位認定試験:試験の解答方法を変更・改善してほしい	1	1	2
印刷教材:内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる		1	1	単位認定試験:試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった	1		1

主な改善点の提案:集約

- 構成・内容が良くない
- 放送授業:印刷教材と異なる講義が聴きたい
- 難しい、高度すぎる、理解できない

- 放送授業:印刷教材の内容が異なる、連動していない
- 印刷教材:理解しにくい
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい
- 内容の詰め込みすぎ

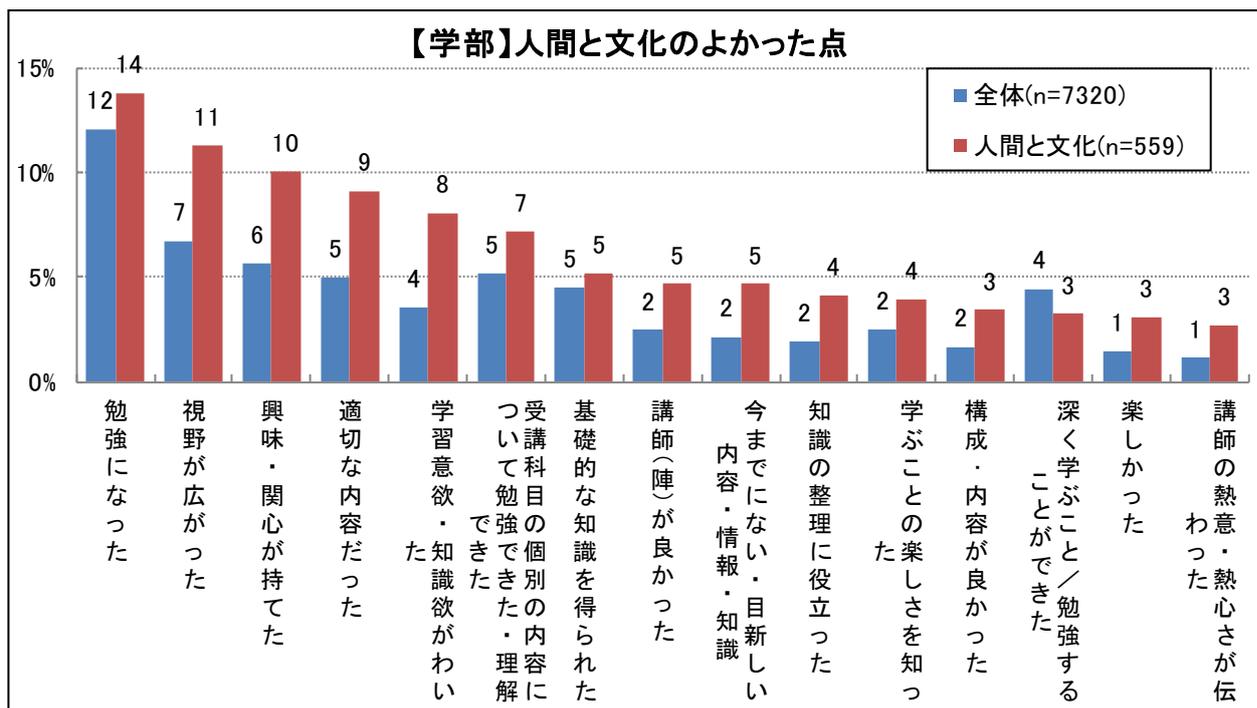
【学部】「人間と文化」の傾向

よかった点

「勉強になった」が全体をわずかに上回り 14%と、最も高かった。

他に「視野が広がった」「興味・関心が持てた」「適切な内容だった」「学習意欲・知識欲がわいた」が10%前後で続き、いずれも全体を上回っていた。

図 2 - 9 1 【学部】よかった点

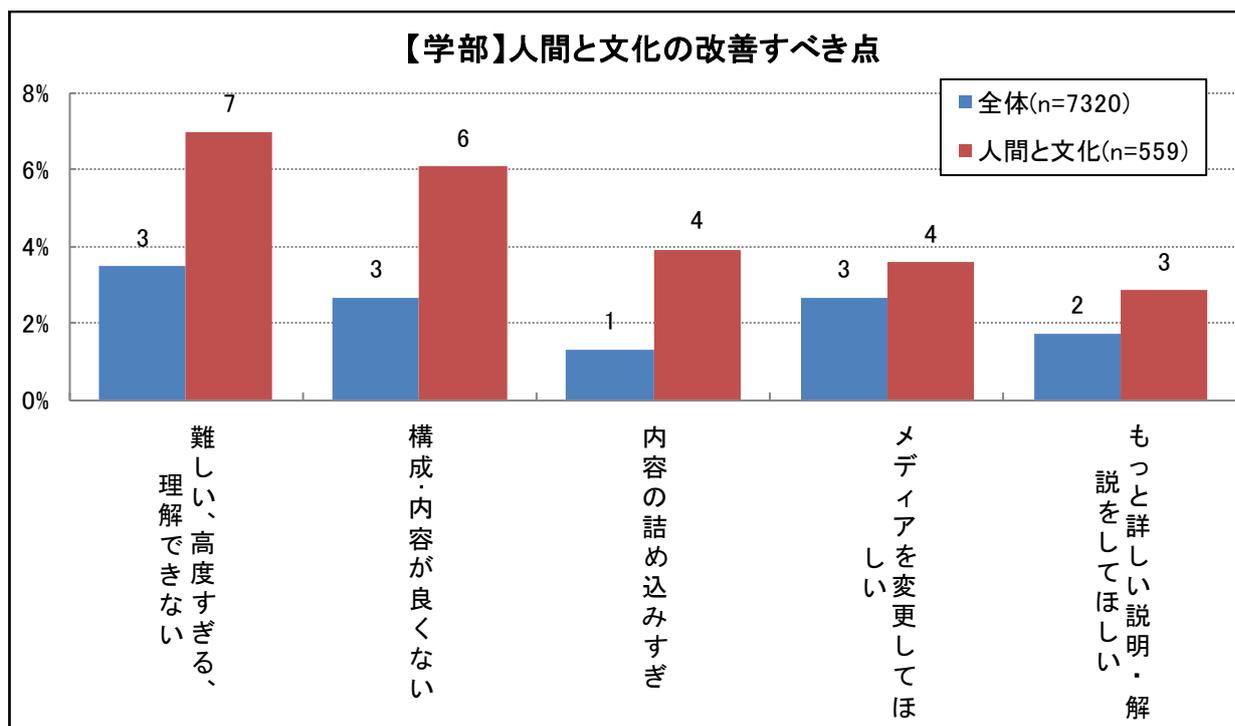


【学部】「人間と文化」の傾向

改善点

「難しい、高度すぎる、理解できない」が7%で最も高く、次いで「構成・内容が良くない」が6%でこれに続き、両項目とも、全体を上回っていた。

図 2-92 【学部】改善すべき点



【学部】「人間と文化」抜粋

よかった点

- これまで、日本を始めヨーロッパ・南北アメリカ・韓国朝鮮・東南アジア等の歴史を履修したが、今回中国と東部ユーラシアの歴史を履修して、世界の歴史全般の推移、関連性がよく理解できて、この科目の受講は大変役立った。
- 近い隣国であり、しかも経済上強いつながりがあるにも関わらず、中国という国について断片的な知識しかなかったので、東部ユーラシアと関連して通史を学べたことは、今までの中国理解とは違う観点を教えていただけたと思う。
- 流動する東部ユーラシアの歴史のいつも中心にあった中国が、どうしていつも人目を引き続けたのか、どうしてうらやまれるような文明文化を造り続けることができたのか、さらに不思議が深まった。
- 丁寧に作られていて、文化人類学というのは、現代において必要な知識だということを感じてもらった。
- 今まで日本の文学を中心に読んでいたので、世界の文学として何を読んだら良いのかわからなかったが、この授業を受講することにより、道を示してくれた。
- 個人的に関心のあった、仮名手本忠臣蔵や、江戸時代の医学、島原天草一揆について詳しく知ることができたことが収穫だった。
- 日本語を使う立場（文章表現することが多い）なので、基本はしっかりと押さえておきたいと思っていた。その部分はしっかりと栄養補給できたと感じる内容だった。
- 近世の歴史を通常に通史ではなく、文化について社会や都市構造との関係で取り上げられており、非常に新しい視点での講義であると感じられた。
- 講師の進め方が良かった。学習者の目線で講師に質問したり答えたりして下さったのが印象的だった。他の講師も、シナリオ読み上げ口調でなく、自然な語り口で聞きやすかった。
- 最近、興味や関心はあるが、よく理解できていないまま分かったような気になっているものが多いかにかいかに気づかされた。曖昧なままで生きていく事ももちろん可能だが、この年齢で、この授業を通じて系統的に整理して理解することが出来たので、とても良かったと思う。
- アジアの一員として、大国中国についてのスパンの長い視点が得られて、大変面白くためになった。
- 放送授業について、内容に関係のある場所からの講義は、実際の様子を見ることができて楽しく、これまでよりも文化人類学に興味を覚え、関心が高まるきっかけになった。
- まとまって学ぶことがない江戸時代の文化について知ることができた。表面的なことではなく、文化の担い手等にも行き届いた説明だった。
- 主任講師の先生だけでなく、各方面の先生方がそれぞれに専門の内容を話して下さり、また、学問的ではないかも知れないけれど、面白いネタ話のようなものはさまざまでいて、とても楽しく授業を受けられた。
- 国際関係を勉強し、「人とはいったい何だろう」という疑問からこの科目を受講した。答えがあるようでない課題にどう挑んできたのか、講師陣の思いが伝わってきたように思う。
- 小説が好きで、時代小説もたくさん読んだが、江戸時代の三都の芸能の仕組みがよく分かり、又京都の清凉寺が、17世紀後半以降、都市へ出張し「出開帳」を積極的に行ったことなど、初めて知った。
- いろいろある言語の中で、改めて日本語について勉強してみたかったので、その特徴を勉強できることは大変良かったと思う。
- テレビ教材では、短いセンテンスで分かりやすく説明した講義だったので、理解しやすかった。

改善点

- かなり専門的だと感じた。一度授業を見ただけでは単位認定試験は難しいと思った。
- たまに混乱や重複、誤解等の可能性があるので、ある時代とその事象等について、できるだけ1つの、又は連続する章で網羅し、完結していただく方が有難い。
- テーマが少し広がりすぎている感じがした。
- 図版や写真があるので、ラジオよりテレビで画像が見られたら良かった。
- 日本語学入門なので、もう少し文法の説明が多い方が良かった。外国語との比較で、冠詞、否定疑問文の Yes・No の逆転、come と go の関係、時制の範囲等、戸惑うことが多いので、日本語文法の特徴をもう少し詳しく知りたいと思った。
- テキストの文言、順序と放送内容が違っており、戸惑うことがあった。
- 写真や、動画などがもっとあると、理解が進むかと思った。
- 回によって、教科書の理解度が違うと思った。執筆する先生の違いだと思うが、理解しやすさに差があると感じた。
- より深い理解の為、「入門」に続く科目の開設を希望する。
- 「世界の古典を読む」とあるのに、中国以外はヨーロッパの古典しか取り扱っていなかったこと。もっと他の地域の古典も学びたかった。
- 複雑な歴史の流れを分かりやすく年表で表していただけると、より理解しやすくなると思う。
- 「日本の近世」というタイトルから、政治（徳川時代）・経済・対外関係等に関係した項目と思っていた。しかし内容は文化に関係するものが多かった。文化から世の中が見えてくることもあるが、朝顔の話は意外だった。もっと政治経済に関わる項目が読みたかった。
- 先生同士のやりとりでは、シナリオや教材通りでなく、素直に答えてほしいと思った。
- ひとつひとつの作品を読むことを勧めていただいたが、講義についていくのに精一杯で時間がないし、図書館がコロナのため閉館だったりして手に取ることができず、結局、自分が課題として取り組んだもの以外は消化できずに終わった。
- 講師が複数の為、テーマがばらけがち。
- ラジオ講座のため、教科書の図版をもっと見やすく大きく載せてほしい。
- 試験問題選択回答の内容が勘違いしやすい。あまり紛らわしくすることはないと思う。
- せっかくのテレビ番組なのだから、先生方のお話や図表ばかりでなく、実際に言葉を使っている場面を見たかった（特に方言、敬語、言葉の位相など）。
- ほとんどの講師が印刷教材をなぞって読んでいるような授業だったので、テレビ科目にして、図や表などをカラーで見せてほしかった。
- 放送授業のフリップ（地図・年表）の文字が小さく、フォントも見づらかった。

【学部】「人間と文化」

よかった点

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった	55	22	77	放送授業: 講師(陣)が良かった	21	5	26
視野が広がった	46	17	63	放送授業: 構成・内容が良かった	19		19
興味・関心が持てた	38	18	56	放送授業: 楽しかった	15	2	17
適切な内容だった	34	17	51	放送授業: 講師の熱意・熱心さが伝わった	12	3	15
学習意欲・知識欲がわいた	35	10	45	放送授業: 理解しやすかった	9	1	10
受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた	26	14	40	放送授業: 分かりやすい解説	8		8
基礎的な知識を得られた	25	4	29	放送授業: 講師以外の人や複数の専門家の話を聞いた	3		3
今までにない・目新しい内容(情報・知識)	13	13	26	放送授業: 良い授業だった	2	1	3
知識の整理に役立った	21	2	23	放送授業: メディアの特性に合った授業内容だった	2		2
学ぶことの楽しさを知った	15	7	22	放送授業: 図・表・写真・映像があり、分かりやすかった	2		2
深く学ぶ(勉強する)ことができた	14	4	18	放送授業: 印刷教材の内容が連動していて良かった	2		2
よく理解できた	8	3	11	放送授業: 重要な要点・ポイントが理解・把握・学習できた	1		1
満足している	9	1	10	放送授業: 発音を聞くことができた(語学)		1	1
今後に役立つ内容	8	1	9				
自分の意見・考えを持てるようになった	7	2	9				
科目の学問的性質、位置づけがわかった	4		4				
身近に感じる内容だった	3	1	4				
引用・参考文献、補助教材、問題集の紹介が良かった	2	2	4				
視点、考え方が変わった	1	2	3				
授業以外の自分の勉学・個人的な勉強に役だった	2		2				
具体的な事例・実践的な内容があった	1	1	2				
小テスト、練習問題が良かった	1		1				
専門的な内容だった		1	1				
資料・データが充実していた		1	1				
面接授業や実習が良かった、参加しやすかった		1	1				

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材: 構成・内容が良かった	4	1	5
印刷教材: 理解しやすかった	3	2	5
印刷教材: 良い教材だった	2		2
印刷教材: 学習内容の理解・整理に役立った	1	1	2
印刷教材: 図・表・写真・イラストがあり、分かりやすかった		2	2
印刷教材: 手元に置き、今後も読みたい内容だった	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
通信指導: 指導内容が良かった		1	1

【学部】「人間と文化」

改善点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	35	4	39	放送授業:メディアを変更してほしい	1	19	20
構成・内容が良くない	28	6	34	放送授業:印刷教材の内容が異なる、連動していない	14	1	15
内容の詰め込みすぎ	15	7	22	放送授業:図・表・写真・映像を多く取り入れてほしい	4	10	14
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	13	3	16	放送授業:授業の構成・内容が良くない	6	3	9
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	9	2	11	放送授業:テレビの図・表・写真が見にくい、見せ方を改善してほしい	6		6
内容が浅い	5	5	10	放送授業:印刷教材と異なる講義が聴きたい	3	3	6
期待していた内容ではなかった	7	2	9	放送授業:理解しにくい	5		5
内容にまとまりがない	5	3	8	放送授業:講義のテンポが良くない(早い・遅い)	5		5
時間が取れなかった	3	5	8	放送授業:解説中の印刷教材のページが分かりにくい	3	1	4
具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい	5	1	6	放送授業:講師(ナレーター)の声が聞き取りづらい	2	2	4
授業科目案内は内容が不十分だった	2	2	4	放送授業:手話通訳、または字幕がほしい	3		3
興味・意欲がわかなかった	2	1	3	放送授業:講師の解説、指導が良くなかった	3		3
引用・参考文献、補助教材、問題集を紹介・発刊してほしい	1		1	放送授業:講師の熱意が伝わらない	3		3
練習問題が(もっと)欲しかった	1		1	放送授業:講師により内容にバラつきがある、解説が異なる	2	1	3
(各章ごとに)まとめや学習ポイント、総括がほしい	1	1	2	放送授業:(各章ごとに)まとめや学習ポイント、総括がほしい	2		2
				放送授業:授業に興味・関心が持てなかった	1	1	2
				放送授業:授業中に使用された映像・音楽が他メディアで視聴できなかった		1	1
				放送授業:専門家の意見が聴きたい		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材:理解しにくい	12	1	13
印刷教材:図・表・写真・イラストを増やしてほしい	6	4	10
印刷教材:図・表・写真・イラストが小さくて見づらい	2	6	8
印刷教材:色刷りにしてほしい	1	5	6
印刷教材:文字が読みづらい	4	1	5
印刷教材:構成・内容が良くない	3	2	5
印刷教材:あまり良い教材ではなかった	4		4
印刷教材:放送授業中の資料・データを載せてほしい	3		3
印刷教材:誤植がある	2		2
印刷教材:内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	1		1
印刷教材:内容が薄い・少なすぎる	1		1
印刷教材:引用・参考文献、補助教材・問題集を紹介してほしい	1		1
印刷教材:放送授業の要約を載せてほしい	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
通信指導:課題(問題)の範囲、難易度、量が適切ではなかった	2	3	5
通信指導:課題(問題)の解答・解答例・解説がほしい	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
単位認定試験:試験の設問内容に違和感があった	6	2	8
単位認定試験:試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった	2	2	4
単位認定試験:難しすぎる、難易度を下げるべき	1	1	2
単位認定試験:試験の解答方法を変更・改善してほしい	1		1
単位認定試験:教材・電卓持込み可にしてほしい		1	1

主な改善点の提案:集約

- 難しい、高度すぎる、理解できない
- 構成・内容が良くない
- 内容の詰め込みすぎ

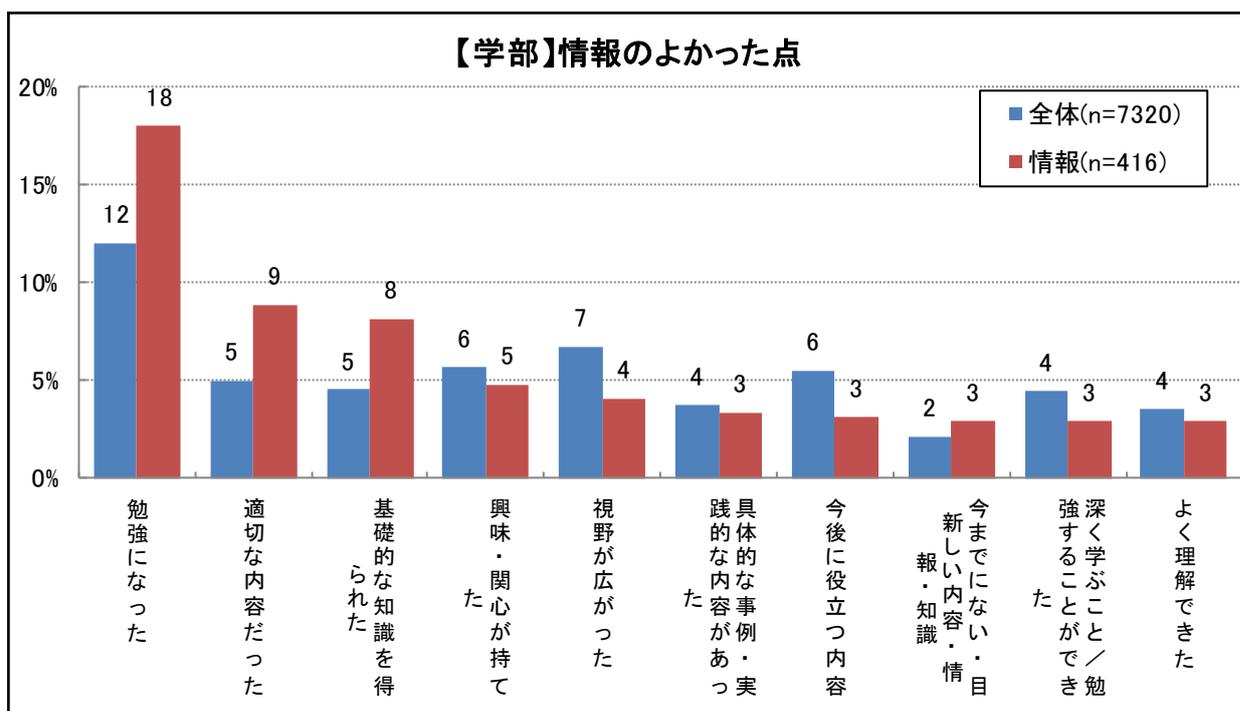
- 放送授業:メディアを変更してほしい
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい
- 放送授業:印刷教材の内容が異なる、連動していない
- 放送授業:図・表・写真・映像を多く取り入れてほしい

【学部】「情報」の傾向

よかった点

最も多かったのは「勉強になった」で18%、他に「適切な内容だった」「基礎的な知識を得られた」が8、9%で上位に挙げられ、いずれも全体を上回っていた。

図 2 - 9 3 【学部】よかった点



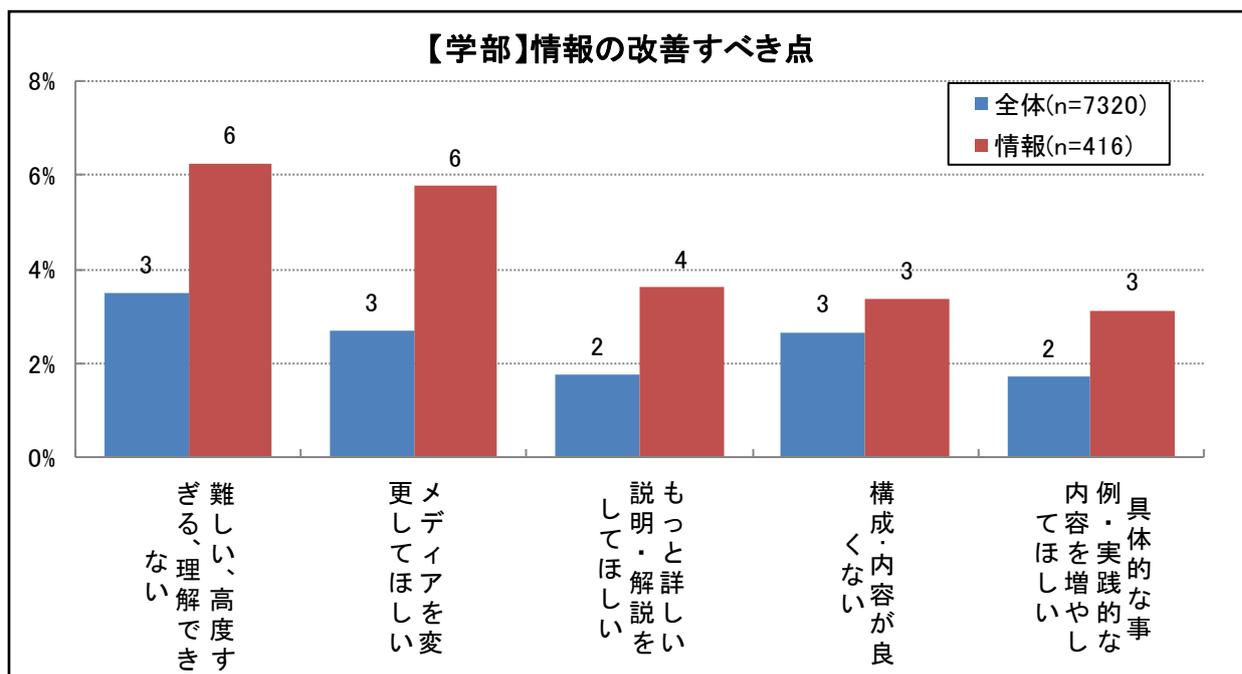
【学部】「情報」の傾向

改善点

「難しい、高度すぎる、理解できない」と「メディアを変更してほしい」が6%で、全体を上回っていた。

他では「もっと詳しい説明・解説をしてほしい」が4%で続き、この項目も全体を上回っていた。

図2-94 【学部】改善すべき点



【学部】「情報」抜粋

よかった点

- 難解な無線通信における変調方式の理解に役立った。漫然と使っている通信技術の片鱗に触れることができた。
- 情報技術の捉え方が、いわゆるコンピュータを中心とした技術にとどまらず、遺伝子なども含んでいたことが良かった。
- Rの使い方、使用例などを通して、分析法の導入的要素に触れることができた。
- 歴史や発達から実践まで、広い範囲を贅沢に網羅していて興味深かった。実際に映像制作に携わっている人のインタビューは興味深い。
- 情報が人間にとって必要不可欠なものであり、情報伝達の仕組みの複雑さ、神秘的な面もあることに驚いた。色々な切り口で物を見ることの大切さが理解できた。
- 放送授業での調査場面の映像など、理論に留まらない具体的な取り組みの方法について知ることができた。
- IT技術者として、ユーザビリティやどういう視点でユーザのことを考慮すべきか、ユーザがどういう視点で評価するのか、またその方法が分かったので、今後の業務に役立てられるのではないかと思った。
- 映像技術の未知の世界と、多くのスタッフの苦勞と努力で成り立っていることが理解できて、受講して良かった。
- ネットワークの最新の知識が体系的に習得できた。
- メディア教育の歴史的な背景を知ることによって、メディアリテラシーの定義や内容がとてもよく理解できた。大学教育における課題と、ICT活用の関わりについても理解を深めることが出来た。
- ユーザ調査がいかに大切かを改めて知る機会を得ることができ、満足している。
- 間違っ覚えていたかはまだよく分からないが、何となくプログラミング言語を理解できるところも出てきて、楽しくなってきた。
- 最近のAIの状況を目にすることは多くあるが、現在に至る流れを整理して学んだことはなかった。本講義を通じて整理をすることができた。
- 学生時代に映像コンテンツを友人達と制作していたが、時代が流れ、技術の進化に対応できない自分に苛つきを感じていたので、また昔を思い出して自分で制作するきっかけとなった。
- 電気情報通信の極めて広範囲を、エンジニア以外でも理解できる適切な難易度で書かれている印刷教材が良かった。一般人が教養として知っておくと良い最低限の内容が網羅的に書かれている。
- ロボットについて理解できたのが良かった。また、AIとは、最初からすぐれた頭脳を持っていると考えていたが、学習させることによってAIになっていくことがよく分かった。
- 長男が情報関係の仕事をしているので、パソコン関係のやり取りをする時の意思疎通がしやすくなった。
- 生物学と心理学の異なるアプローチからの授業展開は面白かった。
- AIのブームが何度もあったことと、今日のAIを築いた先人達の努力がよく分かった。歴史的背景を丁寧に説明していただいているので、大変分かりやすかった。
- 分析の種類がいっぱいあるので難しかったが、1つの分析方法で1科目になってもおかしくないぐらい奥が深いと知った。

改善点

- 省略英字が多くて、理解に苦労した。概論とはいうものの、かなりの知識が必要だと思った。
- 一般教養の範囲を超えている内容だった。
- 自動運転の車が動くところ、ロボットが動くところ、映像解析など、実際に映像で見たいところがあった。ラジオ科目ではなく、テレビ科目にすべきだと思う。
- プログラミングの部分が、印刷教材のみでは理解できない箇所があった。プログラミング初心者でも理解できるような説明があると良いだろう。
- 自分は確率統計を既習だが、確率、統計を知らないと、操作法は分かっても何をやっているのかが分からないのでは？と感じた。
- 多分野にわたるため、それぞれの事例が限られていたのが残念だった。
- 内容が薄く、先生の知っている範囲の研究分野の狭い範囲を、何度も角度を変えながら章を変えて説明している感じの講義だった。
- テーマが盛りだくさんで、やや消化不良気味。
- 4年間、同じテキスト・映像で学ぶのは厳しいと思った。
- 試験問題が空欄をうめるという、ある意味で単純すぎると思うので、もう少し、読解力、理解力を問うような試験問題にしてほしい。
- テキストの文がおかしい。主語がないことが多く、また、句読点が適切に使われておらず、加えて文を不適切に区切っているところもあるため、何について書いているのか理解できないところが多い（内容が分からないという意味ではなく、単純に書き方の問題）。もう一度テキストを見直されることを望む。
- 実務担当者の話を直接聞くことができる点は良かったが、説明のポイントが分かりづらい場合があった。
- 印刷教材を読むだけではしょうがない。
- 印刷教材の記載に曖昧な点があり、内容を理解しにくいところが少なからずあった。もう少し断定的に記載しても良いのではないかと感じた。
- もう少し印刷教材の説明が詳細だと、より理解が深まったように感じる。
- 最後の章にあった VR 等の部分を独立させて、面接授業、新教科にしてももらえたら、受講したい。ご検討をお願いします。
- 放送授業と教科書の内容が一致していないことが多く、自分で教科書と放送授業の違いを埋める作業を必要とした。
- ネットワークという物理的に目で見えて認識しづらいものを扱っているので、図や写真がもっとふんだんにあると嬉しい。
- 放送は二人の講師の対話形式で良かったが、男性講師のしゃべり方がゆっくり過ぎるように感じた。間延びしてしまって、かえって聞き取りにくく感じた。
- 印刷教材は可能な限りカラーにした方が良いと感じた。グレーでは分かりにくいところが多かった。

【学部】「情報」

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった	37	38	75	放送授業:構成・内容が良かった	5		5
適切な内容だった	23	14	37	放送授業:分かりやすい解説	1	3	4
基礎的な知識を得られた	21	13	34	放送授業:理解しやすかった	3		3
興味・関心が持てた	16	4	20	放送授業:図・表・写真・映像があり、分かりやすかった	3		3
視野が広がった	14	3	17	放送授業:現場取材や(専門家・ゲスト・第一線の方の)インタビューが良かった	3		3
具体的な事例・実践的な内容があった	10	4	14	放送授業:楽しかった	2	1	3
今後に役立つ内容	10	3	13	放送授業:講師(陣)が良かった	1	2	3
今までにない・目新しい内容(情報・知識)	6	6	12	放送授業:重要な要点・ポイントが理解・把握・学習できた	2		2
よく理解できた	5	7	12	放送授業:アシスタントが良かった	2		2
深く学ぶ(勉強する)ことができた	5	7	12	放送授業:対話形式の授業が良かった		2	2
満足している	8	2	10	放送授業:良い授業だった		1	1
学ぶことの楽しさを知った	6	3	9	放送授業:講師以外の人や複数の専門家の話を聞けた		1	1
知識の整理に役立った	3	4	7				
学習意欲・知識欲がわいた	3	3	6				
受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた	4	1	5				
身近に感じる内容だった	4	1	5				
専門的な内容だった	2	1	3				
引用・参考文献、補助教材、問題集の紹介が良かった	1	1	2				
自分の意見・考えを持てるようになった	1		1				
授業科目案内は役に立った	1		1				
授業以外の自分の勉学・個人的な勉強に役だった		1	1				

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材:構成・内容が良かった	2	4	6
印刷教材:引用・参考文献の紹介が良かった	1		1
印刷教材:良い教材だった		1	1
印刷教材:理解しやすかった		1	1
印刷教材:様々な事例・具体的な事例が良かった		1	1

通信指導

意見	テレビ	ラジオ	合計
通信指導:課題(問題)が、放送授業・印刷教材と同じで良かった		1	1

【学部】「情報」

改善点

(単位:人)

科目全般	意見		
	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	16	10	26
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	8	7	15
構成・内容が良くない	12	2	14
具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい	10	3	13
内容が浅い	11		11
内容の詰め込みすぎ	7	2	9
最新の内容を講義してほしい	6	3	9
関連する科目・基礎科目を開講してほしい	2	3	5
期待していた内容ではなかった	3		3
興味・意欲がわかかなかった	2	1	3
時間が取れなかった	1	1	2
内容にまとまりがない	1		1
面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	1		1
授業科目案内は内容が不十分だった		1	1
質問や相談がしたい		1	1

印刷教材	意見		
	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材:構成・内容が良くない	6	1	7
印刷教材:理解しにくい	3	3	6
印刷教材:内容が薄い・少なすぎる	3	3	6
印刷教材:色刷りにしてほしい	3		3
印刷教材:誤植がある	2	1	3
印刷教材:放送授業中の資料・データを載せてほしい	1		1
印刷教材:放送授業の要約を載せてほしい	1		1
印刷教材:あまり良い教材ではなかった		1	1
印刷教材:内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる		1	1
印刷教材:図・表・写真・イラストを増やしてほしい		1	1
印刷教材:図・表・写真・イラストが小さくて見づらい		1	1
印刷教材:引用・参考文献、補助教材・問題集を紹介してほしい		1	1
印刷教材:フリガナ、専門用語の説明などがほしい		1	1

放送授業	意見		
	テレビ	ラジオ	合計
放送授業:メディアを変更してほしい		24	24
放送授業:理解しにくい	4	2	6
放送授業:印刷教材と異なる講義が聴きたい	2	4	6
放送授業:印刷教材の内容が異なる、連動していない	4	1	5
放送授業:図・表・写真・映像を多く取り入れてほしい	3	2	5
放送授業:講師(ナレーター)の音が聞き取りづらい	3	1	4
放送授業:講師により内容にバラつきがある、解説が異なる	3		3
放送授業:講師の解説、指導が良くなかった	2	1	3
放送授業:講義のテンポが良くない(早い・遅い)	1	2	3
放送授業:授業の構成・内容が良くない	2		2
放送授業:講師以外は必要ない、違和感がある	2		2
放送授業:テレビの図・表・写真が見にくい、見せ方を改善してほしい	2		2
放送授業:(各章ごとに)まとめや学習ポイント、総括がほしい	2		2
放送授業:手話通訳、または字幕がほしい		2	2
放送授業:授業に興味・関心が持てなかった	1		1
放送授業:講師の熱意が伝わらない	1		1
放送授業:視聴手段を増やしてほしい(ネット配信・DVD・ビデオ等)		1	1

通信指導	意見		
	テレビ	ラジオ	合計
通信指導:指導内容、対応に不満がある	1		1
通信指導:課題(問題)が、放送授業、印刷教材と内容がずれている	1		1
通信指導:添削・コメントに不満がある		1	1
通信指導:課題(問題)の範囲、難易度、量が適切ではなかった		1	1

単位認定試験	意見		
	テレビ	ラジオ	合計
単位認定試験:試験の設問内容に違和感があった	6	3	9
単位認定試験:試験の解答方法を変更・改善してほしい	1		1
単位認定試験:問題の解答・解説・用紙がほしい	1		1
単位認定試験:難しすぎる、難易度を下げるべき		1	1

主な改善点の提案:集約

- 難しい、高度すぎる、理解できない
- 放送授業:メディアを変更してほしい
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい

- 構成・内容が良くない
- 具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい
- 内容が浅い
- 内容の詰め込みすぎ

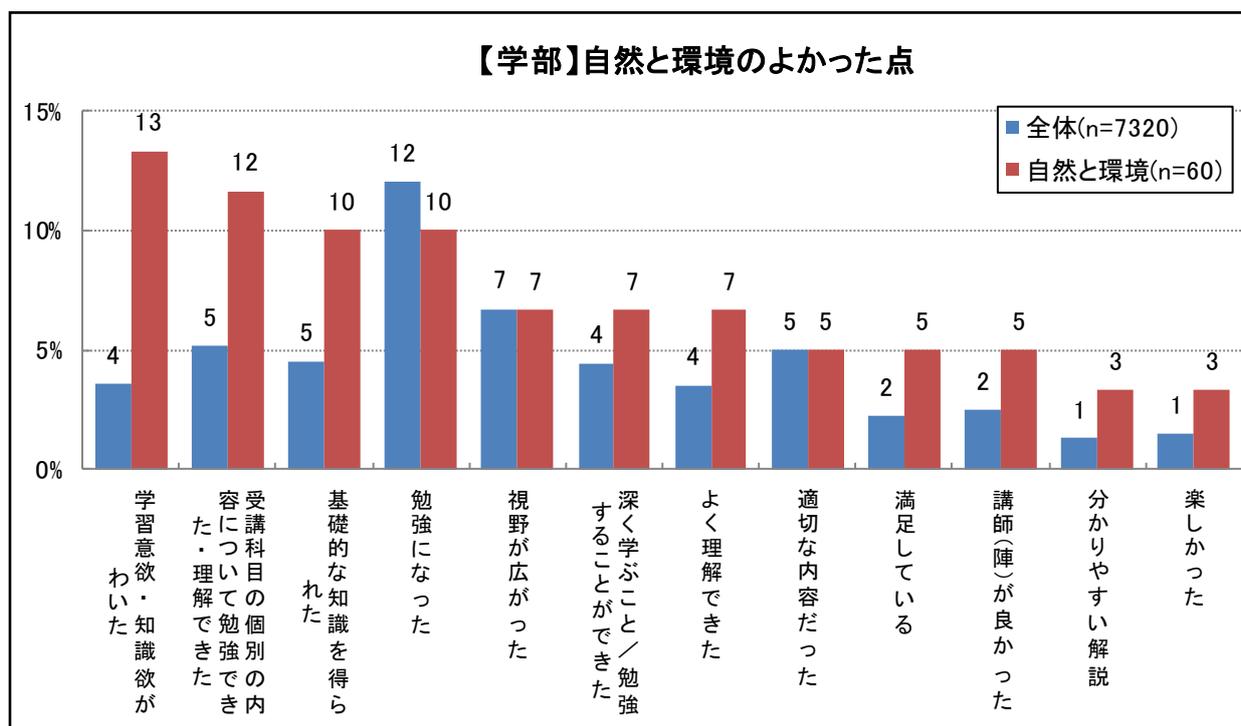
【学部】「自然と環境」の傾向

よかった点

「学習意欲・知識欲がわいた」(13%)と「受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた」(12%)及び「基礎的な知識を得られた」(10%)が高く、しかもいずれの項目も全体を大きく上回っていることから、この3項目が「自然と環境」の特徴的な意見と言えよう。

全体とあまり変わらなかったが、「勉強になった」も10%、挙げられていた。

図2-95 【学部】よかった点



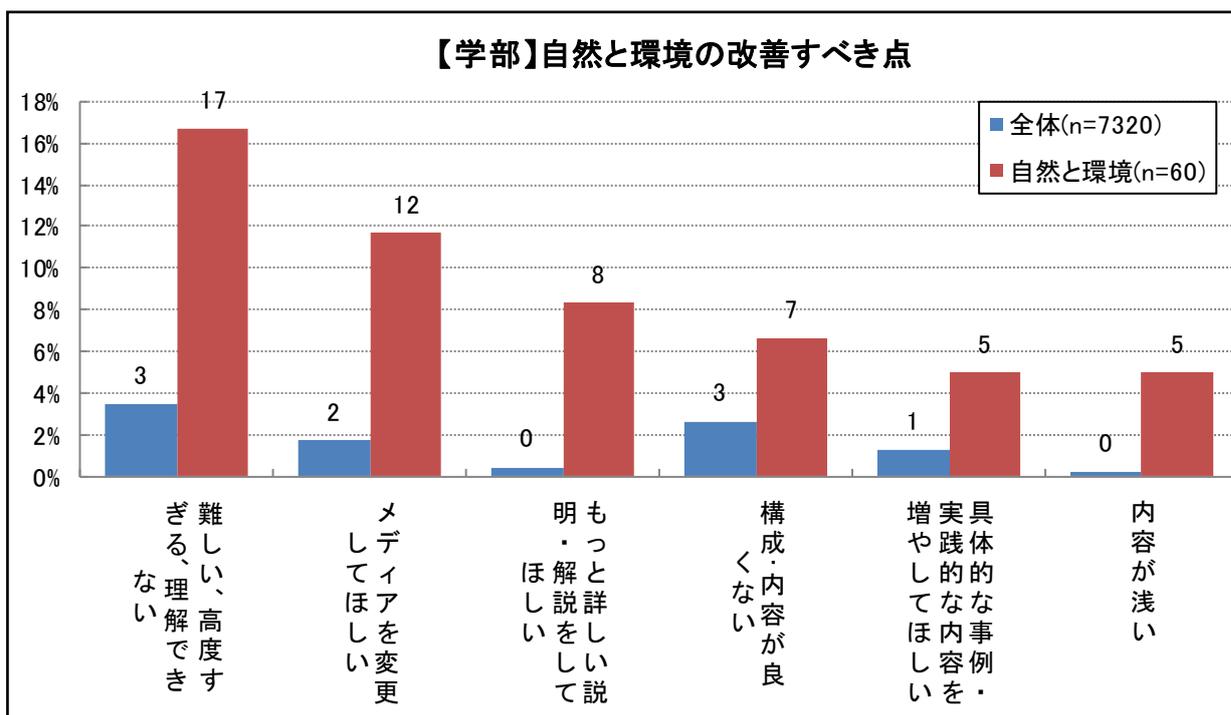
【学部】「自然と環境」の傾向

改善点

「難しい、高度すぎる、理解できない」が17%と最も高く、次いで「メディアを変更してほしい」が12%と、1割を超え、しかも、全体を大きく上回っている事から、「自然と環境」の改善点を代表していると言えよう。

「もっと詳しい説明・解説をしてほしい」も8%で、全体は0%であった。

図2-96 【学部】改善すべき点



【学部】「自然と環境」抜粋

よかった点

- 熱力学が適用できる領域がかなり広いということが分かり、自己学習の良いきっかけになった。
- 復習をする過程で本授業が高度な情報数理系と結びついていることも分かり、そういった学問へのチャレンジ心も芽生えた。
- 電磁気学の部分は理解が大きく進み、とても有意義だった。
- ボルツマンの原理によって分子論的なミクロな情報と巨視的観測量であるマクロな熱力学量がつながることが理解でき、統計力学、化学現象、生命現象との関連性を垣間見ることができた。
- 新しい知識、考え方を知ることが出来た。
- 電磁気学、ベクトル解析、相対論の概要とその数学的基礎について、全体像を俯瞰できた。
- 熱力学はこれまでに何度か学習する機会があり、その度に挫折していたが、エントロピーから始めるという形がとても新鮮で、理解しやすかったと思う。
- 「エントロピー」や「熱力学」に、今まで学んできたのとは違う学習方法があることを知り、そういう意味でも視野が広がったと思う。他分野の学習時のみならず一般的な問題に対しても、より多角的に様々なアプローチ方法を探したり、考えていきたい。
- 熱力学は物理の中でも式の導出が難しい科目だが、本科目はエントロピーを切り口によくまとまっている。私は印刷テキストの読みを2巡と半分、ラジオ放送を1巡あまりして、熱力学そのものの理解が大変深まった。
- 数学の力がなく、当初受講したことを後悔したが、今では受講して良かったと思う。
- エントロピーからはじめる熱力学について、大学教養レベルの内容を勉強することができて良かった。
- 板書の字がきれいな上に、歯切れの良い話し方である講師には好感が持てる。
- 電磁気学や相対性理論など難しい内容もあったが、先生方が歴史や実験なども踏まえながら分かりやすく説明しており、楽しく学べた。
- 先生の授業では、式の導き方の説明が分かりやすかった。
- 先生の説明は面白く、物理の勘所のようなものを教えられた。
- 熱力学に対する講師の考えがうかがわれた。
- よく分からないエントロピーという概念を、できるだけ学習者に理解させたいという思いが伝わる内容で、実際に、学習前よりエントロピーのイメージを捉えやすくなった点が良かった。

改善点

- 第1章から第11章までは、今までに学んだ数学で理解することができた。しかし、一般相対性理論に関する第12から第15章を理解するには、リーマン幾何学やテンソル解析学などの数学的な基礎がないと、全く歯が立たないと感じた。
- 数学の参考図書を見れば良いのだろうが、ほんの少しでも良いので、例えばテンソルについて解説をお願いしたい。
- 法則、方程式及び、式の展開など、数学の記述箇所は理解するのが難しい。教材、講師の方の熱意は感じたが、物理数学の科目が別途必要と感じた。ベクトル、ベクトル解析の知識が必要な科目だった。私は、この知識のレベルが低いいため、数式の理解が不十分だった。ベクトルとベクトル解析の科目があると良いと感じた。
- 数学と社会科学が基礎になっている学問だと聞いたが、その基礎学問との関連がよく分からなかった。基礎学問と熱力学のつながりをもっと詳しく説明してほしい。
- マックスウエルの方程式の共変化については、4元ベクトルポテンシャル、4元電流密度を定義し、それらでマックスウエルの方程式を表し、それを電磁場で表し、反対称テンソルを説明するといったやりの方が、流れが分かりやすいと思った。ネットの「EMANの物理学」が参考になった。
- 相対性理論については、数式の導出過程をもっと細かく記述されていると良かった。
- 本授業を受ける前提としてベクトル解析やテンソルの知識を必要とするが、これらは数学科目や物理のその他の科目での習得では不十分で、別に参考書を必要とした。参考書自体は Maruzen eBook Library など入手可能であるものの、シラバスに明記しておいてほしい。
- 演習や実験でも学習できる面接授業の実施を検討してほしい。
- この難解な課題数式多数を迫りかけるのに、当初毎日問題を解いていた。しかし息切れしてしまい、後半はネットにある熱力学 youtube に見聞き入ってしまった。ラジオだと飽きてしまった。画像を録画して繰り返し見て、学習したいと心底思っている。
- 印刷教材の数式をきちんと理解することは容易ではなく、自分の場合、半年ではとても消化できなかった。演習が通信指導だけで少ないため、印刷教材にも演習問題があれば良いと思う。
- 相対性理論を理解するための数学的準備が必要なことから、授業科目案内で、科目履修前の事前学習を促しておくか、この科目を理解するための科目を新設すべきだと思う。
- ラジオ科目なので、もう少しゆっくり数式等話していただければ良かったと思う。ただ、専門科目であるので仕方ないことであるかもしれないが（自分の理解力不足）。
- 先生の熱意は本当によく伝わってくるが、口をはっきり開けていないために、聞き取りにくい部分が多くあった。一般的な話として、先生達にお話してもらえたら、耳が悪く聞き取りにくい人も多いし、その場で質問できないので、はっきり発音することを心掛けてほしい。
- アシスタントの方は要らないと思う。分かりやすくその授業のまとめを言ってくれたりするのはありがたいが、合いの手がわざとらしいし、論点から逸れたようなことを質問したりするのは、個人的には集中が途切れるので、なくても良いと思った。
- 講義内容の習得のためにも、章ごとに課題が出され、添削指導をしてほしい。

【学部】「自然と環境」

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
学習意欲・知識欲がわいた	4	4	8	放送授業:講師(陣)が良かった	3		3
受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた	4	3	7	放送授業:楽しかった	2		2
基礎的な知識を得られた	5	1	6	放送授業:分かりやすい解説	2		2
勉強になった	3	3	6	放送授業:重要な要点・ポイントが理解・把握・学習できた	1		1
よく理解できた	2	2	4	放送授業:アシスタントが良かった	1		1
深く学ぶ(勉強する)ことができた	2	2	4	放送授業:良い授業だった		1	1
視野が広がった		4	4	放送授業:構成・内容が良かった		1	1
満足している	1	2	3	放送授業:理解しやすかった		1	1
適切な内容だった		3	3	放送授業:講師以外の人や複数の専門家の話を聞けた		1	1
専門的な内容だった	1		1	放送授業:対話形式の授業が良かった		1	1
今までにない・目新しい内容(情報・知識)			1				
知識の整理に役立った			1				

単位認定試験

意見	テレビ	ラジオ	合計
単位認定試験:科目内容の理解度ををはかるのに相応しい内容だった		1	1

【学部】「自然と環境」

改善点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	7	3	10	放送授業:メディアを変更してほしい		2	2
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	5	2	7	放送授業:理解しにくい	1		1
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	5		5	放送授業:講師(ナレーター)の音が聞き取りづらい	1		1
構成・内容が良くない	3	1	4	放送授業:講師により内容にバラつきがある、解説が異なる	1		1
内容の詰め込みすぎ	3		3	放送授業:講師以外には必要ない、違和感がある	1		1
引用・参考文献、補助教材、問題集を紹介・発刊してほしい	3		3	放送授業:(各章ごとに)まとめや学習ポイント、総括がほしい	1		1
面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい		2	2	放送授業:手話通訳、または字幕がほしい		1	1
練習問題が(もっと)欲しかった	1		1	放送授業:講義のテンポが良くない(早い・遅い)		1	1
授業科目案内は内容が不十分だった	1		1				
内容が浅い		1	1				

印刷教材

意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材:理解しにくい	2		2
印刷教材:図・表・写真・イラストを増やしてほしい		1	1
印刷教材:図・表・写真・イラストが小さくて見づらい		1	1
印刷教材:誤植がある		1	1

通信指導

意見	テレビ	ラジオ	合計
通信指導:課題(問題)の範囲、難易度、量が適切ではなかった	2		2
通信指導:指導内容、対応に不満がある	1		1
通信指導:課題(問題)の解答・解答例・解説がほしい		1	1

主な改善点の提案:集約

- 難しい、高度すぎる、理解できない
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい
- 関連する科目・基礎科目を開設してほしい

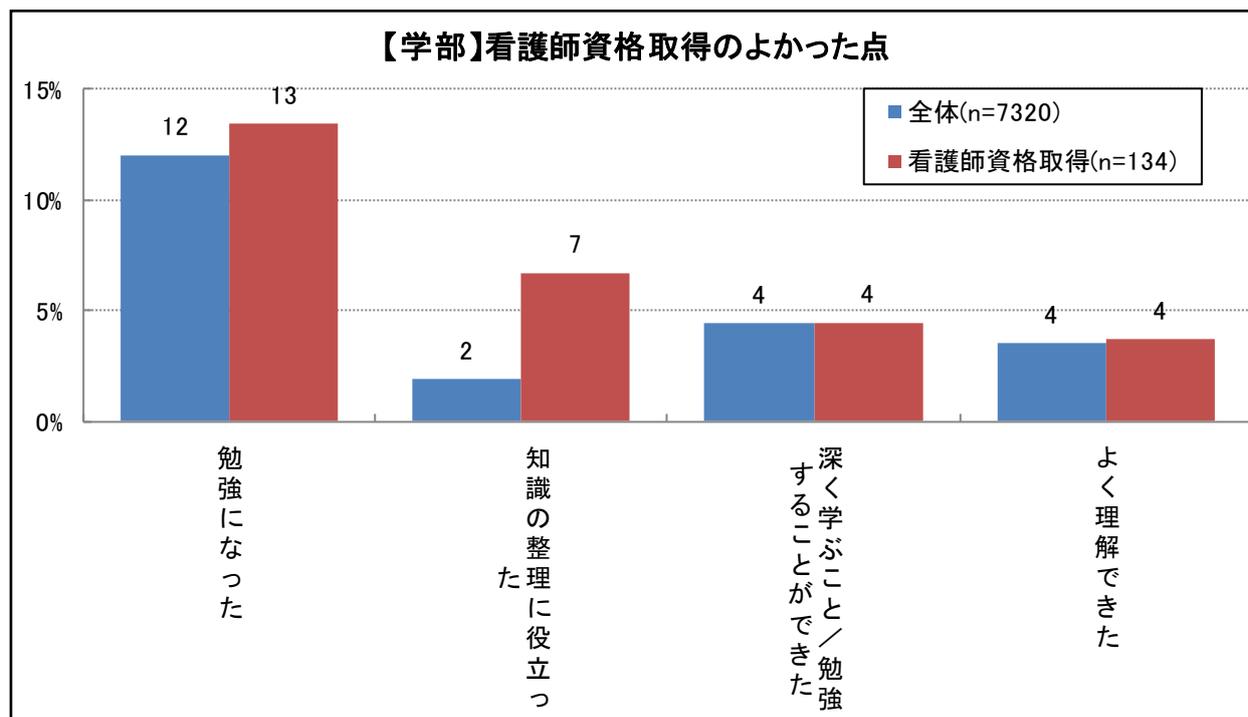
- 構成・内容が良くない
- 内容の詰め込みすぎ
- 引用・参考文献、補助教材、問題集を紹介・発刊してほしい
- 面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい

【学部】「看護師資格取得」の傾向

よかった点

「勉強になった」が13%で群を抜いており、他に「知識の整理に役立った」が7%と続いた。

図 2 - 9 7 【学部】よかった点

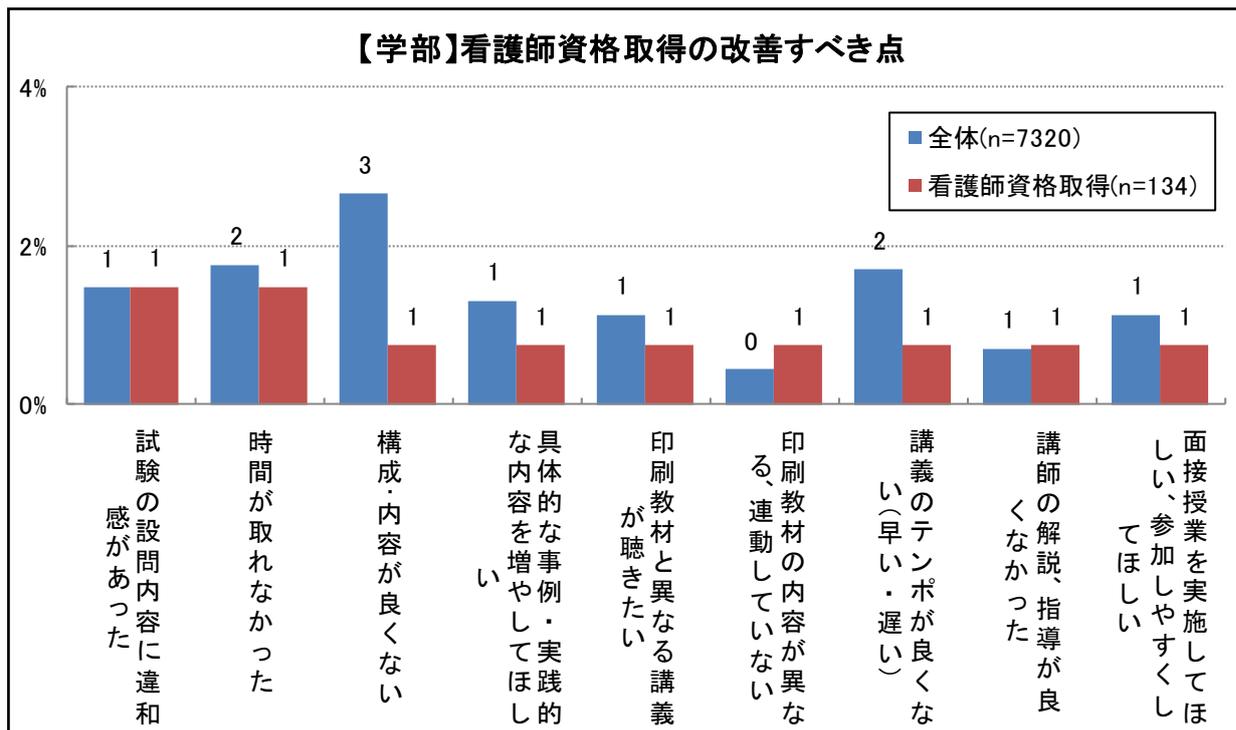


【学部】「看護師資格取得」の傾向

改善点

「試験の設問内容に違和感があった」や「時間が取れなかった」などが1%で続いており、「看護師資格取得」では改善点で挙げられた意見は、分散しており、その比率も極めて小さかった。

図 2 - 9 8 【学部】改善すべき点



【学部】「看護師資格取得」抜粋

よかった点

- 先進国である日本の周産期医療の現状を知ることができた。
- ウィメンズヘルスの考え方、周産期医療などを学ぶことができた。
- 女性が妊娠するにあたり、気をつけなければならないこと、置かれている現状などすべて良かった。
- 母性看護は経験がないので、新たな学習ができた。
- 20年以上前に学んだが、再学習としてはすごく分かりやすく良かった。
- 母子保健の仕事に携わっているが、時代に合わせた内容で、知識の確認と新しい情報を得ることができた。
- 准看護師資格取得の際に受けた講義から、更に深く学べた。
- 母性看護について改めて学習できて、知識を深めることができた。
- 我が国の地域母子保健における問題点が分かりやすく、今政府が取り組もうとしている不妊治療の助成についてなど、学習したことが結びつき、より理解が深まった。
- 産後1年未満なので、妊娠出産のことは実体験を重ねつつ、専門的にも学べたので良かった。
- 母性だけでなく小児もリンクしていて良かった。
- 母性看護学の先生方が若くてフレッシュで、とても良かった。
- 産科に興味があるので楽しく受講できた。
- 近年の周産期医療について理解できた。
- 今後の国家試験対策として、この科目の基本的知識を身につけられて良かった。
- 複数回質問をさせてもらったが、つたない学生の質問に全て回答して頂けた。疑問が解決したことに、感謝致します。

改善点

- 言い回しが遠く感じた、もっと明瞭完結だと良いと感じた。
- 分娩経過や妊娠期から分娩期の看護、助産業務などの学習があまりにあっさりしており、母性看護学というより女性のライフスタイル学のような感じ。
- 母性看護学14を受講した。私は医療従事者ではないので、どちらかというと前回の内容の方が興味深く学べた(元々は看護師向けの講座だと思うので、私の意見はあまり参考にならないが)。流産や死産をされた方のケアについて、少しでも触れる部分があれば良かったかなと思う。2020年の助産ガイドラインにその必要性が掲載されていたので、次回の改定の際には入れてほしい(14では講師の先生がケアの大切さを口頭で話されていた)。
- 同じフリップが何度も出てくることで、見間違うことが何度かあった。
- 放送教材(テレビ)が、聴きやすさ、説明に重点を置きすぎているように感じた。講師の熱意や受講者の興味を引くという部分がもう少しあっても良いのではないか。「熱意をもって伝えたい」という言葉だけでなく、実際に講師の熱量を感じられるような教材を期待する。
- 試験の内容と、印刷教材の内容が、ニュアンスをくみ取る内容もあったため、明確な答えはどうか迷った。

【学部】「看護師資格取得」

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった	18		18	放送授業:講師(陣)が良かった	3		3
知識の整理に役立った	9		9	放送授業:理解しやすかった	1		1
深く学ぶ(勉強する)ことができた	6		6	放送授業:分かりやすい解説	1		1
よく理解できた	5		5	放送授業:図・表・写真・映像があり、分かりやすかった	1		1
専門的な内容だった	3		3				
適切な内容だった	3		3				
学ぶことの楽しさを知った	2		2				
満足している	1		1				
受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた	1		1	印刷教材:理解しやすかった	1		1
今までにない・目新しい内容(情報・知識)	1		1				
身近に感じる内容だった	1		1				
今後に役立つ内容	1		1				
基礎的な知識を得られた	1		1				
具体的な事例・実践的な内容があった	1		1	通信指導:指導内容が良かった	1		1

【学部】「看護師資格取得」

改善点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
時間が取れなかった	1		1	放送授業:印刷教材の内容が異なる、連動していない	2		2
構成・内容が良くない	1		1	放送授業:授業の構成・内容が良くない	1		1
内容の詰め込みすぎ	1		1	放送授業:講義のテンポが良くない(早い・遅い)	1		1
内容が浅い	1		1	放送授業:講師の熱意が伝わらない	1		1
具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい	1		1				

印刷教材				単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材:理解しにくい	2		2	単位認定試験:試験の設問内容に違和感があった	1		1
印刷教材:図・表・写真・イラストが小さくて見づらい	1		1				

主な改善点の提案:集約

- 放送授業:印刷教材の内容が異なる、連動していない
- 印刷教材:理解しにくい
- 時間が取れなかった

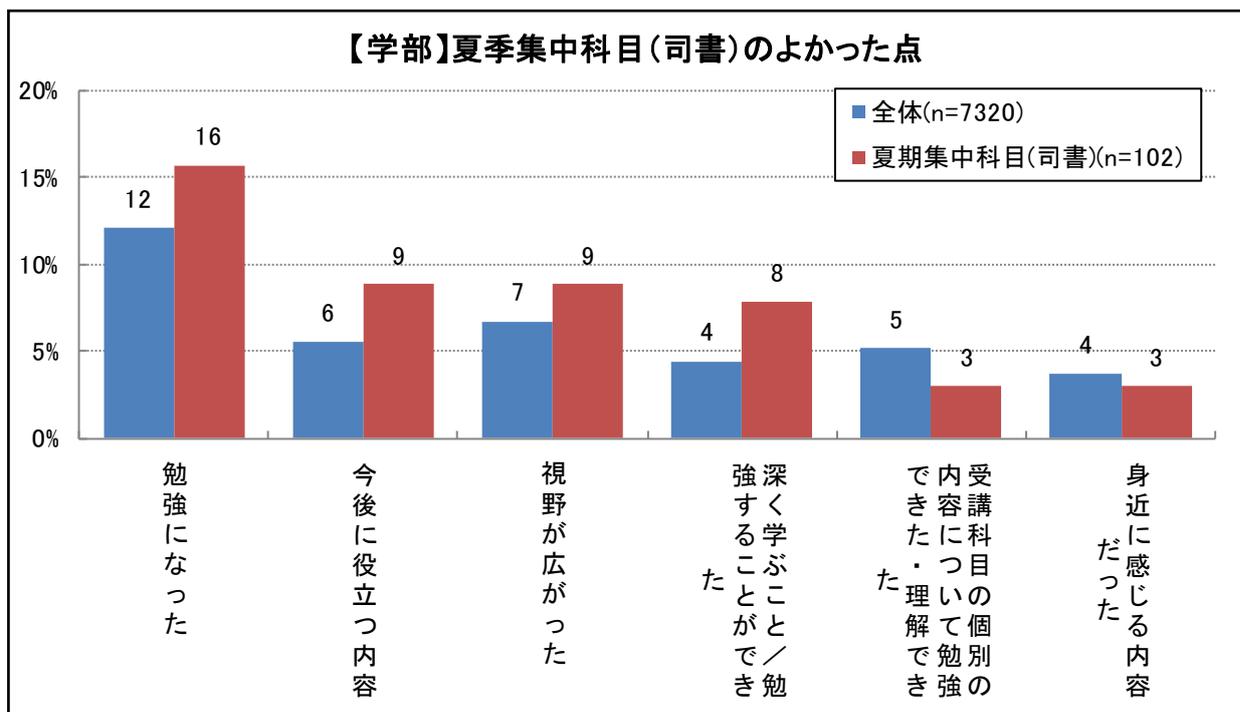
- 構成・内容が良くない
- 内容の詰め込みすぎ
- 内容が浅い
- 具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい

【学部】「夏季集中科目（司書）」の傾向

よかった点

「勉強になった」が16%に達し、「今後に役立つ内容」「視野が広がった」が9%でこれに続いた。

図2-99 【学部】よかった点

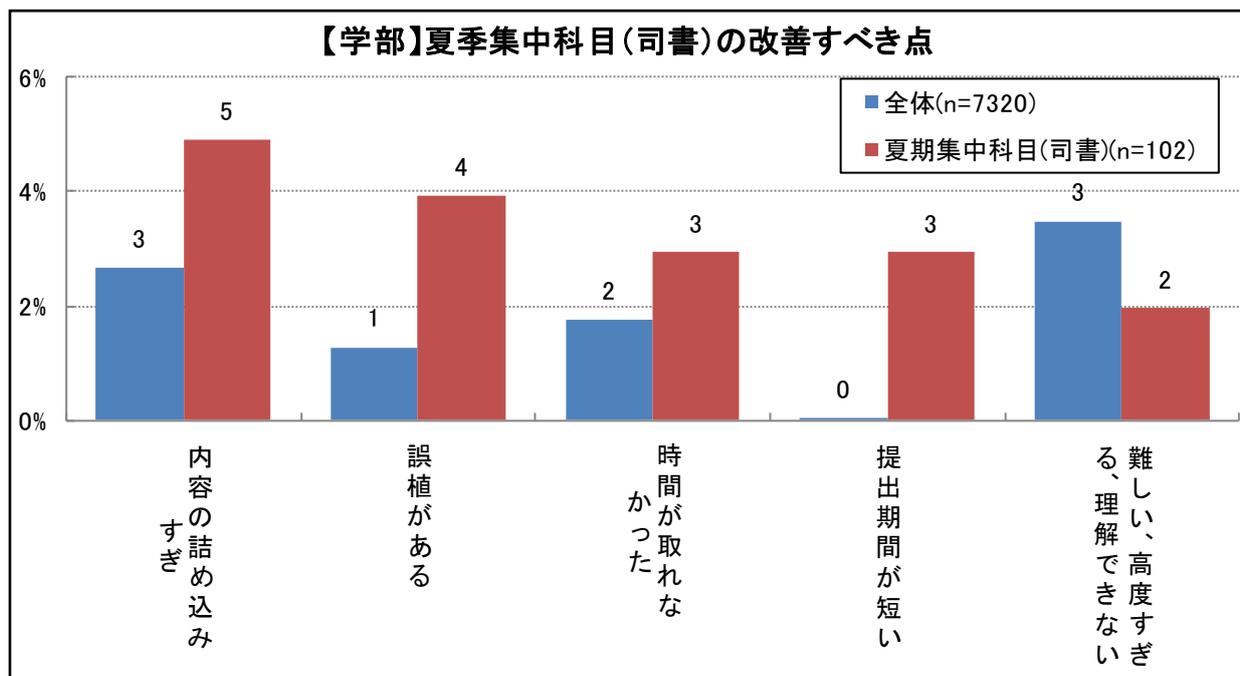


【学部】「夏季集中科目（司書）」の傾向

改善点

「内容の詰め込みすぎ」が5%で、他に「誤植がある」「時間が取れなかった」「提出期間が短い」が挙げられた。

図 2 - 1 0 0 【学部】改善すべき点



【学部】「夏季集中科目（司書）」 抜粋

よかった点

- 今まで勉強したことのない分野を一から学び、大学生以来、試験に向けて勉強するといふことができ、とても有意義な講座となった。
- 司書教諭や図書館司書の業務内容、求められるものをよく理解することができた。思っていたよりも、ずっと奥深いものだと感じた。
- 読書の大切さだけでなく、生徒がいかに読書からいろいろな力を得ることができるかを学んだ。
- 図書館司書教諭としての立場から見た学校経営はもちろん、教科担任や学級担任との関わり方について視野が広がった。
- 時代の変化に対応し、学ぶ姿勢の柔軟性を持つことが大切だと感じた。
- 読書活動の意義を再認識することができ、今後活かせると感じた。
- 成長過程に応じたアプローチの仕方について学べた事は、今後の図書館運営に活かせると思った。
- マラケシュ条約でも、「活字を読むことだけが読書ではない」ということの認識が深まり、様々なことを学んだ。
- 読書活動が児童生徒にとってどのような点で重要であるかや指導法、事例等を知ることができた。
- 読書感想文の書き方指導などにおいて、大変役に立った。
- 以前から司書教諭免許を取得したいと考えていた。単位を取りかけて数年経っていたので、放送大学を利用し、短期集中で学習できたことは非常にありがたかった。
- 司書教諭の資格取得の側面で、読書による「人間性」に触れた内容が、受講意識を高めたと実感している。大切な側面だと感じた。
- 講師の方の熱心な講義も講義内容を理解する上で参考になり、とても良かった。

改善点

- ラジオ講座をずっと集中して聞くのが難しく、図解もあるテレビ講座の方が理解しやすいように感じた。
- 放送授業はほぼ印刷教材を読んだだけの内容だったので、視聴の意味があるのか疑問に感じた。
- 印刷教材に放送授業の内容が含まれない部分があるので、追加した方が良い。
- 放送授業の視聴から最初の課題提出まで、期間が短すぎる。通常、4月から学習を開始して、中間の課題提出は2か月後の6月上旬である。この科目は、放送授業が2週間あると、すぐ2週間後には課題の提出締め切りが来る。7月下旬は単位習得試験の真っ最中。放送授業を聞いて、課題を提出するのはとても大変。4月から学習できないのだろうか？
- 目録や書誌レコードなど、専門的なことについては少し理解するのが難しいと感じた。これからチーム学校として実務的な業務は学校司書の方に任せるという方向性だとしたら、司書教諭はそこまで熟知している必要があるのだろうか。あるのだとしたら、もう少し易しく解説してほしい。
- 資料において最新でないものもあった。
- 内容と課題の関連性が一致していないように感じられる。
- レポートが手書きなのが大変だった。パソコンでアップロードと手書きと選択できないでしょうか。
- 現職であり、今年度は長期休暇がなくなった分、試験問題に取り組むための時間確保が厳しかった。早い時期からの計画的な取り組みをして、余裕をもたせることが大切だと感じた。
- 詳しい実践がもっと知りたかった。
- 「読書と豊かな人間性」という科目なのに、「豊かな人間性」について1ページちょっとだけだった。読書は方法論のことであり、豊かな人間性の中身をもっと語るべきである。また、講師の先生が、京都ノートルダム女子大学の先生で、キリスト教女子大の先生で、国立大学なのに偏りがある。なにか、高校の先進的な取り組みについて理解されていない感じがする。
- 実際に直接質問できたら良かったと感じた。
- 個人的にはもう少し、図やグラフ等、視覚的に情報として入りやすいものがより多いと、さらに自分の中でイメージがしやすかったかなと感じた。
- 印刷教材の図書分野が、文学に偏っている。
- 印刷教材が所々見辛かった。
- 放送教材で受賞した読書感想文の例が示されていたが、印刷教材にも記載されていると分かりやすかったと思う。読書感想文のどの点が良いのか、放送教材だと聞き逃してしまうところがあったので、印刷教材で具体的に示されていると親切だと思う。
- 視覚的な資料がほしい場合もあった。
- 通信指導の題材が明確でないので、回答に困った。

【学部】「夏季集中科目(司書)」

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった			16	放送授業: 良い授業だった			2
視野が広がった			9	放送授業: 講師(陣)が良かった			2
今後に役立つ内容			9	放送授業: 重要な要点・ポイントが理解・把握・学習できた		1	1
深く学ぶ(勉強する)ことができた			8	放送授業: 講師の熱意・熱心さが伝わった			1
受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた			3	放送授業: 印刷教材の内容が連動していて良かった			1
身近に感じる内容だった			3				
満足している			2				
よく理解できた			2				
基礎的な知識を得られた			2				
適切な内容だった			2				
具体的な事例・実践的な内容があった			2				
今までにない・目新しい内容(情報・知識)			1				
自分の意見・考えを持てるようになった			1				
知識の整理に役立った			1				
引用・参考文献、補助教材、問題集の紹介が良かった			1				
学校の対応が良かった			1				

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材: 良い教材だった			1
印刷教材: 構成・内容が良かった			1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
通信指導: 指導内容が良かった			1
通信指導: 理解しやすかった			1

【学部】「夏季集中科目(司書)」

改善点

(単位:人)

科目全般				通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない			2	通信指導: 提出期間が短い			3
最新の内容を講義してほしい			2	通信指導: 課題(問題)が、放送授業、印刷教材と内容がずれている			2
時間が取れなかった			1	通信指導: 記述式、および記述に関して改善してほしい			2
もっと詳しい説明・解説をしてほしい			1	通信指導: 課題(問題)の範囲、難易度、量が適切ではなかった			1
内容が浅い			1	通信指導: 課題(問題)の解答・解答例・解説がほしい			1
具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい			1				
質問や相談がしたい			1				

印刷教材				単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材: 構成・内容が良くない			1	単位認定試験: 試験の設問内容に違和感があった			1
印刷教材: 文字が読みづらい			1	単位認定試験: 評価方法に疑問を感じる			1
印刷教材: 放送授業中の資料・データを載せてほしい			1	単位認定試験: 難しすぎる、難易度を下げるべき			1
印刷教材: DVD・CD等、付録の添付を考えてほしい			1	単位認定試験: 問題数が多かった、範囲が広がった			1

放送授業				主な改善点の提案: 集約			
意見	テレビ	ラジオ	合計				
放送授業: メディアを変更してほしい			5	●放送授業: メディアを変更してほしい			
放送授業: 印刷教材と異なる講義が聴きたい			4	●放送授業: 印刷教材と異なる講義が聴きたい			
放送授業: 印刷教材の内容が異なる、連動していない			3	●放送授業: 印刷教材の内容が異なる、連動していない			
放送授業: 理解しにくい			1	●通信指導: 提出期間が短い			
放送授業: 図・表・写真・映像を多く取り入れてほしい			1	●難しい、高度すぎる、理解できない			
				●最新の内容を講義してほしい			

Ⅲ-2. 学部（オンライン授業）

ここからは、学部オンライン全体との比較で、当該科目がどういう傾向にあったのかを見ていきたい。

学部のオンライン科目については、科目別（中区分）の自由記述の集計結果から、よかった点について、5%以上の回答があった項目を、改善すべき点は、比率の高い上位5項目について掲載した。

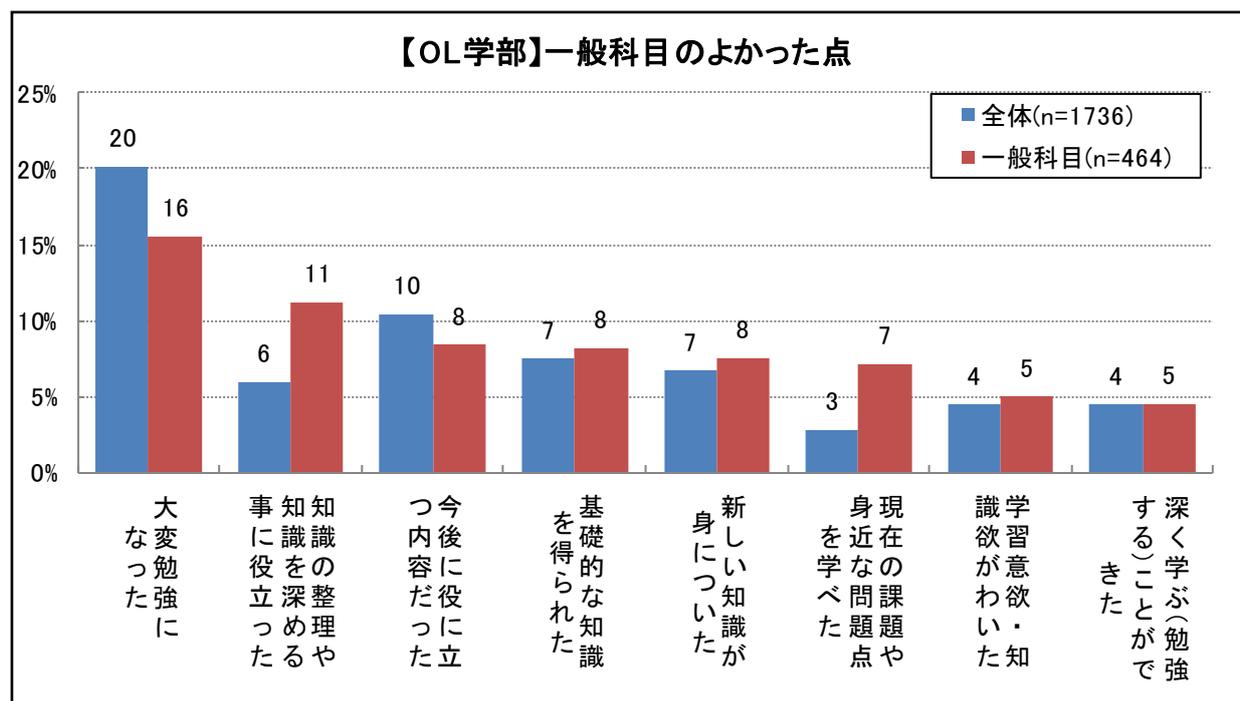
【オンライン学部】「一般科目」の傾向

よかった点

「大変勉強になった」が16%と最も高く、次いで「知識の整理や知識を深める事に役立った」が11%で、これに続いた。

「知識の整理や知識を深める事に役立った」は全体を大きく上回り、「一般科目」の特徴的な意見と言えよう。

図2-101 【オンライン学部】よかった点

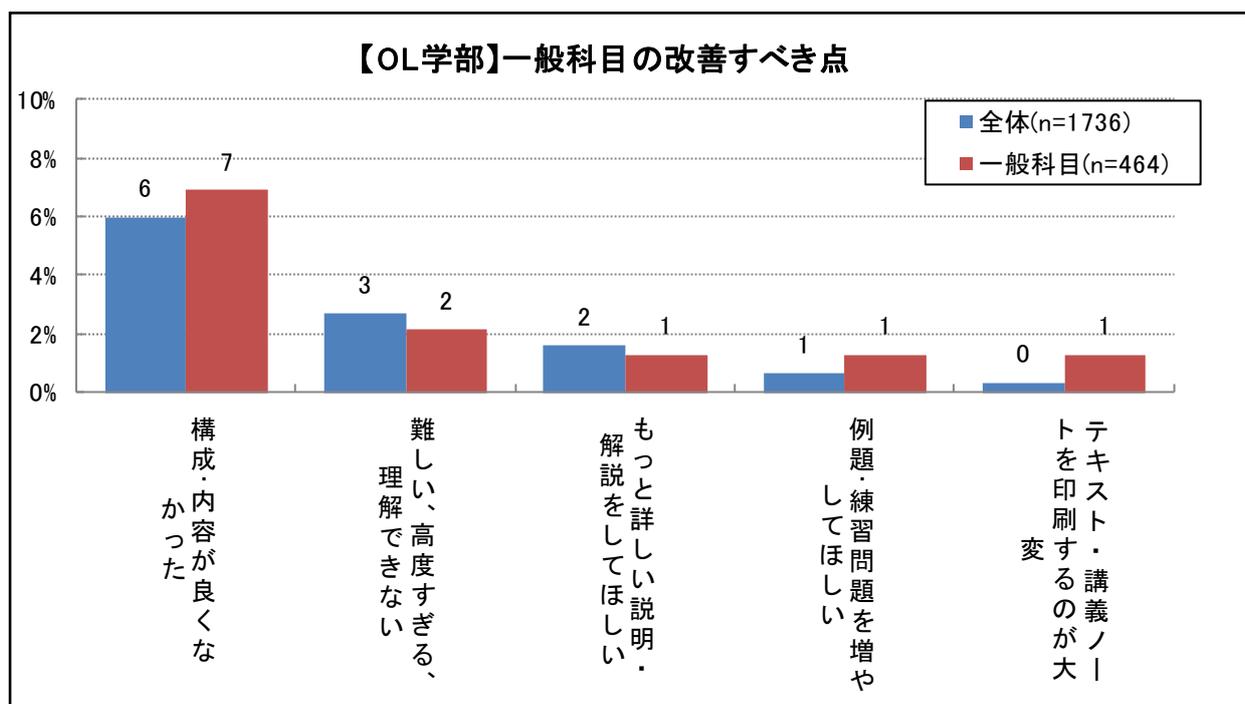


【オンライン学部】「一般科目」の傾向

改善点

「構成・内容が良くなかった」が7%と最も高く、後は「難しい、高度すぎる、理解できない」などが1~2%に留まっており、全体との差はほとんどなかった。

図2-102 【オンライン学部】改善すべき点



【オンライン学部】「一般科目」抜粋

よかった点

- 苦手だと感じていた微分積分、極限值などの問題も解けるようになり、自信が持てるようになった。
- 「初歩からの数学」は、線形代数や微分積分と同じように基礎的な科目なので、このように演習の授業があると、勉強の復習と知識の定着を図るのにとっても良いと思う。
- ボランティアで子育て支援をしているので、支援施設や法、制度など学ぶことができ、今後の活動に役立つと思う。
- 高校までの数学の学習が不確かなこともあり入門微分積分で苦労したが、この講義で基礎的な学習の振り返りが出来て、前に進むことが出来た。
- 子育てを実際している中で、初めて分かった事実なども多く、役に立った。特に児童虐待や社会的養護の仕組みを知り、仕事にも役立つ内容だった。
- 熊本のゆりかごの存在意義や課題、野田の虐待死の児相や学校の課題を知ることが出来た。
- 先生の「数学は自然科学だけではなく、人文科学系を理解する上でも有益である」との言葉は印象的であった。ご指導をこれからの学習に活かしていきたい。
- 初歩からの数学だけでは、問題を解くことがおざなりになり理解が浅く感じられたが、演習をすることで理解が深まった。
- 熊本の病院や児相、障害をもつ親の話など、実際の現場の声を視聴することができたのは有意義だった。
- 小中高と12年分の算数・数学を半年で駆け抜けたが、大学を卒業して約35年、算数・数学に触れることがなかったのに、それほど苦労せずに最後までたどり着けたのは、教え方が良かったのだと思う。
- 子育て支援を多角的に確認することができた。日常的には、次世代育成支援推進法などの職場で子育てをしている職員の支援を考えているが、全体に目を向けることがなかった。
- 全8回の中に初歩からの数学の内容が凝縮され、自分で問題を解くことで理解が深まった。
- 指数や対数、関数に関してもはっきり理解できていなかったけれど、このオンライン授業でゆっくり説明してもらい、納得できる理解になったことはうれしい。
- 極限・微分・積分の部分が非常に分かりやすく、原理的に良く理解できた。
- コウノトリのゆりかごはTVで話題になっていたが、その現実をスタッフの声として聴くことができ、取り組みや日本としての課題も見えてきて考えさせられた。
- 何時でも何回でも受講できる、オンライン授業のメリットがとてもよく生かされていた。
- 赤ちゃんポストの問題、児童虐待に対する課題などを学び、子育て支援にとっても興味が沸き、今後も関わっていきたいと思った。
- 今回の授業では、問題を解くためにどのような公式を使っているのかをまず示し、問題を解く過程を細かく解説していただいたので、勉強になった。
- オンライン授業は初めてである。小テストを何回も受けられるのはありがたい。繰り返し問題を解けるので苦手なところが明確になり、どこを重点的に勉強すれば良いかが見えてきた。

段階を追いながら、筋道を立て、それを具体的に紙面に式として残しながら考えを進めていく、数学の面白さのようなものを感じることができたと思っている。

改善点

- 説明が飛ばされたり、テキストを読んでおいて下さいと端折られる点が残念だった。
- 双方向で取り組めると良いなと思った。結構、内容が多岐にわたっていて、大切な科目だと思われるのに、1単位なのは残念。もう少し深堀できたかなと感じた。非同期型eラーニングというのが出てきているようだが、虐待についてなど、あらかじめ受講生でチャットワーク（必ず何回以上は発言するか決めておく）でディスカッションするとか、どうだろうか。
- 大学生のする数学なので、いきなりここから始めるのは難しいと思う。ここでの数学は、使われている言葉が抽象的で分かり難いところが多くあった。言葉と普段使わない様な数学的な考え方に慣れることが必要だと思う。
- 説明は大変基礎的なことに配慮されていたと思う。それでも、式の展開で計算の仕方を端折られると、そこで思考が止まってしまう。もう少し丁寧にしていただければと思う。
- 演習という割には、問題数が少なかった。
- 印刷教材をすべて印刷したが、顔写真等が多く、説明資料のみにしぼって頂けると用紙やインクを有効に使えたと思った。
- たまに音声が変わる点。
- 各回の講義の時間が一定ではなく、再生画面までいかないと思われにくい。学習スケジュールを考えるのに少し不便だった。
- もう少しゆっくりとした講義だったら、慌ててメモしないで聞く事ができたかなと思った。
- ノーマルの速度で受講すると、抑揚がなく感じられ、とても遅く感じて聞きづらかった。
- 内容盛りだくさんで、初学者や数学が苦手な方にとっては、時間内に理解するには無理があると思う。自身も様々な経験を重ね、50代となった今だからこそ理解ができた。
- 授業内容に不要な画像や同じ画像が繰り返し使われていたり、資料を印刷すると無駄な部分が多かった。
- 演習の小テストやレポート問題はほぼ基礎的内容の問題だったので、基礎を確認するには適切だったが、物足りなかった。考えさせられる応用問題があっても良かったのではないかなと思う。
- レポートの提出方法がどうしても分からない。何とか他の方法を考えてほしい。オンラインでなく、封書で送れるようにしてほしい。
- 参考文献や書籍の紹介がもっと沢山あると良かった。
- 講師の授業に対しての熱量などは特に感じる事が出来ず、淡々としていて、全体として捉えると若干物足りなさを感じた。講師の取り組み方次第では、もっと関心をひく面白い授業展開になるように感じた。
- 印刷教材がなかったので、インタビューや映像だけでは詳しい制度のことや、どう理解したら良いのかを1回目の小テストでは分からず、テストを行って、説明文を読んで理解したところが何か所あった。
- 小テストの分量が少し多い。
- 各講義の後の練習問題や小テストの問題の量がもっと沢山あったら良いなと思った。講義で基本の考え方を習って、その後、いろいろなパターンの練習問題を解くことを繰り返すことで、自分のものになると思う。もう少しいろいろな問題にチャレンジしたかった。
- 回答解説がもう少し詳しく書かれていると、理解が進むと思った。

【オンライン学部】「一般科目」

よかった点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
大変勉強になった	72	オンライン授業: 講師の解説、指導が良かった	17
知識の整理や知識を深める事に役立った	52	オンライン授業: 講義が理解しやすかった	15
今後に役に立つ内容だった	39	オンライン授業: 専門家の方々と先生の対談が良かった	12
基礎的な知識を得られた	38	オンライン授業: 内容が良かった	10
新しい知識が身についた	35	オンライン授業: 映像がありわかり易かった	5
現在の課題や身近な問題点を学べた	33	オンライン授業: 良い授業だった	3
学習意欲・知識欲がわいた	23	オンライン授業: 講師の人柄の良さを感じた	3
深く学ぶ(勉強する)ことができた	21	オンライン授業: 短時間でも取り組めた	2
具体的な事例・実践的な内容があった	17	オンライン授業: 講師の熱意が伝わった	2
視野が広がった	16	オンライン授業: 受講しやすい環境だった	1
理解しやすかった	12	オンライン授業: 楽しかった	1
自分のペースで勉強できた	10	オンライン授業: 講義のテンポが良かった	1
興味・関心を持てた	10	オンライン授業: 図表が用いられていて分かりやすい	1
楽しかった	9	オンライン授業: 講義ノートで繰り返し学べる	1
全体として満足している	6	オンライン授業: 受講科目の内容が勉強になった	1
身近に感じられる内容だった	6		
自分の意見・考えが持てるようになった	6		
今までにない内容	4		
最新の情報・研究が学べた	3		
資料・データが充実していた	1		
授業以外の受験・資格取得に役立った	1		

設問解答

意見	合計
設問解答: 練習問題があり確認しながら学べた	16
設問解答: 小テストが良かった	10
設問解答: レポートの提出が良かった	6
設問解答: 指導内容、対応が良かった	1

【オンライン学部】「一般科目」

改善点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
構成・内容が良くない	12	オンライン授業:構成・内容が良くなかった	20
難しい、高度すぎる、理解できない	10	オンライン授業:システム面の改善が必要	5
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	6	オンライン授業:講義の分割の仕方が良くない	5
例題・練習問題を増やしてほしい	6	オンライン授業:講義のテンポが良くなかった	5
内容の詰め込みすぎ	4	オンライン授業:講師(ナレーター)の声が聞き取りづらい	5
参考文献、補助教材、問題集を紹介・発刊してほしい	3	オンライン授業:資料が多く、閲覧・印刷が大変だった	4
具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい	2	オンライン授業:講師の講義態度が良くない	3
講義内容と科目名に乖離がある	2	オンライン授業:講師の解説、指導が良くなかった	1
科目の分類に疑問がある	2	オンライン授業:図・図解・グラフ・写真・映像・表が見にくい、見せ方を改善してほしい	1
内容が浅い	1	オンライン授業:確認テストの内容が適切ではなかった	1

設問解答		テキスト・講義ノート	
意見	合計	意見	合計
設問解答:小テスト(試験)が簡単すぎる、難易度を上げるべき	4	テキスト/講義ノート:テキスト・講義ノートを印刷するのが大変	6
設問解答:解答の送信方法がわかりにくい	4	テキスト/講義ノート:印刷したテキスト・講義ノートがほしい	3
設問解答:小テストの問題数が多かった	3	テキスト/講義ノート:文字・画像を大きくして欲しい	1
設問解答:小テストの問題数が少なかった	3		
設問解答:問題の解答・解説がほしい	3		
設問解答:小テスト(試験)が難しい	2		
設問解答:小テストの解答・解説に納得できない	2		
設問解答:指導内容、コメント、対応に不満がある	1		
設問解答:レポートが難しい	1		
設問解答:ディスカッションのルール・整理が必要	1		
設問解答:ディスカッションの人数・発言・回数が少ない	1		

主な改善点の提案:集約

- オンライン授業:構成・内容が良くなかった
- 構成・内容が良くない
- 難しい、高度すぎる、理解できない

- もっと詳しい説明・解説をしてほしい
- 例題・練習問題を増やしてほしい
- テキスト/講義ノート:テキスト・講義ノートを印刷するのが大変
- オンライン授業:システム面の改善が必要

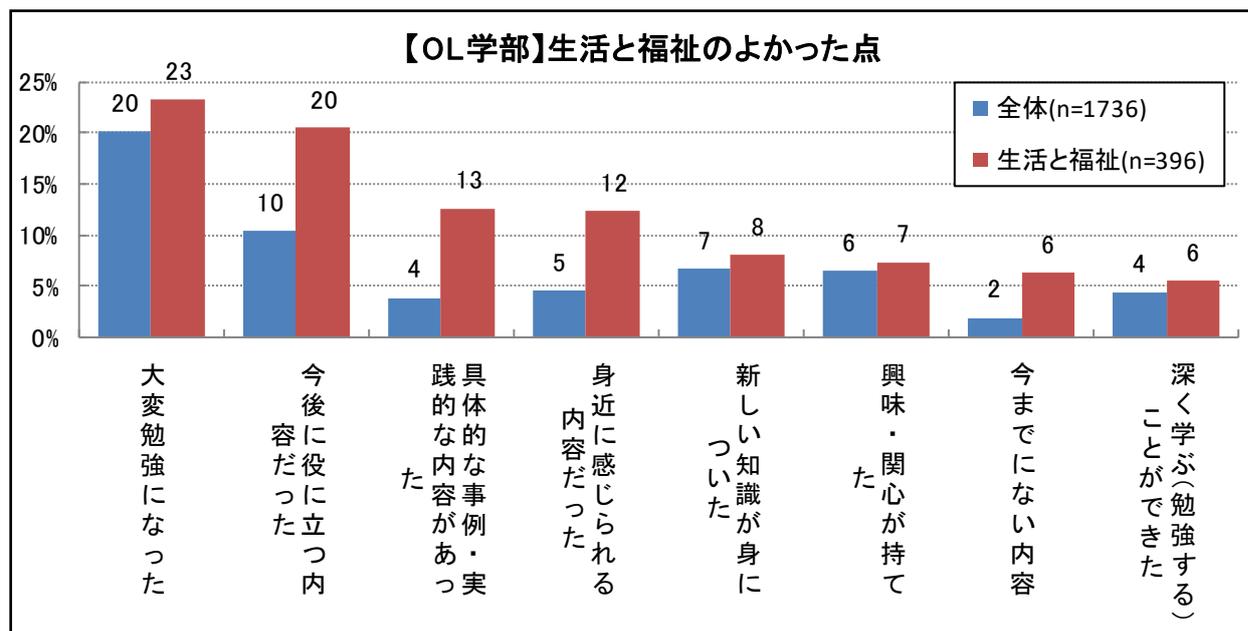
【オンライン学部】「生活と福祉」の傾向

よかった点

「大変勉強になった」が最も高く 23%に達し、次いで「今後に役立つ内容だった」が 20%、他に「具体的な事例・実践的な内容があった」(13%)、「身近に感じられる内容だった」(12%)が 10%以上で続いた。

「大変勉強になった」以外の 3 項目については、全体を 7 ポイント以上、上回り、特徴的な意見と言えよう。

図 2-103 【オンライン学部】よかった点

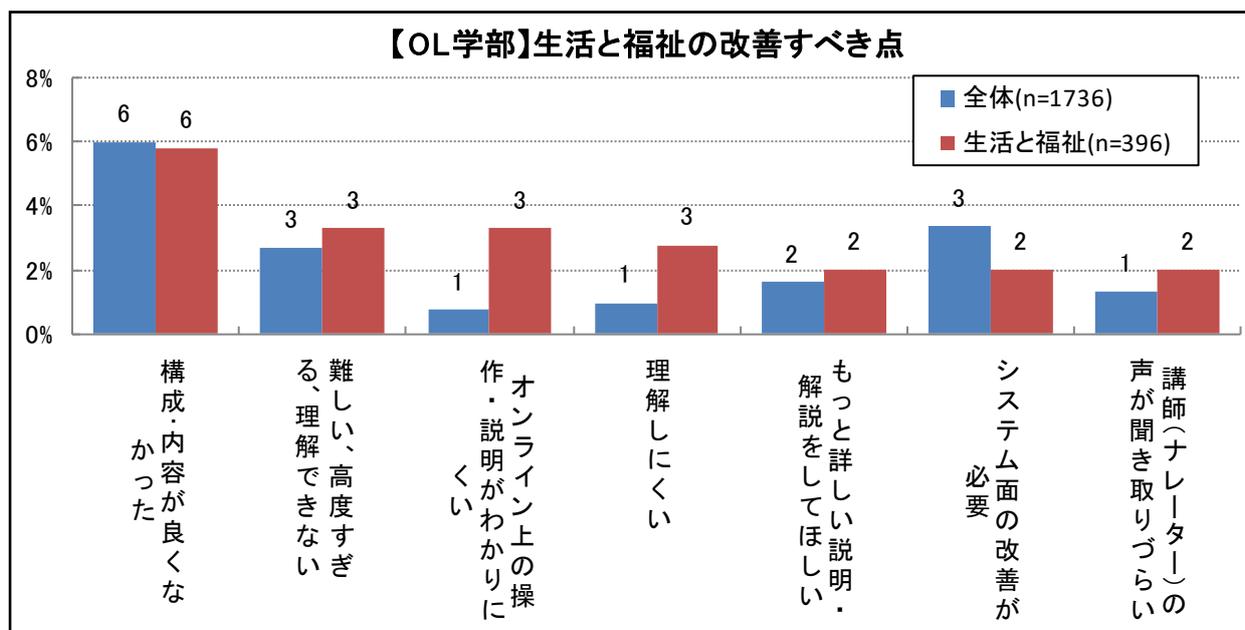


【オンライン学部】「生活と福祉」の傾向

改善点

「構成・内容が良くなかった」が6%で、他に「難しい、高度すぎる、理解できない」「オンライン上の操作・説明がわかりにくい」「理解しにくい」が3%で続いていた。

図2-104 【オンライン学部】改善すべき点



【オンライン学部】「生活と福祉」抜粋

よかった点

- リハビリは脳梗塞だけのものだと思っていたが、心臓リハビリにおいても重要であることが理解できた。新型コロナにおいて、肺疾患より心臓疾患を持っている人の死亡率が高い訳が理解できた。
- 統計データやオープンデータから地図化できることは、分析結果の視覚化に大変役に立つので良かった。
- 単に循環器系疾患の解説に留まらず、地域住民の取り組みや、心臓リハビリテーションの実際について学ぶことができた。
- 両親が高齢になり生活習慣病がある為、ぜひこの講義で学んだ事を教え、運動する事の素晴らしさを伝えたい。
- 今まで存在すら知らなかった QGIS ソフトを知り、その機能を一部でも知ることができた。また、地理院地図など、役立つオープンデータの存在を知ったことが良かったと思う。
- GIS を通じて、地理、図形、地域などの細やかな内容が知り得たのと、分析できる種類の多面性があり、深く勉強していくと興味をもっと増すことになり、楽しいだろうと思った。
- 循環器系と運動が密接に関係していること。運動は循環器に負荷を与えていると思っていたが、その逆であったことは意外であり収穫であった。
- 循環器疾患について、詳しく学べたことが良かった点と思う。最近よく耳にする弁膜症や、どうして不整脈が起こるのか、よく理解できた。
- GIS ソフトを全く知らないところから始めたが、基本的な操作イメージがつかめたところが良かった。ベクタ型データとラスター型データの違いが理解できた。
- 高齢者の在宅療養生活に関わる仕事をしているのだが、生活リハビリにおいて、疾患を踏まえたアプローチに対する見識が高められた。
- 心臓は解剖も難しく、狭心症や心不全などの病名は知っているが、果たしてどんなものかについても曖昧な理解しかなかったが、病態が明快にできた。
- 治療のやり方、リハビリの重要性、運動の有益性がよく分かる様に授業がなされていたと思った。
- 循環器に強いとされている病院に勤務しているが、治療部門にいるため、リハビリテーションについては深く考えたことがなかったが、今回の講義を受けて視野が広がった。リハビリという視点で自分の病院を見た時に、疑問が沢山湧いてきた。
- 特に前半の第1回～第4回において、心筋の動きを3D映像にて表した画像などを使用した医学情動的な講義内容には、良い内容であったと同時に、大いに驚かされた。
- この科目を受講していなければ GIS を利用することもなく、どういうものかも知ることができなかった。その点において受講して良かった。
- 心臓リハビリの大切さを知ることができたが、残念ながら実施している医療機関はまだ少ないことも分かった。
- 第7回の「加齢と循環器、そして運動」を通して、私の住む過疎農山村の高齢者にとって、運動の継続が重要であることを学ぶとともに、地域内の高齢者の活動状況を分析するきっかけ作りとなった。
- この科目を通じて、想像以上に技術革新が進んでいることが理解できた。
- 心疾患の基本から心臓リハビリまで、現状と今後の展望が分かりやすく、受講して良かったと思った。

改善点

- 資料の中の英語表記がやや難しかった。
- スライドを見ながら操作しても、うまくいかないことが多々あり、操作説明をもう少し分かりやすくしないと、受講する側が不必要に試行錯誤する羽目になる。
- 内容の割には、取得単位数が1単位と少ない。
- 1つの項目にもう少し時間をかけて説明してほしい。
- 心臓の仕組みを、もう少し詳しく教えてほしかった。医療初心者なので、専門用語が難しかった。オンラインの授業は、難易度が分かりにくい。
- バージョンにより用語やコマンドのレイアウトが変更になるため、手順のみの説明では分からない点が多かった。QGISにどのような機能があるのかと、どのような考え方で設計されているかを説明してほしい。
- QGISのダウンロードやデータの取得に手間取った。自宅のネット環境が悪いうえ、コロナ自粛で周辺回線の混み合い、操作が中断するなど、思うようにならなかった。事前調査ではうまく操作できる環境を整えたつもりだったが、思ったより負荷が大きかった。
- 先生の講義をノートしたが、部分的に言葉が聞き取りにくかった。できれば、字幕を表示していただくと助かる。
- もう少し実際の体験談や実施例を増やし、現場の状況を伝えては。
- 解剖図が3D画像であると、理解しやすかったと感じた。
- 電子資料でなくて、印刷教材+映像教材にさせていただくと、印刷教材を保管して後日の再学習に活かせると思う。電子資料をプリントアウトして、それに書き込むのは限界がある。
- アプリのバージョンによって表示名が変わっているところもあったので、動画との対比表のようなものがあると、分かりやすいと思う。
- 前半と後半のペースが違うので、ちょっと戸惑った。
- この科目は情報の科目ではないが、情報の科目と同様に、科目内の情報がすぐ古くなってしまう。一度作成したオンライン科目の内容を後から更新する事は難しいのかもしれないが、できればそれが可能になると良いと思う。
- この科目に限りらないが、視聴メモを全部、印刷している。4枚の写真になっているが、小さいので、必要なものはスライドを印刷している。2枚になれば印刷する枚数が減ると思う。
- どのようなレポートを書けばよいのか、詳しく指南してほしい。
- 小テストの設問数をもう少し多くした方が良い。まちがって気づくこと、覚えることができるので。
- 外部に初心者用マニュアルがあるので、差別化してほしい。
- オンライン授業（今回2度目）に共通して思うことだが、学生間の情報交換の場は設けられているものの、「敷居」が高い感じがあり、なかなか参加しにくいところがある。例えば、受講中間期に講師（又は大学事務局）が主宰するリモート交流会などを開催し、情報交換の場を作るなどの試みを行うのも良いかもしれない。
- セクションによっては20分を超えるので、分割して頂けると有難い。

【オンライン学部】「生活と福祉」

よかった点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
大変勉強になった	92	オンライン授業:講義が理解しやすかった	12
今後に役に立つ内容だった	81	オンライン授業:映像がありわかり易かった	9
具体的な事例・実践的な内容があった	50	オンライン授業:受講しやすい環境だった	2
身近に感じられる内容だった	49	オンライン授業:内容が良かった	2
新しい知識が身についた	32	オンライン授業:楽しかった	2
興味・関心が持てた	29	オンライン授業:講師の解説、指導が良かった	2
今までにない内容	25	オンライン授業:専門家の方々と先生の対談が良かった	2
深く学ぶ(勉強する)ことができた	22	オンライン授業:講師の人柄の良さを感じた	2
基礎的な知識を得られた	14		
視野が広がった	12		
知識の整理や知識を深める事に役立った	12		
自分の意見・考えが持てるようになった	9		
全体として満足している	7		
現在の課題や身近な問題点を学べた	7		
学習意欲・知識欲がわいた	6		
最新の情報・研究が学べた	6		
理解しやすかった	5		
楽しかった	4		
自分のペースで勉強できた	3		
資料・データが充実していた	2		
		設問解答	
		意見	合計
		設問解答:レポートの提出が良かった	5
		設問解答:ディスカッションが良かった	1

改善点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	13	オンライン授業: オンライン上の操作・説明がわかりにくい	13
構成・内容が良くない	12	オンライン授業: 構成・内容が良くなかった	11
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	8	オンライン授業: 理解しにくい	11
具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい	7	オンライン授業: システム面の改善が必要	8
参考文献、補助教材、問題集を紹介・発刊してほしい	6	オンライン授業: 講師(ナレーター)の音が聞き取りづらい	8
最新の内容を講義してほしい	4	オンライン授業: 図・図解・グラフ・写真・映像・表が見にくい、見せ方を改善してほしい	7
内容が浅い	2	オンライン授業: 講義のテンポが良くなかった	5
交流の場を用意してほしい	2	オンライン授業: 資料が多く、閲覧・印刷が大変だった	3
期待していた内容ではなかった	1	オンライン授業: 講義の分割の仕方が良くない	2
時間が取れなかった	1	オンライン授業: 図・図解・グラフ・写真・映像・表を多く取り入れてほしい	2
現実に活かせる内容にしてほしい	1	オンライン授業: 確認テストの内容が適切ではなかった	2
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい	1	オンライン授業: 講義ノートやテキストと内容が異なる、連動していない	1
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	1	オンライン授業: 映像内・動画に誤りがある(スライド・字幕・他)	1

設問解答		テキスト・講義ノート	
意見	合計	意見	合計
設問解答: レポートが難しい	3	テキスト/講義ノート: 印刷したテキスト・講義ノートがほしい	7
設問解答: 小テストの問題数が少なかった	3	テキスト/講義ノート: 講義ノート等、印刷したPDF資料が見つらい	1
設問解答: 小テスト(試験内容)が授業・教材の内容と違った	2	テキスト/講義ノート: 文字・画像を大きくして欲しい	1
設問解答: 小テスト(試験)が難しい	2		
設問解答: 問題の解答・解説がほしい	2		
設問解答: 指導内容、コメント、対応に不満がある	1		
設問解答: 小テスト(試験)が簡単すぎる、難易度を上げるべき	1		
設問解答: ディスカッションのルール・整理が必要	1		
設問解答: 小テストの解答・解説に納得できない	1		

主な改善点の提案: 集約

- 難しい、高度すぎる、理解できない
- オンライン授業: オンライン上の操作・説明がわかりにくい
- 構成・内容が良くない

- オンライン授業: 構成・内容が良くなかった
- オンライン授業: 理解しにくい
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい
- オンライン授業: システム面の改善が必要

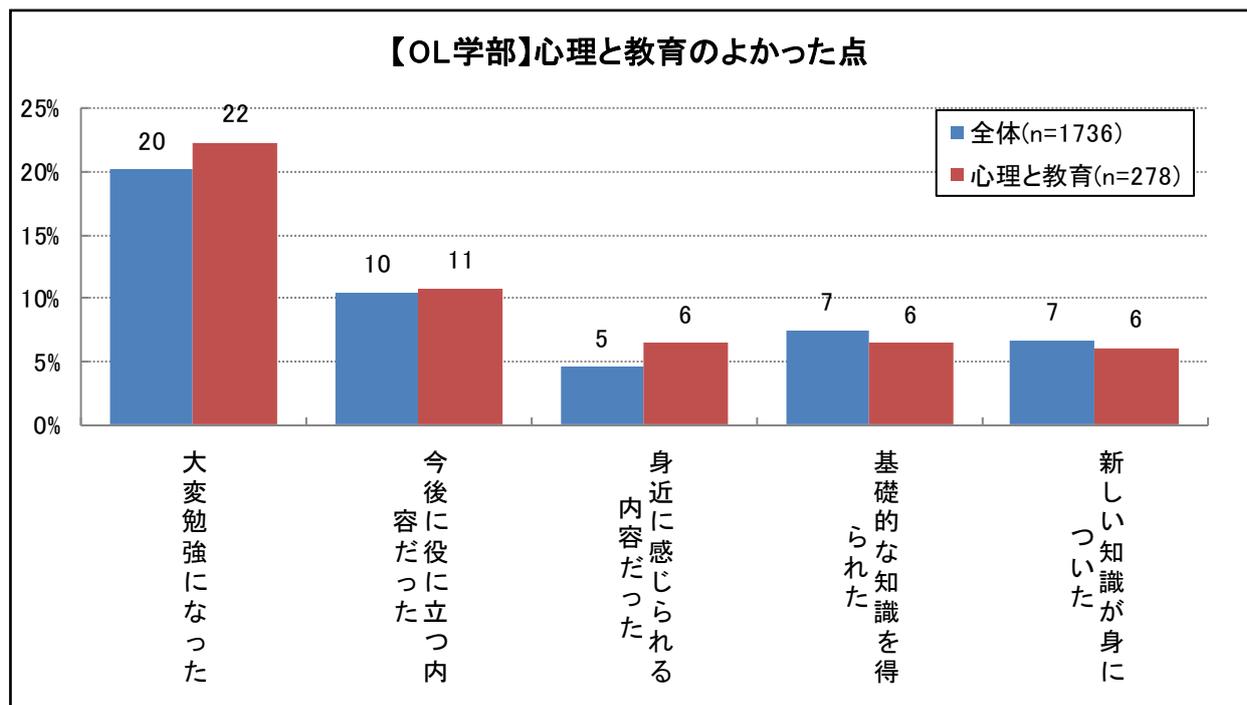
【オンライン学部】「心理と教育」の傾向

よかった点

「大変勉強になった」が22%と非常に高く、他に「今後に役立つようだった」が11%で続いていた。

これら上位5項目については、全体とあまり変わらなかった。

図2-105 【オンライン学部】よかった点



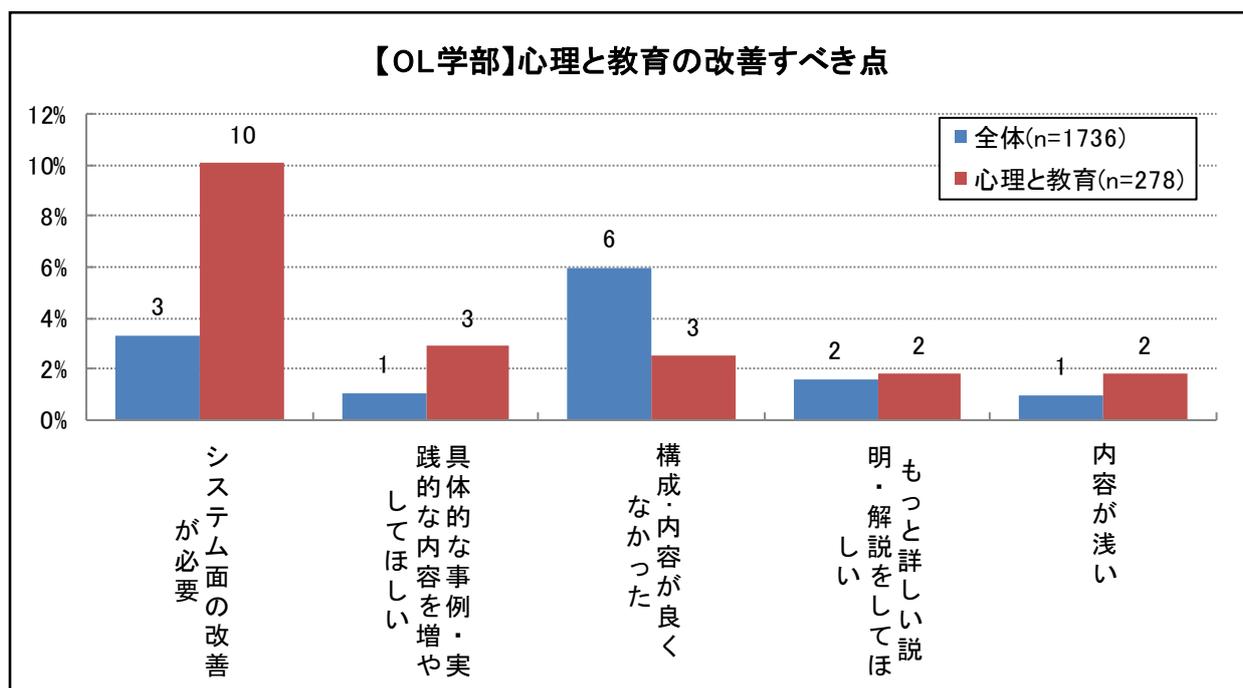
【オンライン学部】「心理と教育」の傾向

改善点

「システム面の改善が必要」が10%と最も高く、全体を7ポイント上回り、特徴的な意見であった。

後は「具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい」「構成・内容が良くなかった」が3%で続いていた。

図2-106 【オンライン学部】改善すべき点



【オンライン学部】「心理と教育」抜粋

よかった点

- キャリア形成について社会でどのように受け止められているか、また、キャリア形成にどのような問題があると認識されているかを学ぶことが出来た点が有意義であった。
- キャリアについて悩んでいる人との接し方がイメージできた。
- いろいろ就労について学ぶことによって、仕事に対する不安が少し軽減されたように感じた。
- キャリアコンサルタントの役割の概要が理解できた。
- このような国家資格があることを知らなかったので、勉強できて良かった。
- キャリアコンサルティングを通して、社会構成の管理者・労働者の双方からの視点を持つことができた。また、児童・生徒に身に付けさせたい力を社会の視点から学習することができた。
- 労働法の復習および改正点が学べた。
- キャリアコンサルタントのリアルな現状を理解するための最新の情報がそろっていて良かったと思う。
- キャリアコンサルタントの役割を具体的に知ることが出来た。
- キャリアコンサルティングという職業に興味がわいた。
- 先生が大切なことを質問・コメントされるので、ポイントが明確になり、分かりやすかった。
- 今回は沢山のゲストの先生を呼んでいただけたので、広い視点でキャリアコンサルティングについて学べたと思う。
- 現在の課題・問題点・求められている点などが分かりやすく整理されており、理解しやすかった。
- キャリアについて幅広い年代の問題点などが分かった。
- 受けたい時に受講でき、何度も復習する事で、理解が進んだと思う。
- 授業の内容が充実しており、自分自身が知らないことが如何に多いかが分かった。
- 講義の時間がちょうど良い。
- 機会があれば、本格的に資格取得のための勉強をしたいと思った。
- キャリアについて、時代背景や、法律関係、各世代ごとの課題について網羅されており、とても分かりやすかった。
- 学習ノート、字幕など、自学自習を進めるにあたり、必要な教材が揃っていたこと。

改善点

- 倍速機能をつけた方が良い。
- 時々映像が乱れたり、スライドと音声が噛み合わなかったことがある。ネット環境の問題でもなさそうなので、そこは改善していただけたらと思う。
- キャリアコンサルティングが、実際どのように行われるか見られると良いと思う。
- 今後増えてくるであろう、介護をしながら働いている方のコンサルティング例も取り入れてほしい。
- 若年者の就労と、ハンディを持った就労者のケアについて、もう少し詳しく知りたかった。
- 学習して感じたことは、内容が少し簡略化している印象であった。もう少し深い知識を得たいと感じた。
- キャリアコンサルタントの延長講習の側面が強く、予備知識がないとキャリアコンサルティングそのものがいまいち、分りにくい節があった。
- 労働法やメンタルヘルス問題は、内容を充実させるか、別の授業を設けた方が良いと思う。
- 先生によっては講義内容の棒読みとも感じられる。生徒に教えるという意味では、言葉の抑揚のつけ方や話すペース、間が不自然なところがあり、講義への集中力を少し阻害しているようなところがあるように感じた。
- スライド資料の解説文の文字の小ささは致命的である。画面で見ても、印刷しても読めなかった。
- 事情によりパソコンが使用できないことも多いので、勉強のためにも印刷教材は必要だと感じる。
- キャリアコンサルティングに携わる人向けの内容であり、キャリアコンサルティングに携わる人以外の「教養」としてキャリアコンサルティングを学ぼうとする者にとっては、少し授業イメージのズレがあった。
- 学習ノートは印刷したかったが、ページ数が多すぎて家庭のプリンターで印刷するのは抵抗があった。印刷して利用することを考え、1ページの中にまとめられるだけまとめる等、工夫してほしい（私はPCに保存して見られるようにしているが、本当は印刷して保管しておきたかった）。
- 講師の視点が、上場企業、もしくはお役所的であると感じられた。本当にキャリアコンサルタントを必要としているのは中小企業の経営者や職員だと思われるが、彼らへのアプローチ方法が少ないと思われた。技術系高校卒業者の中には、同年代ならまだしも年上の先輩とコミュニケーションが取れない、自分の思いを言葉にして表すことが苦手、文書作成、計算ソフトを使いこなせないまま就職する学生が増えている。彼らへのアプローチ方法も考えていただきたいかった。
- 授業内容が多い。この内容であれば、学習及びテスト、レポートに要する時間と比較して、1単位ではわりに合わないと感じた。
- オンライン授業全般に言えることだが、要点が分かりづらい。要点の箇所はアンダーラインなどマークを付けてもらえると、より理解が深まると感じた。
- 資料の字が小さい、つぶれている箇所がいくつかあったことが残念だった。できればクオリティを上げていただきたいと思った。
- 小テストが分りにくく感じ、間違えてしまった点が残念だった。
- 自分が苦手だったので、法制度などには興味を持てなかった。
- 授業をサポートする資料が不足している感がある。例えば事前に目を通しておくべき書籍やHPの紹介、PDF資料の掲載を充実させてはどうだろうか。

【オンライン学部】「心理と教育」

よかった点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
大変勉強になった	62	オンライン授業:講義が理解しやすかった	8
今後に役に立つ内容だった	30	オンライン授業:専門家の方々と先生の対談が良かった	7
身近に感じられる内容だった	18	オンライン授業:内容が良かった	5
基礎的な知識を得られた	18	オンライン授業:良い授業だった	4
新しい知識が身についた	17	オンライン授業:受講しやすい環境だった	2
視野が広がった	12	オンライン授業:講師の解説、指導が良かった	2
知識の整理や知識を深める事に役立った	12	オンライン授業:複数の講師の話聞いた	1
最新の情報・研究が学べた	11	オンライン授業:講師の人柄の良さを感じた	1
深く学ぶ(勉強する)ことができた	11		
興味・関心が持てた	10		
現在の課題や身近な問題点を学べた	6		
自分のペースで勉強できた	5		
自分の意見・考えが持てるようになった	4		
学習意欲・知識欲がわいた	3		
理解しやすかった	2		
全体として満足している	1		
資料・データが充実していた	1		

設問解答	
意見	合計
設問解答:指導内容、対応が良かった	2
設問解答:レポートの提出が良かった	2
設問解答:小テストが良かった	2

【オンライン学部】「心理と教育」

改善点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい	8	オンライン授業:システム面の改善が必要	28
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	5	オンライン授業:講師(ナレーター)の声が聞き取りづらい	4
内容が浅い	5	オンライン授業:図・図解・グラフ・写真・映像・表が見にくい、見せ方を改善してほしい	4
難しい、高度すぎる、理解できない	4	オンライン授業:資料が多く、閲覧・印刷が大変だった	3
構成・内容が良くない	4	オンライン授業:構成・内容が良くなかった	3
期待していた内容ではなかった	3	オンライン授業:理解しにくい	2
内容の詰め込みすぎ	2	オンライン授業:講義のテンポが良くなかった	1
興味・意欲がわかかなかった	1	オンライン授業:講師の解説、指導が良くなかった	1
最新の内容を講義してほしい	1	オンライン授業:図・図解・グラフ・写真・映像・表を多く取り入れてほしい	1
参考文献、補助教材、問題集を紹介・発刊してほしい	1	オンライン授業:講義内容と、各テストの内容がずれている	1
関連する科目・基礎科目を開講してほしい	1		

設問解答		テキスト・講義ノート	
意見	合計	意見	合計
設問解答:小テスト(試験)が難しい	2	テキスト/講義ノート:印刷したテキスト・講義ノートがほしい	4
設問解答:課題の内容・量が適切ではない	1	テキスト/講義ノート:講義ノート等、印刷したPDF資料が見づらい	2
設問解答:指導内容、コメント、対応に不満がある	1	テキスト/講義ノート:文字・画像を大きくして欲しい	1
設問解答:レポートが難しい	1	テキスト/講義ノート:テキストや講義ノート等の教材に誤りがある	1
設問解答:小テスト(試験内容)が授業・教材の内容と違った	1		
設問解答:小テストの問題数が少なかった	1		
設問解答:ディスカッションの人数・発言・回数が少ない	1		

主な改善点の提案:集約

- オンライン授業:システム面の改善が必要
- 具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい

- 内容が浅い
- 難しい、高度すぎる、理解できない
- 構成・内容が良くない
- オンライン授業:講師(ナレーター)の声が聞き取りづらい

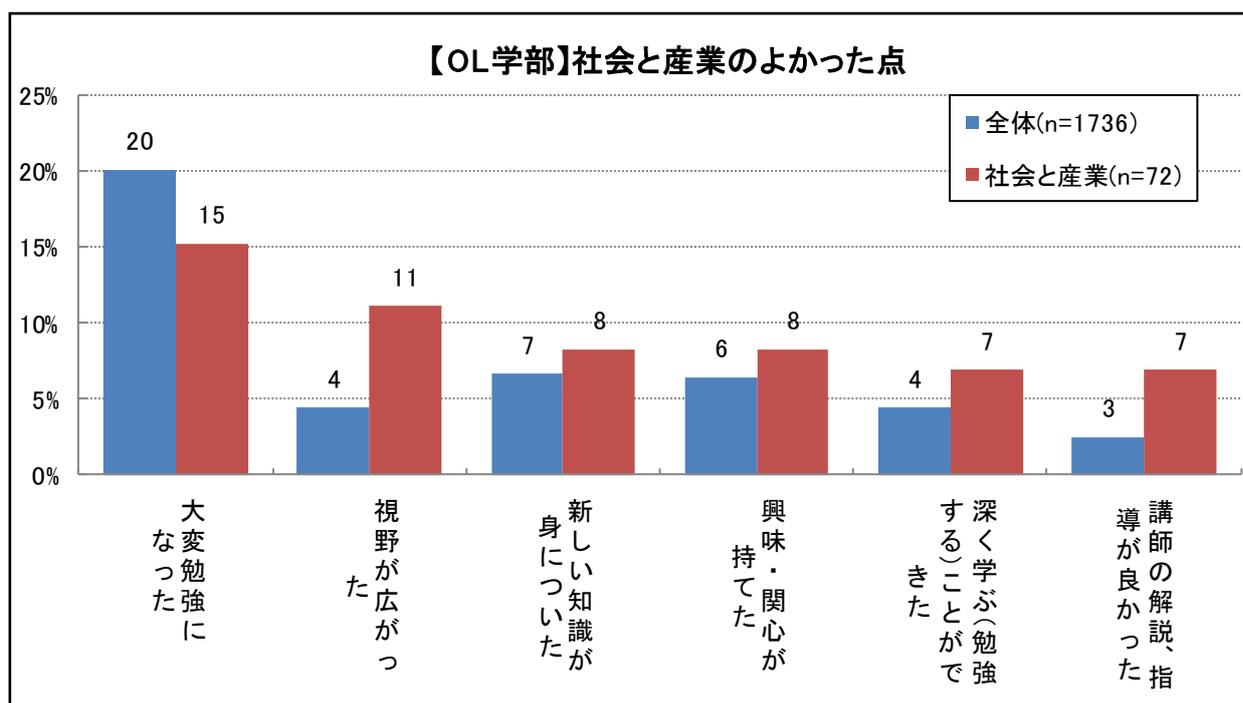
【オンライン学部】「社会と産業」の傾向

よかった点

「大変勉強になった」は15%で最も多く、次いで「視野が広がった」が11%で続いていた。

「視野が広がった」は全体を大きく上回り、特徴的な意見であった。他に「新しい知識が身についた」「興味・関心が持てた」が8%挙げられていた。

図 2-107 【オンライン学部】よかった点

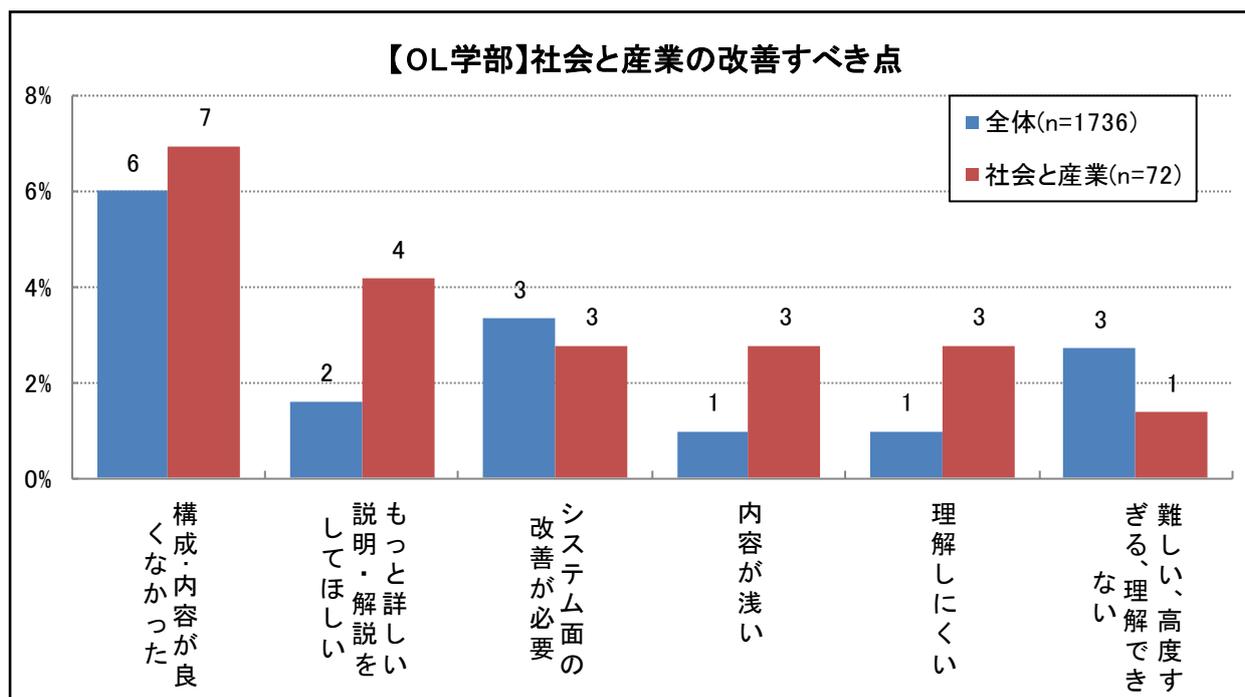


【オンライン学部】「社会と産業」の傾向

改善点

「構成・内容が良くなかった」が7%で最も高く、次いで「もっと詳しい説明・解説をしてほしい」「システム面の改善が必要」などが続いていた。

図2-108 【オンライン学部】改善すべき点



【オンライン学部】「社会と産業」抜粋

よかった点

- 椅子に関する知識を得ることが出来た。ものづくりと、お金を稼ぐことの両立の難しさが分かった。
- 椅子クラフツについて、こんなにも深い歴史と議論があり、社会構成に不可欠なものであったことを知ることができて良かった。
- 一つの「物」でも、いろいろと社会に関わりがあることを学んで、視野が広がった。
- 椅子、特に木製の椅子を見る新たな視点を与えてくれた。
- 椅子の様々な姿、機能、魅力を改めて感じ取ることができたように思う。
- 身近な家具について、社会経済学の視点から見ることができ、関心を持って授業に取り組むことができた。
- ただ座っていた椅子も、製作者のコスト面や、座り心地、椅子を使う対象年齢など、知られざる椅子製作の裏側事情を知ることができた。
- 授業の進め方が丁寧だった。
- 身近に存在するもの、生活の中でいつもそこに在るものを、学問として捉える面白さを学んだ。
- 椅子の持つ、日常性と芸術性について考える機会になった。
- 先生の椅子への熱意が伝わる内容だった。
- 椅子のどこが学問なのかと面白く思い、選択したので、十分納得できて満足している。
- 今まで受けていた放送授業と違って分かりやすく、講師の誠意が感じられる。
- 椅子職人のインタビューも興味深かった。
- 椅子の映像を数多く見ることができて楽しかった点。
- 先生の温かさを改めて感じた。
- 椅子生産と経済学をつないだ面が分かりやすかった。
- 新しい視点で社会経済学に触れることができた
- 椅子以外にも、各産業で衰えつつあるクラフツを改めて考えることができた。なんでも簡単に手に入ってしまう世の中だが、世代を超えて使い続けることのできる、堅牢で、優れたデザインのものが暮らしの中にあることは、人の成長の中でとても豊かなことであると感じた。

- クラフツ生産の椅子を使用できる人は、都心ではスペース的にみて少ないと考える。都心向けの椅子も、もっと取り上げてほしい。
- 椅子の構造や製造方法についての技術的な説明がもっとあると良いと感じた。
- せっかくのクラフツなので、座り心地がもう少し伝わる方法がほしかった。重さ・危険度などマイナス面もあるのではとも。
- 教授の細かい感想などあれば、さらに良かった。
- 椅子の歴史・種類を深くするか、少量生産の椅子職人の経営課題か、どちらか1つに重点を当てて、より深く学習した方が良いと思う。
- 欲を言えば、全15回の科目にして、もっと掘り下げてくれると、もっと楽しめたかもしれない。
- 土日祝日とか、平日の夜にしか受講できないのだが、その時間になるとアクセスが集中するためか、動画の速度や画質が落ちる。停止して先に進まないこともある。その事象が起きる時に、youtubeの放送大学公式チャンネルを再生すると問題なく高画質で再生される。
- 自宅のネット環境のせいかもしれないが、時々動画再生が止まり、再生し直した。
- 「なぜ、クラフツ生産が生き残っているか」ということが、しっかりと理解できなかったのも、コスト病の辺りの解説をもう少し補足していただくと良かったと感じた。
- オンライン授業全般に言えることだが、どこが要点か分りにくい。
- 椅子クラフツと経済との関係の話が中心になると思っていたので、その部分の内容の物足りなさを感じた。
- 小テストや第7回などで使用している用語が難しかった。そのことは、今まで知らなかった概念や言葉を知るきっかけになり、大学で学んでいると実感することができる。しかし、調べて意味を理解するのが簡単ではない用語があり、解説などがあると大変助かる。
- 製作者のインタビューが様々な製作者に飛んでいて、1つの課題としては成立しているが、まとめて見た時に、同じ人同士のインタビューの方が聞きやすいし、理解しやすいかなと個人的に思った。
- 誠に恐縮だが、どのオンライン授業でも、講師が「一番ここを伝えたい！」「ここを覚えておいてほしい！」という熱意が伝わってくる回を見たことがない気がする。学生の立場からは講師の淡々とした講義から読み取ろうと努力するが、講師の方もその点を意識して撮影に臨んでいただけたら、もっと理解の深まるオンライン授業を制作することができるのではないかと思った。
- アールヌーボーの作品など、実際に使用していた映像などあれば良かった。
- せっかくのオンラインなので、写真の精度が上がると良い。例えば、椅子の写真を撮る時は、バックに椅子があると、今見るべき椅子がかすむ。360度全体が鑑賞できるようにしてほしい。
- オンライン授業でもテキストがあった方が内容を理解しやすい。特に今回の講義は専門性が高い用語が多いので、テキストが役に立った。
- 小テストが多すぎる。
- 他の受講者との繋がりが希薄であった。皆が意見を出し合う機会をもっと作っていたらと思った。

【オンライン学部】「社会と産業」

よかった点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
大変勉強になった	11	オンライン授業:講師の解説、指導が良かった	5
視野が広がった	8	オンライン授業:講師の熱意が伝わった	3
新しい知識が身についた	6	オンライン授業:講義が理解しやすかった	2
興味・関心が持てた	6	オンライン授業:専門家の方々と先生の対談が良かった	2
深く学ぶ(勉強する)ことができた	5	オンライン授業:映像がありわかり易かった	2
楽しかった	3	オンライン授業:講師の人柄の良さを感じた	2
学習意欲・知識欲がわいた	3	オンライン授業:受講しやすい環境だった	1
全体として満足している	2		
自分のペースで勉強できた	1		
理解しやすかった	1		
今までにない内容	1		
自分の意見・考えが持てるようになった	1		

【オンライン学部】「社会と産業」

改善点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
構成・内容が良くない	4	オンライン授業:システム面の改善が必要	2
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	3	オンライン授業:理解しにくい	2
内容が浅い	2	オンライン授業:構成・内容が良くなかった	1
期待していた内容ではなかった	1	オンライン授業:講師の講義態度が良くない	1
難しい、高度すぎる、理解できない	1	オンライン授業:図・図解・グラフ・写真・映像・表を多く取り入れてほしい	1
		オンライン授業:図・図解・グラフ・写真・映像・表が見にくい、見せ方を改善してほしい	1

テキスト・講義ノート		設問解答	
意見	合計	意見	合計
テキスト/講義ノート:印刷したテキスト・講義ノートがほしい	1	設問解答:小テストの問題数が多かった	1
		設問解答:ディスカッションの人数・発言・回数が少ない	1

主な改善点の提案:集約

- 構成・内容が良くない
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい
- 内容が浅い

- オンライン授業:システム面の改善が必要
- オンライン授業:理解しにくい
- 期待していた内容ではなかった
- 難しい、高度すぎる、理解できない

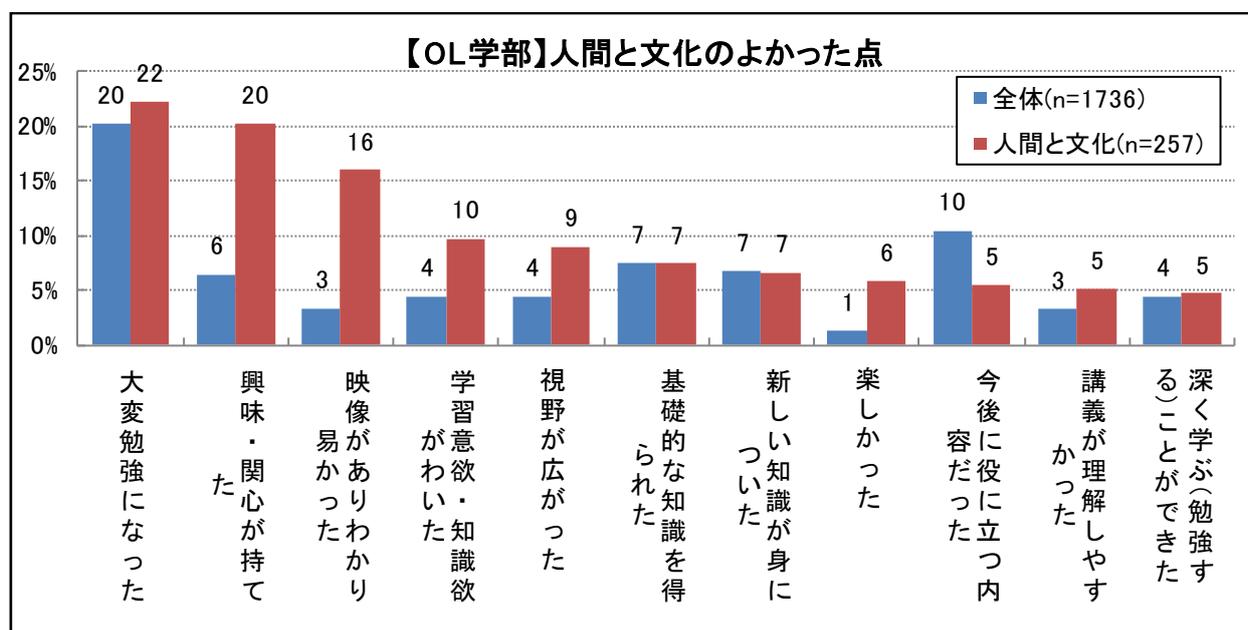
【オンライン学部】「人間と文化」の傾向

よかった点

「大変勉強になった」と「興味・関心が持てた」が20%以上挙げられ、「映像がありわかり易かった」(16%)、「学習意欲・知識欲がわいた」(10%)、「視野が広がった」(9%)が上位に挙げられた。

「大変勉強になった」を除く4項目は、全体との差が大きく、特徴的な意見であったと言える。

図2-109 【オンライン学部】よかった点

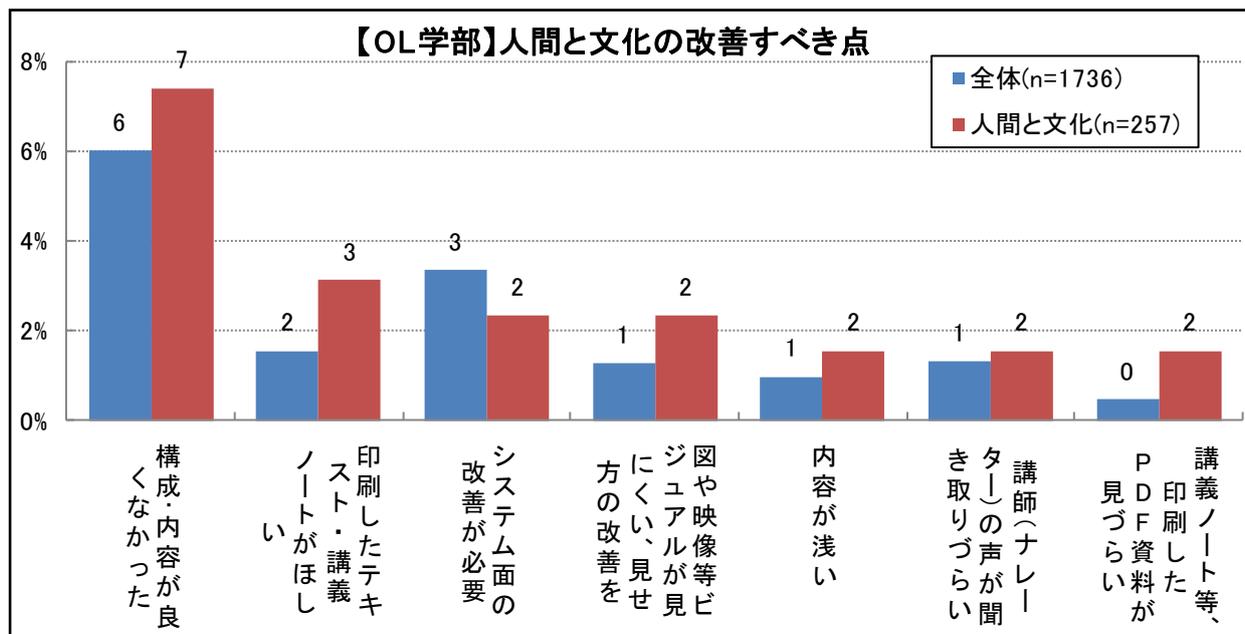


【オンライン学部】「人間と文化」の傾向

改善点

「構成・内容が良くなかった」が7%で、その他「印刷したテキスト・講義ノートがほしい」などが、2~3%で挙げられていた。

図2-110 【オンライン学部】改善すべき点



【オンライン学部】「人間と文化」抜粋

よかった点

- 博物館の面白さや見方を学ぶ事ができた。人々の生業や住居、服装、文化など、それぞれに見た時の面白さだけでなく、影響しあって発展していった関係を学べた。
- 文化人類学とはまさに「温故知新」。自国や世界の歴史や文化を知ることによって、これからのように生きていくか考える拠り所となる、未来のための学問だと分かった。
- おそらく受講しなければ訪問する機会がなかった博物館に出向き、新鮮な発見を得ることができた。
- 元々博物館に行くのが好きで、博物館をベースに学べるということが魅力的だった。リトルワールド、民博には絶対行きたいと思う。
- 私たちが海外にフィールドワークをすることは簡単にはできないが、先生たちの成果によって映像で見ることができた。
- 自宅に居ながらにして、アチコチの博物館を Web 展覧でき、楽しく受講した。
- 博物館学の勉強として興味を持って履修したが、授業とレポートの過程で文化人類学に興味が出てきて、大学院で文化人類学をやってみたいと考えるようになった。
- 博物館を訪れると、展示物を単にそれぞれ別個に注目するだけであったが、文化人類学のいろいろな視点で学べることを知り、知的な探求心が沸いた。
- 世界各地の文化を考える時、「人類の拡散」という視点を加えてみると、面白さが増していくことを実感した。
- レポート提出のために、人生で初めて博物館を訪問したが、想像していた以上に楽しかったし、視野が広がった感じがする。
- 人類文化全体を把握できて良かった。これまで全く知識のない民族文化もあり、刺激になった。
- 世界の歴史や文化の他、現時点の世界の動きなど、一つの事象をとらえるためにはより多角的な視点が必要であることが分かり、今後の学習指標になった。
- 文化人類学の学習を博物館の展示内容を使って行うという方法は、初学者にとっては理解しやすく良い方法である。
- 各博物館学芸員さんや先生方の解説を聞きながら展示を見ることができ、非常に勉強になった。
- 文化人類学の基礎を、博物館を通じて学ぶことで、あまり構えないで自然に理解していくことができた。

- 諸外国の文化人類学系博物館を取り上げてほしかった。日本の研究者からの目線と、当該地域の博物館では当然異なる部分もあると思う。
- アイヌの文化紹介があったが、千島アイヌ、樺太アイヌの比較民俗学の研究も紹介いただきたい。同時に台湾の中国紹介があったが、大陸の中国民族の紹介もしていただきたいと思った。共産国家で困難なのかも知れないのだが。
- 少し講師の専門に偏重しているかもしれない。文化人類学は取り扱う内容も方法も多様なので、繰り返しになっている部分を減らして、違ったアプローチを紹介するのも良いかもしれない。
- フィールドワークと民族誌（17）と同じ映像があったり、講義内容がかぶったりしていたのは残念だった。
- 教材は分量も多く内容も良いと思ったが、印刷して受講すると結構な手間となった。他の授業のように印刷教材があれば良いと思った。
- 講義だけを聞いてメモしても、印刷教材がないと読み直しができないため、あまり理解が深まらないと感じ、結局、書店で関係書物を購入した。
- 博物館の映像だが、できればもう少し近くで見たいと思うものもあった。
- 科目として必要なのだと思うが、講義内容の範囲が多くて、もう少し専門的な講義が聞きたいと思う項目もあった。続きは自己学習ということだろう。
- 年齢的な影響からか、言葉の聞き取りにくい箇所が多々あり、10分～20分程度の映像を理解するのに1時間以上かかることも多かった。
- 教材を印刷して利用したが、印刷が小さく字がつぶれてしまったり、写真が鮮明に見えない物が多々あった。講義と同時に使う場合は補完できるが、後で読み直し見直しする場合、詳細が分からない。
- 地理的などころが把握しにくい。
- 文化人類学の範囲が広大過ぎて、興味のあるカテゴリも多すぎて、受講しながら、「もうちょっと深く」と歯がゆい気持ちになることも多々あった。
- 参考文献などを紹介して、学生が個人で深められるような導きが欲しかった。
- 字幕の誤字（第15回まとめの「島々の氷を」→「島々の交流を」）。
- テキストがないので、専門用語が日本語なのか外国語なのかよく分からない箇所があった。
- 第10回以降の内容には、タイトルから抱くイメージに対し若干物足りなさを感じた。一つの講義として独立しても良いテーマだと感じた。
- 博物館内で、展示が全く生かされておらず、講師2名が会話しているだけの場面が何度もあった。単語の意味、せめて画面に出たものだけでもメモに記しておいてほしい。書き留めるには、講義の進みが早すぎる。
- できれば字幕を表示してほしい。
- 映像と資料の統一性をもう少し改善していただけたら、と思った。

【オンライン学部】「情報」の傾向

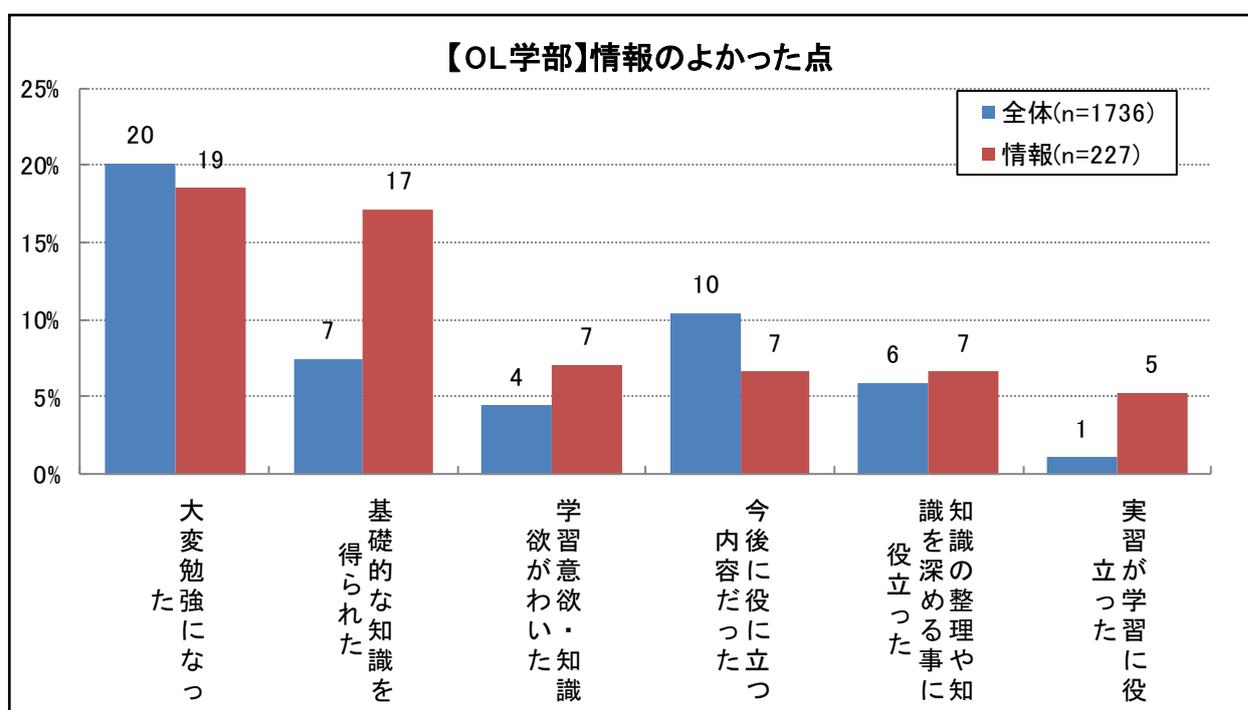
よかった点

最も多かったのは「大変勉強になった」で、19%に達しており、次いで「基礎的な知識を得られた」(17%)であった。

「大変勉強になった」は全体とあまり変わらなかったが、「基礎的な知識を得られた」は10ポイントのプラスで、「情報」の特徴的な意見と言えよう。

その他では、「学習意欲・知識欲がわいた」や「今後役に立つ内容」などが挙げられていた。

図2-111 【オンライン学部】よかった点

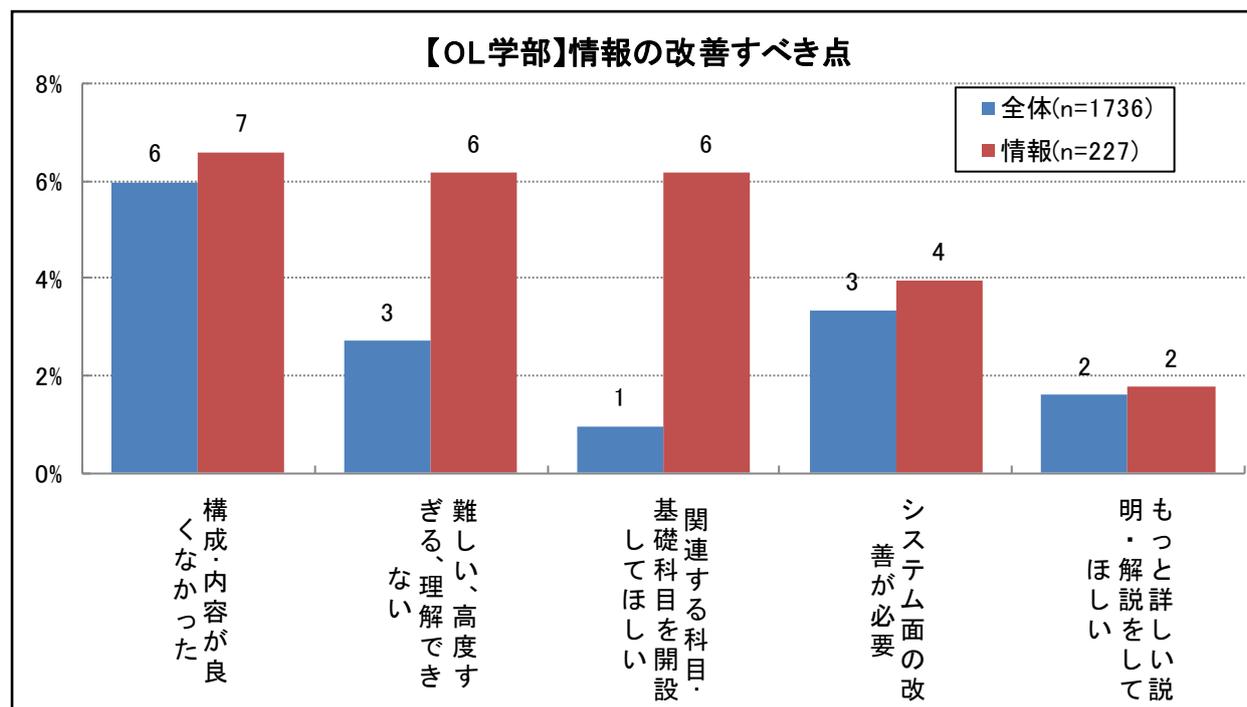


【オンライン学部】「情報」の傾向

改善点

「構成・内容が良くなかった」(7%)、「難しい、高度すぎる、理解できない」(6%)、「関連する科目・基礎科目を開設してほしい」(6%)が上位に挙げられ、「難しい、高度すぎる、理解できない」と「関連する科目・基礎科目を開設してほしい」は、全体を大きく上回っていた。

図 2-112 【オンライン学部】改善すべき点



【オンライン学部】「情報」抜粋

よかった点

- 独学でトライしては諦めていたC言語だが、今回は、基礎部分ではあるものの、理解してプログラミングすることができるようになった。
- アルゴリズムを考えてプログラムを組まなくても、Excel を使用して条件を指定してやれば、そこそこ計算できることが分かった。
- 問題から数式を立て、ソルバーで解を求めるという、一連の問題解決のプロセスを訓練する良い機会となった。
- プログラミングの基本とも思えるC言語を、基礎からしっかり学んでおきたいと常に考えていたので、この授業はとても理想的なものだった。
- 記号の意味、変数の解釈の順番など、分かったようで分かっていなかった基本的なことが理解できて良かった。
- プログラミングを通じてC言語の基礎が理解できて、次のステップに進むきっかけになった。
- 今回は Excel で対応したが、PythonR のサンプルコードが付属しており、これらの言語の習得への熱意を持つことができた。
- 線形最適化法は、自分が思っていた以上に適用範囲が広いことが分かった。
- 実際にソルバーで計算を行うオペレーションを含むところが良かったと思う。
- ただ問題を解くだけでなく、文章から式を組み立てる方法を学習できたので、より理解を深めることができた。
- 今までC言語の本を読んだり、Web で調べたりして、それなりに勉強してきたが、知らなかった内容の事柄の講義があって、知ることができて良かった。
- 新型コロナウイルスの影響で、放送授業の単位認定試験にも影響が出る中、オンライン授業であるこの科目は、完全に普段通りに受講できて安心だった。
- C言語入門として、できること、できないことをはっきりと区別しており、分かりやすい内容であった。
- お知らせがマメに更新されており、講師の熱意が感じられた。考え方の説明や設問解説も丁寧になされていた。
- 解説が丁寧で、かつ複数のソルバーで説明用ファイル（プログラム）を作成してくれたことが、本当にありがたい。

改善点

- 初心者なので、最初の入り口のテキストエディタとコンパイラがうまく動かず、1ヶ月くらい悪戦苦闘して、結局たどり着いたのが総合開発環境アプリだった。恐らくこのような方もいて、初めの一步で挫折、諦める人もいるのではないかと思う。門戸を大きく開くためにも、総合開発環境アプリの具体名くらいは挙げておいてもらえると良いかなと思う。
- 自分が理解していないこともあると思われるが、pythonでの解法が難しく感じられた。
- 本授業はC言語の基礎的な内容であったが、次のステップ（ポインタや構造体など）での授業（続報）を期待している。
- ソルバーの選択が4種類もあって、それぞれを理解するのに時間がかかってしまったので、ExcelとLibreOfficeに絞っても良かったと思う。
- mac環境の推奨設定・配列の項目が欲しかったように思った。
- C言語の各種の違いについての説明が欲しい（C、C++、C#）。
- 科目案内の動画の時点でこの科目を履修しただけでは本格的な開発はできないと断っていたのは知っているが、配列の話もないのは流石に初歩的すぎるように思った。配列の話をするるとポインタの話になり、さらにメモリの話になり…と、話が無限に広がるので、取捨選択であったのだとは思うが。
- 第14章以降をもう少し時間をかけた方が良いと思う。具体的にはもっと練習課題を増やしたら理解が深まると感じた。
- 数式をほぼ全て読み上げられるのは少しつらかった。数式読み上げよりは、画面は数式で、音声ではその数式の意味を話すような構成だと、尚良いと思う。もしかすると視覚障害者対応で現状のようにになっているかもしれないが、その理由であれば現状にも納得である。
- 講義の各章の概要説明の際に映像があったが、詳細でも映像があると思っていた。あった方が良いとも思う。
- 印刷教材が無いのでプリントアウトするが、製本されていた方が後から読み返しやすい。
- レポートの記述方法が分りにくかった。何をするために、どういった内容を、どのような手法（工夫）を用いて実装したかを記載するように記述内容を指定した方が、受講生にも採点者にも分りやすいのではなかろうか。
- 講師出演も含め、他OLと同様、他受講者とのディスカッションや、受講期間中に中間課題などでの双方向があったら良かった。教授は多忙だろうから、ティーチングアシスタントの方でも良いので。
- 期末課題については、一般社会の実業務に紐づいた課題を取り上げてもらえれば、履修者がプログラム作成の魅力をより強く感じられるように思う。
- C言語基礎とはいえ、各問題の難易度が低く応用性に乏しい。レポート100点、小テスト正解率80%~100%なのに科目が不合格になったが、合格ラインが他の科目より高いのだろうか。それならば各問題の難易度を上げ、応用問題を増やす方が役に立つ気がする。
- ポインタや構造体、共用体などの講義を期待していたのに、当て外れだった。
- できれば、ソルバーが収束しない場合の事例と対処方法を扱ってほしい。
- 折角なので、小テスト・レポート等以外の例題集などがあれば、繰り返し色々なケースを考えられたと思った。
- 受講するにあたって、最低限必要な知識や技量が示されていると嬉しかった。今後、どういう学習をしたら良いのかの指針が示されると、もっと良いと思う。
- 講師の話し方がロボットのように、非常に眠気を誘うものであること。

【オンライン学部】「情報」

よかった点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
大変勉強になった	42	オンライン授業:内容が良かった	9
基礎的な知識を得られた	39	オンライン授業:受講しやすい環境だった	7
学習意欲・知識欲がわいた	16	オンライン授業:講義が理解しやすかった	5
今後に役に立つ内容だった	15	オンライン授業:講師の解説、指導が良かった	5
知識の整理や知識を深める事に役立った	15	オンライン授業:楽しかった	4
実習が学習に役立った	12	オンライン授業:講義ノートで繰り返し学べる	4
新しい知識が身についた	8	オンライン授業:良い授業だった	3
理解しやすかった	6	オンライン授業:講師の熱意が伝わった	1
興味・関心を持った	4	オンライン授業:映像がありわかり易かった	1
視野が広がった	4	オンライン授業:講師の人柄の良さを感じた	1
楽しかった	3		
深く学ぶ(勉強する)ことができた	3		
自分のペースで勉強できた	2		
全体として満足している	1		
今までにない内容	1		
専門的な内容だった	1		
具体的な事例・実践的な内容があった	1		
教材がこれからも活用できる	1		

設問解答	
意見	合計
設問解答:指導内容、対応が良かった	6
設問解答:ディスカッションが良かった	3
設問解答:学習内容の理解に役立った	2
設問解答:練習問題があり確認しながら学べた	2
設問解答:小テストが良かった	2
設問解答:レポートの提出が良かった	1

【オンライン学部】「情報」

改善点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	14	オンライン授業:システム面の改善が必要	9
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	14	オンライン授業:構成・内容が良くなかった	3
構成・内容が良くない	12	オンライン授業:図・図解・グラフ・写真・映像・表を多く取り入れてほしい	3
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	4	オンライン授業:講師(ナレーター)の音が聞き取りづらい	1
内容が浅い	3	オンライン授業:講師の解説、指導が良くなかった	1
例題・練習問題を増やしてほしい	3	オンライン授業:図・図解・グラフ・写真・映像・表が見にくい、見せ方を改善してほしい	1
期待していた内容ではなかった	1		
時間が取れなかった	1		
具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい	1		
参考文献、補助教材、問題集を紹介・発刊してほしい	1		
授業科目案内は役に立たなかった	1		

設問解答	
意見	合計
設問解答:レポートが難しい	3
設問解答:ディスカッションの人数・発言・回数が少ない	3
設問解答:課題の内容・量が適切ではない	2
設問解答:小テスト(試験)が簡単すぎる、難易度を上げるべき	2
設問解答:小テスト(試験内容)が授業・教材・の内容と違った	1

主な改善点の提案:集約

- 難しい、高度すぎる、理解できない
- 関連する科目・基礎科目を開設してほしい
- 構成・内容が良くない

- オンライン授業:システム面の改善が必要
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい
- 内容が浅い
- 例題・練習問題を増やしてほしい

【オンライン学部】「自然と環境」の傾向

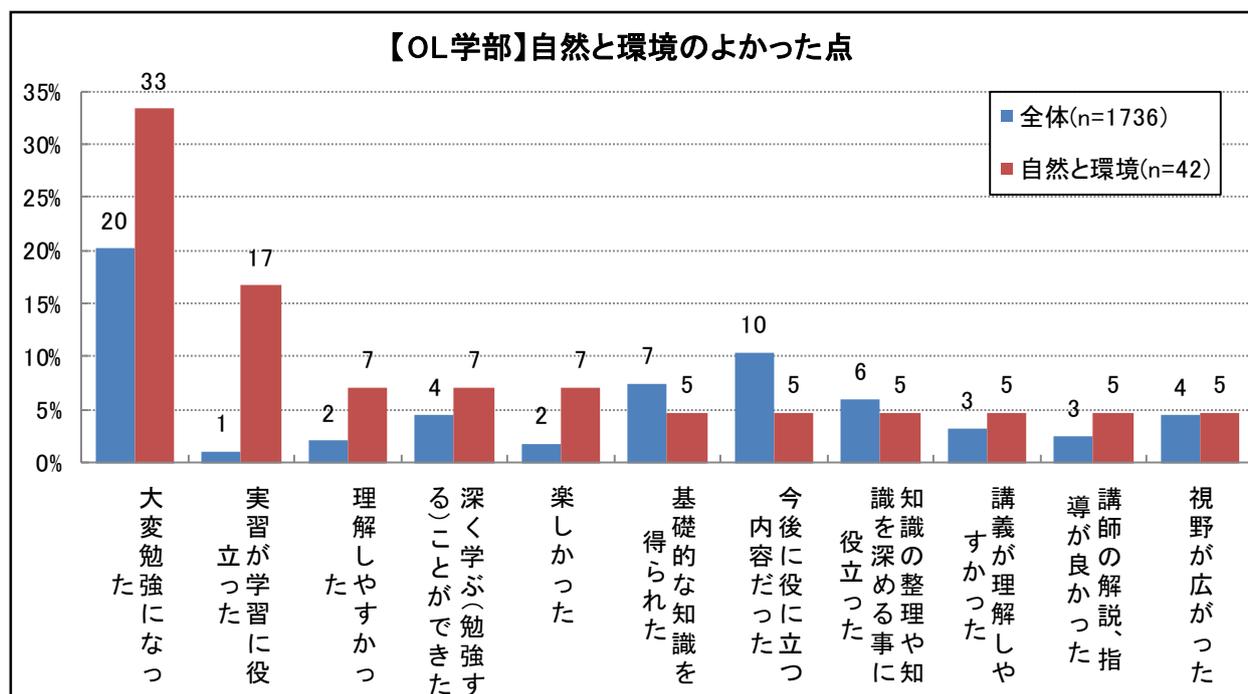
よかった点

最も多かった「大変勉強になった」が33%と、突出しており、次いで「実習が学習に役立った」も17%と、この2項目に意見が集中していた。

「実習が学習に役立った」は全体との開きが非常に大きく、「自然と環境」の特徴的な意見と言えよう。

他に5%以上の項目も多数挙がっており、「良かった点」は多数挙げられていた。

図2-113 【オンライン学部】よかった点



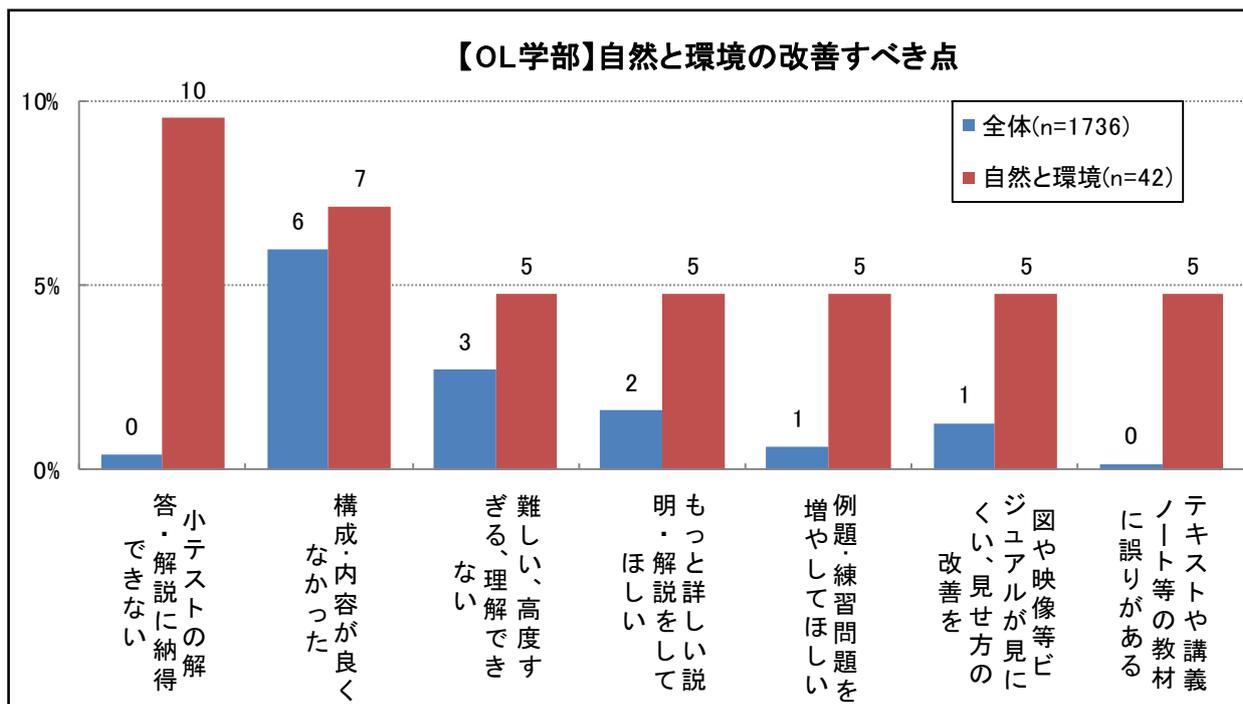
【オンライン学部】「自然と環境」の傾向

改善点

「小テストの解答・解説に納得できない」は10%で、全体が0%という事から、「自然と環境」を代表する特徴的な意見と言えよう。

他では「構成・内容が良くなかった」(7%)などが挙げられていた。

図2-114 【オンライン学部】改善すべき点



【オンライン学部】「自然と環境」抜粋

よかった点

- 地球科学の定性的知識ばかりでなく、定量的計算法の考え方が分かって良かった。
- 岩石がどのようにできるかを、化学熱力学から理解できた。
- ボックスモデル化を進める意義を体感できた。
- 単位取得者対象のリモート電子顕微鏡実習も、勉強の意欲につながった。
- 数値計算実習が良かった。科学技術計算に興味をわき、Pythonプログラミングの独習を始めた。
- 表計算ソフトを使用しての実習によって、実際の科学研究を身近に感じる事ができた。
- なかなか理解できなかったギブズエネルギーについて、よく理解できた。
- 従来とは異なる角度からの、地球科学に対する知見を得ることができた。
- 卒業研究で取り組んでみたい物理化学を、実際に使う経験ができた。
- 今まで単純に感覚で見聞きしていた地球の周りの出来事を、少しは論理的に捉えることができるかもしれない。
- 「鉱物学」で出てきたギブズエネルギーについて、よく理解できていなかったが、本授業を受講することで、概念的な理解が進んだ。
- かなり専門的な部分もあったが、丁寧に解説されており、勉強になった。
- 地球内部のことについて、具体的な数値を通じて理解することができた。

- 設問や回答の誤りについては早めに修正してほしい。
- 評価に繋がる小問題の回答において、実習の訂正がお知らせの中に存在した。お知らせに気が付かず、試験を実施して間違ってしまった。評価にかかわる重要な修正の取扱をもう少し考えてほしい。
- 計算問題や説明映像などの言葉が難しく、授業の途中でくじけそうになった。
- 固溶体の鉱物の成分比の求め方や鉱物の定性などについて、もう少し知りたかった。ネットなどで参考になるところを教えてもらえるとありがたい。
- 概観することと詳細を省略することは違うのではないか、を強く感じた。
- 学生が演習をやってみた後に、解説用に講師が実際に演習をやってみせる動画なども用意されていると、より良かったのではないかと思う。
- 演習問題が少ない。そのため、ディスカッションを見ていると、相手がどのくらい理解しているのか疑問であった。
- クロマキーを使っているのに、岩石に汚い点映っているのが気になった。岩石のその部分が背景と同じ色合で、背景と勘違いしたのだろうか。岩石の映像はこの講義の1丁目1番地であり、きれいな映像で細かい構造まで見たかった。
- 実習の結果の例で、グラフが被っている部分の数値が読み取れない点（被ってしまうのは仕方がないが、その部分の数値は言葉での説明を後付けするなどしてほしい）。
- 教材について、演習、実習で提供された表計算ソフトの手順書に間違いが何カ所もあり、その修正が遅い。そもそも、教材は講義開始前に十分な検証を済ませてオンライン上に公開すべきであるが、それがなされていない結果であり、主任講師をはじめ科目を提供する側の姿勢を問う。
- 計算演習手引きをオンライン講義ですべき。
- 実習を内容とする講義回（第13回）においては、実習を総括するコメントが無く、受講生の考察まかせとなっている。学習目標に対する理解を担保するためには、「まとめ」のパートに実習結果を総括する内容を組み込むべきではないか。
- 講師の音声小さく、語尾が分りにくい。
- 重要ポイントはテロップで流す工夫をしてほしい。
- 授業の説明と映しているレジメとが合っていないところが1枚だけあった。
- 振り返りをしたいのだが、説明スライドには含まれていない内容が沢山あり、映像を見直さないと振り返れないのが非常に残念。振り返ることができる教科書のような資料が、説明スライドとは別にあると良いと思った。
- レジメの文字が小さく鮮明でないため、見づらいところがあった。
- 小テストが先生の意図することが理解できない時があった。もう少し長い文書での設問が必要なのではないかと思った。

【オンライン学部】「自然と環境」

よかった点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
大変勉強になった	14	オンライン授業: 講義が理解しやすかった	2
実習が学習に役立った	7	オンライン授業: 講師の解説、指導が良かった	2
楽しかった	3	オンライン授業: 受講しやすい環境だった	1
理解しやすかった	3	オンライン授業: 内容が良かった	1
深く学ぶ(勉強する)ことができた	3	オンライン授業: 講師の熱意が伝わった	1
視野が広がった	2	オンライン授業: 講義ノートで繰り返し学べる	1
今後役に立つ内容だった	2		
知識の整理や知識を深める事に役立った	2		
基礎的な知識を得られた	2		
新しい知識が身についた	1		
興味・関心を持った	1		
学習意欲・知識欲がわいた	1		
身近に感じられる内容だった	1		
自分の意見・考えが持てるようになった	1		
最新の情報・研究が学べた	1		
資料・データが充実していた	1		

設問解答	
意見	合計
設問解答: 指導内容、対応が良かった	1
設問解答: 練習問題があり確認しながら学べた	1
設問解答: 小テストが良かった	1

【オンライン学部】「自然と環境」

改善点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	2	オンライン授業: 図・図解・グラフ・写真・映像・表が見にくい、見せ方を改善してほしい	2
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	2	オンライン授業: 構成・内容が良くなかった	1
構成・内容が良くない	2	オンライン授業: 講師(ナレーター)の音が聞き取りづらい	1
例題・練習問題を増やしてほしい	2	オンライン授業: 図・図解・グラフ・写真・映像・表を多く取り入れてほしい	1
関連する科目・基礎科目を開講してほしい	1	オンライン授業: 講義ノートやテキストと内容が異なる、連動していない	1

テキスト・講義ノート		設問解答	
意見	合計	意見	合計
テキスト/講義ノート: テキストや講義ノート等の教材に誤りがある	2	設問解答: 小テストの解答・解説に納得できない	4
テキスト/講義ノート: 印刷したテキスト・講義ノートがほしい	1	設問解答: 小テスト(試験)が難しい	1
テキスト/講義ノート: 講義ノート等、印刷したPDF資料が見づらい	1		

主な改善点の提案: 集約

- 設問解答: 小テストの解答・解説に納得できない
- 難しい、高度すぎる、理解できない
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい

- 構成: 内容が良くない
- 例題・練習問題を増やしてほしい
- オンライン授業: 図・図解・グラフ・写真・映像・表が見にくい、見せ方を改善してほしい
- テキスト/講義ノート: テキストや講義ノート等の教材に誤りがある

Ⅲ－3. 大学院（放送授業）

大学院については、専攻プログラム別（中区分）の自由記述の集計結果から、よかった点は、5%以上の回答があった項目と、その項目の大学院（オンラインを除く）の回答者全体の比率をグラフ化した。

改善点については、学部同様、比率の高い上位5項目の代表的な回答内容と、その項目の回答者全体（オンラインを除く）の比率をグラフ化した。

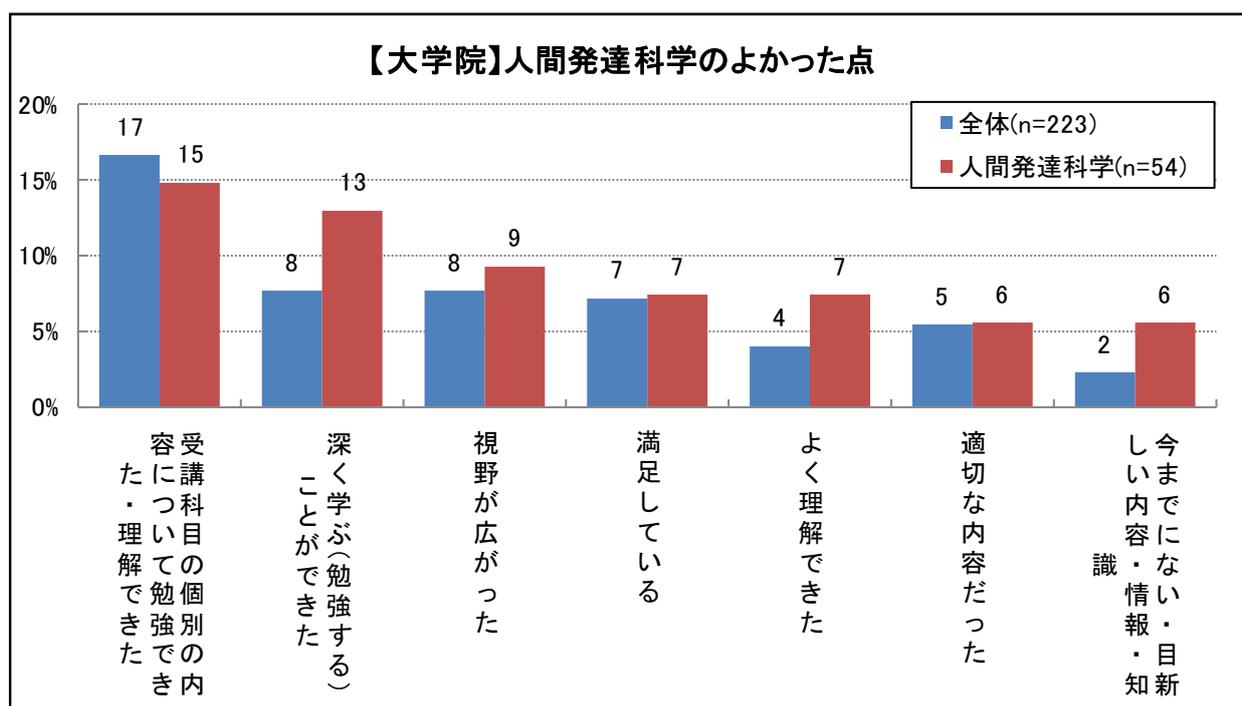
【大学院】「人間発達科学」の傾向

よかった点

「受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた」が最も多く15%、次いで「深く学ぶ（勉強する）ことができた」（13%）、「視野が広がった」（9%）が上位の項目として挙げられた。

「深く学ぶ（勉強する）ことができた」は、全体との差が最も大きかった。

図 2－115 【大学院】よかった点

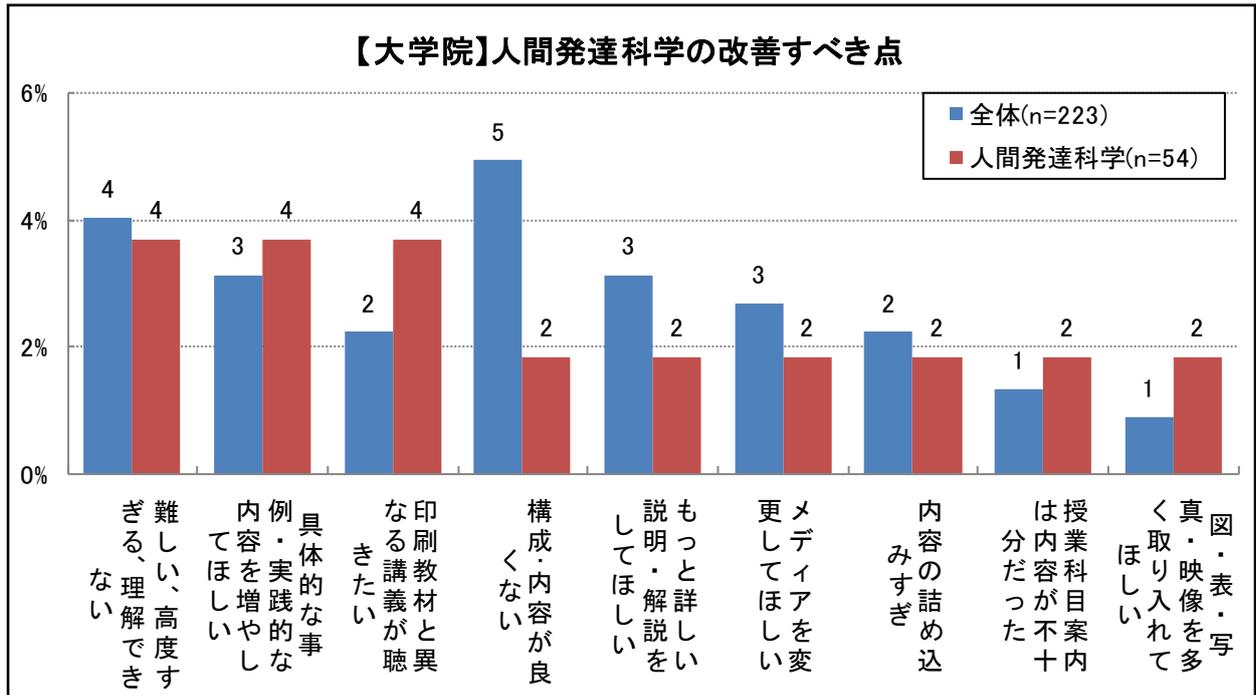


【大学院】「人間発達科学」の傾向

改善点

最も多くても「難しい、高度すぎる、理解できない」「具体的な事例・実践的な内容を増やして欲しい」「印刷教材と異なる講義が聴きたい」がそれぞれ4%に留まり、他の項目も2%であった。

図2-116 【大学院】改善すべき点



【大学院】「人間発達科学」 抜粋

よかった点

- 学校がどのように運営されているのかを知る機会となり、また現在の運営方法や教育方法などを知ることができて良かった。
- 日本の教育制度がどのように設計され、運営されているかの全体像の理解が、学習以前より深まった。
- 教育行政の仕組みを、政治的な作用も含めて、俯瞰して理解することができた。
- 一つ一つのステップが丁寧に作られていたこと。検索の仕方など具体的であったこと。
- 教育行政の課題を全般的にバランスよく学習することができた。
- どのような経緯で現在の教育が行われているのかが広い視点から説明されていて、とても良い学びとなった。
- 道徳が教科になった経緯や、道徳をどのように子ども達の生きる力に役立てられるかを、深く考えることができた。
- この教科を学び、2017年の学習指導要領の目指す教育改革における特別の教科・道徳が果たす重要な役割を学ぶことができたことが最大の収穫であった。
- 道徳教育をいろいろな角度から検証し、それが今日的な課題と結びつき、深く学ぶことができた。
- この講座を受講して、道徳教育が人間教育の多くのことをカバーしており、「市民性教育」と遜色ないことが分かった。
- 学校教育現場とは異なる環境にいて、最近の事情が分からなかったもので、参考になった。
- 道徳教育については、今まさに変化をしたところなので、新しい考え方について講師の先生方のご意見を伺えたことは貴重な経験になった。

改善点

- 4章のアメリカの色々な教育委員会の違いや、8章や13章の予算編成過程が分かりづらかった。
- 自分自身の許容量の問題から、内容を吸収しきれなかった感が残った。
- 実際の学校現場と理想の道徳教育のギャップを埋める具体的な学習方法の提示が1時間ほど欲しいと感じた。
- 「理論と実践」の「実践」の部分については、もう少し現場の声が聞けるとより良かったかもしれない。
- 放送とテキストの違いをもう少し出しても良いように思う。基本、テキストをそのまま、映像でも話すままだったように思う。
- 放送授業で、印刷教材をそのまま読み上げることが大半であった。他の科目ではゲストを交えて印刷教材の内容を膨らませるような工夫が行われている。
- 授業内容を具体的にお願いしたい。
- 学校保健安全法などを取り入れる等、様々な法規と行政と関連しても良いと思いました。
- 科目の内容の年表があれば良いように思える。
- 可能であれば、テレビまたはオンラインで進めて頂きたかった。映像も加えることができれば、さらに理解が深まったと思う。
- 先生の授業自体はたいへん興味深い内容ではあったが、道徳教育の理念と実践という視点からすると、一部距離を感じるお話もあった。
- 図や表を少し入れると良いかと思う。

【大学院】「人間発達科学」

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた			8 8	放送授業:構成・内容が良かった			1 1
深く学ぶ(勉強する)ことができた			7 7	放送授業:分かりやすい解説			1 1
視野が広がった			5 5	放送授業:講師(陣)が良かった			1 1
満足している			4 4				
よく理解できた			4 4				
今までにない・目新しい内容(情報・知識)			3 3				
適切な内容だった			3 3				
身近に感じる内容だった			2 2				
基礎的な知識を得られた			2 2				
学習意欲・知識欲がわいた			1 1				
今後に役立つ内容			1 1				
資料・データが充実していた			1 1				

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材:理解しやすかった			1 1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
通信指導:指導内容が良かった			1 1

【大学院】「人間発達科学」

改善点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない			2 2	放送授業:印刷教材と異なる講義が聴きたい			2 2
具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい			2 2	放送授業:メディアを変更してほしい			1 1
もっと詳しい説明・解説をしてほしい			1 1	放送授業:授業の構成・内容が良くない			1 1
構成・内容が良くない			1 1	放送授業:図・表・写真・映像を多く取り入れてほしい			1 1
内容の詰め込みすぎ			1 1				
授業科目案内は内容が不十分だった			1 1				

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
単位認定試験:評価方法に疑問を感じる			1 1
単位認定試験:問題数が多かった、範囲が広がった			1 1

主な改善点の提案:集約

- 難しい、高度すぎる、理解できない
- 具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい
- 放送授業:印刷教材と異なる講義が聴きたい

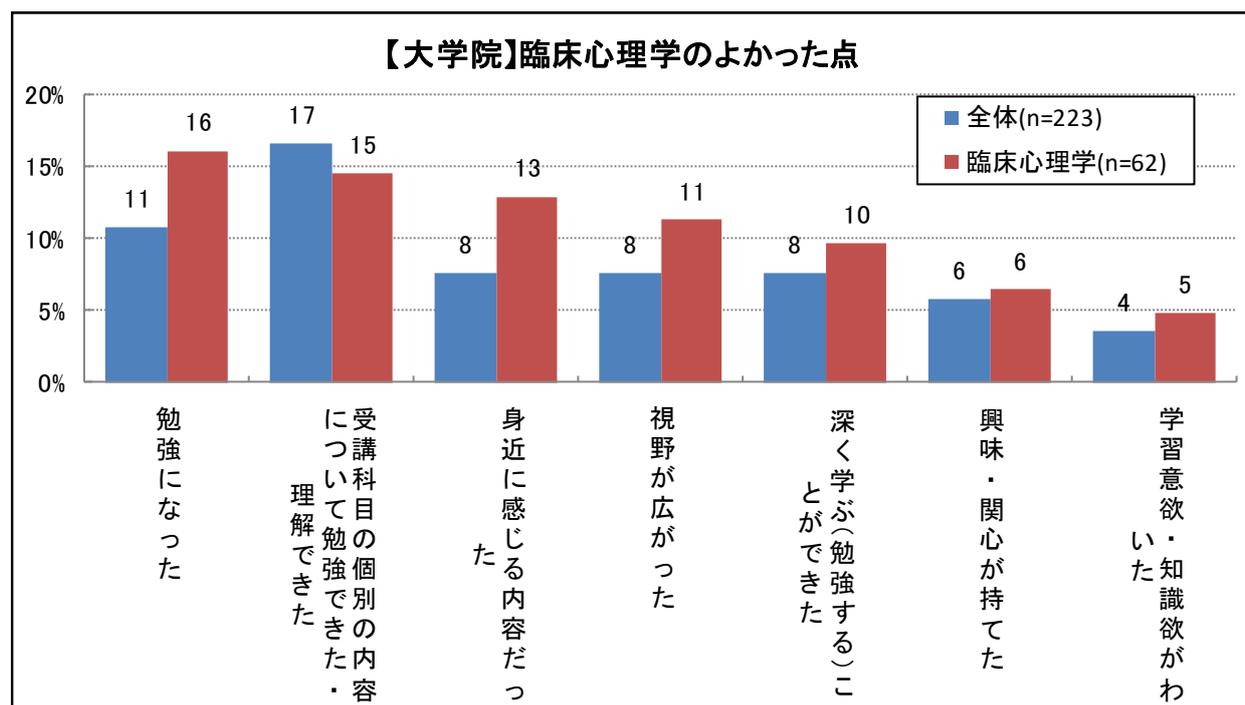
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい
- 構成・内容が良くない
- 内容の詰め込みすぎ
- 授業科目案内は内容が不十分だった

【大学院】「臨床心理学」の傾向

よかった点

「勉強になった」(16%)、「受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた」(15%)、「身近に感じる内容だった」(13%)など、10%以上の項目が多く挙げられ、「勉強になった」と「身近に感じる内容であった」は全体を上回っていた。

図 2 - 1 1 7 【大学院】よかった点

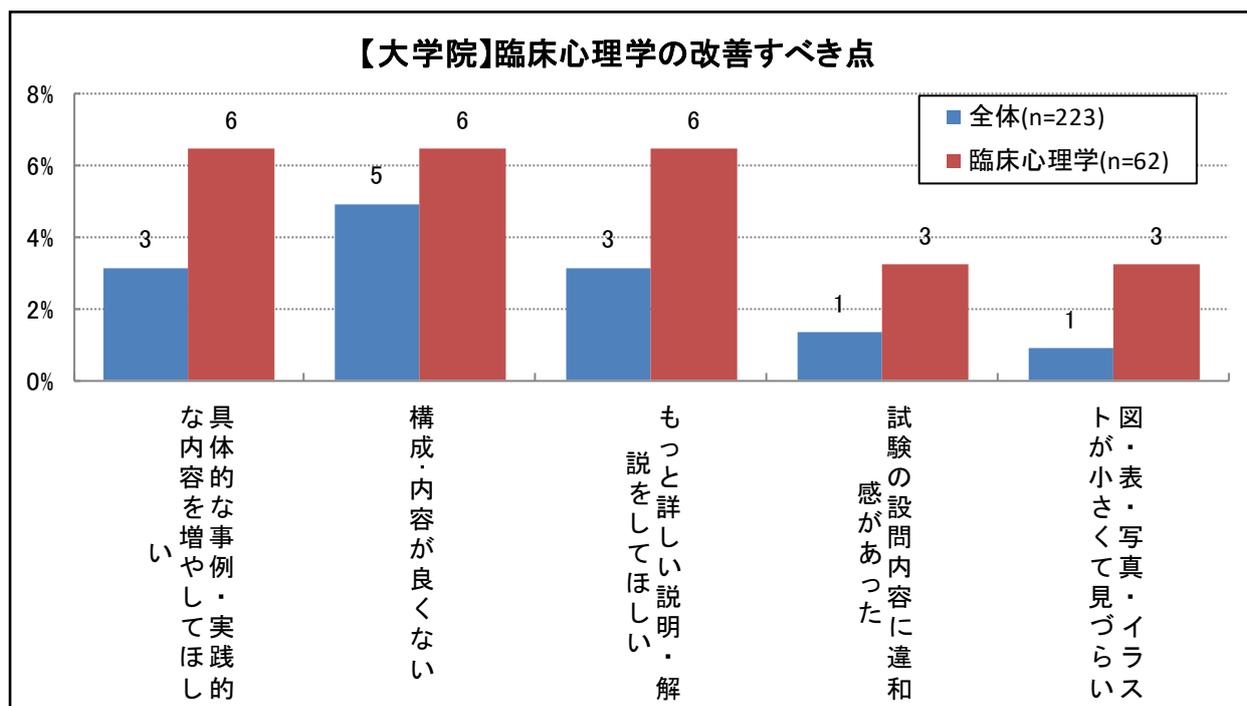


【大学院】「臨床心理学」の傾向

改善点

「具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい」「構成・内容が良くない」「もっと詳しい説明・解説をしてほしい」がそれぞれ6%挙げられた。

図 2 - 1 1 8 【大学院】改善すべき点



【大学院】「臨床心理学」 抜粋

よかった点

- 心理臨床で自分にとって専門性の点で弱いところを補うことに役立った。
- 自分が知らない分野の学習ができた。
- 現代社会の青少年問題、家庭内暴力や校内暴力やいじめ、及び非行少年の特徴などを学ぶことができて良かった。家庭内紛争やネグレクトなど、その対処法律を学べる良い機会にもなった。
- 司法矯正という事で、最初はあまり身近に感じられなかった事が、受講してみて、身近に起きる事象に対して気づきや考えるきっかけとなり、自分自身で考える幅が広がったことが収穫となったと思う。
- ボランティア活動(被害者支援)での視野の広がりや知識向上につながり有意義であった。
- 自身の課題発見が多く、今後さらに参考文献などでも取り組みたいと思った。
- 司法矯正・犯罪分野の断片的な知識を統合し、理解を深めることができた。
- 一番はこの分野への興味関心が増したこと。制度・法律に関する知識も増え、公認心理士の資格取得も視野に入れるまでになったほど。
- 犯罪心理についての概要を把握するのに適していた。
- 直近のデータに基づく現状分析や、最近の法改正の経緯と効果など、とても理解が深まった。
- 少年法の改正もあり、その変化や処遇の進展等を感じることができ、新しい知見で学ぶことができ、新鮮な感覚を持った。
- 矯正施設で勤務しており、仕事の関わりから大いに役立つ内容であったと思う。受講内容と現場での内容を相対的に確認することができた。
- 事例が大変役立ち、理解が深まった。
- 少年犯罪における、年齢区分や、それに伴う処遇・矯正指導などを学べたことが良かった。曖昧なままでいた部分が思っていたより多くあったので、大変良かった。
- 法律関連職として大いに役立つと同時に、自らの職域における論考提出のために基礎知識となった。
- 犯罪者に関する理論が歴史的にまとめられていた。
- さまざまなデータをもとに分かりやすく、また、内容を深く学べるよう配慮されていて、とても良かった。
- 専門的経験がよく解説されていた。

改善点

- 累犯者の心理、対応の実践研究などを、もっと詳しく知りたかった。
- 統計的な数字やグラフの読み取り方について、もう少し説明がほしいと思った。
- 資料の根拠を十分聞くことが出来ず、時間的制約でしようがないと思った。
- 犯罪者の取り扱いなど法的プロセスよりも、犯罪者の心理分析を主流とした内容の方がより興味深く学習できたと思う。
- 心理臨床における法と倫理(17)と重なる内容が多かった。
- 少年事犯や虐待等に比重がかかり、一般の行刑や高齢者犯罪事例が少なく感じた。社会や経済動向も含めての事件を見る視点も、もう少しあったら良いと思った。
- 事例をもっと紹介してもらえると、実際の支援、介入の時に役立つと思った。
- 試験問題は12章以降からも出した方が良かった気がする(ただそれによって難易度は増すだろうが)。
- 裁判員制度についてはあまり記されていない、消化不良である。
- 面接の仕方など、実際にしてみないとピンと来ないので、希望者にグループワークなどの場があれば良いと思った。
- 統計資料が多く掲載されていたが、必要なものがどれか十分理解できないところがあった(試験問題に出た所が覚えるべきポイントだったのか、と確認できた)。

【大学院】「臨床心理学」

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業				
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計	
勉強になった			10	10	放送授業:理解しやすかった		1	1
受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた			9	9	放送授業:分かりやすい解説		1	1
身近に感じる内容だった			8	8	放送授業:講師(陣)が良かった		1	1
視野が広がった			7	7				
深く学ぶ(勉強する)ことができた			6	6				
興味・関心を持てた			4	4				
学習意欲・知識欲がわいた			3	3				
満足している			2	2				
よく理解できた			2	2				
今までにない・目新しい内容(情報・知識)			2	2				
今後役立つ内容			2	2				
具体的な事例・実践的な内容があった			2	2				
知識の整理に役立った			1	1				
基礎的な知識を得られた			1	1				
適切な内容だった			1	1				
資料・データが充実していた			1	1				
視点、考え方が変わった			1	1				

印刷教材				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
印刷教材:構成・内容が良かった			1	1
印刷教材:理解しやすかった			1	1
印刷教材:熱意が伝わる教材だった			1	1

【大学院】「臨床心理学」

改善点

(単位:人)

科目全般				印刷教材				
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計	
もっと詳しい説明・解説をしてほしい			4	4	印刷教材:図・表・写真・イラストが小さくて見づらい		2	2
構成・内容が良くない			4	4	印刷教材:構成・内容が良くない		1	1
具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい			4	4	印刷教材:具体的な事例・実践的な内容を載せてほしい		1	1
期待していた内容ではなかった			1	1				
交流の場を用意してほしい			1	1				

放送授業			単位認定試験			
意見		合計	意見		合計	
放送授業:理解しにくい		1	1	単位認定試験:試験の設問内容に違和感があった	2	2
放送授業:印刷教材の内容が異なる、連動していない		1	1			
放送授業:印刷教材と異なる講義が聴きたい		1	1			

主な改善点の提案:集約

- もっと詳しい説明・解説をしてほしい
- 構成・内容が良くない
- 具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい

- 印刷教材:図・表・写真・イラストが小さくて見づらい
- 単位認定試験:試験の設問内容に違和感があった
- 期待していた内容ではなかった
- 交流の場を用意してほしい

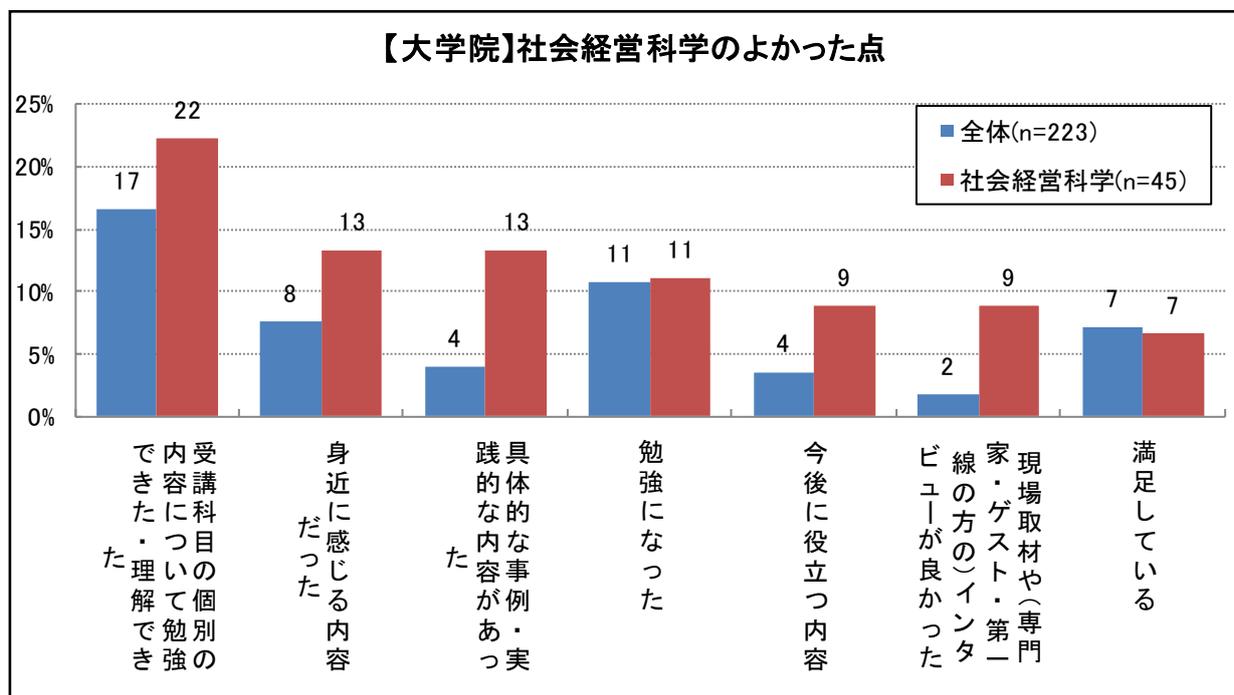
【大学院】「社会経営科学」の傾向

よかった点

「受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた」が最も高く 22%、次いで「身近に感じる内容だった」と「具体的な事例・実践的な内容があった」が、それぞれ 13%、「勉強になった」が、11%と続いた。

「具体的な事例・実践的な内容があった」は、全体を大きく上回り「社会経営科学」の特徴的な意見と言えよう。

図 2-119 【大学院】よかった点



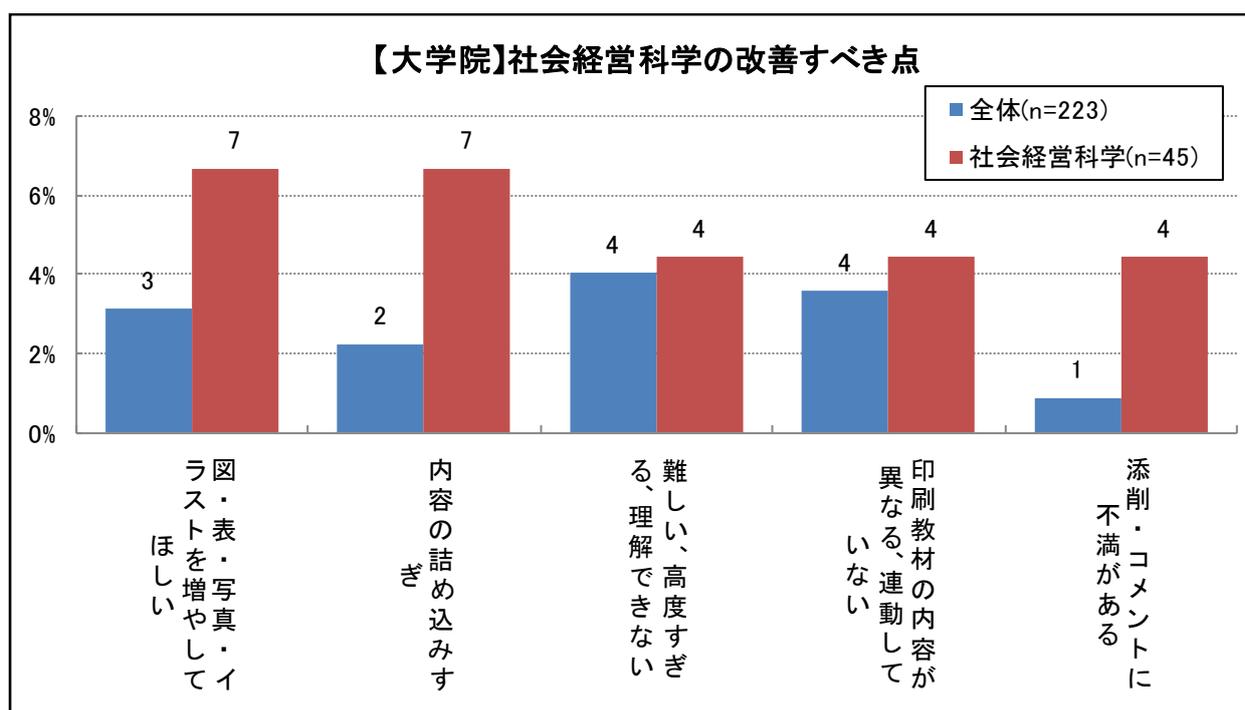
【大学院】「社会経営科学」の傾向

改善点

「図・表・写真・イラストを増やしてほしい」と「内容の詰め込みすぎ」が各7%で上位に挙げられていた。

他に「難しい、高度すぎる、理解できない」などが4%で続いていた。

図 2 - 1 2 0 【大学院】改善すべき点



【大学院】「社会経営科学」 抜粋

よかった点

- 地域産業における女性の力や可能性、働きについて学ぶことができた。
- 社会を営む人たちとの協力関係をどのようにすれば上手くいくのかが明確になって、非常に満足できた。
- 今活動しているNPO法人での協力関係の問題点を解決するにはどう考えた良いかということが理解できたこと。
- 地域産業について、食農に関わる関連産業を主として念頭に置きながら、地域の様々なステークホルダーによる主体形成と地域経営のあり方について、理論と実践の両面からアプローチするという目標の通り、様々なケースが自分の身近な地域に引き寄せやすい内容だった。
- コロナ禍で旅の楽しみが味わえない中、食と農、資源について具体的な事例をもとに学びながら、地域のことを知る好奇心が少し満たされた。
- 様々な事例を取り上げて解説されており、これから地域産業に携わっていきたくて思っていたため、参考になった。
- 地域経済の問題は、私達地方に生きている者としては関心が常にあるもの。そのことについて理解できたことは大変良かった。
- 人々の社会活動を研究するにあたり、重要な示唆を含む講義内容であったこと。この講義により、同時に受講していた、人的資源管理の理解も促進されたこと。
- 協力ということについて学問をすることができた、という時間が大変有意義だった。印刷教材の内容を自分の文脈に加え、少しずつでも良い方向へ全体が進めるように、自分にできることをしていきたいと思う。
- 日常生活に結びつく内容があり、今後の人生の知識向上の糧になった。
- 各回にインタビューの手法が用いられ、内容理解の助けとなった。
- 大手のよく知られた企業や、理解されている仕事だけでなく、実は地道に活動されている人や団体の事例を頻繁に参照し、インタビューを交えて社会との関係について学べたこと。
- 地域研究について、いろいろな事例を紹介していただき、面白い授業だった。受講して良かった。
- 興味深い内容で、新たな知識や考え方を得ることができた。
- 社会協力の在り方を理論面からアプローチした点。さらに理論を実際の事例と照らし合わせ、より具体的な内容理解を進めようとしたことが良かったと思う。
- 通信指導も、冊子の分厚さに驚いたが、印刷教材と関連した読み応えのある一次資料に触れることができて、結果として非常に良かった。
- 今まで意識しなかった社会の協力活動が系統立てて説明され、ある程度理解できたと感じている。
- 協力ということについて、新たな観点から整理することができた。
- 今年4月から新しく科目履修生となったこと、自身が大学を中退したまま科目履修生となったことから、大学院での勉強に対して高をくくって油断していた面があったが、この科目の単位認定試験を受験することで、そんな自分の考えが甘かったことが思い知らされた。大学院での勉強が生半可なものではない、と感じさせてくれた良い科目だと思う。
- 通信指導でポイントが分かりやすく、しかも厳しく評価していただき、感謝します。今後、卒業論文に挑戦する時の参考になった。

改善点

- 大学院科目であり仕方がないのかもしれないが、放送教材がラジオだけでは、印刷教材と何ら変わらない。教養科目に似た科目の映像があるならまだしも、印刷科目の写真、グラフなども少なく、活動の実態がひと目で理解しやすい写真などビジュアルの充実をもっと考えてほしい。
- そもそも科目タイトルである「社会的協力」が何を指しているのか、理解できなかった。
- 放送授業が実例で、印刷授業が理論という構成だったが、その連関についてもう少し解説が聞きたかった。
- 放送授業と印刷教材の流れが異なっており、印刷教材のどこを講義されているのか分からなくなる局面が多々あった。最初の数回でこの方式に慣れ、講義に取り組む姿勢を変えて対応することとなった。
- 通信指導において、質問の狙いがはっきりせず、論文指導の手法をもとに、印刷教材からの引用を最小限に控えたところ、「授業の理解度が判定できない」と低評価を頂戴した。これは質問の仕方が悪いとしか言いようがない。
- 通信指導で論文回答に対する添削指導を受けたが、「てにをは」の表記に過度にこだわる指導がそのほとんどを占め、それも枝葉末節な指摘にちょっと疑問を感じた。しかもそのことで減点をしたとの指導があり、腑に落ちないものだった。具体的には、「ですます調」を「である調」に変更しろとか、「○○・・・問題」という長文の固有名詞を「同問題」と略して文字数を稼いだことに対して、「そういう省略はしないように」との指導だった。こういう指摘はいかがなものか。「ですます調」の論文は学会では不可なのだろうか？「長い固有名詞」の一部を「同」と略すことは不可なのか？それらは減点の対象になるようなことなのか？それよりも、論文の中身に対する評価や指導をきちんとして頂きたかった。
- 各専門家のインタビューが長く、科目テーマとの関連性を理解するまでに興味が薄れてしまうことがあった。
- 例えば「埋め込み」など、説明される用語の定義が曖昧と感ずることがあった。
- これは仕方ないことだが、授業配信が新型コロナによる休業要請期間だったため、紹介されている団体の活動に大きな影響が出ていると思うと、現在は当てはまらない過去の事例になってしまった。
- はっきりしたエビデンスもないのに、こうであると導くのはどうかと思った。先生の思いだけが強くて、どう読みといても納得しかねる点があった。
- 問題文を「引用しながら記せ」などとするか、記述式の設問を改めるか、改善の余地があると思われる。

【大学院】「社会経営科学」

よかった点

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた			10	放送授業：現場取材や(専門家・ゲスト・第一線の方の)インタビューが良かった			4
身近に感じる内容だった			6	放送授業：分かりやすい解説			2
具体的な事例・実践的な内容があった			6	放送授業：講師(陣)が良かった			1
勉強になった			5				
今後に役立つ内容			4				
満足している			3				
学ぶことの楽しさを知った			2				
興味・関心を持った			2				
適切な内容だった			2				
引用・参考文献、補助教材、問題集の紹介が良かった			2				
よく理解できた			1				
視野が広がった			1				
自分の意見・考えを持てるようになった			1				
知識の整理に役立った			1				
授業以外の自分の勉学・個人的な勉強に役立った			1				
深く学ぶ(勉強する)ことができた			1				
視点、考え方が変わった			1				

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材：理解しやすかった			1
印刷教材：様々な事例・具体的な事例が良かった			1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
通信指導：理解しやすかった			1

【大学院】「社会経営科学」

改善点

科目全般				印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
内容の詰め込みすぎ			3	印刷教材：図・表・写真・イラストを増やしてほしい			3
難しい、高度すぎる、理解できない			2	印刷教材：理解しにくい			1
興味・意欲がわかかなかった			1				
もっと詳しい説明・解説をしてほしい			1				
構成・内容が良くない			1				
内容にまとまりがない			1				
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい			1				
授業科目案内は内容が不十分だった			1				

放送授業				通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
放送授業：印刷教材の内容が異なる、連動していない			2	通信指導：添削・コメントに不満がある			2
放送授業：メディアを変更してほしい			1	通信指導：指導内容、対応に不満がある			1
放送授業：視聴手段を増やしてほしい(ネット配信・D・VD・ビデオ等)			1				
放送授業：講師の解説、指導が良くなかった			1				

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
単位認定試験：試験の設問内容に違和感があった			1
単位認定試験：難しすぎる、難易度を下げるべき			1
単位認定試験：試験の解答方法を変更・改善してほしい			1

主な改善点の提案:集約

- 内容の詰め込みすぎ
- 印刷教材：図・表・写真・イラストを増やしてほしい
- 難しい、高度すぎる、理解できない

- 放送授業：印刷教材の内容が異なる、連動していない
- 通信指導：添削・コメントに不満がある
- 興味・意欲がわかかなかった
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい

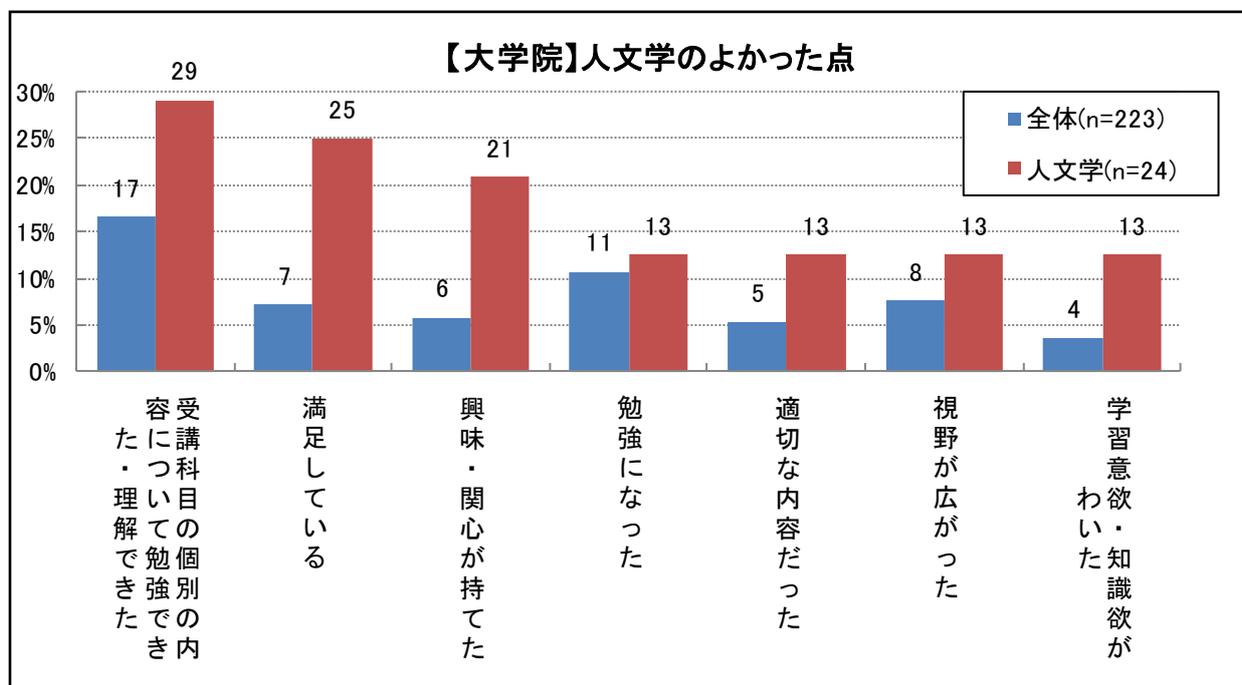
【大学院】「人文学」の傾向

よかった点

「受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた」が最も多く29%、次いで「満足している」が25%、「興味・関心が持てた」が21%と、2割以上が3項目で、他に「勉強になった」など、1割を超える項目も多く挙げられていた。

「満足している」と「興味・関心が持てた」は、全体と比べ3倍以上の比率で、「人文学」の特徴を現していると言えよう。

図2-121 【大学院】よかった点

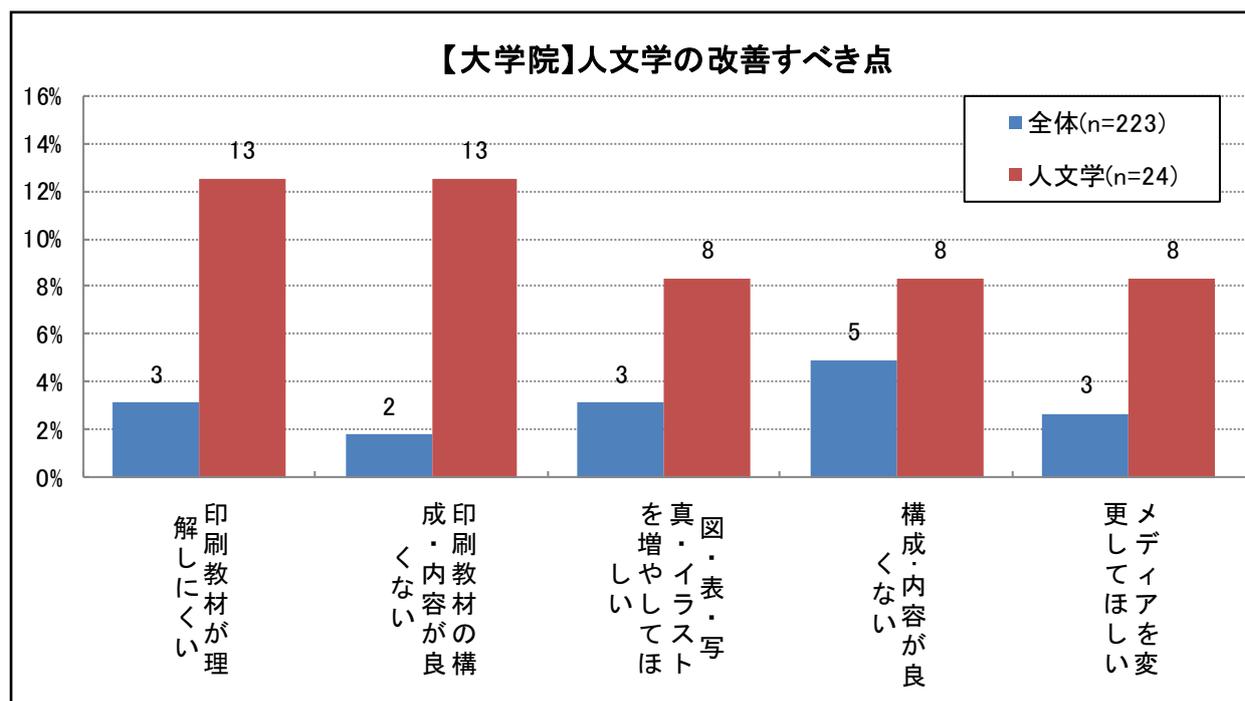


【大学院】「人文学」の傾向

改善点

「印刷教材が理解しにくい」と「印刷教材の構成・内容が良くない」が13%と、「印刷教材」に対する改善点が多くから挙げられ、共に全体を大きく上回っている事から「人文学」を代表する特徴的な意見と言えよう。

図 2 - 1 2 2 【大学院】改善すべき点



【大学院】「人文学」 抜粋

よかった点

- 現代の日本と朝鮮(南北)との摩擦において、その歴史的背景をあまり知らなかったため、それがある程度解消できた。
- 明治期の韓国併合、清国の動き等、詳細に勉強できた。そして、現在における日韓両国の歴史認識の差異と韓国の人々が奥底に持っているアイデンティティの一端を垣間見ることができた。
- 朝鮮史は、なじみが薄い。そこを集中的に勉強する契機となったことは良かったと思う。
- 近代朝鮮史を勉強できて良かった。
- 他の歴史書には無いことが多く、興味深い内容だった。
- 中国社会の歴史的な変遷は、これまでも様々な書物や機会を通じて私自身それなりに把握して来たと思うが、朝鮮半島の歴史的な流れをしっかりと認識してこなかったことが、今回の講義によってある程度満たされたと感じる。
- 朝鮮近世史、近代史はもともと関心ある。一層関心を持てるようになり、今後も勉強したいと考えている。
- 日本の古代史を学ぶ上で、朝鮮の古代についての視野が広まって良かった。
- 関心を持っている韓国について、古代から現代まで体系的に学ぶことが出来て満足している。
- 予想していたより内容が非常に濃い。
- 今後の日韓の関係の在り方を考える上で参考になった。
- 内容は高度で、朝鮮史に出る漢字も丁寧にたくさん記載していて、覚えやすい。
- 過去の教材もそうだが、この授業についても、授業終了後も繰り返し読む必要があると感じている。今回の教材は註の部分も非常に充実していて、興味をかきたて、疑問に答えてくれるすばらしい内容であった。
- 質問に対しても丁寧な回答で、先生方の人柄を窺い知ることができる。

- 印刷教材での制限字数があったのではと感じる。できればもっと厚くして、もしくは分冊にして1冊、2冊としたら、内容の詳細がまだあった気がする。
- 明確に項目建てをして、教材の内容を整理すべきだと感じる。どこにどういう説明があるのか、曖昧模糊に教材の記述が展開し、全体を読み通さないとそれぞれの内容がよく分からないという感があり、受講者は相当に苦勞していると思う。
- テキストは(大学院レベルだからこういうものなのかもしれないが)、常用されていない単語あるいは韓国語をそのまま漢字にした単語を用いており、難読漢字が多かった(覇縻、秉権、均霑、親行等)。
- 朱子学、仏教、キリスト教などの、「朝鮮における宗教」の記述があれば良かった。
- 歴史の変換期を詳しく勉強したかった。例えば、朝鮮王朝の廃絶等。
- テレビ授業にすべきと思った。または現代の時勢を考えるとオンライン学習を増やすべきと考える。
- もう少し文章の資料だけでなく、視覚的な資料が加われば良かった。
- 私の勉強不足であるが、かなり細かくて少ししんどかった。
- 実質的には15回では収まりきれないほどの豊富な内容が凝縮されていたと思う。もっとさらに詳しく学習したいと思った。つまり時間が足りない、と感じた。
- 本来であれば受講生自らがすべきだが、朝鮮の歴史に関する年表を付表として添付されていれば、政治・経済・社会の変動を体系的に理解する上で役に立ったのではないかと思料される。
- 自分でやれば良いことであるが、時々まとめのようなページがあるとありがたい。
- 田柴科法や科田法を学ぶということを案内に書いてほしかった。
- できればディスカッションとかゼミで取り上げていただきたい。
- 第14回と第15回について、せっかく3人の先生方が出演されたのだから、もっと、お互いの会話があるとさらに良いと思った。
- 朝鮮人の人名や地名が、印刷教材では原語になっていたが、放送では日本読みであったため、分かりにくかった。どちらかに統一してもらいたい。
- 印刷教材中心のラジオ授業であることを考えれば、例えば、宮嶋博史氏の「世界の歴史12巻」のようなカラー写真もないし、面白いエピソードも少ない。著者の責任ではないことは十分に理解できるが、かなり朝鮮史に関心を有していないと親しめない面もある。朝鮮史に関心を有する人間は世間に少ない。一人で理解者を増やしていくという観点からは、一工夫あっても良いと思う。私は、朝鮮史に大きな関心を有しているが、例外的だろう。
- 3ヶ月半という短期間で理解するには教材の情報量が多すぎるように感じた。
- 後半終わりに近づくほど、誤字や印刷ミスが目につく。理解に影響するほどでは無いが、急いで校正不足を示した感じ。

【大学院】「人文学」

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業				
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計	
受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた			7	7	放送授業: 講師の熱意・熱心さが伝わった		1	1
満足している			6	6				
興味・関心が持てた			5	5				
勉強になった			3	3				
学習意欲・知識欲がわいた			3	3				
視野が広がった			3	3				
適切な内容だった			3	3				
学ぶことの楽しさを知った			1	1				
よく理解できた			1	1				
自分の意見・考えを持てるようになった			1	1				
知識の整理に役立った			1	1				
専門的な内容だった			1	1				
深く学ぶ(勉強する)ことができた			1	1				

印刷教材				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
印刷教材: 構成・内容が良かった			1	1
印刷教材: 読み物として面白い内容だった			1	1
印刷教材: 手元に置き、今後も読みたい内容だった			1	1

通信指導				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
通信指導: 指導内容が良かった			1	1

【大学院】「人文学」

改善点

(単位:人)

科目全般				印刷教材				
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計	
構成・内容が良くない			2	2	印刷教材: 構成・内容が良くない		3	3
難しい、高度すぎる、理解できない			1	1	印刷教材: 理解しにくい		3	3
内容の詰め込みすぎ			1	1	印刷教材: 図・表・写真・イラストを増やしてほしい		2	2
引用・参考文献、補助教材、問題集を紹介・発刊してほしい			1	1	印刷教材: あまり良い教材ではなかった		1	1
(各章ごとに)まとめや学習ポイント、総括がほしい			1	1	印刷教材: 内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる		1	1
授業科目案内は内容が不十分だった			1	1	印刷教材: 誤植がある		1	1
交流の場を用意してほしい			1	1				

放送授業				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
放送授業: メディアを変更してほしい			2	2
放送授業: 講師の熱意が伝わらない			1	1
放送授業: 印刷教材の内容が異なる、連動していない			1	1

主な改善点の提案: 集約

- 印刷教材: 構成・内容が良くない
- 印刷教材: 理解しにくい
- 構成・内容が良くない

- 放送授業: メディアを変更してほしい

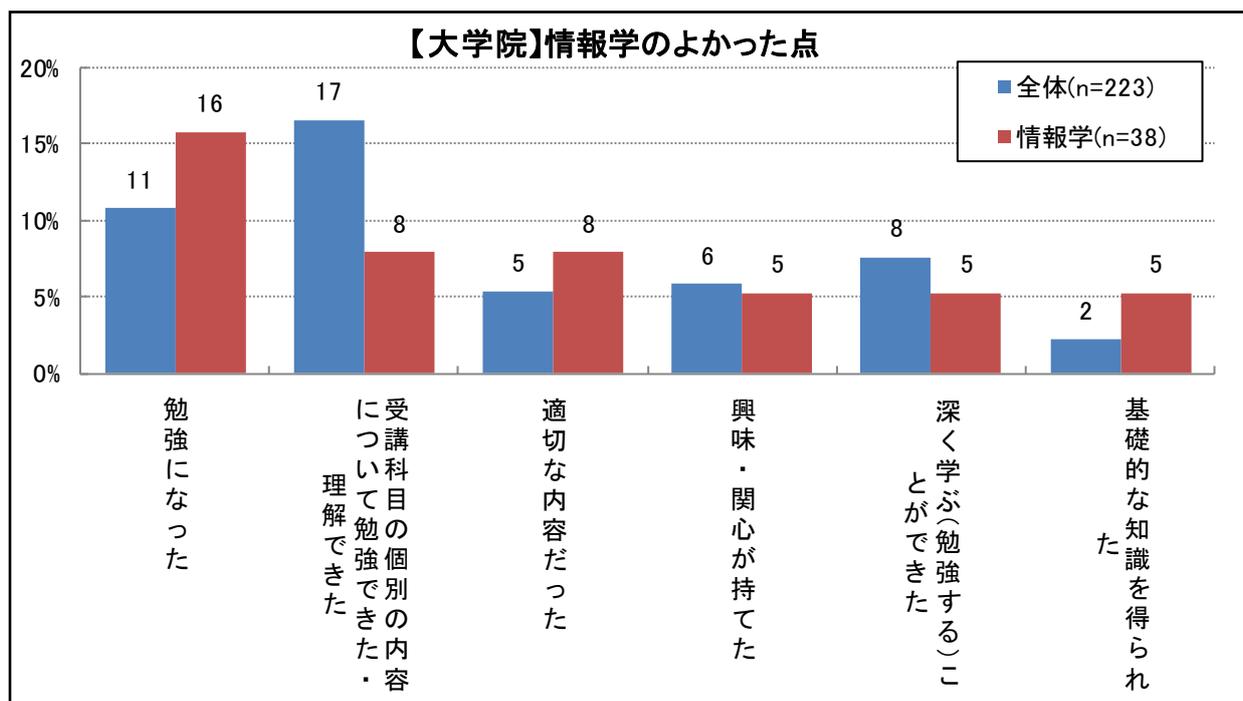
- 印刷教材: 図・表・写真・イラストを増やしてほしい
- 難しい、高度すぎる、理解できない
- 内容の詰め込みすぎ

【大学院】「情報学」の傾向

よかった点

「勉強になった」が最も高く16%、次いで「受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた」「適切な内容だった」がそれぞれ8%で続いていた。

図2-123 【大学院】よかった点



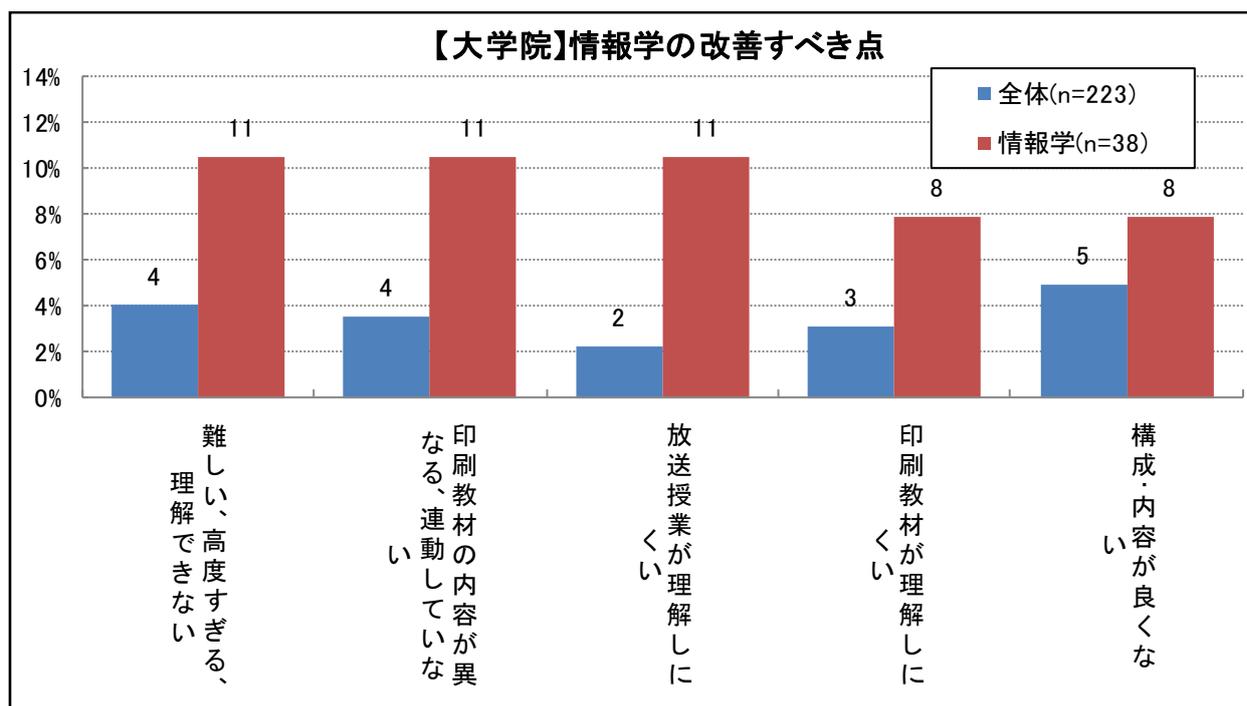
【大学院】「情報学」の傾向

改善点

上位に挙げられていたのは、「難しい、高度すぎる、理解できない」「印刷教材の内容が異なる、連動していない」「放送授業が理解しにくい」で、それぞれ11%であった。

「放送授業が理解しにくい」は全体を5倍以上上回り、「情報学」の代表的で特徴的な改善点と言えよう。

図 2 - 1 2 4 【大学院】改善すべき点



【大学院】「情報学」 抜粋

よかった点

- 新しい知的財産権の知識が増えた。
- 知的財産に関する制度（法律）を、産業財産権に限らず、幅広く学習できた。
- 知的財産に関わる法律の関連の理解が深まった。
- 自然言語処理など、普段私たちが何気なく使っている技術を支えている理論について学べた点。
- 章ごとにテーマが分かれていて、分かりやすかった。
- 講義の構成は、各章ごとのつながりを自分なりに考えることができるように工夫されていて、なるほどと感じることが多かった。
- 純粋に本領域への関心が高まった。
- インターネット時代に知っておくべき「知財制度」について、まずは基本を押さえることが出来て良かった。
- 知財制度についての理解が深まった。
- 仕事上、特許関係を扱う部署に異動になり困っていたので、今回の講義は知財精度の知識や理解が多少なりとも深まり、良い機会となった。
- マルチメディアについて、受講前と受講後では大きく認識が変わった。受講して良かったと思っている。
- 情報処理をマルチメディアという観点から俯瞰することができたという意味で有意義だった。
- 学生時代に得た知識を、再度復習ができて良かった。
- 現在のマルチメディア情報処理技術の実例を横断的に学べた点は良かった。
- 自分が疑問に思うところがあったが、テキスト・授業により、理解ができた。

- 基礎知識を習得した上で学習すべきだったかもしれない。
- ポイントをしぼり、分かりやすく講義して欲しかった。
- 講義内容をアップデートしたためだと思うが、印刷教材にない内容が講義に含まれていて、時々、付いていけなくなる時があった。
- データ処理方法の要約は記載されているが、情報処理の目的に対し、なぜその処理が最適か、他の方法に対して何が優れているか等の情報を教えて頂きたかった。
- 全体として教材の文書が分かりづらく、正直教材を読むのが苦痛であった。私にとっては、苦手な科目の教材の方がはるかに理解しやすかった。そういう意味で、印刷教材は改めて見直すべきである。
- 放送教材がラジオということで理解が困難な点があった。マルチメディア情報処理ということで、少なくともテレビ、できれば、オンラインが良いのではと考える。
- 教材と同じ言葉で話をされており、解説となっていない。
- マルチメディアに関するものだけに、映像系の教材も活用されるとさらに興味深いものになると思う。
- 言葉（文章）での説明ばかりで、図式化や一覧表にするなど、理解度を上げるような工夫をお願いしたい。
- 単位認定試験の問題は簡単すぎた。
- 専門用語をいくつも織り交ぜながら、それらの意味を説明しないので、置いてきぼりになりがち。何度も聞き返しながら進んだが、それでも完全に講義内容を理解できたかは分からない。
- 「マルチメディア情報処理」という観点では、8 三次元データ処理 (CAD/CAM)、14 ディープラーニング (AI) はもっと内容を豊かにするべきと思われる。
- 説明に具体性を欠くので、理解に苦しむことが多かった。
- 放送授業の話す内容が多すぎるので、専門的になりすぎ。
- 放送授業は、少し間延びしたような、冗長な説明が多かったように感じた。
- 音声を中心にしたラジオでの講義。一文は出来るだけ短く、主語と述語は近くに配置されている方が耳に入りやすいと言われている。しかし、この講義においては、講師が自らの言葉で語るのではなく「手元の文字を読み上げていく」スタイルが中心だった。
- マルチメディアに関するものだけに、映像系の教材も活用されるとさらに興味深いものになると思う。
- 印刷教材は、急いで作ったのかと思うような代物である。次の受講者のためには、新たに作り直しが必要と考える。例えば気になるところの法律をチェックすると、教材と法の解釈に違いがあった。また、放送では図があると言っているが、印刷教材にはその図がない。本当に教材の信頼度が低い。
- ラジオということであれば、印刷教材の内容も増やした方が良いと考える。

【大学院】「情報学」

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった		6	6
受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた		3	3
適切な内容だった		3	3
興味・関心が持てた		2	2
基礎的な知識を得られた		2	2
深く学ぶ(勉強する)ことができた		2	2
満足している		1	1
よく理解できた		1	1
学習意欲・知識欲がわいた		1	1
視野が広がった		1	1
身近に感じる内容だった		1	1
今後に役立つ内容		1	1
知識の整理に役立った		1	1
具体的な事例・実践的な内容があった		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
放送授業:理解しやすかった		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材:理解しやすかった		1	1

【大学院】「情報学」

改善点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない		4	4
構成・内容が良くない		3	3
もっと詳しい説明・解説をしてほしい		1	1
内容が浅い		1	1
具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材:理解しにくい		3	3
印刷教材:図・表・写真・イラストを増やしてほしい		2	2
印刷教材:あまり良い教材ではなかった		1	1
印刷教材:内容が薄い・少なすぎる		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
放送授業:理解しにくい		4	4
放送授業:印刷教材の内容が異なる、連動していない		4	4
放送授業:メディアを変更してほしい		2	2
放送授業:印刷教材と異なる講義が聴きたい		2	2
放送授業:授業の構成・内容が良くない		1	1
放送授業:講義のテンポが良くない(早い・遅い)		1	1
放送授業:講師(ナレーター)の声が聞き取りづらい		1	1
放送授業:講師の解説、指導が良くなかった		1	1
放送授業:講師の熱意が伝わらない		1	1
放送授業:図・表・写真・映像を多く取り入れてほしい		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
単位認定試験:簡単すぎる、難易度を上げるべき		2	2

主な改善点の提案:集約

- 難しい、高度すぎる、理解できない
- 放送授業:理解しにくい
- 放送授業:印刷教材の内容が異なる、連動していない
- 構成・内容が良くない
- 印刷教材:理解しにくい
- 放送授業:メディアを変更してほしい
- 放送授業:印刷教材と異なる講義が聴きたい

Ⅲ-4. 大学院（オンライン授業）

大学院のオンライン授業については、専攻プログラム別（中区分）の自由記述の集計結果から、よかった点は、5%以上の回答があった項目と、その項目の大学院（オンライン）の回答者全体の比率をグラフ化した。

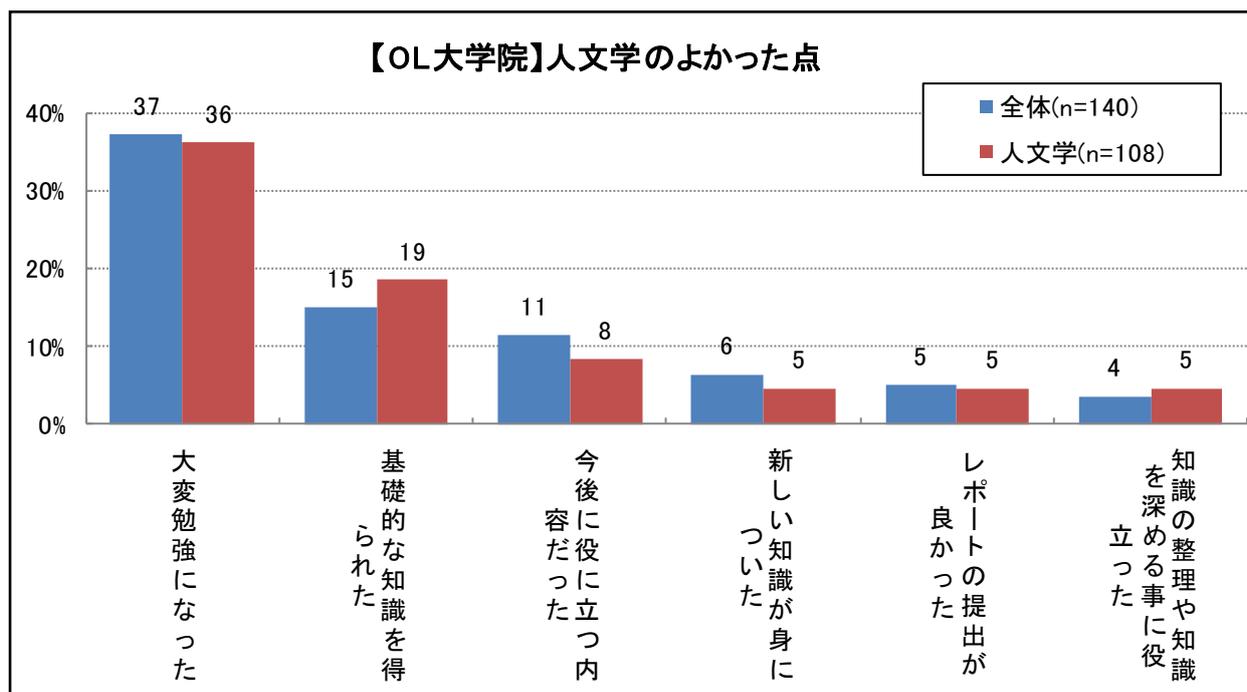
改善点については学部、大学院（放送授業）同様、比率の高い上位5項目の代表的な回答内容と、その項目の回答者全体（大学院オンライン）の比率をグラフ化した。

【オンライン 大学院】「人文学」と情報学の傾向

よかった点

「大変勉強になった」が36%と非常に高く、次いで「基礎的な知識を得られた」が19%、他に「今後役に立つ内容だった」(8%)などが続いていた。

図2-125 【オンライン 大学院】よかった点

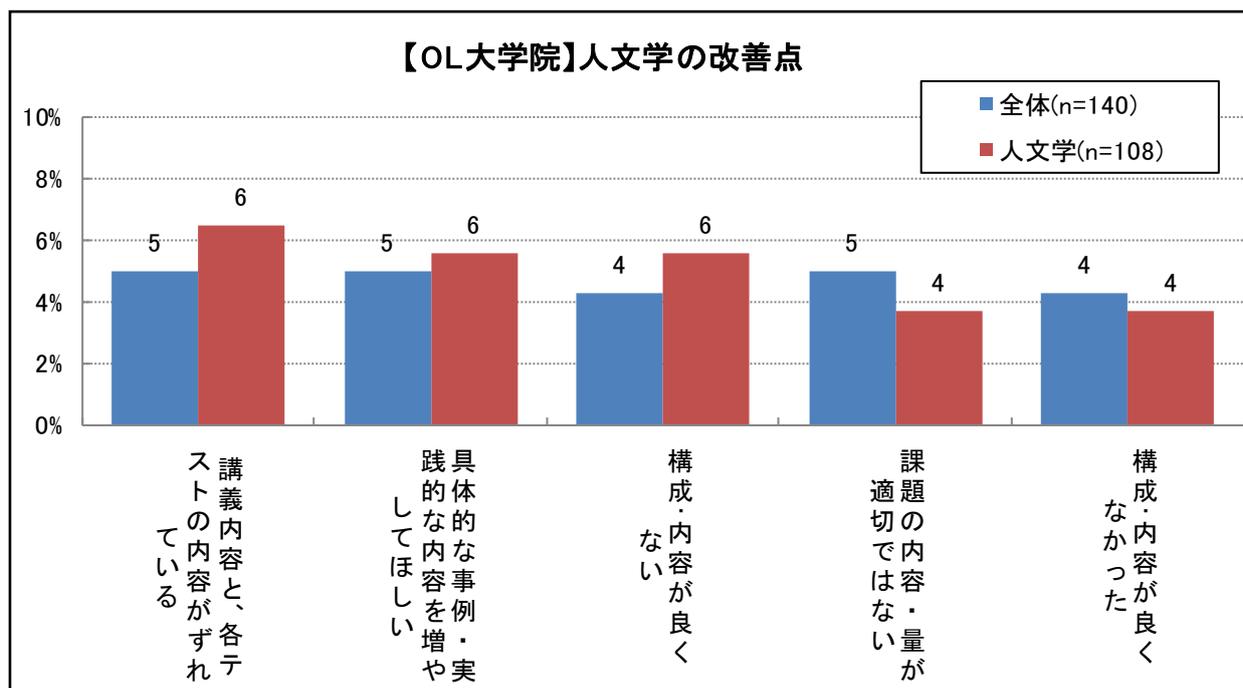


【オンライン 大学院】「人文学」の傾向

改善点

上位に挙げられていたのは、「講義内容と、各テストの内容がずれている」「具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい」「構成・内容が良くない」であった。

図 2-126 【オンライン 大学院】改善すべき点



【オンライン 大学院】「人文学」 抜粋

よかった点

- 論文作成にあたって、必要な知識、スキルがある程度網羅されており、細かな点だが、論文検索の方法なども入っていて良かった。
- 悪意がなくても犯罪となってしまう場合があることが具体的に分かった。研究者としてのルールとマナーが分かった。
- 論文を読むまたは書くにあたって、事前に知っておくと便利なことが、適度にまとめられていた。
- 修士論文の執筆以前に必要な研究や、その業界でのルールなど、授業科目として確立していないが、論文執筆には必須の知識、演習が実施できた。
- 引用する時は、引用した文と同じか、それ以上の自分の説明文が必要だと分かった。
- 修士論文作成に向けた、入り口・入門として、履修して良かった。
- 研究とはどのようなことか、正確に伝えるためにはどのようなスキルが必要かの入口に立つことができた。
- これから修士論文を作成することになると思うが、基本的な作法を学習できて良かったと思う。
- 放送大学院の学生として、修士論文をどのように書き進めれば良いかが分かり、不安が少しなくなった。
- これまで論文には積極的に接してきたと思っていたが、案外と知らないことが多いことに気づき、なるほど、と大変勉強になった。
- 修士論文を書くことが初めての自分にとっては、何がポイントなのか、またどんなルールがあるのかなどが、非常にクリアになった。
- レポートについては、今後必要な論文調査、書き方の訓練となっており、これは意義があった。
- 修士論文に対する不安感が取り除かれ、やる気の出る内容だと感じた。
- 初めて修士論文に取りかかる我が身としては、具体的で分かりやすい授業で、とてもありがたかった。
- 先生のレポート添削は、今後に繋がる非常に有益なアドバイスだった。

改善点

- 講義内容には直接出てこない内容が小テストで出題されることがあった。
- 最後のレポートが英語論文を2つ読みまとめるというものであったが、今までの授業内容が活かされた課題であるとは思えなかった。
- 講義の回数を長くして、その上でレポート課題があった方が、より理解が深まるように思えた。
- 先行研究レビューの具体例がもう少しあると良かった。
- 記載細則などの細かなルールや実例など、論文の引用についてもっと詳しく知りたかった。
- 担当の教授による講義も入っていると、さらに理解が深まるように思う。
- レポートの分量が多くて少し大変だった。
- 他の講義で既に受講した内容の重複が多く、メリットがあまり見出せない。
- 聞き直したい箇所に戻すとエラーで一番最初に戻るなど、youtube 等と比べ使い勝手が悪かった。時間に制約がある社会人なので、授業の基本となる映像の送り出しが改善されると、非常に効率良く学習が進められると思う。
- 受講後、手元に残る印刷教材がほしい。
- 一人の先生にすべてを受けて持って頂きたかった。
- レポートについては、赤ペン添削がフィードバックされると思っていたが、点数と短評の還元だった。初回であり、ハンドリングが難しかったと思うが、受講生の期待値のコントロールをしておいた方が良いと考える。
- 少し量が私には多すぎた。整理は私がすれば良いことであったが、時々整理したものがあると良いと思う。
- 一般的な「論文の書き方」を学ぶ科目だということが良いでしょうか。大学院でやるべき内容なのかという疑問と、以前似たような科目「研究のためのICT活用（'17）」を受けたので、繰り返しに感じる。
- 文献管理 E n d N o t e の扱い方を知りたい。
- 専攻ごとの別講義であれば、重要なポイントについて一層詳しく学べるのではないかとと思う。
- この講義受講は選択となっているが、事務局からは必須的なコメントがあるので、それなら最初から選択ではなく、必須としてくれた方が科目選択に迷わない。あるいはオリエンテーション内で行うようにできると良いと思う。

【オンライン大学院】「人文学」

よかった点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
大変勉強になった	39	オンライン授業:内容が良かった	4
基礎的な知識を得られた	20	オンライン授業:講義が理解しやすかった	4
今後に役に立つ内容だった	9	オンライン授業:講師の解説、指導が良かった	3
新しい知識が身についた	5	オンライン授業:講師の人柄の良さを感じた	3
知識の整理や知識を深める事に役立った	5	オンライン授業:受講しやすい環境だった	2
学習意欲・知識欲がわいた	4	オンライン授業:楽しかった	2
具体的な事例・実践的な内容があった	4	オンライン授業:講師の熱意が伝わった	1
理解しやすかった	3		
全体として満足している	1		
教材がこれからも活用できる	1		
学習センターや図書館が良かった	1		

設問解答	
意見	合計
設問解答:レポートの提出が良かった	5
設問解答:指導内容、対応が良かった	4
設問解答:小テストが良かった	2

【オンライン大学院】「人文学」

改善点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
構成:内容が良くない	6	オンライン授業:講義内容と、各テストの内容がずれている	7
具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい	6	オンライン授業:構成:内容が良くなかった	4
科目の分類に疑問がある	3	オンライン授業:システム面の改善が必要	3
難しい、高度すぎる、理解できない	2	オンライン授業:理解しにくい	3
興味・意欲がわかなかった	1	オンライン授業:講師により内容にバラつきがある、解説が異なる	2
内容の詰め込みすぎ	1	オンライン授業:講師の解説、指導が良くなかった	1
内容が浅い	1		
現実に活かせる内容にしてほしい	1		
各章ごとにまとめ・要点の課題がほしい	1		
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	1		
授業科目案内は役に立たなかった	1		
講師/事務方の対応が良くなかった	1		

設問解答	
意見	合計
設問解答:課題の内容・量が適切ではない	4
設問解答:指導内容、コメント、対応に不満がある	2
設問解答:レポートの提出期限を事前に知りたい	1
設問解答:小テスト(試験)が難しい	1
設問解答:小テストの問題数が多かった	1

テキスト・講義ノート	
意見	合計
テキスト/講義ノート:印刷したテキスト・講義ノートがほしい	3

主な改善点の提案:集約

- オンライン授業:講義内容と、各テストの内容がずれている
- 構成:内容が良くない
- 具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい

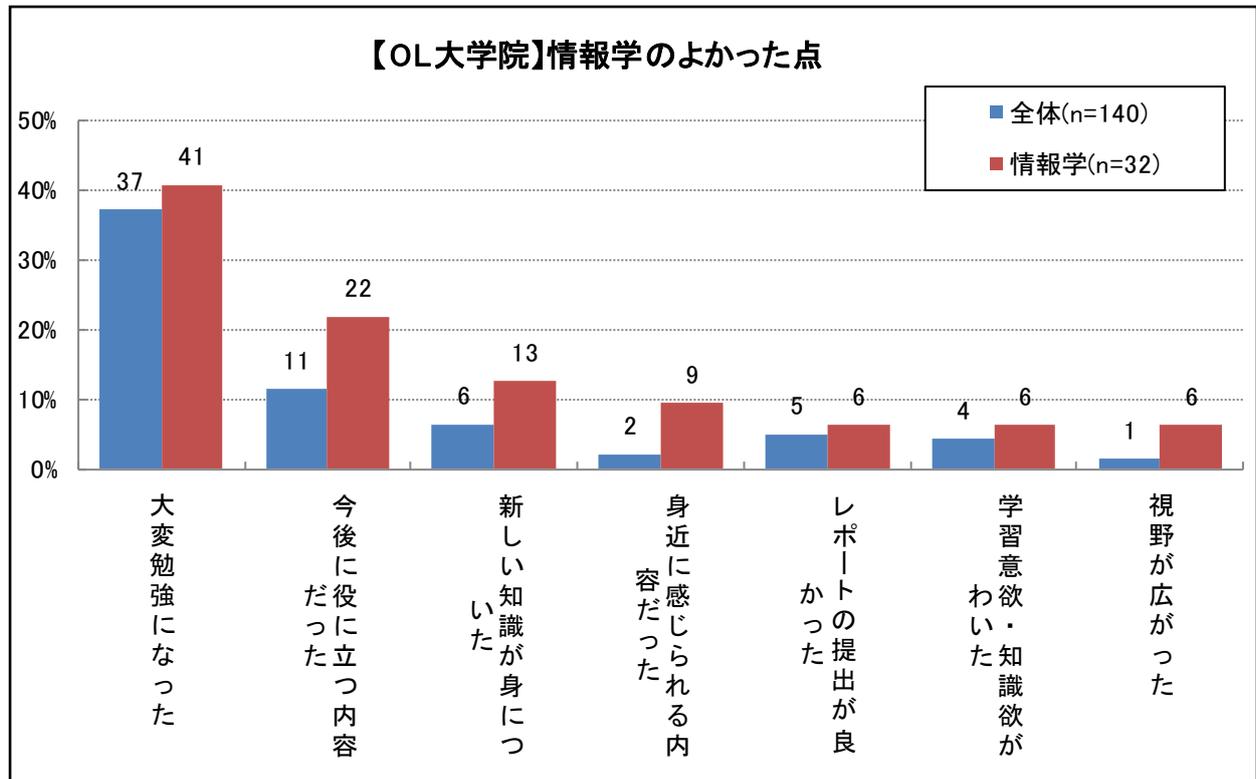
- オンライン授業:構成:内容が良くなかった
- 設問解答:課題の内容・量が適切ではない
- 科目の分類に疑問がある
- オンライン授業:システム面の改善が必要

【オンライン 大学院】「情報学」の傾向

よかった点

最も多かったのは「大変勉強になった」で、41%に達しており、「今後に役立つ内容だった」も22%と高い値で、他に「新しい知識が身についた」が、13%で続いていた。

図 2 - 1 2 7 【オンライン 大学院】よかった点

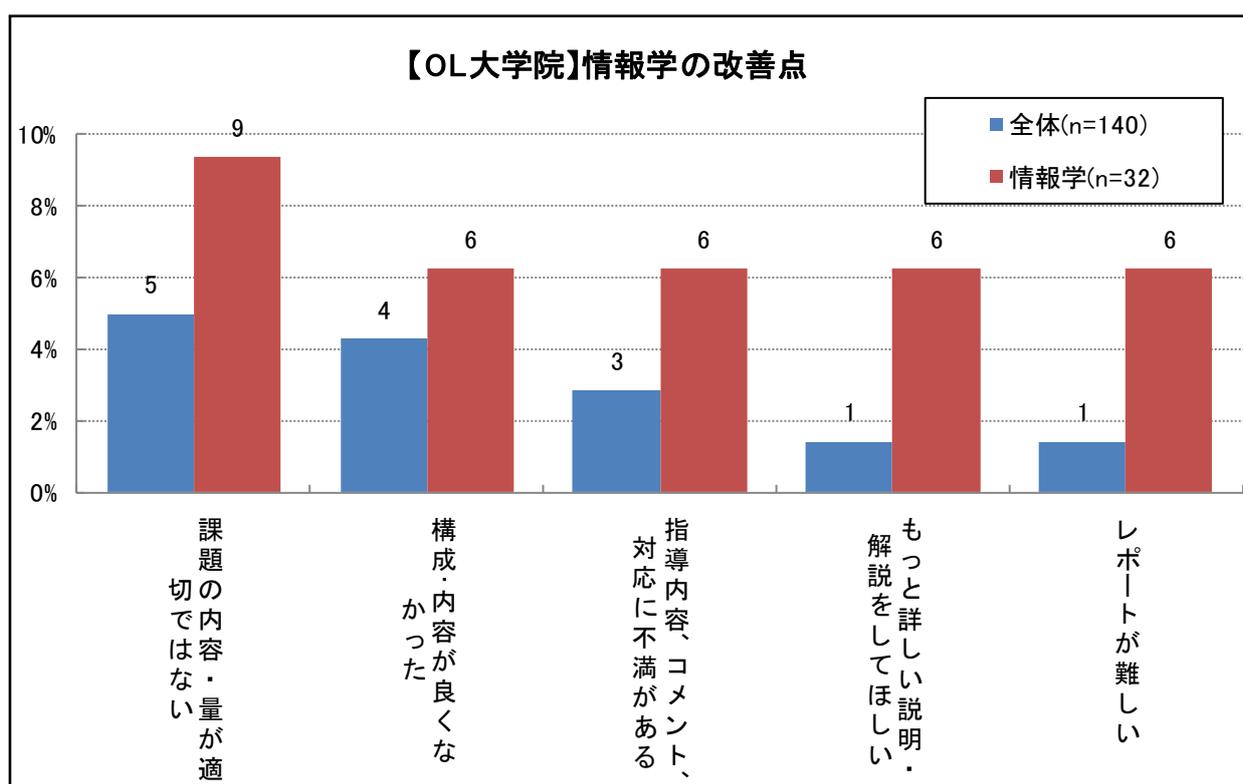


【オンライン 大学院】「情報学」の傾向

改善点

上位に挙げられたのは、「課題の内容・量が適切ではない」で9%、他に「構成・内容が良くなかった」「指導内容、コメント、対応に不満がある」「もっと詳しい説明・解説をしてほしい」「レポートが難しい」が、それぞれ6%で続いていた。

図 2-128 【オンライン 大学院】改善すべき点



【オンライン 大学院】「情報学」 抜粋

よかった点

- 学部の時よりもレポートが多く、時間がかかるし、考えることも多かったが、身につくこともその分多く、勉強をした感じになった。
- 先行研究の重要性が分かり、レビュー方法の道筋が分かった。
- 学校現場でも積極的に e ラーニングを進める必要が出てきそうである。進める際の方向性を学ぶことができた。
- e ラーニングという、これから増えていくであろう、学びのスタイルの話聞いたことは、仕事に生かせると思う。
- e ラーニングについて、私が知らなかった多くの知識を得ることができた。
- コロナの影響下で、e ラーニングの運営に関わることになり、実際に自分が関わっていることと密接な内容を学べて、非常に有意義な勉強となった。
- 学校でのオンライン教育の整備に、とても参考になった。
- 担当の先生からの定期的にいただけるメールの励ましが、このコロナ騒ぎで勉強を続けられた要因の一つになった。
- コンピュータやネットワークを通じての学習方法に MOOC をはじめ、様々な方法があることを知り、見識が広がった。
- 学生同士のレポートの相互評価がとても良かった。普段、他人のレポートを評価する機会はないので、とても良い勉強になった。
- e ラーニング理論に関する基礎知識を身につけることができた。
- 最新の内容を踏まえたコースになっていて、とても内容が充実していると感じた。
- これまでの授業内容と異なり、講師とともに授業を創造する、受け身から能動的な授業態度に転換させる、画期的な受講生指導がされて、とても良かった。

- 課題の設問・説明が、やや分りづらいところがあった。
- 他の方の提出物を評価する課題があったのには驚いた。それ自体とても勉強になったが、正直なところ、あまり出来の良くないものを評価するのは辛かった。評価内容によって相手の方を傷つけてしまっていないか、また自分のものに辛くなるような評価がされていないか不安である。そのため、評価をするにも受けるにも、安心できるような誘導や基準があると良いと思った。
- Moodle の設定方法等、技術的なところをもう少し知りたかった。
- レポート課題が2つあったが、1つ目のレポートの評価・フィードバックを受け取る前に2つ目のレポートを提出しなければならなかった。関連性のある課題でもあったので、1つ目のレポートの評価・フィードバック後に2つ目のレポートに取り組みたかった。
- 後半にレポートが集中していたので、もう少し散らしてほしい。
- 小テストの回答に対する解説がもう少し詳しい方が良い。
- 各章末の小レポートがすべて文章で記載するようになっており、少し負担を感じた。短答式の小テストだけでも十分ではないかと思った。
- 印刷教材が全くないのがオンライン授業とは言いながら、なじめない感じが。最初の授業なので、ちょっとハードルを感じた。
- 実践では、ICTツールを利用した教材作成もできたら良い。
- eラーニングの理論と実践講座を分割して、より詳細に学習できると良いと思う。
- 個人的には、各回の動画の時間や本数を揃えていただけると、学習計画が立てやすいと感じた。
- テストの回答が、講義内のどこに該当するかなども教えて頂ければ、理解の助けになる。
- 講師の先生により、講義方法にバラつきがあった。標準的な方法に統一して頂けると良い。
- スライドにもっと動きを持たせるのが良いと思う。スライドはほとんどが文字だけで構成されていたが、動きのあるイラストを加えることにより、記憶に残るものになるのではないかと思う。
- 小テストでの設問が、クイズではないが、引っかけ的な問題も見られた。知識が増えていくことにやりがいを感じているので、言葉的な楽しさはあまり必要でないと感じた。
- ディスカッションは、すぐにできれば忘れることもなかったのになと思う。

【オンライン大学院】「情報学」

よかった点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
大変勉強になった	13	オンライン授業:内容が良かった	1
今後役に立つ内容だった	7	オンライン授業:講師の解説、指導が良かった	1
新しい知識が身についた	4	オンライン授業:講師の人柄の良さを感じた	1
身近に感じられる内容だった	3		
学習意欲・知識欲がわいた	2		
視野が広がった	2		
自分のペースで勉強できた	1		
基礎的な知識を得られた	1		
最新の情報・研究が学べた	1		
		設問解答	
		意見	合計
		設問解答:レポートの提出が良かった	2
		設問解答:小テストが良かった	1

【オンライン大学院】「情報学」

改善点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	2	オンライン授業:構成・内容が良くなかった	2
難しい、高度すぎる、理解できない	1	オンライン授業:講義の分割の仕方が良くない	1
具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい	1	オンライン授業:理解しにくい	1
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	1	オンライン授業:講師により内容にバラつきがある、解説が異なる	1
		オンライン授業:図・図解・グラフ・写真・映像・表が見にくい、見せ方を改善してほしい	1

テキスト・講義ノート	
意見	合計
テキスト/講義ノート:印刷したテキスト・講義ノートがほしい	1

設問解答	
意見	合計
設問解答:課題の内容・量が適切ではない	3
設問解答:指導内容、コメント、対応に不満がある	2
設問解答:レポートが難しい	2
設問解答:小テスト(試験)が難しい	1
設問解答:ディスカッションの人数・発言・回数が少ない	1

主な改善点の提案:集約

- 設問解答:課題の内容・量が適切ではない
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい
- オンライン授業:構成・内容が良くなかった
- 設問解答:指導内容、コメント、対応に不満がある
- 設問解答:レポートが難しい
- 難しい、高度すぎる、理解できない
- 具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい

付録) 2020年度学生による授業評価集計結果の概要等について

2020年度学生による授業評価集計結果概要について

1. 調査の概要

(1) 調査目的 自己点検・評価の一環として、本学学生の授業に関する理解状況等を把握することにより、本学における教育内容及び方法の改善に資すること

(2) 調査方法 システムWAKABAを用いたオンライン調査

(3) 調査対象

①対象科目

【学部】

	夏季集中科目 (司書)	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境	看護師資格 取得
R2(2020)	3	9	16	10	5	9	2	1

夏季集中 科目(司書)	計
1	56

【大学院】

	人間発達科 学	臨床心理学	社会経営科 学	人文学	情報学	計
R2(2020)	2	1	2	1	2	8

①対象者 2020年度第1学期履修登録者

(4) 調査時期 調査期間: 7月14日～9月30日
調査結果の集計: 10月

2. 集計結果

(1) 回収状況

	標本数(人)			有効回答数(人)			回収率		
	全体	学部	大学院	全体	学部	大学院	全体	学部	大学院
R2(2020)	36,202	35,552	650	7,543	7,320	223	20.8%	20.6%	34.3%

付録) 2020 年度学生による授業評価集計結果の概要等について

(2) 回答者の属性

【学部】

年次	新コース所属全科履修生					
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と産業
2018	13.3%	25.3%	10.3%	15.1%	9.7%	8.6%
	旧専攻所属全科履修生	全科履修生(計)	選科履修生	科目履修生		
	0.7%	83.0%	13.2%	3.8%		
2019	新コース所属全科履修生					
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と産業
2019	14.1%	23.3%	9.6%	14.8%	6.1%	6.5%
	旧専攻所属全科履修生	全科履修生(計)	選科履修生	科目履修生		
	0.2%	74.6%	16.9%	8.5%		
2020	新コース所属全科履修生					
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境
2020	8.8%	42.0%	7.1%	7.8%	3.5%	2.6%
	旧専攻所属全科履修生	全科履修生(計)	選科履修生	科目履修生		
	0.1%	71.8%	18.7%	9.5%		

年次	性別		年齢別						
	男	女	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
2018	51.3%	48.7%	0.3%	5.9%	12.1%	25.8%	27.6%	23.3%	5.0%
2019	46.8%	53.2%	1.4%	6.7%	11.5%	21.6%	26.9%	21.5%	10.4%
2020	40.9%	59.1%	0.4%	6.5%	11.6%	24.0%	31.7%	18.3%	7.6%

(2) 回答者の属性

【大学院】

年次	新プログラム所属修士全科生								
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営学科	文化情報学	人文学	情報学	自然環境科学	
2018	7.9%	15.8%	2.6%	13.2%	-	1.3%	11.8%	1.3%	
	旧プログラム所属修士全科生						修士全科生(計)	修士選科生	修士科目生
	文化情報学	総合文化		政策経営	教育開発	臨床心理			
	-	-	-	-	-	-	53.9%	42.1%	3.9%
2019	新プログラム所属修士全科生								
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営学科	文化情報学	人文学	情報学	自然環境科学	
2019	9.7%	4.6%	7.7%	1.7%	-	5.4%	3.1%	4.0%	
	旧プログラム所属修士全科生						修士全科生(計)	修士選科生	修士科目生
	文化情報学	総合文化		政策経営	教育開発	臨床心理			
	-	-	-	-	-	-	36.3%	57.4%	6.3%
2020	新プログラム所属修士全科生								
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営学科	文化情報学	人文学	情報学	自然環境科学	
2020	0.9%	9.4%	3.6%	10.3%	-	4.0%	7.2%	0.9%	
	旧プログラム所属修士全科生						修士全科生(計)	修士選科生	修士科目生
	文化情報学	総合文化		政策経営	教育開発	臨床心理			
	-	-	-	-	-	-	36.3%	54.3%	9.4%

年次	性別		年齢別					
	男	女	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
2018	73.7%	26.3%	5.3%	28.9%	19.7%	32.9%	6.6%	6.6%
2019	54.9%	45.1%	3.1%	14.3%	22.6%	28.9%	25.4%	5.7%
2020	66.4%	33.6%	5.4%	11.2%	22.0%	29.1%	23.8%	8.5%

※四捨五入の関係から内訳の合計が100%にならない場合がある

付録) 2020年度学生による授業評価集計結果の概要等について

【学部】

①項目別評価

	取組姿勢			授業評価全体			難易度・分量			放送授業			印刷教材			通信指導・単位認定試験			全体評価		
	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R
2018	3.36	3.39	3.31	3.32	3.33	3.31	3.28	3.26	3.31	3.35	3.40	3.27	3.27	3.31	3.22	3.33	3.32	3.35	3.38	3.37	3.38
2019	3.30	3.29	3.31	3.32	3.29	3.36	3.27	3.24	3.32	3.31	3.32	3.31	3.30	3.28	3.34	3.31	3.26	3.39	3.39	3.34	3.45
2020	3.43	3.43	3.43	3.44	3.44	3.45	3.41	3.40	3.43	3.42	3.46	3.36	3.40	3.40	3.41	3.48	3.46	3.51	3.51	3.51	3.52

②【B-20】満足度「この科目の内容には全体として満足している」の専攻科目別等の評価

	全体	メディア別		コース・科目区分別						
	全対象科目	TV	R	基盤科目	基盤科目(外国語)	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報
2018	3.39(3.86~2.00)	3.40	3.38	3.11	3.35	3.46	3.44	3.36	3.59	3.22
2019	3.32(3.87~2.35)	3.29	3.36	3.43	2.83	3.44	3.29	3.28	3.24	3.23
2020	3.52(3.89~2.94)	3.52	3.51	-	3.44	3.56	3.54	3.54	3.48	3.32

※()内の値は「最高値~最低値」

	コース・科目区分別		
	自然と環境	夏季集中科目(司書)	夏季集中科目(看護)
2018	3.37	-	3.09
2019	3.26	-	3.09
2020	3.35	3.38	3.36

←※2020年度は「看護師資格取得」

	性別		年齢別						
	男	女	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
2018	3.36	3.42	3.50	3.35	3.38	3.37	3.44	3.38	3.36
2019	3.27	3.36	3.40	3.28	3.29	3.31	3.36	3.30	3.28
2020	3.50	3.53	3.35	3.53	3.54	3.52	3.54	3.46	3.50

(3) 評価結果(4段階評価における評点平均)

【大学院】

①項目別評価

	取組姿勢			授業評価全体			難易度・分量			放送授業			印刷教材			通信指導・単位認定試験			全体評価		
	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R
2018	3.46	-	3.46	3.27	-	3.27	3.39	-	3.39	3.26	-	3.26	3.25	-	3.25	3.163	-	3.16	3.39	-	3.39
2019	3.38	-	3.38	3.43	-	3.43	3.45	-	3.45	3.38	-	3.38	3.39	-	3.39	3.39	-	3.39	3.55	-	3.55
2020	3.38	-	3.38	3.38	-	3.38	3.37	-	3.37	3.37	-	3.37	3.29	-	3.29	3.34	-	3.34	3.47	-	3.47

②【B-20】満足度「この科目の内容には全体として満足している」の専攻科目別等の評価

	全体	メディア別		コース・科目区分別						
	全対象科目	TV	R	生活健康科学	人間発達科学	人文学	情報学	臨床心理学	自然環境科学	社会経営科学
2018	3.36(3.82~2.75)	-	3.36	3.14	3.40	-	2.92	3.25	-	3.59
2019	3.43(3.84~2.17)	-	3.43	3.36	3.55	3.51	3.09	3.52	3.00	-
2020	3.47(3.69~2.57)	-	3.47	-	3.69	3.29	2.87	3.66	-	3.56

※()内の値は「最高値~最低値」

	性別		年齢別						
	男	女	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	
2018	3.43	3.15	3.50	3.64	3.20	3.24	3.80	2.60	
2019	3.37	3.50	3.63	3.40	3.42	3.49	3.39	3.30	
2020	3.39	3.63	3.75	3.60	3.43	3.38	3.47	3.53	

付録) 2020年度学生による授業評価集計結果の概要等について

2020年度学生による授業評価の調査結果一覧表【2020年度新規開設科目】(単純集計1 平均評点) コース・科目区分別、プログラム別

所属	科目名	回収状況		取組み姿勢												難易度・分量												印刷教材												通達指導・単位認定試験												全体評価					授業にかかわる評価(80%)の平均		全体(A1-E20)の平均	
		調査対象者数	回答者数	回収率	A-1	A-2	A-3	項目平均	B-1	B-2	B-3	B-4	項目平均	B-5	B-6	B-7	B-8	項目平均	B-9	B-10	B-11	B-12	項目平均	B-13	B-14	B-15	項目平均	B-16	B-17	B-18	B-19	B-20	項目平均	全体	全体																									
	全科目平均	35,552	7,320	20.6%	3.52	3.28	3.50	3.43	3.37	3.42	3.41	3.45	3.41	3.42	3.54	3.43	3.28	3.42	3.39	3.36	3.43	3.40	3.47	3.51	3.46	3.48	3.48	3.53	3.64	3.40	3.52	3.51	3.45	3.44																										
	科目最高値	-	-	-	3.75	3.72	3.73	3.69	3.78	3.80	3.78	3.77	3.78	3.89	3.92	3.85	3.84	3.88	3.65	3.73	3.75	3.72	3.71	3.62	3.67	3.71	3.64	3.76	3.88	3.90	3.76	3.89	3.83	3.77	3.76																									
	科目最低値	-	-	-	3.07	2.43	3.00	2.90	2.71	2.94	2.68	2.94	2.82	2.71	2.71	2.86	2.62	2.87	2.94	2.71	2.39	2.85	2.79	3.06	2.87	3.00	3.09	3.00	3.19	2.57	2.94	3.09	3.00	3.01																										
	予レシ科目(TV)平均	18,170	3,928	21.6%	3.51	3.34	3.45	3.43	3.36	3.43	3.38	3.42	3.40	3.44	3.58	3.47	3.36	3.46	3.43	3.36	3.38	3.42	3.40	3.45	3.49	3.43	3.46	3.54	3.64	3.37	3.52	3.51	3.45	3.44																										
	ラジオ(R)平均	17,922	3,392	19.5%	3.53	3.22	3.55	3.43	3.38	3.41	3.45	3.48	3.43	3.39	3.50	3.38	3.18	3.36	3.42	3.43	3.33	3.45	3.41	3.49	3.54	3.49	3.51	3.51	3.52	3.65	3.43	3.51	3.52	3.45	3.45																									
	「産協科目(外国語)」全体	1,111	240	21.6%	3.36	3.29	3.29	3.31	3.28	3.33	3.28	3.31	3.30	3.43	3.57	3.44	3.35	3.45	3.58	3.30	3.19	3.35	3.36	3.34	3.30	3.33	3.32	3.39	3.50	3.58	3.25	3.44	3.43	3.38	3.37																									
	「生活と福祉」全体	5,148	883	17.3%	3.48	3.18	3.47	3.38	3.38	3.40	3.46	3.49	3.43	3.42	3.52	3.43	3.25	3.41	3.41	3.45	3.39	3.48	3.43	3.51	3.55	3.49	3.52	3.54	3.63	3.44	3.56	3.54	3.47	3.45																										
	「心理と教育」全体	20,900	4,443	21.3%	3.55	3.32	3.54	3.47	3.42	3.46	3.46	3.49	3.46	3.45	3.56	3.44	3.30	3.44	3.44	3.43	3.39	3.46	3.43	3.50	3.55	3.50	3.52	3.53	3.56	3.67	3.44	3.54	3.55	3.48	3.48																									
	「社会と産業」全体	1,974	473	24.0%	3.50	3.33	3.45	3.43	3.40	3.45	3.44	3.48	3.44	3.44	3.52	3.44	3.34	3.44	3.44	3.40	3.34	3.44	3.41	3.41	3.41	3.43	3.42	3.44	3.52	3.66	3.41	3.54	3.51	3.45	3.44																									
	「人間と文化」全体	1,975	559	28.3%	3.49	3.35	3.44	3.43	3.32	3.38	3.30	3.37	3.34	3.43	3.67	3.45	3.29	3.46	3.45	3.30	3.27	3.37	3.35	3.47	3.51	3.40	3.46	3.39	3.50	3.63	3.28	3.48	3.46	3.41	3.41																									
	「情報」全体	1,853	416	22.5%	3.36	3.22	3.35	3.31	3.16	3.25	3.15	3.23	3.20	3.27	3.42	3.25	3.11	3.26	3.29	3.18	3.25	3.25	3.24	3.26	3.30	3.29	3.28	3.26	3.39	3.51	3.27	3.32	3.35	3.27	3.28																									
	「自然と環境」全体	233	60	25.8%	3.38	3.08	3.20	3.22	3.07	3.15	2.93	3.12	3.07	3.30	3.58	3.25	3.00	3.28	3.33	2.98	3.20	3.18	3.17	3.30	3.47	3.22	3.33	3.27	3.55	3.55	3.28	3.35	3.31	3.23	3.23																									
	「看護師資格取得」全体	1,489	134	9.0%	3.43	2.73	3.45	3.20	3.11	3.14	3.25	3.29	3.20	3.13	3.18	3.25	3.08	3.16	3.19	3.23	3.21	3.25	3.22	3.44	3.48	3.31	3.41	3.35	3.28	3.39	3.20	3.36	3.32	3.26	3.25																									
	「医学集中科目」全体	869	102	11.7%	3.65	3.30	3.69	3.55	3.21	3.22	3.22	3.22	3.22	3.25	3.34	3.29	3.11	3.25	3.23	3.27	3.19	3.35	3.29	3.25	3.31	3.21	3.26	3.35	3.41	3.70	3.38	3.38	3.44	3.30	3.33																									

所属	科目名	回収状況		取組み姿勢												難易度・分量												印刷教材												通達指導・単位認定試験												全体評価					授業にかかわる評価(80%)の平均		全体(A1-E20)の平均	
		調査対象者数	回答者数	回収率	A-1	A-2	A-3	項目平均	B-1	B-2	B-3	B-4	項目平均	B-5	B-6	B-7	B-8	項目平均	B-9	B-10	B-11	B-12	項目平均	B-13	B-14	B-15	項目平均	B-16	B-17	B-18	B-19	B-20	項目平均	全体	全体																									
	全科目平均	650	223	34.3%	3.48	3.17	3.49	3.38	3.36	3.36	3.36	3.41	3.37	3.42	3.52	3.39	3.14	3.37	3.36	3.33	3.08	3.40	3.29	3.31	3.36	3.35	3.34	3.39	3.52	3.62	3.35	3.47	3.47	3.38	3.38																									
	科目最高値	-	-	-	3.65	3.40	3.67	3.54	3.61	3.61	3.58	3.61	3.58	3.66	3.81	3.62	3.35	3.55	3.54	3.64	3.37	3.68	3.53	3.65	3.58	3.57	3.54	3.57	3.76	3.81	3.65	3.69	3.67	3.57	3.56																									
	科目最低値	-	-	-	2.78	2.74	3.09	2.87	2.70	2.61	2.43	2.87	2.65	2.52	2.74	2.65	2.43	2.59	2.87	2.48	2.22	2.61	2.55	2.74	3.00	2.83	2.86	2.83	2.70	2.91	2.57	2.72	2.66	2.69																										
	「人間発達科学」全体	133	54	40.6%	3.63	3.31	3.59	3.51	3.52	3.46	3.54	3.48	3.50	3.54	3.69	3.61	3.26	3.53	3.43	3.59	3.22	3.61	3.46	3.48	3.57	3.54	3.53	3.52	3.65	3.78	3.54	3.69	3.64	3.54	3.53																									
	「臨床心理学」全体	226	62	27.4%	3.61	3.23	3.50	3.45	3.52	3.61	3.58	3.61	3.58	3.66	3.63	3.55	3.35	3.55	3.52	3.53	3.37	3.60	3.51	3.55	3.56	3.44	3.52	3.52	3.76	3.77	3.65	3.67	3.57	3.56																										
	「社会発達科学」全体	124	45	36.3%	3.49	3.20	3.51	3.40	3.40	3.38	3.42	3.49	3.42	3.51	3.71	3.51	3.18	3.48	3.40	3.38	3.13	3.53	3.36	3.24	3.09	3.36	3.23	3.36	3.53	3.58	3.27	3.56	3.46	3.40	3.40																									
	「人文学」全体	63	24	38.1%	3.50	2.96	3.50	3.32	3.21	3.21	3.17	3.21	3.20	3.25	3.38	3.13	3.00	3.19	3.17	2.96	2.75	3.08	2.99	3.08	3.29	3.21	3.19	3.29	3.38	3.63	3.08	3.29	3.33	3.19	3.21																									
	「情報学」全体	104	38	36.5%	3.05	3.00	3.32	3.12	2.92	2.89	2.79	3.03	2.91	2.84	2.97	2.87	2.68	2.84	3.00	2.79	2.55	2.82	2.81	2.89	3.08	3.03	3.00	3.08	3.03	3.18	2.87	2.87	3.01	2.91	2.84																									

(注) 平均評点は、調査票の選択後「あてはまる：4点」「ややあてはまる：3点」「あまりあてはまるはまらない：2点」「あてはまらない：1点」として算出した。

2020年度学生による授業評価調査票 (学部)

次の科目についてお答えください。

科目名	
科目コード	

- I. この授業科目を学習して、あなたはどのような印象や感想をお持ちになりましたか。次の①～④及び(1)～(20)の項目について、あてはまる程度を4段階で評価し、4～1の番号にそれぞれ1つだけ○を付けてください。(この面が済みましたら、裏面にもお答えください。)

(注) 通信指導を提出していない方、単位認定試験を受験していない方についても、回答できる範囲でお答えください。

A. 授業評価をしていただく前に、あなたの授業への取組みについてお尋ねします。

		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
①	全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ。	4	3	2	1
②	放送授業を十分に視聴した。	4	3	2	1
③	印刷教材を熱心に学習した。	4	3	2	1
④	単位認定のための学習方法について、次の1～3のいずれか一つを選んでください。 1. ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ。 2. ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ。 3. 放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ。				

B. 以下のアンケートにお答えください。

<授業の難易度・分量>					
(1)	放送授業の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(2)	放送授業の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
(3)	印刷教材の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(4)	印刷教材の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
<放送授業>					
(5)	講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった。	4	3	2	1
(6)	講師の熱意が十分に伝わった。	4	3	2	1
(7)	放送授業は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
(8)	(テレビ科目についてのみお答えください) テレビの特性が十分に生かされていると感じた。	4	3	2	1
	(ラジオ科目についてのみお答えください) 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた。				
<印刷教材>					
(9)	印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった。	4	3	2	1
(10)	印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった。	4	3	2	1
(11)	図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(12)	印刷教材は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
<通信指導・単位認定試験>					
(13)	通信指導のコメントは、納得のいくものだった。	4	3	2	1
(14)	通信指導は学習内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(15)	単位認定試験の問題は、科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった。	4	3	2	1
<全体評価>					
(16)	授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った。	4	3	2	1
(17)	学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった。	4	3	2	1
(18)	新しい知識が身につく視野が広がった。	4	3	2	1
(19)	この科目の内容を全体としてよく理解できた。	4	3	2	1
(20)	この科目の内容には全体として満足している。	4	3	2	1

裏面に続きます。

II. 次の点について、ご自由にお書きください。

(学部)

(1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

(2) この科目を受講して改善すべきだと感じた点をお書きください。

(3) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

III. この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。(あてはまる番号に○を付けてください。)

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
3. 通信指導を提出しなかった。

IV. あなたご自身についてお答えください。(あてはまる番号にそれぞれ○を付けてください。)

(1) 学生種別	[全科履修生 新コース所属の方] 1. 生活と福祉 2. 心理と教育 3. 社会と産業 4. 人間と文化 5. 情報 6. 自然と環境 [全科履修生 旧専攻所属の方] 7. 生活と福祉 8. 発達と教育 9. 社会と経済 10. 産業と技術 11. 人間の探究 12. 自然の理解 [選科履修生・科目履修生] 13. 選科履修生 14. 科目履修生
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業 5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他 ()

どうもありがとうございました。

授業評価の組織的な活用

